

槍

證

縣公署 爲發給槍證事、本縣保衛團第 團第 保第 甲第 牌團丁
(槍把火印字號)
 執用 字 號 槍壹桿、特發槍票存證、如遇毀壞遺失、將證繳銷、其照章程第四
 條第二項、携鎗移往他縣者、即送該管縣註銷另換、此證

右給

收執

中華民國 年 月 日 (此處註知事蓋章)

(二)武器ノ補充及保存 各保衛團ニ於テ銃器又ハ各種彈藥ノ補給ヲ受ケントスルトキハ團總ヨリ總監督及巡按使ヲ經將軍公署ニ轉請シ軍械廠ヨリ之ヲ受領セシムルモノトシ此ノ際總監督ハ請求書類ヲ作製シ前記各官ノ連印ヲ得タル上吏員ヲ該廠ニ派遣シテ領收セシメ其ノ旨道尹ニ報告スヘキモノトス斯クシテ補給ヲ得タル武器ハ舊有ノ物ト同シク規定ニ從ヒ烙印ノ番號ヲ施シ帳簿ニ記入シ總監督ヨリ順ニ各團總保董甲長牌長ニ交付シ團戶ヲシテ保存セシム其ノ保存方法ハ平時ト警時ノ二ニ分チ(イ)平時ニ於テハ嚴重ニ之ヲ保管シ盜難ニ罹リ又ハ濕潤乾燥ニ過キ銃器ハ銹ヲ生シ火藥ハ發火セサルカ如キコトナカラシムヘク射擊演習ノ際ハ其ノ都度之ヲ摩拭セシムルヲ要ス(ロ)警時ニ於テハ一般ノ團丁ハ討伐ニ從事シ留守團丁少數ト爲ルヘキヲ以テ此ノ際事務所内ニ武器ヲ放置スルトキハ特ニ匪徒ノ襲掠ヲ受ケ易キニ依リ之ヲ防クニ注意シ時々團丁ヲシテ監視セシムヘク團丁ニシテ危難ニ遇フトキハ自ラ銃器彈藥ヲ携帶スルヲ要シ他人ニ委託シ又ハ

隨意ニ放置スルコトヲ得ス若シ匪賊ト接戦シ匪徒ノ爲メ負傷又ハ擊殺セラレタル者アルトキハ同行ノ團丁ハ先ツ其ノ携帶武器ヲ脫セシメテ各自ニ之ヲ保管シ敵手ニ委スルコトナカラシムルヲ要ス(ハ)此ノ外團丁ノ武器ハ平時警時ヲ問ハス私ニ他人ニ貸與スルコトヲ禁シ若シ匪徒ニ奪取セラレタルトキハ之カ證明ヲ爲スニ非サレハ新ニ補給ヲ受ケシムルコトヲ禁シ其ノ證明不充分ナルトキハ匪徒ヲ救済シタルモノト看做シ之ヲ處分シ竝ニ團總保董等ヲモ失察ノ罪ニ坐セシム又團丁カ他ニ轉居シ若ハ武器ヲ使用スルコト能ハサル事由アルトキハ其ノ理由ヲ明ニシ團總ヲ經總監督ニ報告シタル後其ノ武器ヲ評價シ他ノ團丁ヲシテ購入セシメ甲團ヨリ乙團ニ移ル者ハ同縣内ニ於ケル場合ニ限リ其ノ武器ノ携帶ヲ許スモノトス即チ此ノ場合ニハ甲團ノ團總ハ該團内ノ帳簿ニ就キ之ヲ抹消シタル上移轉スヘキ乙團ノ團總ニ該武器ノ番號ヲ通知シ乙團ニテハ之ヲ副册内ニ記入スルト共ニ副字ノ烙印ヲ加ヘ總監督ニ報告シテ帳簿ヲ更正セシム又他縣ニ移住スル者ニシテ道路不安ノ爲メ武器ノ携帶ヲ必要トスルトキハ團總ヨリ情形ヲ明查シ舊管縣知事ヨリ移住地ノ知事ニ照會シ其ノ所轄ニ歸スヘキ團所ニ通知シ且ツ護照ヲ給シ沿道各官吏ノ檢査ニ供セシムルモノトシ移住後ノ取扱ニ關シテハ前述甲團ヨリ乙團ニ移轉スル場合ニ仿ヒテ手續ヲ爲スモノトス其ノ他團丁ノ家族及團丁タラサル人民商家寺廟等ノ居住者モ若シ銃器彈藥ヲ有スルトキハ右ノ規定ヲ適用シテ保存セシメ唯槍證内ニ民戶商家寺廟等ノ字ヲ附記シテ一般ノ團丁用武器ト區別スルコトトシタリ

五賞 罰

保衛團員ニ對シテハ左ノ各項ニ照シテ賞罰ヲ加フルモノトス

(一)賞與 賞與ヲ給スヘキ場合及其ノ給與方法ハ左ノ如シ

(イ)地方保衛團條例第十八條第一項ノ規定ニ依ル著名ノ匪首又ハ逮捕懸賞中ノ巨匪ヲ檢舉捕縛シタル者ニ對シテハ懸賞ヲ受クル場合ヲ除キ逮捕シタル賊一名毎ニ保衛團費内ヨリ小洋五十元ヲ賞給シ亂黨教匪ニシテ地方ノ治安ヲ妨クル者ヲ逮捕シタルトキハ臨時ニ其ノ賞額ヲ定メテ給與ス

(ロ)地方保衛團條例第十八條第二項ニ依ル盜賊掠奪ノ際即時ニ之ヲ逮捕シタル者ニ對シテハ賊一名ヲ逮捕スル毎ニ保衛團經費内ヨリ賞金三十元ヲ給ス

(ハ)他ノ保衛團ト協同シ盜匪ヲ逮捕シタル者ニ對シテハ賊一名毎ニ二十元ヲ給ス但シ其ノ盜匪ヲ逮捕スルニ當リ一團ハ之ヲ逮捕シ一團ハ單ニ之ニ協力シタルモノナルトキハ逮捕シタル保衛團ニハ二十元ヲ給シ他ノ協力セル保衛團ニハ十元ヲ給スヘク兩者協同シテ互ニ逮捕シタルトキハ各十元宛ヲ分賞スルモノトス

(ニ)保衛團ノ管境内ニ盜賊土匪出沒ノ迹ナキモノニ在リテハ總監督ヨリ道尹ヲ經巡按使ニ申請シ審査ノ上適宜賞與ヲ給シ成績特ニ優良ナルモノニハ内務部ニ賞與ヲ申請ス

(ホ)盜賊逮捕ノ際負傷ヲ爲シ又ハ死亡シタル者アルトキハ現在經費不足ノ時ニハ假ニ預警擊匪傷亡給卹成案ニ照シ總監督ヨリ團丁ニハ卹金百元ヲ給シ其他ノ團員ニハ各階級ヲ異ニスル毎ニ更ニ上述百元以外ニ五十元宛ヲ遞加給與セシメ將來充分ノ經費ヲ有スルニ至リ警察官吏卹賞章程ヲ按シテ之ヲ救恤セシムルモノトス

(二)處罰 處罰ヲ爲スヘキ場合及其ノ方法ハ左ノ如シ

(イ)地方保衛團條例第二十二條第一項ノ事項即チ團員ニシテ盜匪ヲ隱匿シタル者アルトキハ團總ヨリ該團員ヲ總監督ニ送致シ懲治盜匪法及刑律ニ照シテ治罪セシム

(ロ)同條例第二十二條第三項及同第四項ニ該當スル者即チ探訪不正確ニシテ誤テ他人ヲ逮捕シ又ハ故意ニ良民ヲ誣告シ若ハ團員自ラ遊惰ヲ事トシ職務ニ精勤セサル者ニ對シテハ總監督之ヲ審査シ記過又ハ免職ニ處シ情狀重ク刑事處分ヲ加フヘキ者ニ在リテハ巡按使ニ詳報シテ嚴罰ニ附スルモノトス

第一目 吉林省保衛團

吉林省ノ保衛團ハ吉林省地方保衛團トモ稱ス奉天省ニ於ケルト同シク地方保衛團條例ニ從ヒ舊設豫備巡警ヲ變更擴張シタルモノニシテ別ニ吉林省地方保衛團施行細則(參照第(三六)條)及吉林省地方保衛團編練大綱(參照第(三七)條)ヲ制定シ且ツ之カ編成機關ヲ設ケ省内各縣ニ保衛團ヲ完成セシメンカ爲メ民國五年十二月ニ至リ吉林省全省編練地方保衛團總辦事處簡章(參照第(三八)條)吉林各縣編練地方保衛團辦事分處簡章(參照第(三九)條)ヲ實施シ之ニ依リテ保衛團編成總機關トシテ吉林省全省編練地方保衛團總辦事處ヲ設ケ更ニ其ノ下ニ直屬スル吉林各縣編練地方保衛團辦事分處ヲ各縣ニ分設セシムルモノトセリ以下之ヲ分説スヘシ

一 保衛團編成機關

保衛團ノ編成機關ハ前述ノ如ク吉林省全省編練地方保衛團總辦事處及吉林各縣編練地方保衛團辦事分處ノ二トス左ノ如シ

(一)吉林省編練地方保衛團總辦事處 該總辦事處ハ吉林省長公署内ニ設ケ全省保衛團ノ成立ヲ完了シタルトキハ之ヲ裁撤スルモノトス其ノ職員及職務ヲ記スレハ左ノ如シ(參照第(三八)號)

(二)組織 總辦事處内ニハ左ノ職員ヲ置クモノトス

(イ)督辦 一人 省長兼任

(ロ)總辦 二人 督辦ノ命ニ依リ政務廳長及警務處長ヲシテ兼任セシム

(ハ)提調 一人 政務廳内務科主任ヲシテ兼任セシム

(ニ)辦事員 若干人 同内務科員ヲシテ兼任セシム

(ホ)視察員 若干人 必要ニ應シ督辦ヨリ任用品

總辦事處ノ經費ハ各縣保衛團經費内ヨリ一部ヲ割キテ之ニ充テシムルモノトス但シ職員中兼任者ニハ別ニ報酬ヲ支給セサルモ視察員カ視察ノ爲メ各縣ニ出張スル場合ハ相當ノ旅費ヲ給與スルモノトス

(三)職務 總辦事處ハ六箇月ヲ限リ別ニ制定スル地方保衛團編練大綱ノ規定ニ照シ省内各縣ノ保衛團ヲ編成セシムルヲ目的トシ左ノ事項ヲ管掌スヘク唯タ該處ヨリ外部ニ對シテ發スル文書

ニハ省長ノ名義ヲ以テ之ヲ行フモノトス

(イ)各縣地方保衛團ノ編練ヲ督促スルコト

(ロ)各縣辦事分處及地方保衛團職員ノ任免及成績考查ニ關スル事項

(ハ)地方保衛團ニ關スル章程表冊ノ編訂ニ關スル事項

(ニ)各縣地方保衛團編成狀態ノ考查ニ關スル事項

(ホ)各縣地方保衛團經費收支ノ審査ニ關スル事項

(二)吉林省各縣編練地方保衛團辦事分處 該辦事分處ノ組織及職務ヲ記スレハ左ノ如シ(參照第(三九)號)

(一)組織 上述辦事分處ハ各縣知事公署内ニ設ケ各縣内地方保衛團完成ノ日ヲ以テ之ヲ裁撤スヘク左ノ職員ヲ以テ組織スルモノトス

(イ)處長 一人 縣知事ノ兼任トシ總辦事處ヨリ任命セシメ縣内地方保衛團編成事務ヲ總理ス

(ロ)提調 一人 總辦事處ノ任命ニ依リ警佐之ヲ兼ネ處長ノ命ヲ受ケ縣内地方保衛團編成事務ヲ執ル

(ハ)督練長 一人 知事ヨリ選任シ提調ト商量シテ縣内保衛團編成事務ヲ執ル

(ニ)督練員 一人乃至三人 大縣三人中縣二人小縣一人トシ知事ヨリ各地方紳士中資産及人望ヲ有シ警察ニ關スル智識アル者ヲ選ヒ總辦事處ニ申請シテ委任セシメ督練長ノ指揮ヲ受ケ提調ト商量シ縣内地方保衛團編成事務ヲ取扱フ

(ホ)辦事員 若干人 縣知事ニ於テ縣知事公署及警察所職員内ヨリ選任シ總辦事處ニ報告セシム

尙ホ辦事分處ノ經費ハ保衛團團捐内ヨリ其ノ徵收總額ノ十分ノ一ヲ過キササル範圍内ニ於テ之ヲ支出スヘク唯兼任職員ハ名譽職トシ別ニ報酬ヲ支給セス督練長督練員ニハ辦公費ヲ酌量給與スルモノトス

(二)職務 辦事分處ハ總辦事處ノ監督指揮ヲ受ケ各縣内ニ於ケル地方保衛團ノ編成ニ關スル事務

ヲ管掌スルモノトス即チ左ノ如シ

(イ) 縣内保衛團編成事務ノ進行ヲ計畫スルコト

(ロ) 縣内保衛團ノ成績ヲ考查報告スルコト

(ハ) 縣内保衛團經費ノ收支豫算決算案ヲ編成スルコト

此ノ外該辦事分處ヨリ外部ニ對シテ發スル文書ハ縣知事ノ名義ヲ以テ之ヲ行フモノトス

二 保衛團ノ編成

民國三年十二月實施ノ吉林全省地方保衛團施行細則(參照第(三六)條)及同五年十二月實施ノ吉林全省地方保衛團編練大綱(參照第(三七)條)ニ依レハ吉林省内ノ保衛團ハ左ノ如ク之ヲ編成スルモノトス

(一) 組織 吉林省各縣ニ於テハ既ニ保衛團ヲ成立セシメタルト否トヲ論セス吉林全省地方保衛團編練大綱實施後六箇月内ニ該規定ニ照シテ地方保衛團ヲ編成スヘキモノトス而シテ之ヲ編成スル各縣ニ於テハ地方ノ情形ニ依リ境内ヲ若干區ニ分チ各區ニ左ノ團員ヲ置クモノトス

(二) 團總一人 團總ハ曾テ警察官吏中區官以上又ハ陸軍排長以上ノ職務ヲ有シ人望アル地方ノ紳士ニ就キ各縣辦事分處長ヨリ選薦シ總辦事處ヲシテ任命セシム

(三) 保董 五甲毎ニ一人ヲ置ク

(四) 甲長 十牌毎ニ一人ヲ置ク

(五) 團丁 團丁ハ住民中年齡二十歲乃至四十歲ノ男子ニ限ルモノトシ各戶財產ノ多少ニ依リ左ノ如ク服役スルモノトス

(イ) 自作耕地十五畝ヲ有スル者及小作地二十五畝ヲ耕作スル者若ハ銀五千元又ハ中錢五萬吊以上ノ資産ヲ有スル住民ハ各戶團丁一人ヲ出スコト

(ロ) 自作地六十畝以上ヲ有スル者及小作地八十畝以上ヲ耕種スル者若ハ銀一萬元又ハ中錢拾萬吊以上ノ資産ヲ有スル者若ハ各戶團丁二人ヲ出スコト

(ハ)(イ)(ロ)ニ項ニ該當スル住民ニシテ自家ニ服役セシムヘキ次男以下ノ壯丁ナキトキハ各該村屯ニ家族ヲ有シ正業ヲ營ミ確實ナル保證人ヲ有スル壯丁ヲ雇用服役セシムヘキモノトス此ノ外保衛團成立後辦事分處ハ教員ヲ派シ各保董ヲ會同シテ保董ノ管轄スル右ノ團丁ヲ教練スルコト二箇月ノ後該團丁ノ成績優秀ナル者ヲ選拔シ左ノ如ク團防隊及團巡隊ヲ組織セシム

(二) 團防隊 團防隊ノ定員ハ大中小縣ニ依リ之ヲ異ニシ大縣ハ三百名乃至五百名中縣ハ百五十名乃至二百五十名小縣六十名乃至百名トシ各區ノ緊要地點ニ分駐防守セシメ六箇月毎ニ他ノ團丁ト交代セシメ家業ノ荒廢ヲ免レシム

(三) 團巡隊 團巡隊ハ右ト同シク大中小縣ニ依リ定員ヲ異ニシ大縣ハ百五十名乃至二百名中縣百名乃至百二十名小縣ハ三十名乃至五十名ヲ定員トス該隊ハ縣境各地ヲ巡邏セシメ同シク六箇月毎ニ他ノ團丁ト交代セシム

團丁ノ服裝ハ藍色土布ヲ用ヒ白布ノ肩章ヲ附スヘキモノトス
(二) 職掌 保衛團員ノ職掌ハ盜賊ノ逮捕ヲ以テ專務ト爲シ他事ニ干涉スルコトヲ得サラシム監督者タル縣知事ハ右ノ目的ヲ達セシムル爲メ適宜團丁ヲ召集シテ左ノ方法ヲ實行セシム

(イ) 夏日草木繁茂セル時及冬季貨客ノ往來盛ナル時ハ各團丁ハ段ヲ分チテ巡邏スルコト

(ロ) 盜難事件アルトキハ強盜竊盜ノ區別ナク該犯人ヲ逮捕スヘク隣村ニ該事件アルトキハ馳セテ之ヲ救援シ要所ニハ監視所ヲ置キテ犯人ノ逃走ヲ射撃防止スルコト

(ハ) 管内ニ行迹疑フヘキ者又ハ無業ノ遊民アルトキハ警察ト協同シ騷擾ヲ惹起セサル程度ニ於テ之ヲ驅逐又ハ捕縛スルコト

(ニ) 管内又ハ隣境ニ盜難多キトキハ豫メ團丁ヲ召集シ期日ヲ定メ協力合圍シテ之ヲ緝捕スルコト
(ホ) 團防隊及團巡隊ニ在リテハ總辦事處ノ指揮ニ依リ省城又ハ附近各縣ニ赴キテ盜匪ノ討伐ニ從事セシム

此ノ外犯人ノ拘留護送及各地方ニ於ケル差役等ノ事項ハ警察官吏ヲシテ之ニ任セシメ又盜難事件ナク農事多忙ノ時期ニ至レハ各歸家シテ生業ヲ營マシムルモ其ノ解散ハ縣知事ノ命ニ依リ團總之ヲ決定スルモノトセリ

(三) 教練及武器 團丁ノ教練ニ對シテハ辦事分處又ハ警察所ヨリ教員ヲ選擇派遣シ各團ニ赴キテ保董立會ノ上警察事務ノ大意ヲ講述セシメ竝ニ實彈射擊演習ヲ行ハシム又團丁所用ノ銃器ハ各自代價ヲ支拂ヒテ購入シ吉林省ノ舊規ニ基キ番號ヲ附シ烙印ヲ施シ縣ニ送リテ審査セシメ遺失又ハ破損シタルトキハ其ノ都度報告スヘク私ニ相授受スルコトヲ得サラシム次ニ盜賊討伐ノ爲メニ彈藥ヲ消費シ之カ補充ヲ要スルトキハ團總ヨリ縣ニ報告シテ帳簿ニ記載セル原給數目ヨリ消費數目ヲ減去抹消セシメ响捐經費内ヨリ補給スヘキ數量ヲ購入シテ分配スルモノトス

(四) 賞罰 團員ノ賞罰ニ關シテハ地方警察規定ニ依照セシムルモノトス(參照第三七七條)但シ團丁ニシテ贓品ヲ發覺シタルトキハ團總ヨリ縣知事ニ其ノ旨ヲ報告シ各盜難者ヲ招キテ之ヲ受領セシメ一箇月

ヲ過クルモ引取人ナキトキハ贓品カ銃器彈藥ナルトキハ沒收シテ公用ニ充テ其ノ餘ノ物件ハ之ヲ公賣シ五割ヲ公用ニ充テ五割ヲ發覺シタル團丁ニ賞給スルモノトス

(五) 經費 各縣地方保衛團ノ經費ハ舊來ノ保衛團响捐内ヨリ支出セシムヘク其ノ豫算決算案ニ關シテハ辦事分處ヨリ之ヲ編成シ總辦事處ニ認可ヲ申請スルモノトス而シテ團員ノ中普通ノ團丁ニハ俸給手當ヲ給セサルモ團防隊團巡隊ニ編入セル團丁及操練中ノ團丁ニ對シテハ相當ノ食費ヲ給シ特ニ該團丁カ省城又ハ附近各縣ニ赴キテ盜匪ノ討伐ニ從事スルトキハ酌量シテ俸給手當ヲ支給スルコトヲ得ルモノトス(參照第三七七條)

第四款 警察官吏ノ任用

廣ク警察事務ニ關係スル點ヨリ推論スルトキハ警察機關ハ下ハ村屯駐紮ノ警察區分所ヨリ上ハ中央各部總長國務總理等ヲ包括スルコト前文説ク所ノ如シ從テ此等ノ各機關ヲ有スル官廳ハ一面ニ於テ又ハ全然警察官廳ト稱スヘク之ニ干與スル官吏ハ之ヲ警察官吏即チ警官ト爲スヲ得ヘシ然レトモ此ノ内直接ニ警察事務ヲ擔任スル者ヲ除キ各地方行政官又ハ中央各部總長國務總理等カ警察事務ニ關係スルハ概ネ其ノ主管事務ニ隨伴シ主管事務ノ進捗ヲ阻止スル危害物ヲ除去セントスルニ出ツルモノニシテ專ラ警察事務ノ執行ヲ職掌トスル者トハ多少其ノ性質ヲ異ニス又民國二年九月公布ノ警官甄別規條第一條(參照第五四條)ニ於テハ警官ヲ以テ各縣警務長各縣區官及巡官ニ限ルモノトセルモ全省警務處省城又ハ商埠警察廳鐵路巡警局等ニ在リテ前述官吏以外ニ直接警察事務ノ執行ヲ職掌ト爲ス官吏アルヲ以テ右ノ制限ハ未タ當ヲ得タルモノト云フヘカラス且ツ巡長巡警ハ直接

警察事務ヲ執行スルモ支那官制ニ依ル特任簡任薦任委任等ノ官吏任用法ニ依リテ任用セラレタル官吏ニ在ラサルカ故ニ單ニ國家ノ任用ニ依リ警察機關ヲ組織シ警察事務ヲ執行スヘキ義務ヲ有スル身分ニ過キササルモノト解セサルヘカラス然レトモ本項ニ於テハ說明ノ便宜上前說ヲ混同折衷シ全省警務處ニ於ケル職員以下各警察機關ニ從屬スル巡長巡警等直接警察事務ヲ執行スル者ヲ以テ警察官吏ト看做シ之カ任用方法ヲ説明スヘシ

第一項 警察官吏ノ階級

支那ノ現行法制ニ從ヘハ支那ニ於テハ文官ノ執ルヘキ官職ノ階級ヲ定メテ特任職簡任職薦任職委任職ノ四ト爲セルコト我日本ノ官吏ニ勅任官奏任官判任官ノ三種アルカ如クス而シテ此ノ内地方警察官吏ハ全省警務處長ノ簡任職ヲ最高トシ薦任職委任職ヲ任用シ巡長巡警ハ委任職ノ待遇ト爲セリ以下奉天吉林二省警官ノ階級表ヲ示スヘシ

官廳	簡任職	薦任職	委任職	委任職待遇	雇員
全省警務處	全省警務處長	警祕科	正書長	科員	巡警長
(道尹公署)					警書
(縣知事公署)					記

警察廳	(兼任廳長)	廳科督察各技署	長長正士長長	科區巡警各譯署	員官佐長員官
水上警察局 安奉鐵路警察局	(兼任所長)	局	長	所區巡警隊股書記	長官官佐長員長員
縣警察所		所	長	書巡巡	記生
鐵警局(所)		局	長(警正)	所(警)巡	官(佐)長
				巡巡	巡巡
				警長	警長
					備員

第二項 簡任職ノ任用

簡任官ハ前掲各官吏ノ内全省警務處長ノミニシテ大總統ノ任命ニ係ル其ノ任用法ハ民國四年十月一日公布文職任用令(政府公報一)第三條ノ規定及同日公布簡任文職任用程序令ニ依リ(イ)大總統ノ特別任用スル者ノ外(ロ)現ニ簡任文職ニ在ル者(ハ)曾テ簡任文職ニ在リシ者(ニ)現ニ又ハ曾テ上級薦任文職

ニ在リテ所屬長官ノ推薦ニ係リ若ハ成績優良ニシテ之ヲ升任セシムヘキ者等ニ就キ政事堂ヨリ又ハ當該長官ヨリ政事堂ヲ經テ大總統ノ簡任ヲ申請スヘキモノトス然レトモ各省警務處長ノ選任ニ關シテハ民國四年八月十二日內務部ヨリ之カ推薦任命ニ關スル特別規定ヲ立案シテ大總統ノ認可ヲ經タリ即チ該規定ニ依ルトキハ各省警務處長ニ任スヘキ者ハ左ノ資格ヲ有スヘキモノトス

(一)現ニ內務部ノ薦任職ニ任シ曾テ警察事務ヲ取扱フコト五年以上ニシテ著シキ成績アリシ者

(二)現ニ京師警察廳ノ都尉又ハ地方警察廳廳長ニ任シ警察事務ヲ取扱フコト五年以上ニシテ著シキ成績アリシ者

(三)現ニ京外警察廳警正ニ任シ警察事務ヲ取扱フコト五年以上ニシテ著シキ成績アリ竝ニ警察法制學校ヲ卒業シタル者

(四)現ニ簡任職又ハ高等軍職ニ任シ警察事務ヲ取扱フコト五年以上ニシテ著シキ成績アリシ者

(五)現ニ各部院ノ薦任職ニ任シ曾テ警察事務ヲ取扱フコト五年以上ニシテ著シキ成績ヲ有シ竝ニ警察法制學校ヲ卒業シタル者

(六)曾テ簡任職ノ警察官ニ任シ警察事務ヲ執ルコト三年以上ニシテ著シキ成績アリ竝ニ警察法制學校ヲ卒業シタル者

(七)曾テ高等軍職ニ任シ警政ヲ取扱フコト五年以上ニシテ著シキ成績アリ竝ニ陸軍學校ヲ卒業シタル者

(八)曾テ京外高等薦任職ノ警察官吏ニ任シ警察事務ヲ執ルコト八年以上ニシテ著シキ成績アリ竝ニ警察法制學校ヲ卒業シタル者

(九)簡任職ニ任スヘキ相當ノ資格ヲ有シ警察事務ヲ執ルコト八年以上ニシテ著シキ成績アリ竝ニ警察法制學校ヲ卒業シタル者

右ノ資格者ニ對シ之ヲ推薦スルトキハ(イ)內務部ノ選任ニ係ルトキハ先ツ資格者若干人ヲ選ヒ詳細ノ履歷及警察事務ニ關スル成績ニ付キ精細ナル詮考ヲ爲シタル上之カ書類ヲ作製シテ適宜任命ヲ請ヒ政事堂ニ交付シテ記録ニ存セシムルヲ要シ(ロ)各省行政長官カ地方ノ情形ヲ酌量シ警務署長設置ノ申請ヲ必要トスルトキハ右ノ資格者一二員ヲ選擇シ履歷成績考語ヲ具申シテ豫メ之ヲ推薦シ內務部ニ於テ地方ノ情形ヲ體察シ之カ設置ヲ必要トスルトキハ其ノ都度政事堂ノ記録ニ存セル推薦人員全部ノ姓名ヲ記シテ之カ任命ヲ請フモノトス

第三項 薦任職ノ任用

警官ノ內薦任官ハ各省警務處科長警察廳長秘書科長勤務督察長消防督察長區警察署長等及警正候補警正同相當官トス文職任用令(民國四年十月一日政)第四條及薦任文職任用程序令(同)ノ規定ニ從ヘハ薦任職ノ任用ヲ要スル場合ニハ(イ)現ニ薦任文職ニ在ル者(ロ)曾テ滿二箇年以上薦任文職ニ在リ成績良好ナリシ者(ハ)文官高等試驗ニ及第シ學習期ヲ滿了シ成績良好ナル者(ニ)文官特別任用ニ依リ薦任文職ニ銓敍登錄セラレタル者(ホ)現ニ最高級ノ委任文職ニ在リ長官ノ推舉ヲ經大總統ヨリ薦任文職ニ升任ノ命ヲ受ケタル者ニ對シ當該長官ヨリ人選ノ上資格履歷執務成績ヲ詳記シテ大總統ノ任命ヲ申請スルヲ要ス即チ各警察廳長ノ任用ニ當リテハ所屬長官タル警務處長ヨリ人選シ巡按使ヲ經內務部ヲシテ薦任ノ手續ヲ爲サシメ同秘書科長署長勤務督察長消防督察長ノ任用ニ當リテハ廳長

ヨリ省行政長官ヲ經由シ内務總長ニ薦任ヲ請ハシメ科員以下ハ各廳長ヨリ省行政長官ヲシテ委任セシム(參照第七)而シテ各省行政長官ノ手ヲ經テ警官ノ薦任ヲ申請スルトキハ左ノ形式ニ依ル履歷書ニ通ヲ提出スヘキモノトス(民國二年十二月十二日奉天公報六二二) (或同年同月十六日吉林公報三二六號)

内務部制定警察官履歷表式

姓	名	年	歲	縣人
現在擬請薦任爲				
官				
曾在某學校修某學科自某年至某年畢業或修業				
(學歷)				
曾任何官自某年至某年				
(官歷)				
曾辦何項行政事務或地方公益事務自某年至某年有無成績				
(職掌又ハ公益事務ニ對スル成績)				
附	記			

第四項 委任職ノ任用

警察官職ノ内委任職ハ全省警務處及各警察廳科員水上警察局安奉鐵路警察局等ノ各局長縣警察所長鎮警局所長以下區官巡官等並ニ警佐學習警佐及之ニ相當スル者ナルカ此等ハ原則トシテハ前文ニ記シタルト同シク文職任用令(民國四年十月一日政)第五條及委任文職任用程序令ニ依リ(イ)現ニ委任文職ニ在ル者(ロ)曾テ滿一箇年以上委任文職ニ在リ成績アリシ者(ハ)文官普通試驗ニ合格シ學習期間滿

了シ成績良好ナリシ者等ニ就キ當該長官ヨリ委任シ地方各省ニ於ケル者ハ所屬各省最高長官ヨリ毎月之ヲ政事堂ニ報告スルモノト定メタルカ奉天吉林二省ニ於ケル前述各警察廳局所官吏ニ對シテハ其ノ官等ノ高下ニ依リ各省長警務處長警察廳長各縣警察所長ニ於テ之ヲ委任スルモノトセリ即チ左ノ如シ

(一)省長ノ委任スヘキ場合

(イ)各警察廳局ノ科長署長ノ任用ニ當リテハ各該廳局長ヨリ所屬警務處長ヲ經省長ニ之ヲ委任セシム

(ロ)奉天省鴨渾兩江及遼河水上市警察局長安奉鐵路警察局長ノ任用ニ當リテハ警務處長ヨリ省長ニ委任ヲ申請ス

(ハ)鎮警局長ニ對シテハ警正ノ資格者ニ就キ人選後道尹ヨリ巡按使ニ委任ヲ申請セシム但所長ナルトキハ警佐ノ資格者内ヨリ縣知事之ヲ推薦シ道尹ヲシテ任命セシム

(二)各警務處長ヨリ委任スルモノ

(イ)各警察廳局ノ科員警察署員及委員ノ任用ヲ要スルトキハ各該廳局長ヨリ警務處長ニ之ヲ委任ヲ詳請セシム

(ロ)各縣警察所長ハ警務處長之ヲ委任ス

(ハ)各縣警察區官ノ任用ニ當リテハ當該所長ヨリ縣知事ヲ經警務處長ニ委任ヲ請ハシム

(三)各警察廳局及各縣ノ委任巡官ニ對シテハ當該廳局長又ハ縣知事之ヲ委任シ任用後取纏メ警務處ニ報告シテ審査セシムルモノトス

(四)巡長巡警等ノ任用ニ當リテハ各廳局署所長ヲシテ之ヲ任用セシメ毎月取纏メ所屬長官ニ報告セシム

第五項 奉天省各縣警察官吏ノ任用

右ハ一般ノ採用方法ナルカ奉天省縣警察官吏ノ任用ニ關シテハ奉天縣警察統一章程(參照第(二〇)條)ニ依リテ之ヲ規定セリ即チ該章程ニ依レハ奉天省縣警察所ニ於ケル警官ノ任用ニ當リテハ警官ノ等差ニ依リ警察處ヨリ適任者ヲ推薦シテ省長又ハ內務部ノ任命ヲ請フモノト警察所長ノ申請ニ依リ警察處長又ハ縣知事ヨリ任命スルモノ若ハ警察所長區官巡官ヨリ任用スルモノトノ各種アリ左ノ如シ

(イ)警察所長 一二等縣ノ警察所長ハ警察又ハ法政等ノ學校卒業生若ハ曾テ五年以上警察事務ヲ執リ良好ナル成績ヲ示シタル者ニ就キ警察處ヨリ選員ノ上省長ニ委任ヲ呈請シ特ニ繁盛ナル地方ニ對シテハ警察處ニ於テ事情ヲ參酌シ省長ヲ經內務部ニ任命ヲ請フヘク之ニ反シ事務簡單ナル三等縣ノ警察所長ハ警察處ヨリ便宜人員ヲ派シテ充任セシメ專任ノ所長ヲ要セサルモノニ在リテハ縣知事ヲシテ兼任セシムルモノトス

(ロ)股員 股員ハ警察所長ヨリ所管縣知事ニ呈請シテ資格ヲ明查セシメタル上警務處長ヨリ委任セシム

(ハ)書記長及書記生 書記長ハ警察所長ヨリ縣知事ニ任用ヲ呈請シ書記生ハ所長自ラ之ヲ任用ス

(ニ)稽查員 稽查員ハ警察所長ヨリ縣知事ニ之カ任用ヲ呈請ス

(ホ)翻譯員 同前

(ヘ)巡記長及巡記 巡記長ハ區官ヨリ警察所長ニ任用ヲ呈請シ巡記ハ警察分所ニ於テハ區官同分

駐所ニ於テハ巡官自ラ之ヲ任用ス

(ト)巡官 巡官ハ警察所長ヨリ知事ニ任用ヲ呈請ス

右ノ内股員區官巡官稽查員書記長等ハ警察又ハ法政學校ノ卒業生若ハ三年以上警察事務ヲ執リ經驗ヲ有スル者ヨリ之ヲ採用スヘク兼テ日本語ニ通スル者ヲシテ行政警察ヲ執行セシメ又ハ醫學ニ通スル者ヲシテ衛生警察ヲ執行セシムル如ク適材ヲ適所ニ置クヲ要ス又縣知事警察所長ヨリ任用シタル者ト雖モ警務處ニ之ヲ報告スヘキモノトス而シテ從來一時ニ多數ノ警官ヲ採用スルトキハ當局ハ他省ニ於ケル學堂出身者ヲ任用シ又ハ警官ニ類似セル職官例ヘハ捕盜營官兵等ヨリ適當ノ吏員ヲ拔取スル等ノ方法ニ依リ之ヲ彌縫スルヲ常トセシカ近ク奉天省ニ於テハ之カ採用ニ便ニセンカ爲メ豫メ試験ヲ施シテ資格者ヲ定メ置カントシ民國五年四月奉天全省警務處長ヨリ公示ヲ爲シ志望者ヲ招募シタリ即チ之カ應募者ハ同四月二十日ヨリ三十日迄ニ各自ノ辭令及履歷書受験願書ヲ提出スルト共ニ(イ)高等警察學堂ノ卒業證書ヲ有スル者(ロ)法政專門學校卒業證書ヲ有スル者(ハ)曾テ警察事務ニ従事シ三年以上ヲ經過シタル者ヲ以テ受験資格者ト定メ一定ノ期日ヲトシテ(イ)警察學理及國際私法(ロ)警察各專科及公文書(ハ)經驗及學識ニ關スル考詢等ノ試験ヲ爲シ採用資格ヲ豫定スルモノトセリ(參照第(四〇)條)

第五款 警察官吏ノ養成

警察官吏ノ養成ニ關シテハ當局ノ最モ意ヲ用ウル所ニシテ警察機關ノ設置ニ次キテ之カ養成訓練

ヲ急務トシ各之ニ對スル設備ヲ怠ラサリシハ沿革ノ部ニ說明セル所ノ如シ即チ清末ニ於テ憲政編查館ハ各省ノ首都ニ高等巡警學堂ヲ設ケシメ各縣ニ巡警教練所ヲ置クモノトシ以テ各警察官吏ノ養成ニ充テタリシカ民國政變後ハ中央ト地方トニ分チ中央ニハ警官高等學校警察學校及地方警察傳習所ヲ置キ地方ニハ警官補習所同教練所警察傳習所各縣警察教練分所保衛團員講習所等ヲ設ケシメ以テ之カ訓練ニ充テシムルモノトセリ

第一項 中央ニ於ケル警察官吏ノ養成

第一目 警官高等學校

民國六年二月二十二日制定ノ警官高等學校章程(參照第一四一)ニ依レハ警官高等學校ハ內務部ニ直屬スルモノニシテ警察法及實地應用ニ關スル學科ヲ教授シ警察官吏ヲシテ高等ノ學識ヲ養成セシムルヲ目的トス其ノ組織及授業ニ關スル規定ヲ抄譯スレハ左ノ如シ

一 組織

警官高等學校ニハ左ノ職員ヲ置クモノトス

- (イ) 校長 一人 內務部ヨリ之ヲ選任シ校務ヲ總理セシム
- (ロ) 教務主任 一人 內務部ヨリ之ヲ選任シ校長ト商議シテ教務ヲ管理セシム
- (ハ) 教員 若干人 校長ヨリ教務主任ト合議シ內務部ニ任用ヲ申請セシメ校內學生ノ教育ニ任セシム
- (ニ) 事務員 若干人 校長ヨリ內務部ニ之カ委任ヲ申請シ校內ノ課程文牘會計庶務等ヲ分掌セシム

シム

(ホ) 錄事 若干人 校內文書ノ書寫ヲ爲サシムル爲メ校長ヨリ之ヲ雇用セシム

二 學事

該校ノ學生ハ左ノ資格アル者ニ就キ試驗ノ後入學セシムヘク其ノ試驗方法及入學定員入學期等ハ內務部ヨリ之ヲ定ムルモノトス

(イ) 法政學校ニ在ルコト一年以上ニシテ之ヲ卒業シ又ハ警察學校ニ在ルコト一年以上ニシテ之ヲ卒業シタル者

(ロ) 陸軍中學校及陸軍豫備學校ノ卒業生又ハ陸軍中學校以上ノ卒業生

修業年限ハ三箇年トシ左ノ學科ヲ授ケシム

法學通論	憲法	行政法	國際法	刑法	訴訟法	法院編制法
違警罰法	警察學	刑事警察	衛生學	消防學	勤務要則	統計學
輿地學	算學	外國文	體操	武術馬術		

右ノ外研究ヲ要スル學術アルトキハ教務主任ヨリ校長ノ承認ヲ受ケタル後之ヲ教授スルコトヲ得ルモノトシ卒業前ニハ各交代シテ京師警察廳署ニ入り一箇月間勤務ヲ實習セシム又試驗ハ入學試驗ノ外學期試驗及卒業試驗ノ二トシ學期試驗ハ半年毎ニ行ヒ卒業試驗ハ卒業ノ時ニ行ヒ平均點數六十以上ノ者ヲ合格トス

三 經費

校內ノ經費ハ內務部ニ於テ各年度ノ豫算ニ算入支出セシムルモノトシ校內ノ收支ハ校長ヨリ規定

ニ從ヒ内務部ニ報告セサルヘカラス但シ校長及教務主任ノ俸給ハ内務部ニ於テ之ヲ定メ教員其ノ他ノ事務員錄事等ノ俸給ハ校長ヨリ内務部ニ査定ヲ申請スヘク學生ニ對シテハ學費ヲ免シ制服ハ校内ヨリ之ヲ給與シ食費寄宿費等ハ學生ヨリ支拂ハシムルモノトセリ

第一目 警察學校

警察學校ハ民國元年十一月二十九日公布ノ警察學校組織令(參照第四)ニ基キ設置シタルモノニシテ教務ニ關シテハ同二年二月内務部ノ制定ニ係ル警察學校教務令(參照第四)ニ依ルモノトス即チ警察學校ハ内務總長ニ直屬スルモノニシテ左ノ管理員及教員ヲ置ク

- 校長 一 人 内務總長ノ指揮監督ヲ受ケ校内一切ノ事項ヲ管理ス
- 齋務員 一 人 校長ノ指揮ヲ受ケ學生ノ品行風紀食品寄宿等ノ事項ヲ管理ス
- 庶務員 一 人 校長ノ指揮ヲ受ケ校内ノ衛生及一切ノ庶務ヲ管理ス
- 事務員 二人乃至四人 校長ノ指揮ヲ受ケ文牘會計講義錄編輯等ノ事項ヲ管理ス
- 職員 事務ノ都合ニ依リ職員ヲ酌用シ書寫ニ關スル事項ヲ管理セシムルコトヲ得
- 教員 八人乃至十人 校長ヲシテ之ヲ聘用セシメ教習ノ權利義務ニ關シテハ契約ヲ以テ定ムルモノトス又各教員ハ教授及試驗事項ニ關シテハ教習會議ヲ開キ一人ヲ推シテ主任ト爲シ決議事項ハ校長ヲ經テ之ヲ實行セシムルモノトス

外國教員

教授上外國教員ヲ必要トスルトキハ校長ヨリ之ヲ聘請スルヲ得通譯ヲ要スルトキ亦同シ

該校ニ收容セシムヘキ學生ノ種類及課程ニ關シテハ警察學校教務令ノ規定スル所ニシテ學生ハ甲種生乙種生ノ二ト爲シ其ノ種ヲ異ニスルニ從ヒ學生ノ資格教授科目修業年限ヲ異ニセリ

(イ)甲種學生ハ中學校卒業生又ハ之ト同等ノ學力アル者ヨリ願書及保證書ヲ徴シ二百名ヲ限リテ採用シ入學ノ上ハ學費食費被服費等ハ各自ノ負擔トス修業年限ハ三箇年トシ六期ニ分チ憲法行政法法學通論民法商法刑法訴訟法法院編制法經濟學財政學國際法警察法監獄法國籍法戶籍法衛生法消防法現行法令軍事學兵操及體操ヲ課ス

(ロ)乙種學生ハ警察行政長官ノ推薦ニ係ル學生ニシテ現ニ委任官タル警察官職ニ在リ又ハ其ノ資格アル者六十名ヲ入學セシメ學費食費被服費ハ推薦シタル官廳ノ負擔トシ更ニ在學中ハ原官ノ俸給ノ半額ヲ支給ス修業年限ハ一箇年半トシ之ヲ三期ニ分チ憲法行政法刑法刑事訴訟法法院編制法警察法監獄學衛生法國際法消防法現行法令軍事學兵操及體操ヲ課ス

兩種學生ニ對スル授業時間ハ一週三十六時間トシ各種ノ休業日ハ專問學校ノ規定ニ倣フモノトシ試驗ハ學期試驗及卒業試驗ノ二種ニ分チ平均點六十點以上ノ者ヲ及第トシ卒業ノ時ハ證書ヲ授與シ特ニ乙種學生ノ成績ニ對シテハ校長ヨリ各該推薦者タル警察行政長官ニ之ヲ報告スルモノトシ又在學中品行修マラサル者學業ヲ廢シ二回以上試驗ニ落第シタル者故意ニ校規校令ニ違犯シ二回以上戒飭ヲ加フルモ改悛セサル者及痼疾ニ罹リ修學ニ堪ヘサル者等アルトキハ校長ヨリ内務總長ニ申請シテ退校處分ヲ加フルモノト定メタリ

第三目 地方警察傳習所

地方警察傳習所章程(參照第三四三)ノ規定ニ依レハ該傳習所ハ之ヲ中央ニ設ケ内務部ニ直屬セシメ各省ノ警官又ハ警務ニ關係スル者ヨリ所員ヲ採用シ地方警察官吏ノ模範人材ヲ養成シ漸ク支那全國ノ警察事務ヲ改良セシメントスルヲ以テ目的トス即チ前述警察學校ニ比シ更ニ高等ニシテ且ツ實際的ナリトス而シテ本所内ニ於ケル職員ハ左ノ如シ

- 所長 一人 内務部ノ監督指揮ヲ受ケ所内全般ノ事務ヲ辦理ス
- 教務主任 一人 所長ヲ會同シテ所内ノ教務ヲ管理ス
- 教員 若干名 員數ハ所長ヨリ内務部ニ詳請シテ定ム
- 事務員 若干名 所長ノ命ヲ受ケ所内ノ事務ヲ分掌ス其ノ員數ハ所長ヨリ内務部ニ詳請決定ス

錄 事 若干名 文書ノ書寫ヲ辦理ス

右ノ内所長及教務主任ハ内務部之ヲ選任シ教員ハ所長之ヲ聘用シ事務員ハ所長ヨリ委任シ錄事モ所長之ヲ雇用ス

本所内ニ入所學修セシムヘキ者ハ現ニ警察官ト爲リ又ハ曾テ警察法律各科ヲ學ヒ地方ノ情形ニ精通スル者ヲ資格者ト爲シ内務部ヨリ各省巡按使京兆尹ニ通告シテ各省ノ需要配置ノ都合ヲ見前通資格者ニ就キ各十名乃至二十名ヲ選拔入所セシメ又ハ内務部ヨリ警察事務ノ經驗ヲ有スル者若ハ警察學校卒業者ヲ送リテ入所セシムルモノトシ一年半ヲ以テ修業期間トシ左ノ學科ヲ授クルモノ

トシタリ

遠警律釋義 刑律釋要 現行法令大意 地方自治要義 輿圖略釋及測繪綱要

條約須知 田賦調查要義 戶籍調查法 社會教育大意 偵查心得

勤務須知 警察禮式及體格練習法

此ノ外新定法令及警察ニ於テ研究スヘキ學科ハ教務主任ヨリ所長ト商議ノ上増加スルコトヲ得セシム

右ノ如クシテ規定ノ學科ヲ修了シタルトキハ内務部ヨリ各地方ニ修了者ヲ送還シ所屬各處ニ分配セシメ警察模範傳習所ヲ設立シ管内ノ警佐以下若干人ヲ入所セシメタル上該修了者ニ教授ヲ擔任セシメ研習十箇月後ニ之ヲ卒業セシメ卒業者ハ更ニ各縣區ニ分配シテ警察事務ヲ執ラシムルト共ニ各縣ノ巡警教練所ノ教授ヲ擔任セシメテ各所屬巡官巡長巡警等ヲ交代入所教練セシムルコト六箇月ノ後之ヲ卒業セシメ一面右ノ中央ヨリ歸リタル修了者ヲシテ督察委員ト爲シ各地方ヲ巡回シテ教授ノ實情及警察事務改良成績ノ如何ヲ視察セシメ所屬長官ニ報告シテ警察事務ノ刷新ヲ督促セシムルモノトシ更ニ該督察委員ニ對シテハ各所管長官ハ他ニ先テ之ヲ警官ニ採用スルヲ要スルモノトシ前ニ内務部ノ特送ニ係ル修了者亦右ノ例ニ倣ヒ各地方ニ分派任用セシムルコトトセリ尙右ノ學員カ地方警察傳習所在學中ノ被服ハ該所ヨリ之ヲ給與スルモ食費寄宿費等ハ自費トシ往來ノ旅費ハ各省ニ於テ豫算内ヨリ之ヲ支出セシメ唯該學員カ現任警察官吏タル場合ニ限り俸給ノ半額ヲ各該省ヨリ支給シテ手當ニ充テシムルモノトシ其ノ他所内ノ經費職員ノ俸給等ハ内務部ニ於テ之ヲ決定シタル上同部ノ豫算内ニ編入支出セシムルモノトシ定メ民國四年一月二十二日ヨリ之

第二項 地方ニ於ケル警察官吏ノ養成

地方各省縣ニ於ケル警察官吏ノ養成ニ關シテハ省城ニ警官補習所警察教練所ヲ設ケ各縣ニ警察練
教分所ヲ置クモノトシ其ノ制規ニ在リテハ全省警務處長ヲシテ立案セシムルモノトセルカ民國五
年十一月ニ至リ政府ハ各省警察傳習所章程(參照第(四四)條)ナル一般規定ヲ公布シ各省城ニ警察傳習所ヲ設
ケテ警察官吏中警佐又ハ巡官ニ對スル教育ヲ實行セシムルモノトセリ以下先ツ右ノ一般規定ニ依
ル警察傳習所ノ内容ヲ見次ニ奉天全省警務處長ノ立案設置ニ係ル各養成機關ノ内容ヲ説明スヘシ

第一目 各省警察傳習所

各省警察傳習所章程ノ規定ニ依レハ該傳習所ハ地方警察傳習所章程第八條ニ準據シ各省城ニ一箇
所ヲ設立シ警察模範人材ヲ養成スルヲ宗旨トスルモノニシテ民國六年七月限り一律成立セシムヘ
キモノトス而シテ該傳習所設置ノ上ハ警務處未設ノ省ニ在リテハ省長ニ直隸シ警務處ヲ有スルモ
ノニ在リテハ警務處長ニ直隸スルモノト定メタリ尙ホ其ノ内部ノ組織及學事ニ關スル事項ヲ記ス
レハ左ノ如シ

一 組織

警察傳習所ニハ左ノ職員ヲ置クモノトス
所長 一人 所長ハ省長之ヲ委派シ又ハ警務處長ヨリ省長ニ其ノ委派ヲ申請シ內務

部ニ報告セシム又各省ノ情形ニ依リテハ警務處長若ハ警察廳長ニ於テ
所長ノ任ヲ兼スルコトヲ得

教務主任 一人 地方警察傳習所卒業生ヲシテ兼任セシム

教員 若干人 地方警察傳習所卒業生ヲシテ兼任セシム但シ體操科教員ハ別ニ之ヲ派

スヘキモノトス

會計兼庶務 一人

文牘兼管課 一人

雇員 便宜之ヲ雇用スルコトヲ得

右ノ內所長以外ノ職員ハ所長之ヲ任用スヘク其ノ俸給ハ各省ノ情形ニ依リ省長若ハ警務處長ヨリ
酌量支給セシム

二 學事

警察傳習所ニ入學スヘキ者ハ左ノ資格ヲ有スル者ヲ以テ限トス

(イ)現ニ警佐及巡官ニ任スル者

(ロ)警察學校ニ在ルコト一年以上ニシテ之ヲ卒業シタル者

(ハ)法政學校ニ在ルコト一年半以上ニシテ之ヲ卒業シタル者

(イ)ノ資格ヲ有スル者ニ關シテハ所屬廳縣ノ在職者ニ就キ之ヲ指定シ省長警務處長又ハ廳縣長官ヨ
リ保證入所セシムヘク(ロ)(ハ)二項ノ資格者ハ一般志望者ニ對シ公募セシム此ノ應募者ニ對シテハ省
長又ハ警務處長ニ於テ資格ヲ審定スルモノトス即チ上述長官ハ試驗委員會ヲ組織シ試驗ヲ爲シ及

第スル者ヲ資格者トシテ入所修學ヲ許スヘク其ノ入所定員ハ(イ)ノ資格者ハ每廳十人以上每縣一人以上トシ(ロ)(ハ)二項ノ資格者ハ(イ)項資格者總數ノ三分ノ一ヲ過クルコトヲ得サラシム而シテ右ノ如クシテ入所シタル者ニ對シテハ左ノ學科ヲ授クヘク其ノ教科書ハ內務部ノ教科書頒定以前ハ地方警察傳習所ノ課程ヲ參照シ教員ヨリ編訂教授セサルヘカラス

(イ)現行法令大意 現ニ適用セル法令中警察官制治安警察法行政執行法警械使用法豫戒法調度司法警察章程保衛團條例ノ如キモノ及各省ニ於ケル單行章程中警察ニ關スルモノヲ采輯シ其ノ大意及適用法ヲ説明セシム

(ロ)違警罰法釋要 違警罰法各條ノ大意及現社會ニ對スル條文適用方法ヲ説明シ竝ニ各該省ノ風俗習慣上違犯シ易キ諸事實ヲ採取シテ引證ニ資セシムルヲ要ス

(ハ)勤務心得 警察內勤外勤ノ要務安寧保護危害豫防ノ注意及各該省特有勤務ニ對スル處理方法ヲ説明セシム

(ニ)刑律釋要 刑律總分則ノ綱要及違警事項ト刑民事事ノ區分竝ニ其ノ關係ヲ説明セシム
(ホ)偵査心得 逮捕上心得ヘキ事項及探偵ノ職務竝ニ各該省慣行盜賊祕密結社ノ狀況ヲ説明シ偵察ノ方法ヲ教フ

(ヘ)地方自治釋要 現行自治組織選舉方法竝ニ調査選舉補助自治諸辦法ヲ説明ス

(ト)條約須知 現行國際條約ノ大意及交渉事件ヲ摘編シ參考ノ資ト爲サシム

(チ)簡易測圖 警察上實用ノ測圖法例ヘハ土地丈量分界工事臨檢ノ際用フヘキ測圖術ノ如キヲ授ケシム

(リ)輿圖略釋 行政區域劃分ノ大概及各該省商埠關塞山脈水利ノ情形鑛區鐵道ノ位置及現勢ヲ説明セシム

明セシム

(ヌ)戶籍調査法 戶籍登記手續及之ニ關スル戶籍吏ノ取扱法ヲ説明シ竝ニ警察戶口調査ノ注意ヲ教ヘシム

(ル)徵兵釋要 各國徵兵法ノ概略及支那國內徵兵準備ニ關スル研究事項ヲ説明セシム

(ヲ)指紋法 中央ノ採用シタル指紋法ノ標準及其ノ實施方法ヲ示サシム

(ワ)操練 兵式操練ヲ實行シ柔術擊劍ニ注意セシメ實彈演習ヲ爲サシム

尙ホ前項各學科外各地方ノ需要情形ニ依リ教務主任ヨリ所長ニ商量シテ他ノ學科ヲ增加セシムルコトヲ得又各學生ハ授業時間中ハ所内ノ制服ヲ着用スヘク其ノ製式ハ別ニ之ヲ定ムルモノトス斯クシテ學修シタル學生ニ對シテハ四箇月毎ニ學期試驗ヲ行ハシメ滿一年ヲ以テ卒業セシム卒業期ニハ所長ヨリ教務主任及各教員ヲ會同シ成績ヲ審査シ評點六十點以上ヲ及第ト爲シ證書ヲ交付シタル上內務部ニ報告スヘク其ノ卒業生ハ地方警察傳習所章程第八條ノ規定ニ照シ內務部ヨリ之ヲ任用スルモノトス

三 經費

警察傳習所ノ經費ハ省長ヨリ毎年度ノ豫算ニ計上セシメ其ノ入所學生ニシテ警察官ノ現職ニ在リシ者ニ對シテハ地方警察傳習所ノ辦法ニ照シ原官ノ半俸ヲ支給シ該員カ入所シタル爲メニ缺員ヲ生シタルトキハ代人ヲシテ之ヲ補充セシメ該原官ノ殘スヘキ半俸ノ外更ニ半俸ヲ臨時支給スルモノトス若シ又省ニ依リ別ニ入所學生ニ相當ノ手當ヲ支給スルニ足ル經費ヲ有スル爲メ右ノ原官ノ

半俸ヲ撤去セントスルモノハ便宜之ヲ許可スヘク公募シタル學生ニ對シテハ地方ノ事情ヲ斟酌シ
服裝講義等ノ費用ヲ徴收スルコトヲ得ヘシ

第二目 奉天省ニ於ケル警察官吏ノ養成

奉天省ニ於テハ警察官吏ノ訓練養成ニ資スル爲メ光緒三十三年ニ於テ巡警總局ノ内ニ巡警補習所
ヲ設ケ後省城ニ高等巡警學堂ヲ各縣ニ巡警教練所ヲ設ケシメタルカ民國政變後ハ暫ク舊設ノママ
ニテ之ヲ存續セシメ更ニ民國三年ニ至リ省城ニ警官補習所ヲ設ケ同四年四月ニハ續成補習班第二
班簡章ヲ定メテ第二回補習生ヲ募集シ(民國四年四月十八日)各縣ヨリ志望者ヲ選拔入所セシムルト共
ニ洪憲元年即チ民國五年一月全省警務處ノ立案ニ成ル擬定各縣警察教練分所簡章(洪憲元年一月十五
日奉天公報一〇八號)ヲ實施シ各縣ニ警察教練分所ヲ設ケ巡警ノ學識才能ヲ増進スル爲メ職務上必要ノ科目ヲ授クル
コトトセリ次テ民國五年冬ニ至リ別ニ奉天全省警察教練所章程ヲ實施シ新ニ奉天全省警察教練所
ヲ設ケテ全省警官ノ教練ニ充テ舊設警官補習所ハ同教練所内ニ歸併シテ奉天警官補習所ト呼ビタ
ルモ民國五年十一月中央政府ハ前述ノ如ク(第一日)各省警察傳習所章程ヲ制定シ民國六年七月ヲ限
リ警察傳習所ノ設置ヲ各省ニ命シタルヲ以テ奉天省亦之ニ照シテ處理スルノ要アリ同六年五月奉
天警察傳習所簡章(參照第五條)ヲ定メ舊設警官補習所及奉天全省警察教練所ヲ合併シテ奉天警察傳習所
ト爲シ左ノ如ク之ヲ經營スルモノトシタリ但各縣警察教練分所ニ至リテハ各縣經費ノ如何ニ依リ
テ之ヲ設置セルモノト之カ設置ヲ豫期スル能ハサルモノトアリテ一ナラス

第一 奉天警察傳習所

奉天警察傳習所ハ民國六年五月舊設警官補習所及奉天全省警察教練所ヲ合併改設シタルモノニシ
テ奉天警察傳習所簡章(參照第五條)ノ規定ニ依リ左ノ職員ヲ置クモノトス

- 所長 一人 教務主任兼齋務主任 一人 管理員 一人 教員 四人
 - 操科教員 二人 文牘兼會計員 一人 庶務員 一人 僱員 二人
- 所内ハ傳習班及教練班ノ二ニ分チ傳習班ニハ各廳縣ヨリ保送スル現任警佐及巡官五十名ヲ收容シ
教練班ニハ身體強健ニシテ文字ニ通スル一般志願者ヲ試驗ノ上百五十名ヲ收容シ左ノ學科ヲ授ク
ルモノトス

(イ)傳習班ニ授クヘキ學科ハ概ネ部令ノ規定即チ各省警察傳習所章程ニ依ルモノトシ(第一日)教授
ノ際特ニ地方ノ情形ニ依リ多少ノ科目ヲ増減ス

(ロ)教練班ニハ警察須知、外事警察、勤務須知、現行法令、兵式體操ヲ授ケ特科トシテ希望者ニ日本語ヲ
課ス

習學期間ハ傳習班ハ一年教練班ハ半年トシ之ニ要スル經費ハ舊設奉天全省警察教練所經費ヲ以テ
支辦シ傳習班學生ニ對シテハ別ニ學費トシテ每月大洋四元ヲ納付セシムルモノトス

第二 各縣警察教練分所

奉天全省警務處ノ立案シタル擬定各縣警察教練分所簡章(參照第六條)ノ規定ニ依ルニ該教練分所ハ各縣
必ス一所ヲ設立セシメ又ハ警察所内ニ附設スルヲ許シ名ケテ某縣警察教練分所ト呼フモノトシ左
ノ職員ヲ置クコトトセリ

- 所長 一人 警察所長ヨリ兼務シ所轄縣知事ノ監督ヲ受ケテ所内ノ事務ヲ處理ス

教員一人乃至三人

警察所内ノ職員中警法學校卒業者ヨリ之ヲ兼務セシメ若シ時間ノ餘裕ナキトキハ別ニ縣知事ヨリ相當ノ適任者ヲ任用シ所長ノ指示ニ從ヒ教授ニ當ラシム

巡 記 所内文書ノ作製ニ任セシム
役 所内ノ使役ニ任ス

教練分所ニ收容スル學生ハ現ニ勤務ニ服セル巡長巡警ノ内多少文字ヲ解スル者ニ就キ適宜之ヲ拔擢シ各縣ノ實情ニ依リ各一回ノ收容數三十名乃至六十名ヲ限リテ入所セシメ其ノ練習期間ヲ六箇月トシ修了ノ上ハ更ニ交代シテ他ノ巡長巡警ヲ入所セシメ毎回左ノ學科ヲ教授スルモノトセリ

警察概要 單行警察章程 中日約章會要

現行法令大意 國際法大綱 戶籍調查法

違 警 罰 法 地方自治大意 日 本 語

兵 式 體 操

右ノ各學科ノ内日本語兵式體操ヲ除キ他ハ警務處ヨリ各部門ヲ分チテ教科書ヲ編輯シ各縣ニ分給スルモノトシ教授時間ハ講堂毎日三四時間外場毎日一二時間トシ豫定各科ハ必ス各修業期間内ニ完結セシメ只日本語科ハ教師ナキ場合ハ暫ク之ヲ休課スルヲ得ルモノトセリ

修業完了ノ時期ニ至レハ知事監視ノ上修業試驗ヲ行ヒ答案點數ヲ警務處ニ送付シテ修業證書ノ下付ニ便ニシ試驗成績優等ナル者ニ對シテハ巡長ハ巡官ニ巡士(巡)ハ巡長ニ昇任セシメ又ハ各等級ヲ按シテ昇級スルヲ許シ僅ニ及第シタル者ハ原職ニ歸還セシメ落第シタル者ハ再ヒ所内ニ留メテ教

練ヲ爲シ修業ノ見込無キ者ニ對シテハ之ヲ除名スルモノト定メ又此等學生ノ修學ニ要スル食費ハ各人ニ給スヘキ俸給内ヨリ支給スヘク所内ニ要スル各項ノ經費ハ普通ノ警察費又ハ地方經費内ヨリ支出セシメ所長教員等ノ別ニ俸給ヲ受ケサル者ニ對シテハ其ノ成績卓越ナルトキハ之カ給與ヲ申請セシムルモノトセリ

本規則ノ實施ニ關シテハ各縣ハ須ク布告到達後一箇月内ニ教練分所ヲ設立スルヲ要シ各縣知事ハ之カ開始日時學員ノ姓名年齡原籍ヲ明記シ警務處ニ送付スヘキモノトシ既ニ從來教練所ヲ有スル各縣ニ在リテモ同シク本規則ニ照シテ改設セシムルモノト定メタリ

第三 特種警察機關ニ於ケル教練

前掲セルモノノ外特種警察機關例ヘハ鴨渾兩江水面上警察局遼河水面上警察局安奉鐵路巡警局等ニ在リテモ便宜ノ方法ヲ講シ各局内ニ於テ警官ノ教練ヲ爲サシメツツアルモ此等ハ各局ノ内部組織ヲ説明スルニ當リ附記シタルヲ以テ之ヲ略ス

第四 奉天保衛團員講習所

奉天保衛團員講習所ハ民國四年四月制定ノ奉天保衛團員講習所簡章(參照第(四七)條)ニ依リ設置スルモノニシテ奉天省内各縣ノ保衛團員ヲ養成スルヲ目的トシ職員トシテ巡按使ノ委任シタル所長及所長ノ聘用シタル主任員教務員教員教練員事務員及書記等ヲ置キ此ノ内事務員及書記ニハ俸給ヲ支給シ其ノ他ハ名譽職ニシテ無報酬トス又本所ニ收容スヘキ者ハ省内各縣ニ於ケル團總及保董ニシテ各縣二名宛ヲ知事ヨリ推舉セシメ講習期ハ三期ニ分チ每期二組毎組五十名ヲ入所セシメ三箇月ノ後ニ卒業セシムルモノトシ在學中ハ左ノ學科ヲ授クルモノトス

保衛團條例及施行細則

軍事學擇要

國際法大綱

國籍法

豫戒條例

治安警察條例

行政執行條例

約法

現行法令擇要

兵式體操

卒業ノ際ハ巡按使親シク試験ノ上卒業證書ヲ授與シテ各原職ニ歸任セシメ所屬團丁ヲ招集シテ修得シタル各項ヲ彼等ニ教授シ以テ之カ普及ヲ圖ラシム又在學中ハ毎月學費八元食費五元服裝費五元講義費二元ノ割ヲ以テ全期分一回ニ完納セシム此等ノ費用ハ各原職ニ對スル俸給内ヨリ支出セシムルモ若シ右ノ俸給ノミニテ不足ヲ生シ又ハ俸給ナキ者アルトキハ本所ノ豫算内若ハ本人ノ所屬縣内保衛團經費内ヨリ之ヲ補給セシムルモノトス

第三目 吉林省ニ於ケル警察官吏ノ養成

吉林省ニ於テハ從來省城及各縣ニ警察官吏ノ養成機關ヲ設ケ之カ教練ニ從事セルハ前ニ沿革ノ部ニ說明セル所ノ如シ即チ同省城ニ於テハ光緒三十二年ニ巡警學堂ヲ設ケ殊ニ警察教練所ノ如キハ宣統元年ノ設立ニ係リ所内ニ督操官管理員教員等ヲ置キ毎回巡警六十名宛ヲ入所セシメ六箇月後ニ卒業セシメテ各區ニ分派シ現在ニ至ルマテ十餘回ノ卒業生ヲ出シ後之ヲ縮少シ教員兼管理員一人教員四人ヲ置キテ同シク巡警ノ教練ニ從事セシメタルカ(民國二年七月十五日吉林公報二四九號)近ク又規定ニ照シテ警官傳習所ヲ設ケ民國六年六月第一回傳習生二十三名ヲ收容シ其ノ他ノ各縣亦縣勢ニ應シテ教練ヲ爲シツツアルカ如シ但シ右ニ關シテハ未タ詳細ナル章程ヲ手ニスルコト能ハサルヲ以テ之ヲ細

說スルニ由ナシ

第六款 警察用汽船

警察用汽船ノ取扱ニ關シテハ軍警用輪船暫行簡章(參照第四八條)ナル假規則ヲ制定シ各省一般ニ之ヲ施行シタリ即チ警察機關ニ於テ自ラ備置シタル汽船又ハ商船ヲ租用借用シタルモノハ之ヲ警用輪船ト稱スヘク商船ヲ租用又ハ借用スル場合ニ於テハ規定ニ從ヒ船籍登錄ノ上之ニ對スル證書ノ交付ヲ請フヲ要ス若シ事故ノ爲メ證書ヲ受領セサルモノハ各該省警察長官ヨリ稅關ニ通告シ交通部ノ許可ヲ得タル後先ツ船牌(號)ノ下付ヲ受ケ該汽船ノ船體機關ニ關シテモ海關ノ章程ニ依リ海關吏員ノ検査ヲ受ケ船稅ヲ納付セサルヘカラス但シ緊急ヲ要スルトキハ該省警察長官ヨリ豫メ稅關ニ申告シテ検査納稅前ニ之カ行駛ヲ爲サシムヘキモノトス又警察機關所有ノ汽船ニ在リテハ陸軍內務兩部ノ許可ヲ得タル後交通部ニ左ノ事項ヲ届出テサルヘカラス

一 汽船ノ歸屬スル官公署

二 汽船ノ名稱

三 汽船ノ容量及總噸數

四 船長船幅及吃水尺數

五 機關ノ馬力及行駛速度

六 航路圖說

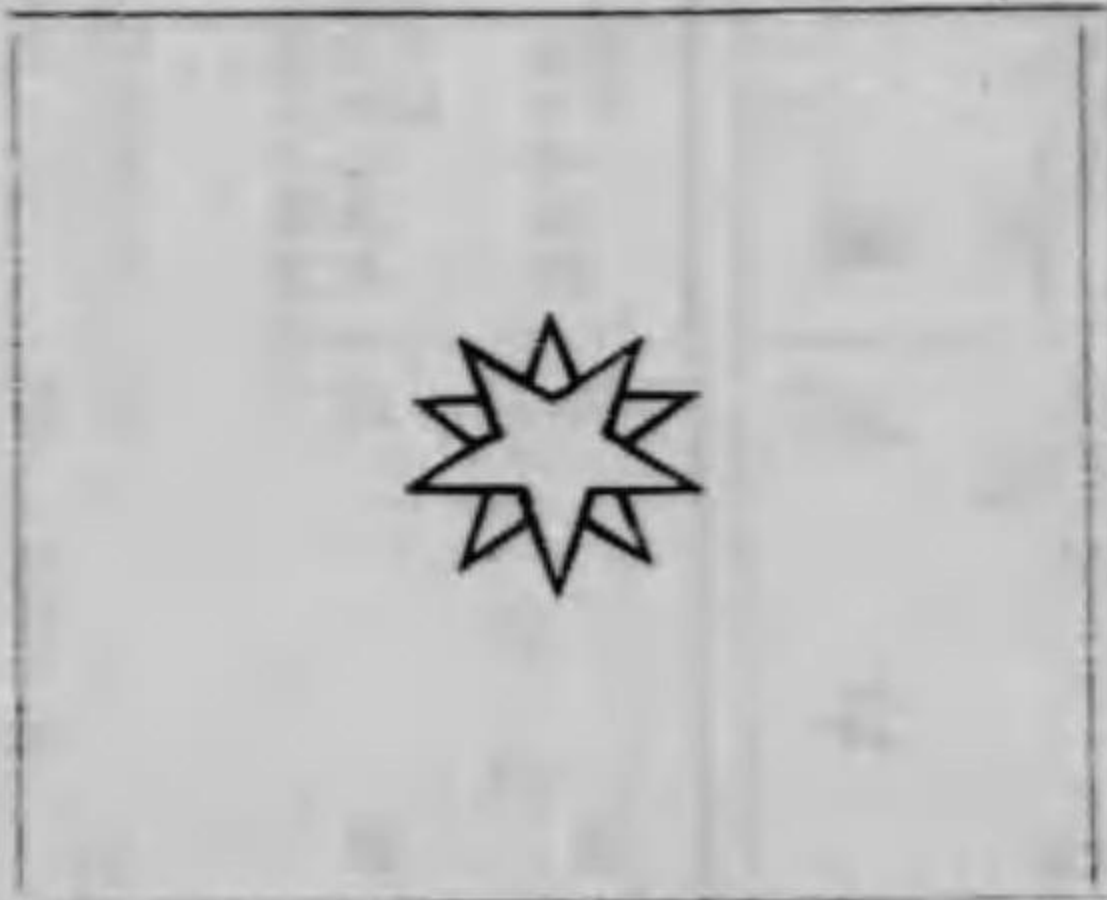
七 汽船買入價格

八 汽船管理人ノ姓名履歷

警用輪船ヲ遊弋ノ用ニ供スル場合ニ稅關所在地點ヲ通過スルトキハ先ツ該省軍警長官ヨリ其ノ旨ヲ稅關ニ通知シテ檢査ヲ免セシメ若シ緊急事件アリテ之ヲ通知スルニ不便ナルトキハ事後該省警察長官ヨリ通知セシメ遊弋用汽船カ頻繁ニ稅關所在地ヲ往來スルモノナルトキハ該省警察長官ヨリ稅關ニ照會シテ檢査免除牌照ヲ交付シテ煩瑣ヲ免レシムルモノトス

警用輪船ハ乗客ヲ搭載シ貨物ヲ運送シ又ハ他ノ船舶ヲ挾帶スルコトヲ得サルヲ原則トス若シ警察隊ヲ輸送スル爲メ船舶ヲ率ウルトキハ該省警察長官ヨリ稅關ニ通告シテ檢査ヲ免レシメ緊急ノ際ニハ事後之カ通知ヲ爲サシム警用輪船ニシテ専ラ水面ノ遊弋ノミニ供セス軍警專用ノ物品又ハ普通ノ物件ヲ運送スルトキハ該船舶カ警察ノ所有ニ係ルト借用ニ係ルトヲ論セス規定ニ從ヒ稅關ニ申告シ檢査ヲ經タル後行駛セシムヘク其ノ商船ヲ租用又ハ借用シタル場合ニ私ニ乗客貨物ヲ積載シ稅稅ヲ圖リタル事實ヲ發覺シタルトキハ稅關ハ規定ニ照シテ之ヲ處分スルモノトス而シテ警察機關自置ノ船舶ニシテ上記ノ事情アルトキハ該省警察長官ハ關稅規定ニ從ヒ處罰ヲ承認シタル上更ニ軍警專律ニ照シテ責任者ヲ處理スヘク之ニ反シ犯罪ノ情事ナキ場合ニ稅關カ警察輪船ヲ拘束シタル爲メ職務執行上不都合ヲ生シタルトキハ稅關ハ之ニ對シ完全ニ責任ヲ負ハサルヘカラス次ニ警用輪船ハ左圖ニ示スカ如キ船旗ヲ掲用シテ一般汽船ヨリ識別セシムルヲ要ス船旗ハ旗幅四ニ對シ旗長三ノ割合ニテ調製スヘク紅色地ニ黃白重星ヲ表ハシ旗ノ中心ト星形ノ中心ヲ一致セシメ星高直徑ハ旗長ノ十二分ノ七トス其ノ形式ヲ左ニ示ス

第七款 服制



警察官吏ハ其ノ外出ニ際シテハ必ス制服制帽ヲ著用スヘキモノニシテ上下互ニ制服及便服ヲ混用スルコトヲ禁スルト共ニ警察官吏以外ノ者カ警察官用制服ヲ著用スルコトモ規定ノ禁止スル所トス(宣統三年九月奉 天官報二三號)而シテ此等警察官吏ノ制服ニ關シテハ民國二年五月十五日公布警察服制令(參照第四九號)ヲ以テ之ヲ規定シ其ノ種類ヲ禮服及常服ノ二ト爲シ普通警察官吏ハ勿論水上警察鐵路巡警消防其ノ他ノ警察隊共ニ同一形式ノモノヲ用ウルモノトシ唯巡官巡長巡警ニ在リテハ禮服ヲ著用スヘキ場合ニ於テ常服ニ肩章ノミヲ添用シテ之ニ代フルコトヲ得セシムルコトヲシタリ以下地方警察官吏ニ對スル制服ノ製式ヲ説明スヘシ

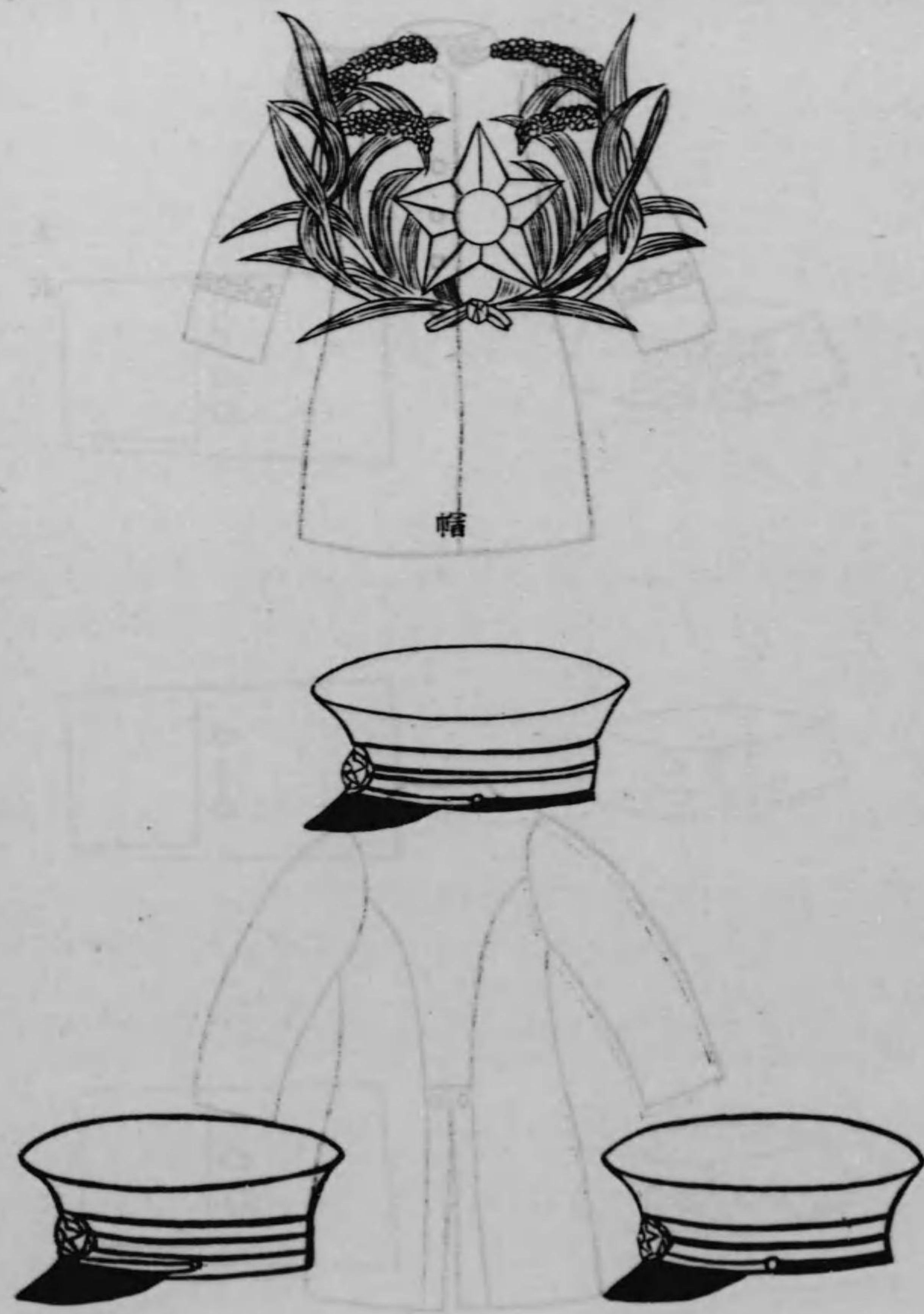
第一項 禮服

各級警察官吏	黑羅紗製ニシテ襟ハ黒トス但シ嚴寒ノ際ハ黒皮襟ヲ附スルコトヲ得	袖ノ外方袖口ヨリ三寸ノ所ニ幅一分ノ白絨線一條ヲ附シ且ツ各級常服用ノ肩章ヲ用フ	長サ膝ヲ過クル位トシ前ハ二重金釧左右各七箇ヲ附ス後下端ヲ閉キ釧二箇ヲ用フ腰部後面ニハ帶ヲ附シトス	如 圖
--------	--------------------------------	--	--	--------

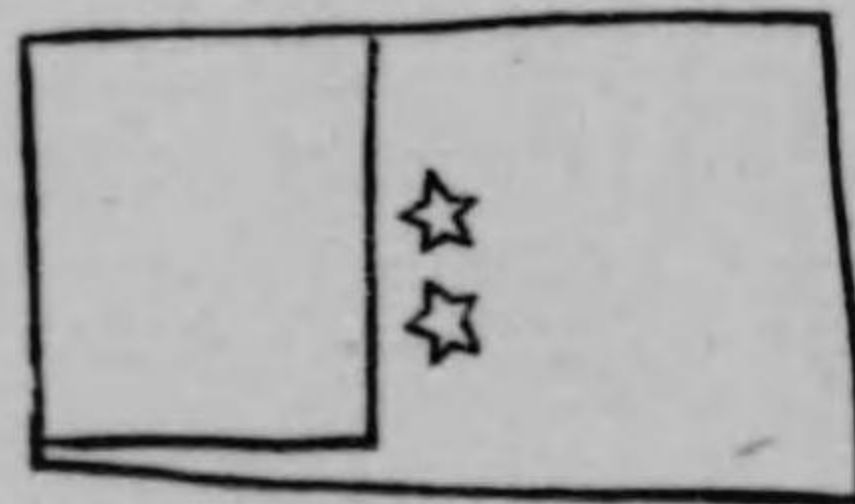
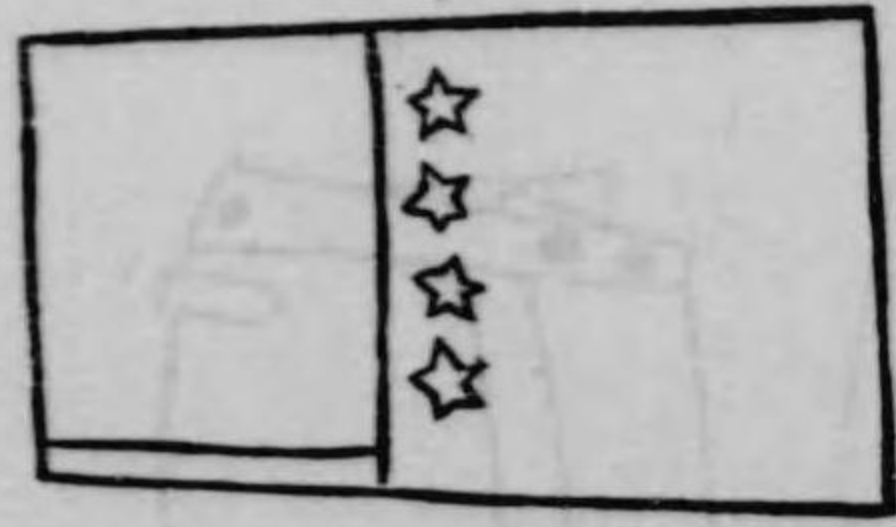
章	臂	品名		式	形	狀
		官	職			
水上警察官吏		白絨		三折水波形幅四分長三寸ノモノニ條ヲ附ス	如	圖
消防隊員		同		幅三分ノモノニ條ヲ用フ圓形ヲ作り相交又セシム章長三寸横二寸五分トス	同	
警察隊員		同		幅五分ノモノヲ用フテ一角ヲ作ル横三寸トス	同	
鐵路巡警員		同		車輪形トシ直径三吋五分トス	同	

以下右ノ形狀ヲ圖示スヘシ
一 禮服ノ形式

章 徽



章 袖



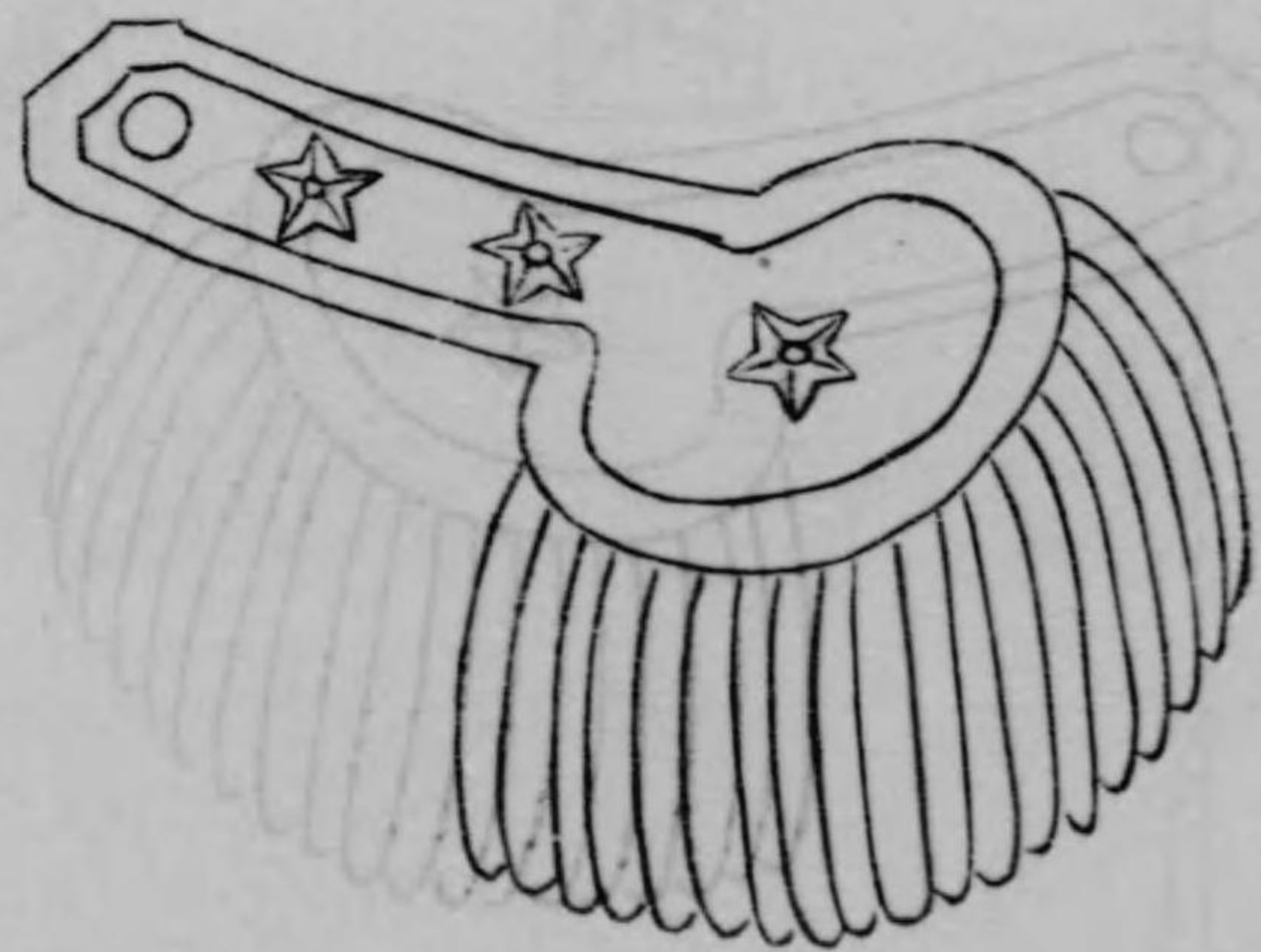
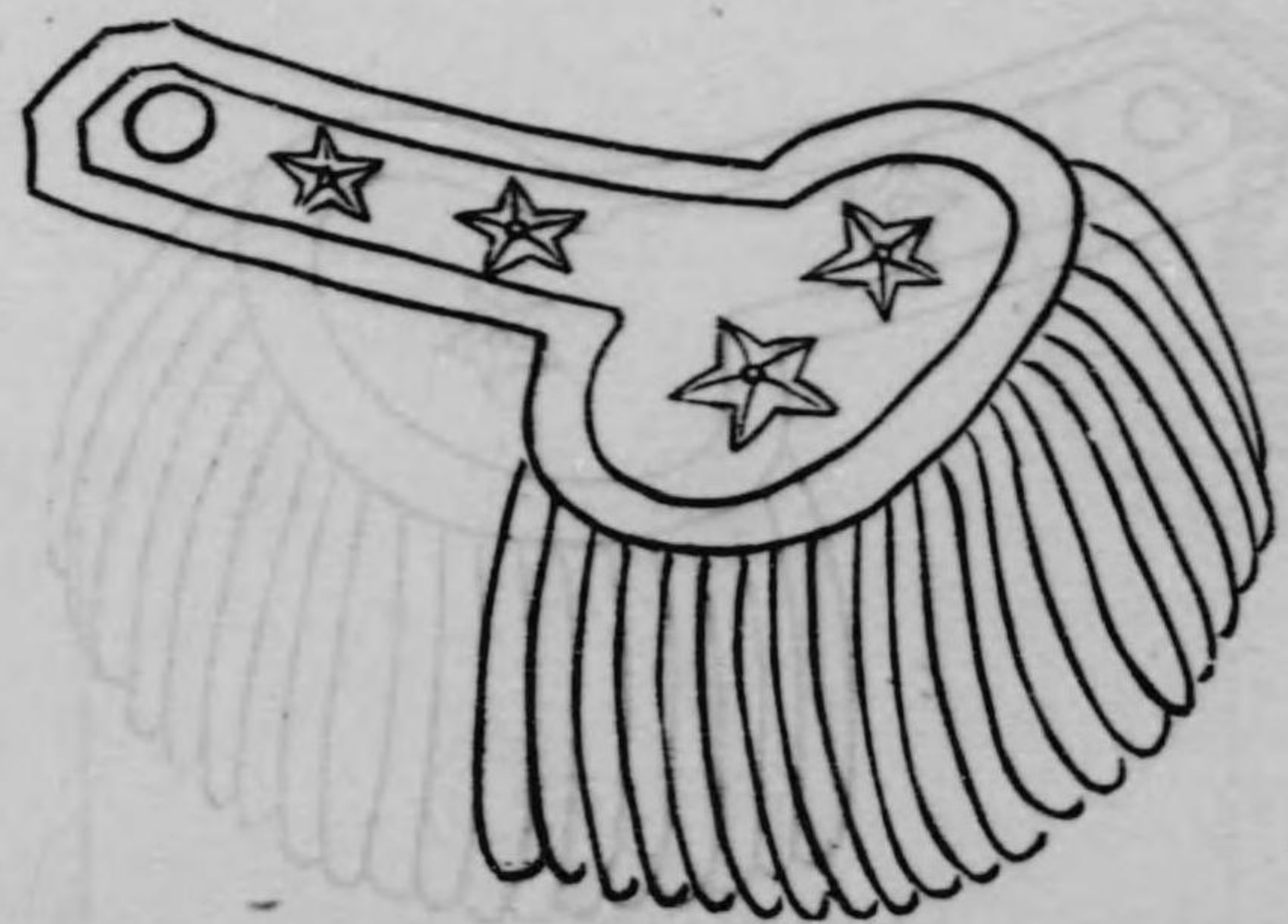
章 領



上 衣

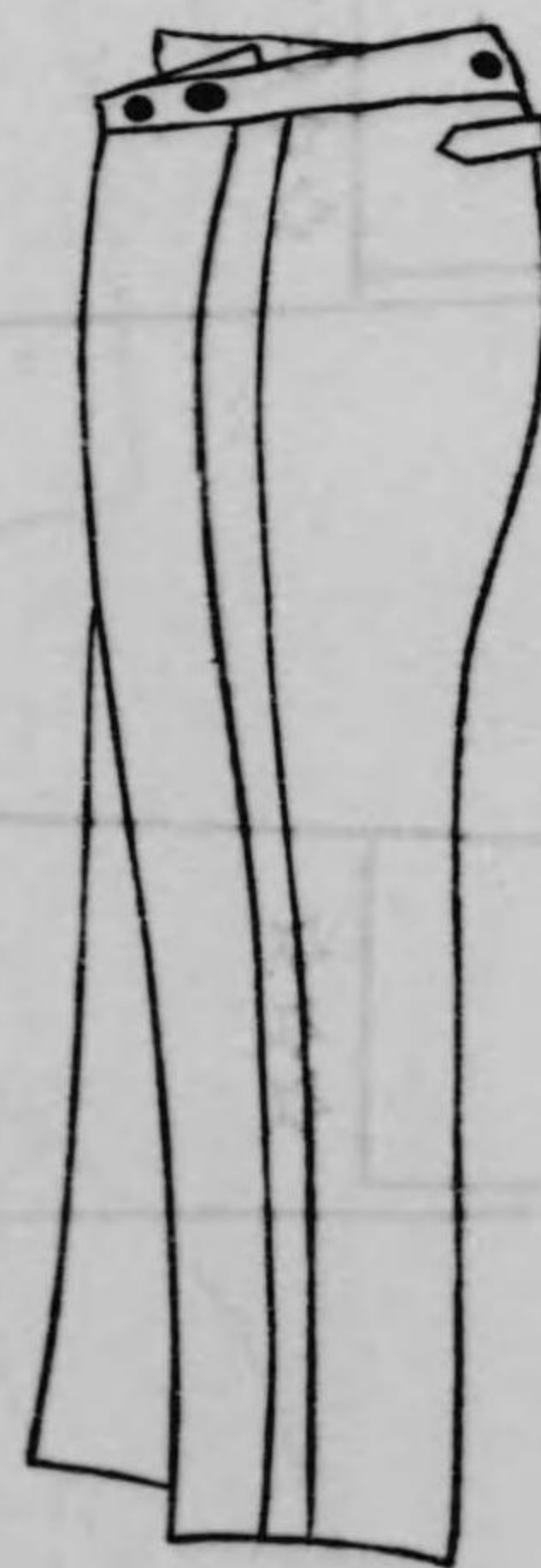


肩章

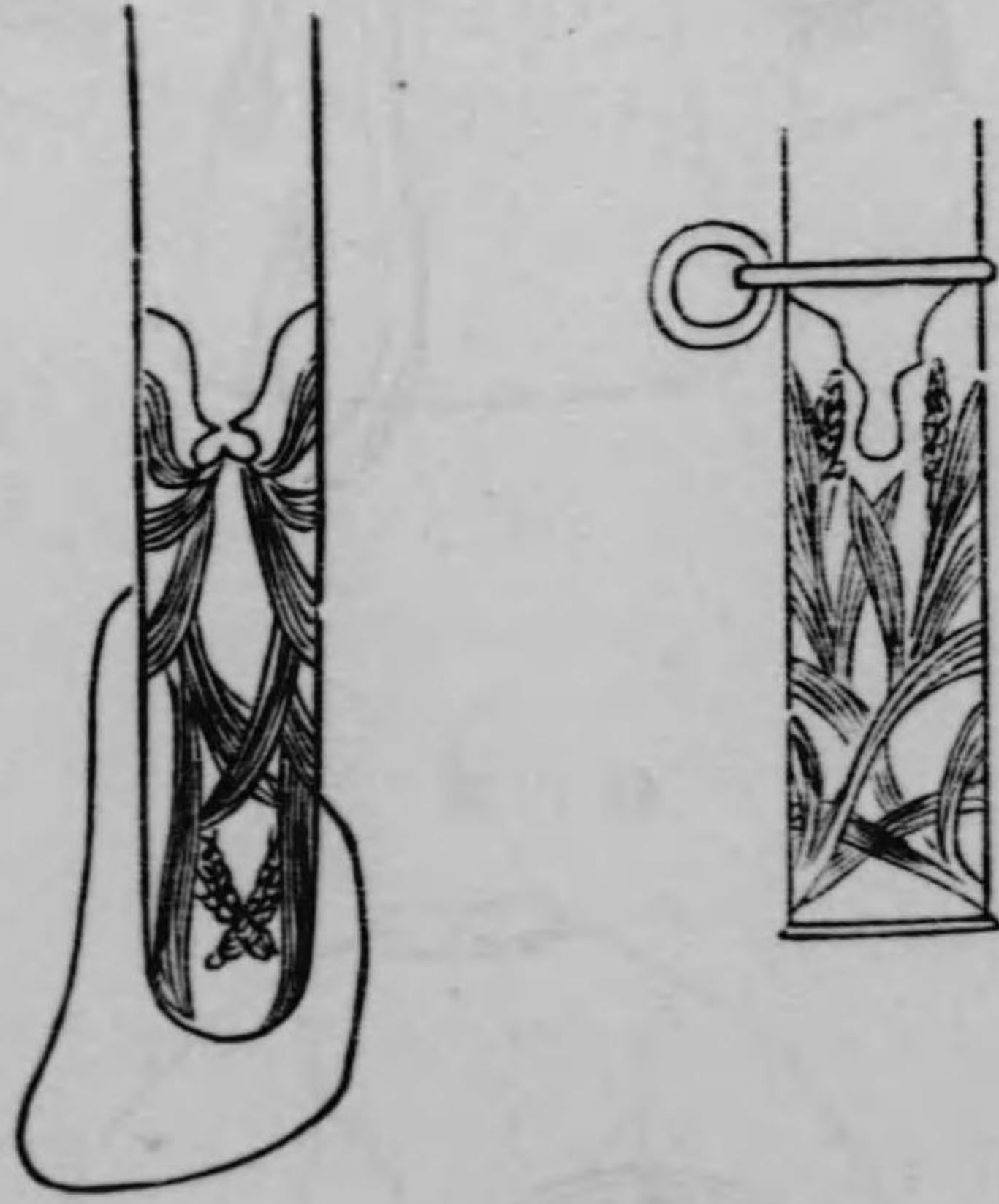


靴

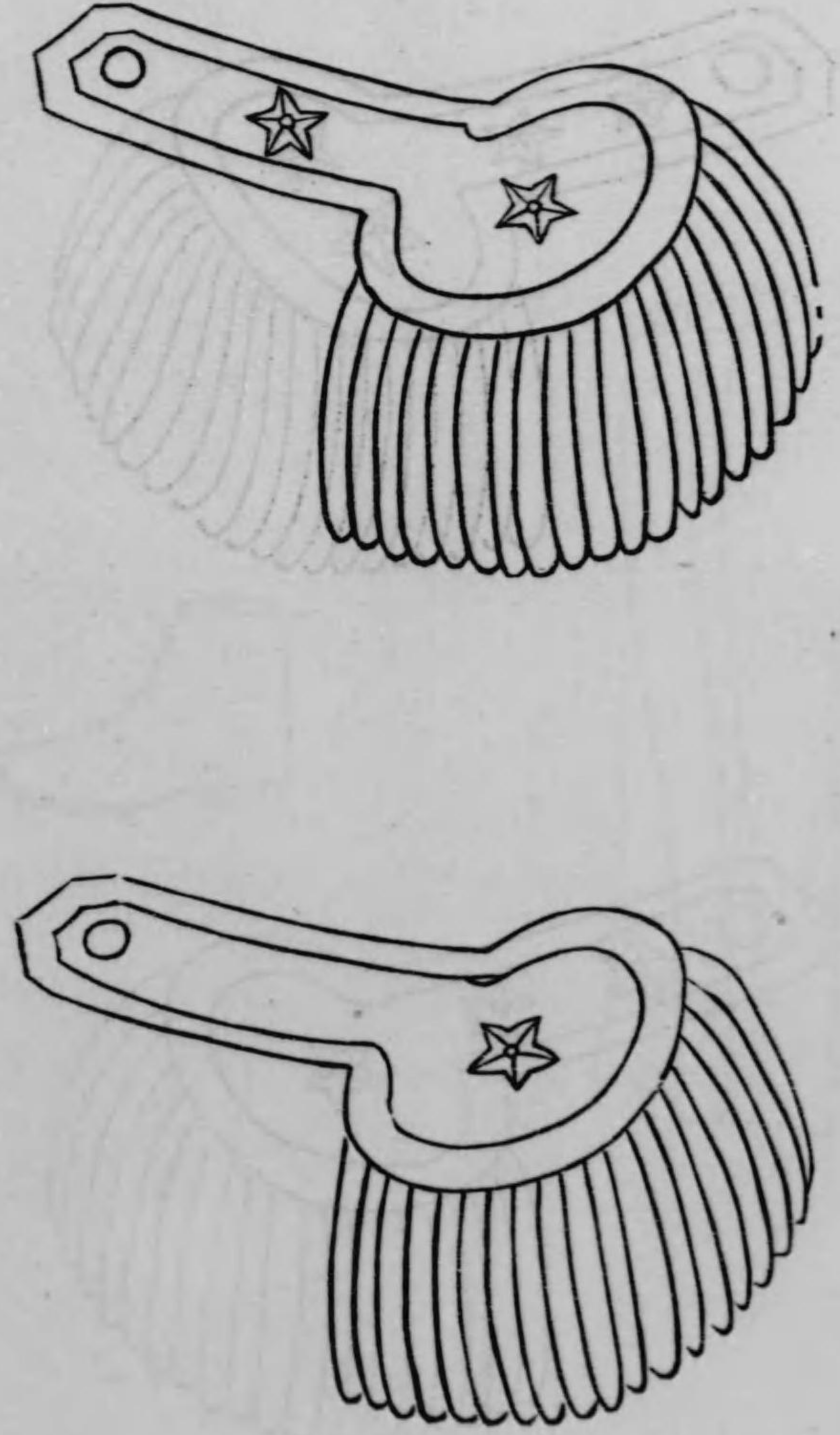
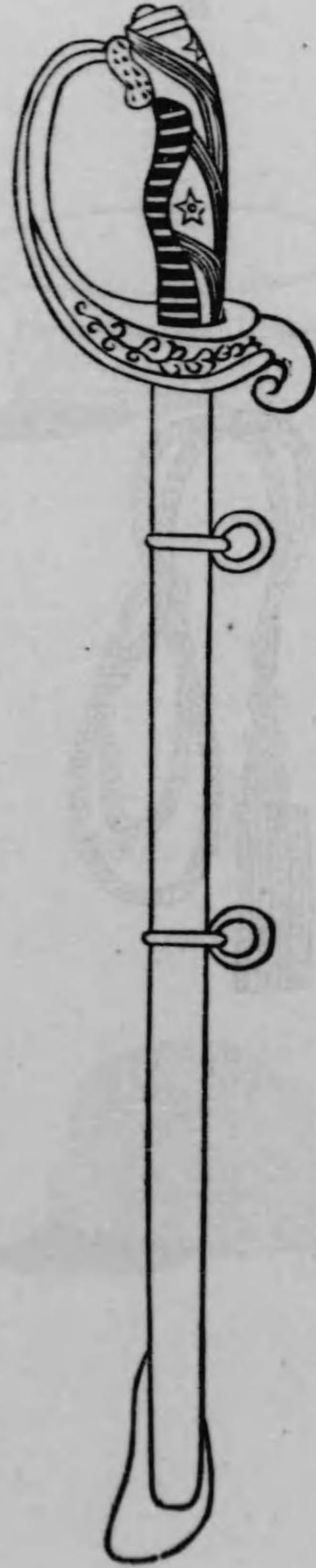
袴



刀鞘



佩刀

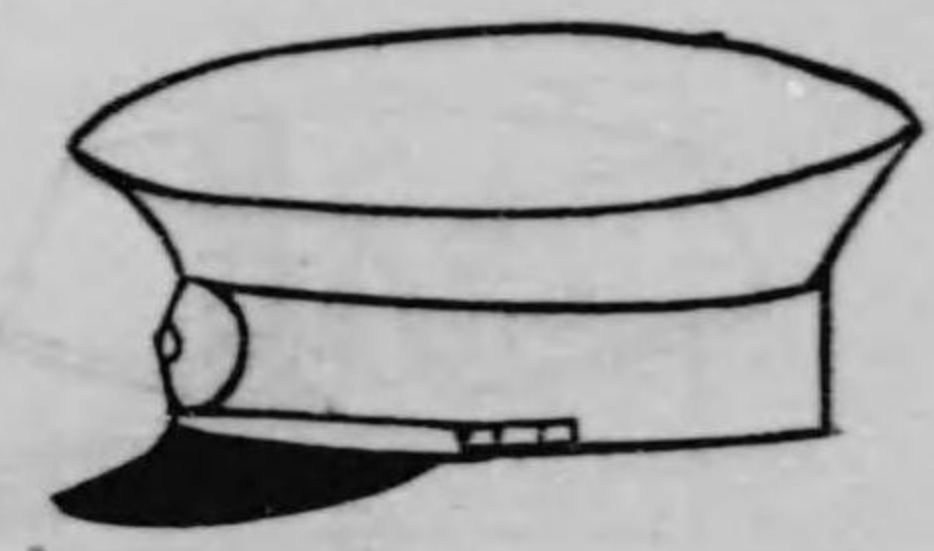


上衣



三三式

常帽

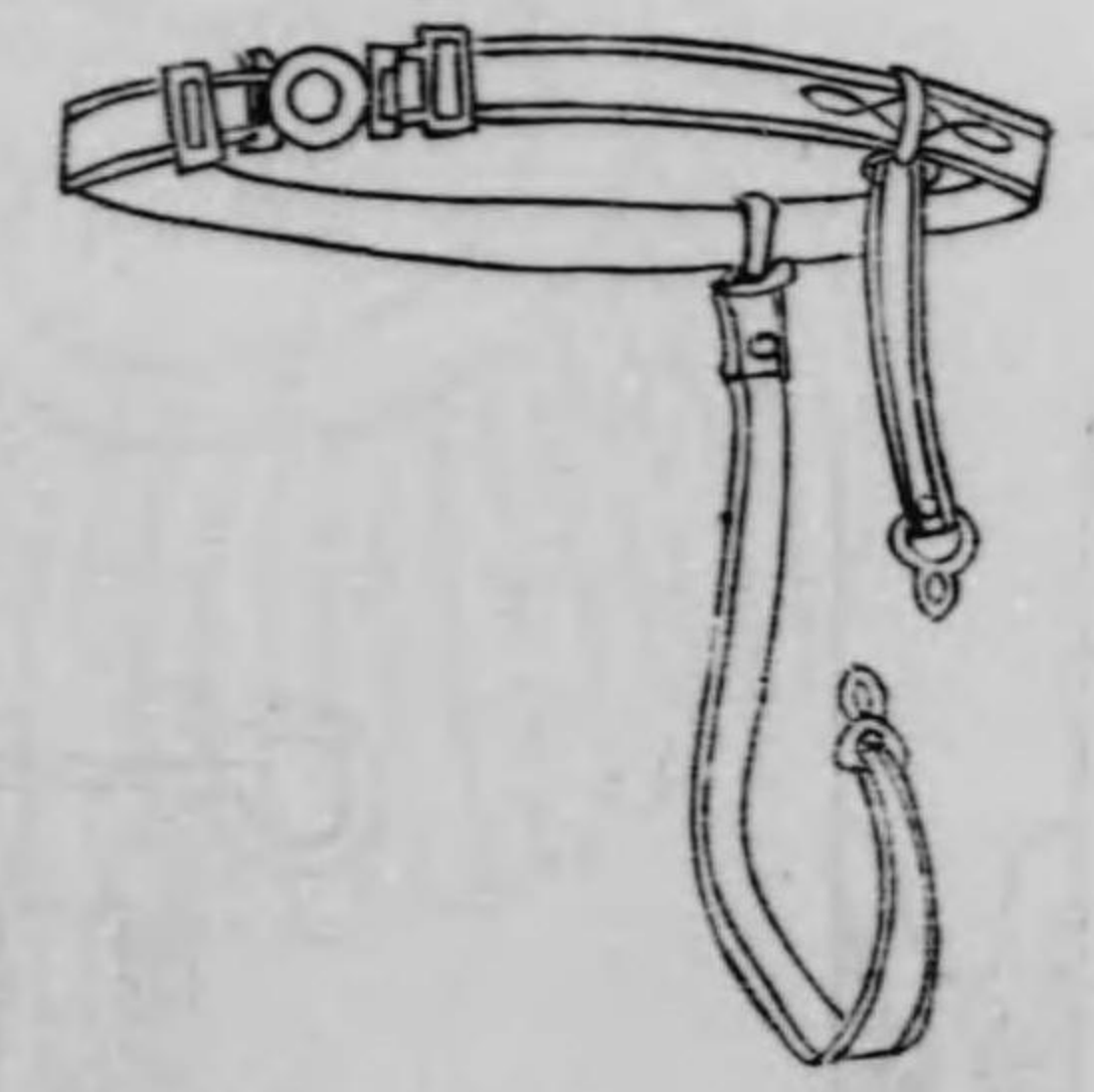


皮帽



二常服ノ形式

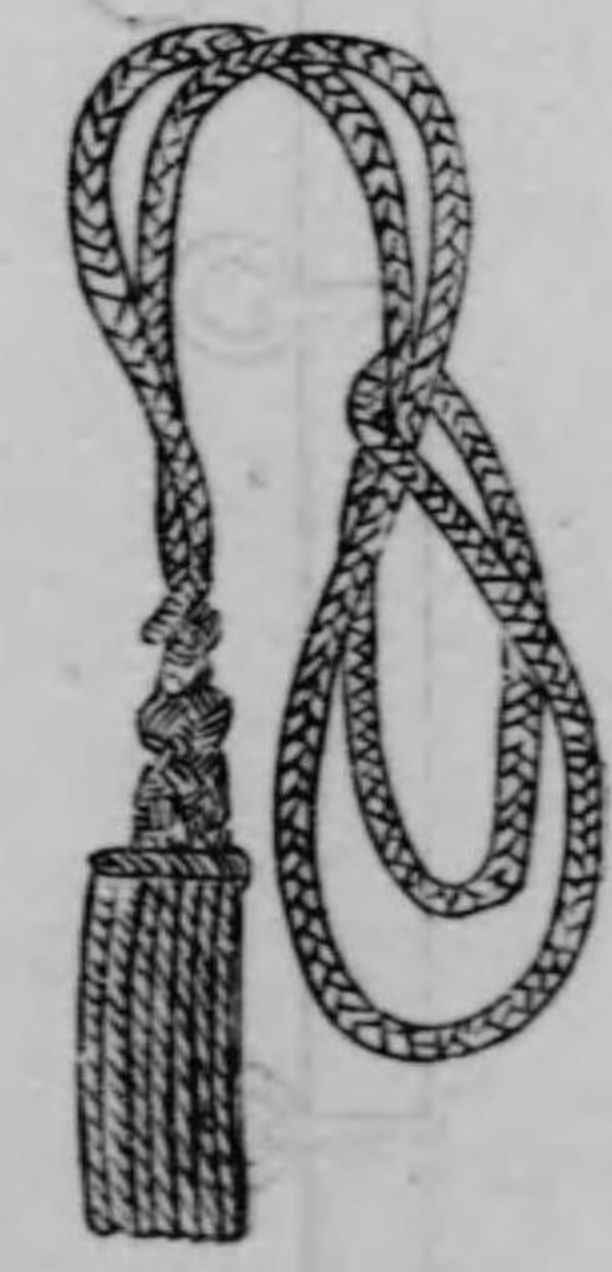
刀帶



鈕帶

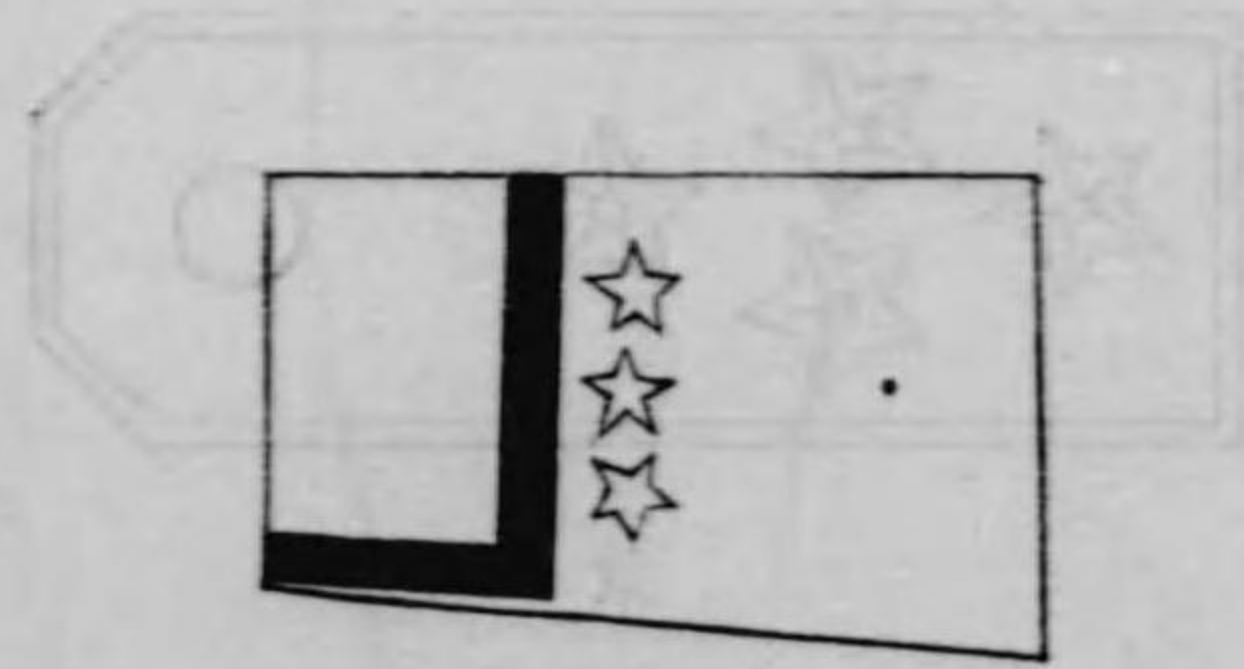


刀緒



三三六

章 袖



(銀星)



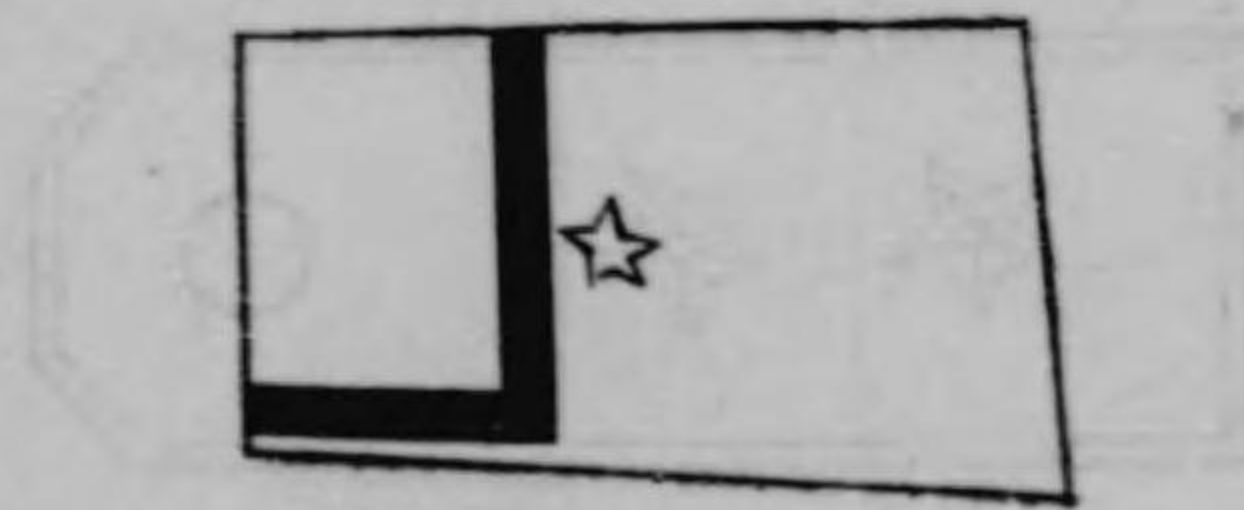
(金星)



(同上)



(同上)

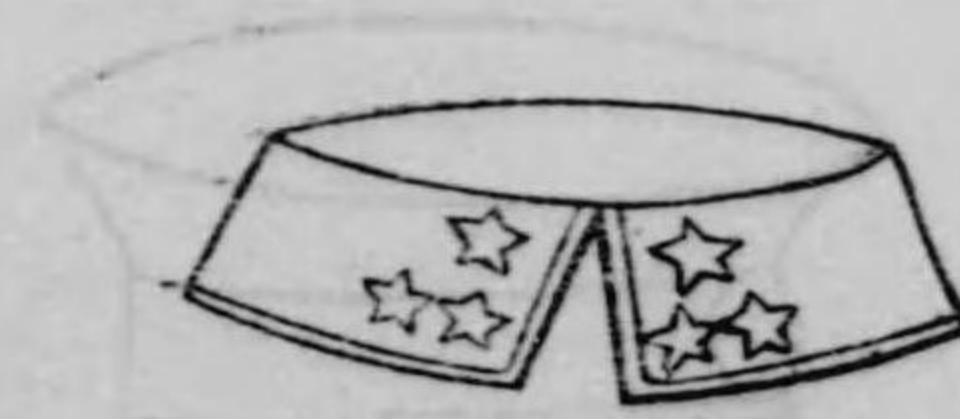


(同上)

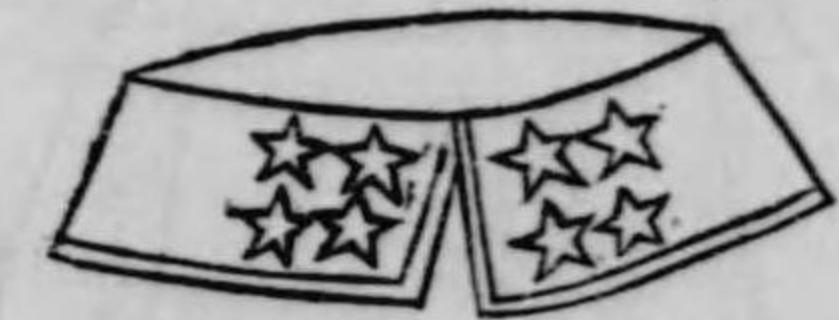


(同上)

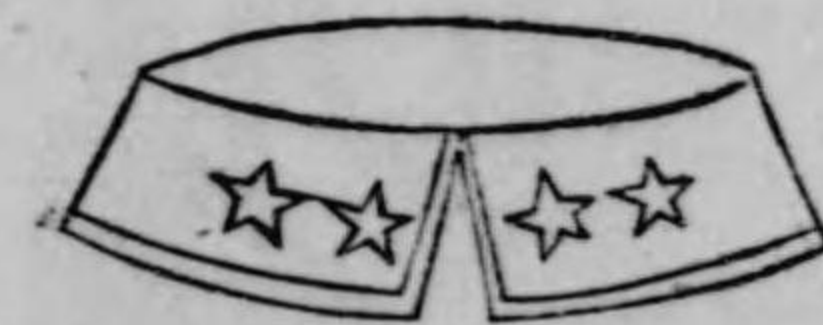
章 領



(銀星)



(金星)



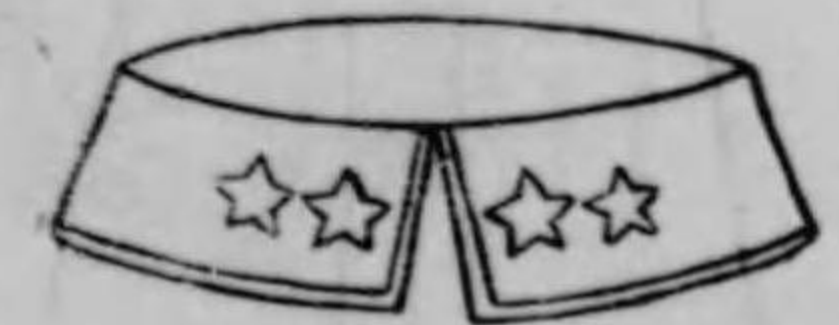
(同上)



(同上)



(同上)



(同上)

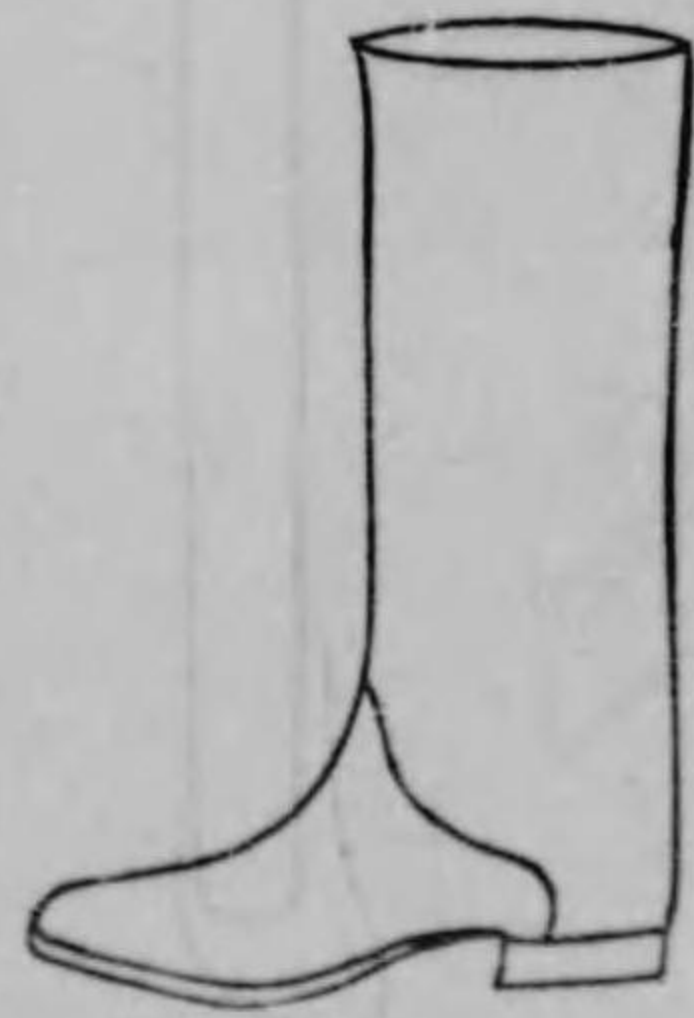
半袴



袴



長靴



靴



肩章



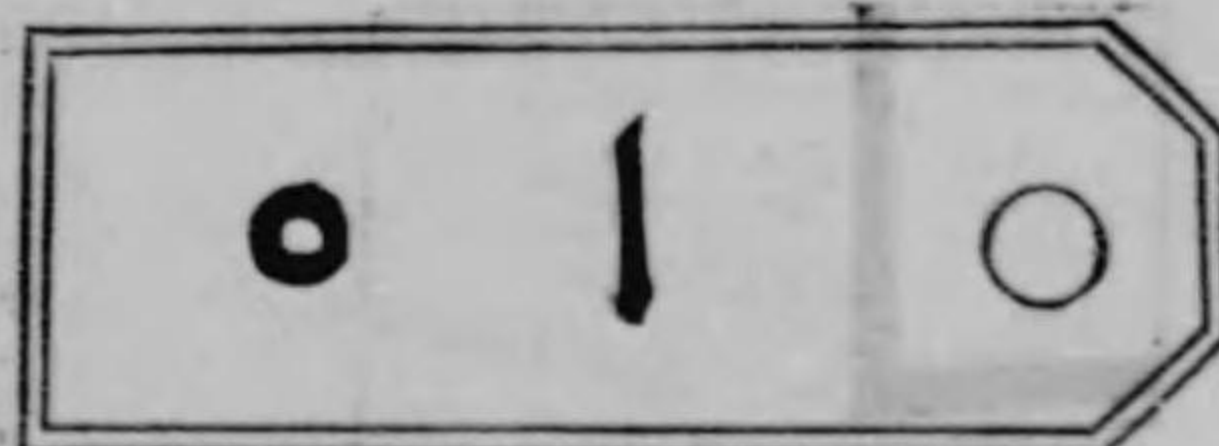
(銀星)



(金星)

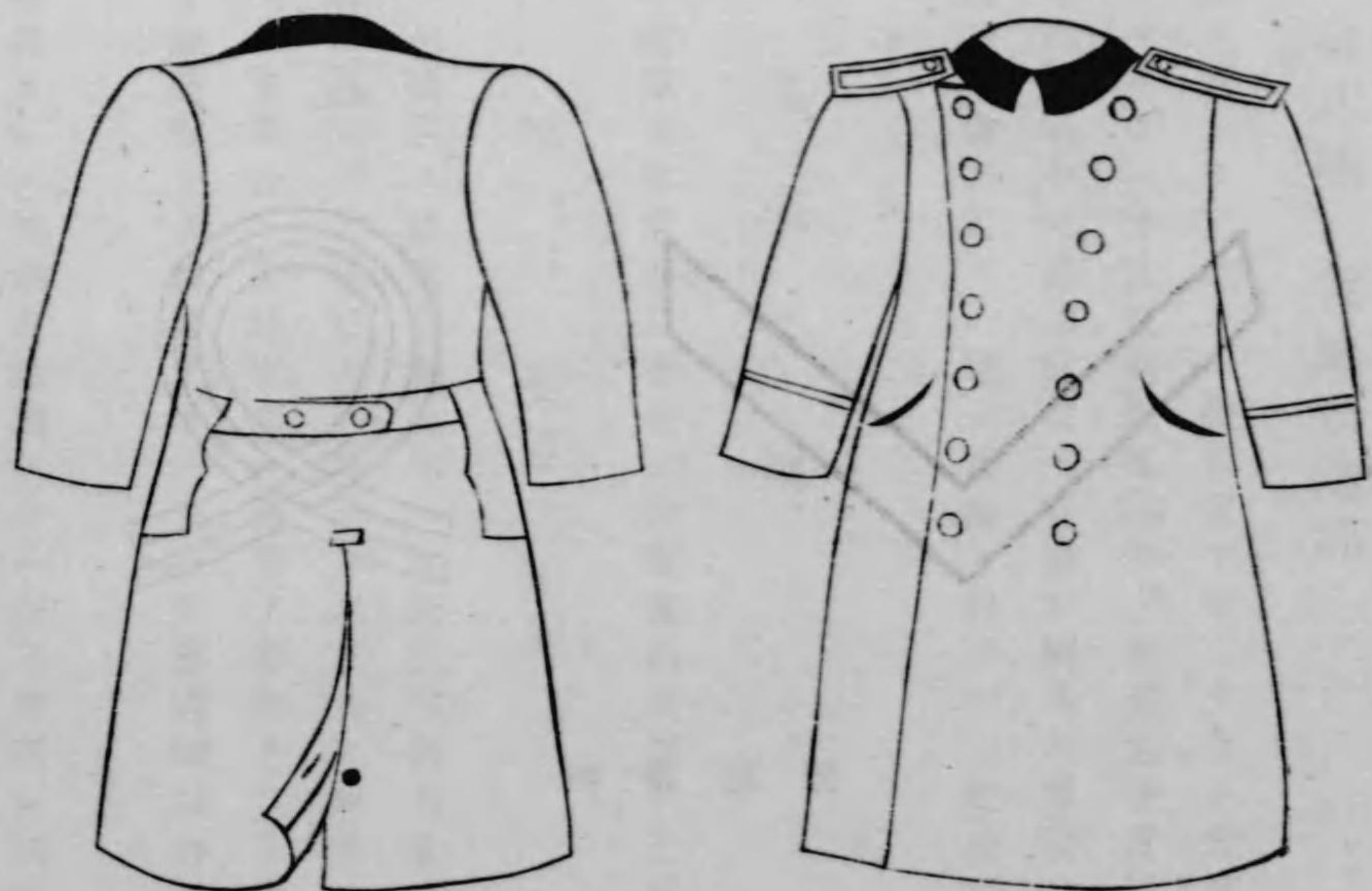


(同上)



(同上)

外套



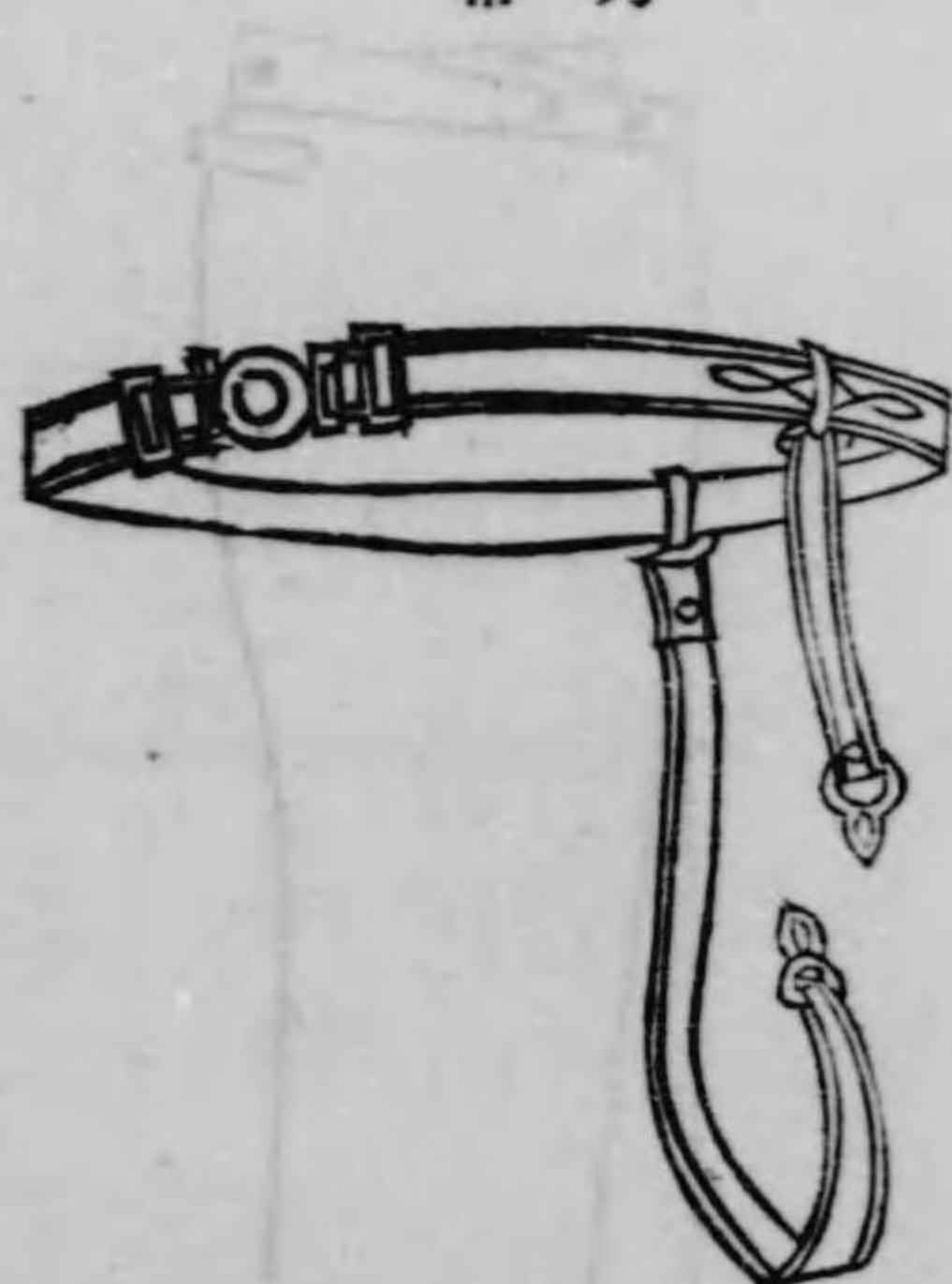
水上警察

臂章



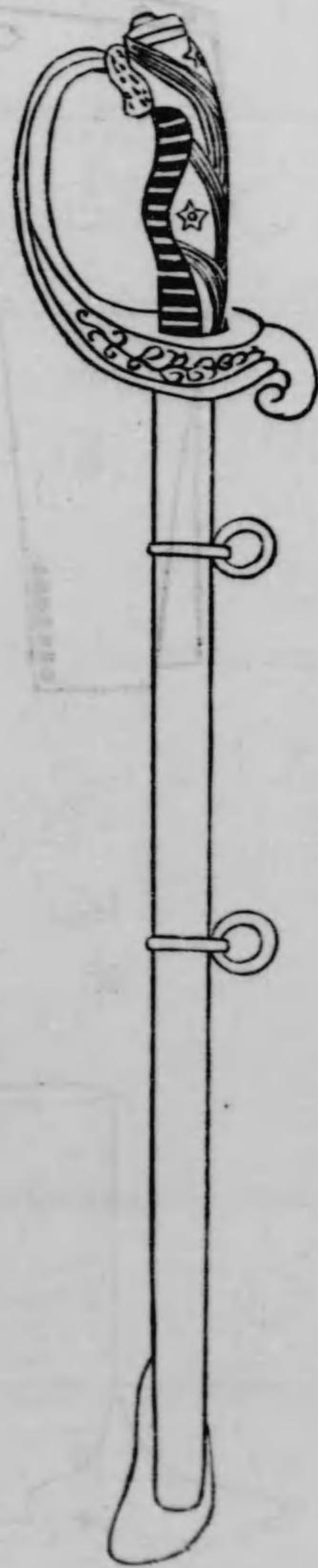
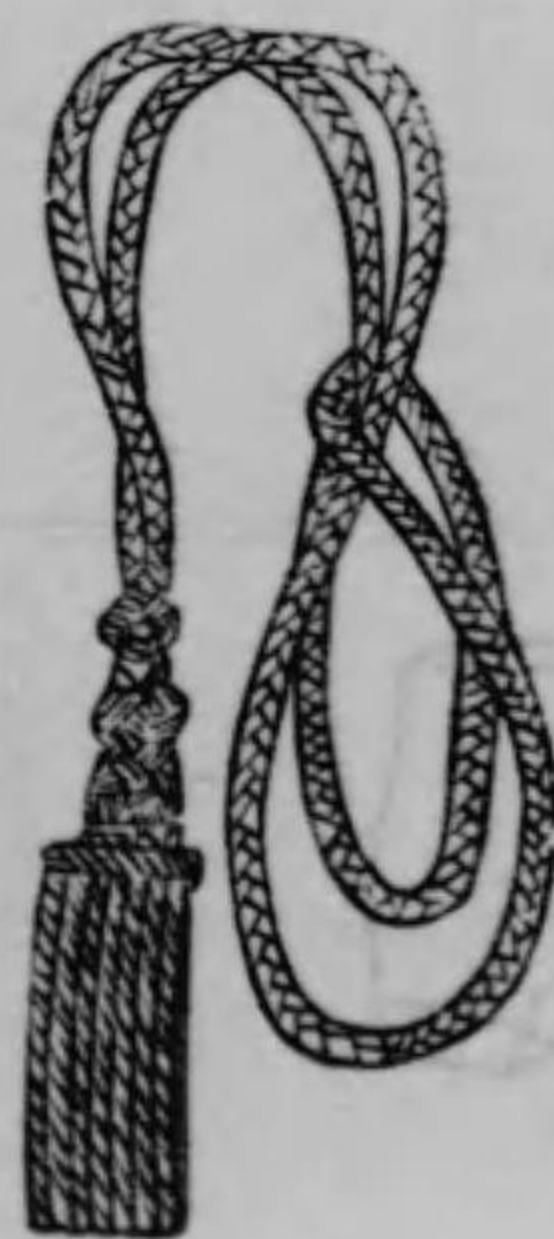
佩刀

帶刀



緒刀

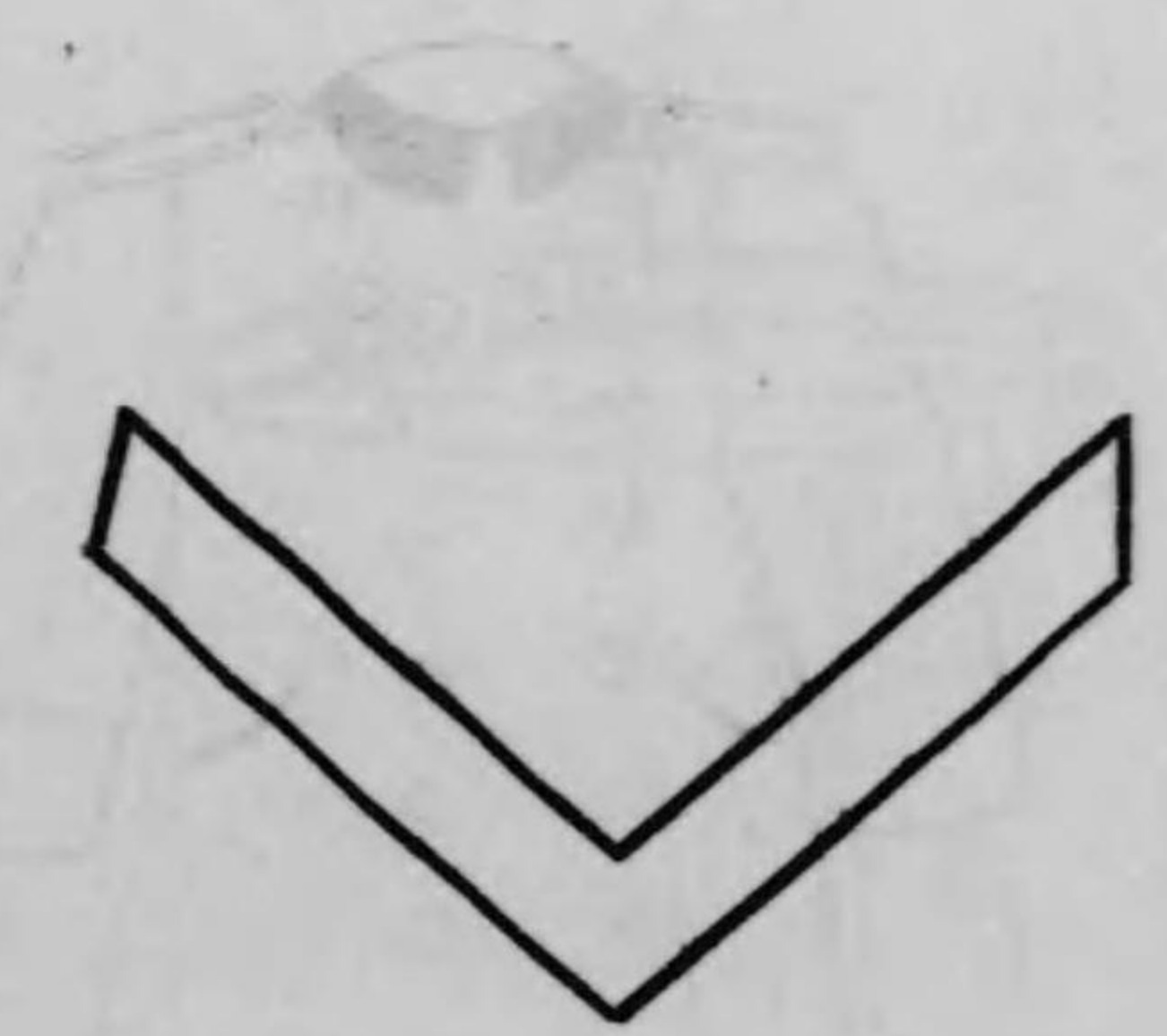
釦帶



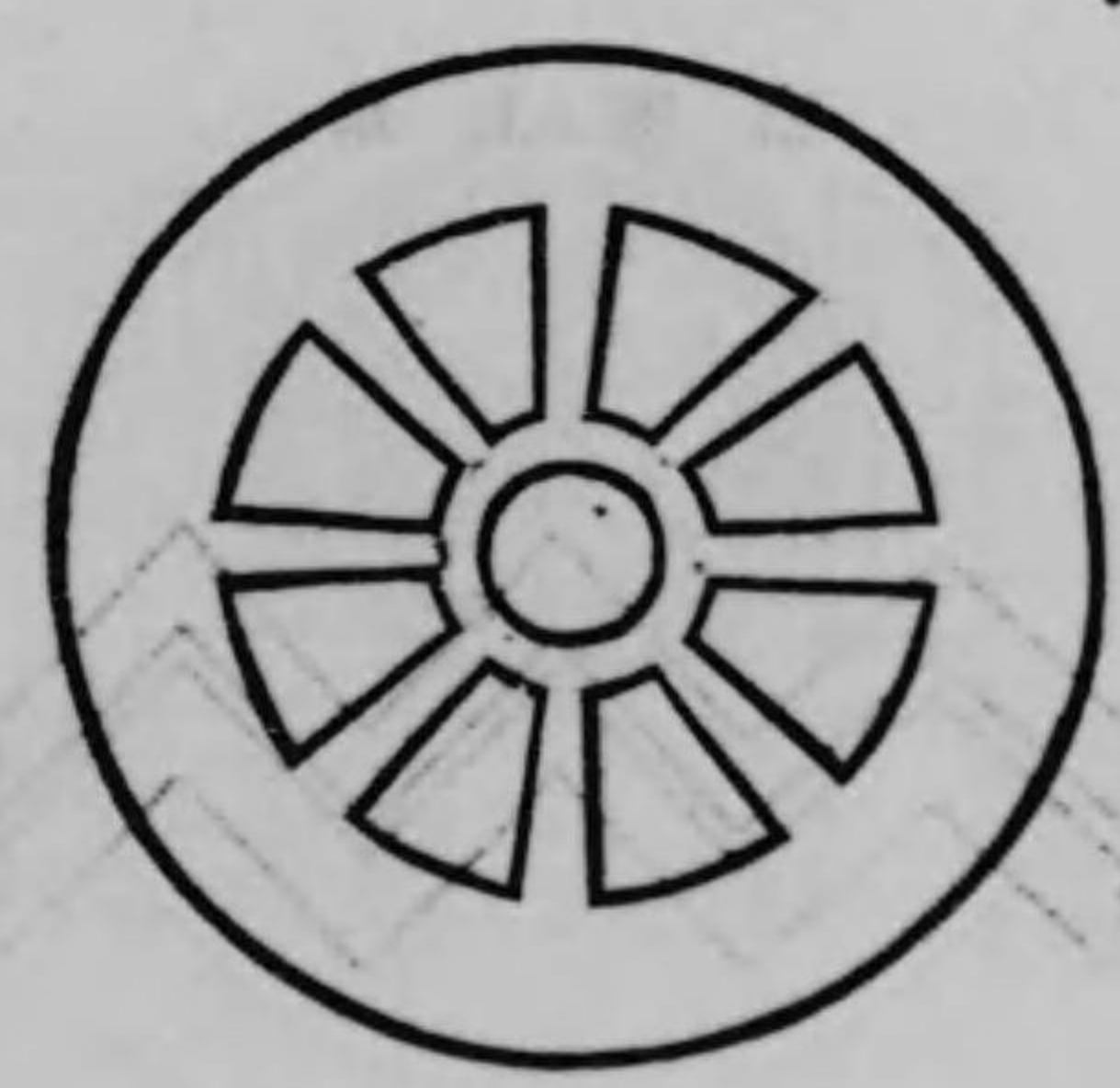
消防隊



警察隊



鐵路巡警



第八款 賞恤及處罰

警察官吏ノ賞罰ニ關シテハ別ニ一般規定ヲ定メテ之ヲ實施セリ但南滿地方ニ於テハ右ノ一般規定ニ依ル外奉天省ニ於テハ警官甄別規條(參照第(五四)條)奉天巡警賞罰暫行章程(參照第(五五)條)ヲ規定シ竝ニ警察各機關ノ組織職掌等ノ規定中ニ當該官吏ノ賞罰ニ關スル事項ヲモ一併シテ之ヲ定メタルハ前既ニ說明セル所ノ如シ故ニ本款ニ於テハ單ニ賞恤ニ關スル一般規定及奉天警官甄別規條同巡警賞罰暫行章程ヲ譯述スルニ止ム

第一項 賞恤

第一目 獎章ノ給與

賞恤ニ關シテハ獎章沒收財物及罰金ノ分賞及卹金等ノ三種ニ大別セラル即チ左ノ如シ

警察官吏ニ對スル獎章ノ給與ニ關シテハ民國三年四月公布警察獎章條例(參照第(五〇)條)及同四年十月公布警察獎章給與規則(參照第(五一)條)ノ規定スル所ナリ以下其ノ内容ヲ説明スヘシ

(一)獎章ヲ給與スヘキ場合 警察官吏ニ獎章ヲ給與スヘキ場合ハ臨時ノ功績及年功ノ二ニ分ツコトヲ得ヘク其ノ他警察上ノ功勞アルトキハ警察官吏以外ノ者ニ對シテモ右ノ獎章ヲ給與スルモノトス

(二)臨時ノ功績者トシテ獎章ヲ給與スルハ左ノ各項ニ該當スル者タルヲ要ス

- (イ) 非常ノ事變アルニ際シカヲ竭シテ防衛又ハ鎮撫ノ任ニ當リ地方人民ヲシテ安全ナルコトヲ得セシメタル者
- (ロ) 内亂ノ陰謀ニ關スル犯罪者ヲ發覺又ハ緝捕シタル者
- (ハ) 危害ヲ政府又ハ地方長官ニ加ヘントシタル犯罪者ヲ發覺又ハ緝捕シタル者
- (ニ) 外患國交ニ關スル犯罪者ヲ發覺又ハ緝捕シタル者
- (ホ) 土匪又ハ之カ助力者ヲ緝捕シタル者
- (ヘ) 逃走在監犯人同刑事被告人又ハ法庭ニ於テ二等有期徒刑以上ノ處刑ヲ判決セラレタル犯人ノ逃走シタル者ヲ緝捕シタル者
- (ト) 阿片及賭博ニ關スル犯罪者ヲ捜査逮捕シタル者
- (チ) 他人ノ携帶又ハ埋藏セル危險物ヲ探知シ危難ヲ免レシメタル者
- (リ) 職務ニ盡瘁シ奮テ身ヲ顧ミサル者
- (ヌ) 勤務ニ從事シ其ノ成績表獎スルニ足ル者
- (ル) 倉卒急迫ノ時ニ於テ他ノ警察機關ノ請求ニ應シ能ク竭力補助シタル者
- (ヲ) 水火ノ變災及其ノ他傳染病ノ流行ニ當リ救済防疫ニ竭力シタル者
- (ワ) 自身ノ危難ヲ顧ミス人民ノ生命財産ヲ救護シテ安全ナルヲ得セシメタル者
- (カ) 公益事務ヲ辦理シテ著シク成績ヲ擧ケ又ハ經費ヲ補助シ警察行政ニ裨益アラシメタル者
- (ニ) 年功ニ依リ獎章ヲ給與スル場合ハ左ノ年數ヲ算シ且ツ成績優良ナル者タルヲ要ス
- (イ) 委任職以上ノ警察官吏(巡官ヲ除ク)ニシテ繼續在職スルコト滿五年以上ナル者

(ロ) 委任職タル巡官同待遇者タル巡長巡警ニシテ繼續在勤スルコト滿十年以上ナル者

(三) 前述ノ(一)(二)項ノ場合ノ外警察官吏以外ノ者ニ在リテモ警察上左ノ功勞アルトキハ獎章ヲ給ス

- (イ) 退職警察官吏若ハ其ノ他ノ官吏紳士ニシテ警察長官ノ委任ヲ受ケ警察ノ職務ニ從事シ著シキ勞績アル者
- (ロ) 警察長官ノ委任ヲ受ケサル人民カ警察事務ニ盡力シ又ハ經費ヲ補助シ警察行政上裨益アリト認メラレタル者

(二) 獎章ノ等級給與及佩用

(一) 獎章ノ等級ハ三等ニ分チ各等ヲ更ニ三級ニ分ツモノトス而シテ獎章ノ初級ハ薦任職ニ在リテハ一等三級ヨリシ委任職ハ二等三級ヨリシ巡官巡長巡警ハ三等三級ヨリ始メ功勞ヲ累スルニ從ヒ逐次進級セシム但シ巡官巡長巡警ノ特別功勞アル者ハ二等獎章ヲ給シ二等一級ニ至リテ止マシム

(二) 獎章ノ給與ヲ要スルトキハ所轄長官ヨリ事實ヲ詳敘シ内務總長ニ申請シテ下付ヲ受ケタル上執照ト共ニ之ヲ給與スヘク逐次進等又ハ上級ノ獎章ヲ給スルトキハ原給獎章ハ内務部ニ返還スヘキモノトス若シ又一旦獎章ヲ給與セラレタル者ニシテ獎章若ハ執照ヲ遺失シタルトキハ左ノ鑄造費ヲ徴シテ再下付ヲ許スモノトス

一等獎章	一級	八元	二級	七元	三級	六元
二等獎章	一級	五元	二級	四元五角	三級	四元

三等獎章 一級 二元五角 二級 二元 三級 一元五角

(三)獎章ノ給與ヲ受ケタル者ハ終身之ヲ佩用スルコトヲ得其ノ佩用ニ際シテハ上衣ノ左襟ニ附スヘク他ニ勳章ヲ有スル者ハ勳章ノ左方又ハ其ノ下ニ佩用シ他種ノ獎章ヲ受ケタル者ハ下付ノ前後ニ依リ其ノ順序ヲ定ムヘキモノトス但シ犯罪ニ依リ又ハ其ノ他ノ法令ニ違反シタル爲メ獎章又ハ勳章ヲ褫奪セラレ若ハ一時其ノ佩用ヲ停止セラレタル者及官吏ノ名譽ヲ汚辱シ免官若ハ褫職處分ヲ受ケタル者ハ共ニ右ノ獎章ヲ内務部ニ返納セサルヘカラス唯一時其ノ佩用ヲ停止セラレタル者ハ一定ノ期日經過後ハ該部ニ再下付ヲ出願シテ佩用スルコトヲ得ヘシ又右ノ獎章ハ未タ之カ下付ヲ受ケサル者ニ於テ私造佩用シ若ハ他人ノ受ケタル獎章ヲ佩用スルコトヲ禁シ之ヲ犯ス者ニ對シテハ律ヲ按シテ懲罰スヘク殊ニ下付ヲ受ケタル獎章ヲ他人ニ賣與シ又ハ債務ノ擔保トシテ典質若ハ抵償ニ充テタルトキハ明查ノ上其ノ給與ヲ取消スモノトス尙ホ獎章ノ下付ヲ受ケタル者カ死亡シタルトキハ其ノ家族ニ於テ獎章及執照ヲ保存セサルヘカラ

(警察獎章條例ニハ本人死亡ノトキハ獎章ヲ内務部ニ返納スヘキ旨ヲ規定セリ)

第二目 沒收財物及罰金ノ分賞

警察官吏ニ分賞スル沒收財物及罰金ハ主トシテ阿片犯ニ對スル罰金及賭博犯ニ對スル沒收財物ヲ指スモノトス即チ民國三年五月公布ノ煙案罰金及賭博案沒收財物充賞辦法(參照第(五二)條)ニ依ルトキハ次ノ如シ

一 賞給スヘキ財物及賞給率

地方ニ於ケル行政官廳カ阿片若ハ賭博ニ關スル犯罪事件ヲ發覺シ犯人ヲ逮捕シタルトキハ沒收スヘキ財物ハ該事件ノ關係書類及同犯人ト共ニ所轄司法官廳ニ引渡スヘク該行政官廳ニ之ヲ留置スルコトヲ得サルモノトス而シテ阿片犯罪事件ニ對スル處罰金及賭博事件ニ關シ沒收シタル財物アルトキハ該罰金ノ一部又ハ該財物ノ全部若ハ一部ヲ該犯罪事件ヲ發覺シタル警察其ノ他ノ行政吏員ニ賞給スヘク其ノ賞給率ニ對シテハ左ノ如ク定ムルモノトス

(イ)阿片ニ關スル罰金ニ對シテハ左ノ率ヲ給ス	罰金二十元以下	六割	罰金五十元以下	五割
	同 五百元以下	四割	同 千元以下	三割
(ロ)賭博ニ關スル沒收財物ハ左ノ率ヲ給ス	價格二十元以下	全部	價格五十元以下	六割
	同 五百元以下	五割	同 千元以下	四割
	同 千元以上	二割		

但シ前項ノ中或定率ノ割合ニ依ル賞給金額カ該率ヨリ優率ニ依ル罰金最高額ノ賞給金額ヨリ少キトキハ該優率ニ依ル最高額ノ賞給金額ヲ給スルモノトス例ヘハ阿片罰金ノ賞給率ノ内罰金額二十一元ナルトキハ賞給率ハ其ノ五割ニシテ賞給金額ハ十元五角ナルモ之ヨリ優率ナル六割ヲ給スヘキ罰金最高額二十元ノ賞給金額十二元ニ比スルトキハ一元五角少シ即チ此ノ如キ場合ニ於テハ仍ホ優率ニ依ル最高額ノ賞給金額十二元ヲ給與セラルルモノタルカ如シ

二 給與手續

賞金ノ給與ニ關シテハ規定ニ照シテ左ノ手續ヲ履ムヘキモノトス

- (イ)地方ニ於ケル各級檢察廳ハ各同級審判廳カ阿片若ハ賭博ニ關スル犯罪事件ヲ受理判決シタル後ニ於テ警察官吏其ノ他ノ行政吏員ノ發覺ニ係ル阿片犯罪事件ニ對スル處罰金又ハ同賭博犯ニ對シテ沒收シタル財物ニ關シ前掲ノ割合ニ照シテ賞給金額ヲ算出シ之ヲ賞金トシテ其ノ都度又ハ取經メノ上最初ノ取扱官衙ニ送附シ原發覺警察吏員等ニ賞給スヘク又一面月末ニ於テ各事件ノ賞與額統計表ヲ作製シ各該高等檢察廳ヲ經由シテ司法部ニ報告スヘキモノトス
- (ロ)司法事務ヲ兼理スル縣知事ニ於テ之ヲ處理スル場合ハ阿片及賭博犯ニ對スル判決確定後ニ於テ阿片犯罪事件ニ對スル處罰金又ハ賭博犯ニ對スル沒收財物ニ關シ前掲ノ割合ニ照シテ賞給金額ヲ算出シ原發覺警察吏員等ニ賞給シ且ニ月末ニ於テ各事件ノ賞與額統計表ヲ作製シ各高等檢察廳ヲ經テ司法部ニ報告スヘキモノトス

第三目 郵金ノ給與

郵金ハ民國三年七月三日公布警察官吏郵金給與條例(參照第五)及同年八月公布警察官吏郵金給與條例施行細則(參照第五)ノ規定ニ依リ之ヲ給與スルモノトス以下之ヲ述フヘシ

- 一 郵金ノ種類及之ヲ給與スヘキ場合
- (一)郵事ノ種類 郵金ノ種類ハ(イ)一次郵金即チ一時賜金(ロ)遺族郵金即チ遺族扶助料(ハ)終身郵金即チ恩給ノ三種ト爲ス
- (二)郵金ヲ給與スヘキ場合 郵金ヲ給與スヘキ場合ハ因公死亡積勞病故及因公負傷ノ三項ニ該當ス

ルヲ要ス即チ左ノ如シ

一 因公死亡 因公死亡トハ公務ニ依リテ死亡シタル者ヲ云ヒ左ノ各項ニ該當スル場合ニ郵金ヲ給ス

- (イ)内亂ヲ鎮壓シ盜匪ヲ逮捕シ重要事件ヲ探偵スル爲メ殺害ニ遭ヒテ死亡シタル者
- (ロ)公務ニ依リ水火災ニ罹リ又ハ誤テ彈藥ニ觸レ死亡シタル者
- (ハ)公務ニ依リ海洋江河其ノ他各危險地域ニ在リテ險ヲ冒シ死亡シタル者
- (ニ)人民兇器ヲ携ヘテ鬭爭シ又ハ車馬ノ驚逸スルニ當リ之ヲ禁止防遏スル爲メ負傷シテ死亡シタル者

タル者

- ホ電線ノ切斷スルニ際シ人民ヲ庇護センカ爲メ感電シテ死亡シタル者
 - (ハ)橋梁牆壁ノ倒壞セントスルニ際シ行人ヲ庇護セントシテ壓死シタル者
 - (ト)其ノ他公務ニ因リ前掲各例ノ事實ト相類スル事故ノ爲メ負傷死亡シタル者
- 二 積勞病故 積勞病故トハ公務ニ依リ勞苦ヲ爲シタル爲メ病ヲ得テ死亡スル者ヲ云ヒ左ノ各項ニ該當スルトキハ郵金ヲ給スルモノトス
- (イ)防疫ノ爲メ病毒ニ傳染シテ死亡シタル者
 - (ロ)嚴寒酷暑ノ際公務ヲ勉勵シタル爲メ病ヲ得テ死亡シタル者
 - (ハ)巡官以下ヲ除キタル警察官吏ニシテ繼續シテ在職スルコト滿十年以上ニ達シ若ハ巡官巡長巡警ニシテ繼續シテ勤務スルコト滿二十年以上ニ及ヒ公務ヲ處理シ勤勞ノ功卓著ナリシ者カ病ヲ得テ死亡シタルトキ

三因公負傷 因公負傷トハ公務ニ依リ負傷シタル者ヲ意味シ左ノ各項ニ該當スル者タルヲ要ス

(イ)公務ニ依リ負傷シ既ニ不具者ト爲リタル者

(ロ)公務ニ依リ負傷シタルモ未タ不具者ト爲ラサル者

但シ右ノ不具者トハ(イ)視力ヲ失ヒタル者(ロ)聽力ヲ失ヒタル者(ハ)言語ノ機能ヲ失ヒタル者(ニ)一肢以上ヲ失ヒタル者(ホ)生殖機能ヲ失ヒタル者(ヘ)精神ヲ喪失シ全治スル能ハサル者(ト)面貌ニ重傷ヲ受ケ全治スル能ハサル者等ヲ指スモノトス

二 郵金ノ給與

(一)郵金ノ給與手續 前述因公死亡及積勞病故ノ場合ニ郵金ヲ給與スルトキハ(イ)本人ノ履歷住址及其ノ遺族ノ姓氏年齡住址(ロ)在職年數(ハ)死亡或ハ病故ノ事實(ニ)郵金給與年限(ホ)病死シタル者ナルトキハ醫師ノ診斷書等ヲ明ニシ又因公負傷ノ場合ニ於テハ(イ)本人ノ履歷住址(ロ)負傷原因(ハ)不具者ト爲リタルヤ否ヤ(ニ)給與郵金ノ種類等ヲ明記シ何レモ所轄最高級地方長官ヨリ内務部ニ詳請若ハ陳述シ本人カ巡官ヲ除キタル委任職以上ノ警察官職ニ在リタル者ナルトキハ該部ヨリ更ニ大總統ノ批准ヲ請ヒ同巡官以下ノ官吏ナリシトキハ該部ヨリ各該申請最高級地方長官ニ指令シ毎年分ヲ取纏メ大總統ニ報告スルモノトス而シテ右ノ郵金ノ給與許可アルトキハ内務部ノ定式ニ依ル郵金證書ヲ作製シ所轄地方最高級行政官署ヲ經テ發給シ其ノ給與郵金ハ受郵人ノ服務シタル最高級官署ヨリ各年度ノ豫算案中警察費歳出ノ部ニ編入シ各給與時日ヲ按シ受郵人ノ服務シタル官署ヲ經テ支給スルモノトス而シテ右ノ内遺族郵金ノ給與ニ際シテハ左ノ順序ニ依リ受郵人ヲ決定スヘキモノトス

(イ)死亡者ノ妻

(ロ)妻不在ナルトキハ其ノ子

(ハ)妻子俱ニ不在ナルトキハ其ノ父母

(ニ)妻子父母俱ニ不在ナルトキハ其ノ祖父母

(ホ)妻子父母祖父母俱ニ不在ナルトキハ其ノ子ノ妻

(ヘ)妻子父母祖父母及子ノ妻俱ニ不在ナルトキハ其ノ孫

(ト)妻子父母祖父母子ノ妻及孫俱ニ不在ナルトキハ其ノ孫ノ妻

仍ホ受郵人カ他ニ移轉スルトキハ原服務官署ニ對シ其ノ轉居先ヲ届出テサルヘカラス又前述ノ順序ニ依ル受郵人カ死亡シタルトキハ受郵權繼承ノ資格ヲ具有スル者ハ順ニ當該官署ニ其ノ旨ヲ届出テ郵金證書ノ交換ヲ出願スヘキモノトス

(二)郵金ノ給與時期及受領手續 郵金ノ給與時期及受領手續ハ左ノ如シ

(イ)一時郵金ヲ支給スル場合ハ郵金證書發給ノ日ヨリ起算シ一箇月内ニ之ヲ給與スヘク此ノ際受郵人ハ該郵金證書ヲ官署ニ返還シテ之ト引換ニ郵金ヲ受領スヘキモノトス

(ロ)遺族郵金ハ其ノ死亡ノ翌月ヨリ起算シ毎年四季毎季ノ初月ヲ給與トス受郵人ハ原發郵金證書ヲ給與期毎ニ所轄官署ニ提出シテ郵金ヲ受領スヘク受領期間滿了又ハ受郵人死亡シタルトキハ該證書ヲ返還セサルヘカラス

(ハ)終身郵金ノ給與ハ負傷ノ翌月ヨリ起算シ本人死亡ノ日ニ至リテ止ムモノトス其ノ給與期ハ右ト同シク毎年四季毎季ノ初月ニ於テシ給與期毎ニ郵金證書ヲ提出シテ之ヲ受領シ本人死亡シ

タルトキハ遺族ヨリ該證書ヲ官署ニ還附セサルヘカラス
 仍ホ前述ノ郵金證書ハ賣買典質其ノ他債務ノ抵償ニ供スルヲ禁シ之ヲ犯ス者若ハ證書面ノ金額
 ヲ變更シ或ハ之ヲ偽造變造シタルトキハ各處罰ニ附セラルヘク又該證書ヲ遺失又ハ汚損シタル
 トキハ其ノ事情ヲ詳記シテ當該所轄官署ニ之カ換給又ハ補給ヲ出願スヘク若シ規定ニ依リ該證
 書ヲ返還スヘキ場合ニ之ヲ返還セサルトキハ當該官署ハ其ノ還附ヲ強制スルコトヲ得次ニ郵金
 ハ受郵人ノ身分ニ異變ヲ生シタルトキハ之カ給與ヲ停止スルモノトス左ノ如シ
 (イ)終身郵金ヲ受クル者カ刑事上ノ處分ヲ受ケ公權褫奪ノ宣告ニ遭ヒタルトキハ郵金ノ給與ヲ
 停止シ復權ノ時ヲ俟テ再ヒ之ヲ支給セシムルモノトス
 (ロ)受郵人カ公權ヲ褫奪セラレタルトキ若ハ中華民國ノ國籍ヲ喪失シタルトキハ前者ハ其ノ宣
 告ノ日ヨリ後者ハ其ノ批准ノ日ヨリ起算シ郵金ノ給與ヲ停止ス
 (三)郵金ノ給與額 受郵人ニ給スヘキ郵金ノ數額ハ在職官吏ノ階級及受郵原因ノ如何ニ依リテ差異
 アルヘキハ勿論ナルカ警察官吏郵金給與條例ハ右ノ場合ニ對スル標準額ヲ左ノ如ク表示シタリ

階級	第一號		第二號	
	因公殞命一次郵金	積勞病故一次郵金	因公殞命一次郵金	積勞病故一次郵金
簡任警察官	八百元	四百元	三百元	一百五十元
薦任警察官	六百元	三百元	二百元	一百元
委任警察官	四百元	二百元	一百元	五十元
巡官	三百元	一百五十元	一百元	五十元
巡長	二百元	一百元	一百元	五十元
巡警	一百元	五十元	一百元	五十元

而シテ警察官吏カ(イ)因公死亡ノ場合ニ於テハ第一號ノ定額ニ照シ一次郵金及同金額ノ二分ノ一

ニ相當スル年額ノ遺族郵金五年分ヲ給シ(ロ)積勞病故ノ場合ニ於テハ第二號ノ定額ニ依ル一次郵
 金及同金額ノ二分ノ一ニ相當スル年額ノ遺族郵金四年分ヲ給シ(ハ)因公負傷ニ該當スル場合ニ負
 傷者カ既ニ不具者ト爲リタルトキハ終身郵金ヲ給スヘク其ノ額ハ負傷原因カ因公死亡ノ場合ニ
 列記シタルモノト同一ナルトキハ第一號定額ノ二分ノ一ヲ年額トシ同積勞病故ノ場合ニ列記シ
 タルモノト同一ナルトキハ第二號定額ノ二分ノ一ヲ年額トス又負傷スルモ未タ不具者ト爲ルニ
 至ラサル者ニ對シテハ治療費ヲ酌給スル以外ニ一次郵金ヲ支給スヘク其ノ額ハ前述ノ場合ニ照
 シ負傷原因ヲ審査シ各相當スル第一號又ハ第二號ノ郵金ノ二分ノ一ヲ支給シ全癒後ハ原職ニ歸
 復セシメ全癒後ニ至リ病死スルトキハ郵金ヲ給セス
 (四)郵金證書ノ形式 郵金證書ハ一次郵金證書遺族郵金證書及終身郵金證書ノ三種トス以下其ノ形
 式ヲ示ス但シ各證書ニ連續スル存根ハ官廳ニ存スヘキ扣ナリ(民國三年十一月二十四
 日政府公報九一八號)
 (イ)一次郵金證書

存 根

今因 核與警察官吏郵金給與條例第 條第 款規定相符、

計開 該郵金受領人 應給與一次郵金 元

右證書發給訖

中華民國 年 現年 月 歲 省 日 縣 地方

字第

號

警察官吏一次卹金證書

為發給一次卹金證書事

今因

核與警察官吏卹金給與條例第 條第

款規定相符業經報由內務部

應比照附表第

號

之例給與

一次卹金

元須至證書者

某某長官

右給一次卹金受領人

收執

中華民國

年

月

日

(口)遺族卹金證書

存

今因

核與警察官吏卹金給與條例第

條第

款規定相符

除一次卹金另行發給外應給與

遺族卹金

年每年

元

右證書發給訖

計開

該卹金受領人

現年

歲住

省

縣

地方

中華民國

年

月

日

民國

年

月

日卹金發訖

民國

年

月

日卹金發訖

根

字第

號

警察官

為發給遺族卹金證書事今因

核與警察官吏卹金給與條例第

條第

款規定相符業經報由內務部

除一次卹金另行給與外應按照本條例第

號

元須至證書者

轄地方ノ強盜事件ノ多少犯罪事件ニ對スル犯人逮捕ノ割合ヲ調査シテ之ヲ決定スヘク(ロ)學識考驗ハ筆答及口述ノ二トシ筆答ハ各警察規則又ハ實地應用判斷作文等ヲ試ミ口述ハ各地方ニ於テ興革スヘキ事項又ハ警務整頓ニ關スル方法ヲ試ミ筆答ハ文理明通スル者ヲ合格トシ口述ハ言詞中肯スル者ヲ合格ト爲シ各成績ヲ綜合シテ三等ニ分ツモノトス即チ警學ニ精通シ屢犯人ノ逮捕ヲ爲ス者ハ之ヲ最優等トシ文理ニ明ニシテ略ホ武事ニ通スル者ヲ優等トシ僅ニ犯人ノ逮捕ヲ能クスルモ文字ヲ暗習セサル者ヲ中等トシ其ノ他ヲ等外ト爲サシム而シテ右ノ考查ヲ爲スニ當リテハ警務長ニ對シテハ觀察使(尹道)ヨリ知事ヲ會同シテ之ヲ行ヒ區官巡官ノ考查ニ在リテハ縣知事ヨリ警務長ヲ會同シテ之ヲ行フモノトス

二 考查後ノ處分

警察官吏ノ成績考查ヲ爲シタルトキハ警務長ニ對シテハ觀察使ヨリ成績ヲ按シ巡按使公署ニ留任又ハ升任ヲ申請シ區官ニ對シテハ縣知事ヨリ警務長ト連名ニテ觀察使ヲ經巡按使公署ニ留任ヲ申請シ巡官ニ對シテハ警務長ヨリ知事ニ留任ヲ請ハシメ不合格者又ハ執務ノ成績不良ナル者ニ對シテハ分別シテ其ノ職ヲ撤換セシムルモノトス

第一目 奉天省巡警ノ賞獎

奉天巡警賞罰暫行章程(參照等)ノ規定ニ依ルトキハ奉天省内ノ巡警ニ對シテハ他ノ特別規定ニ依ルモノノ外本章程ニ照シテ賞獎ヲ行フヘク該賞獎ハ嘉獎存記記功賞花紅拔升等ノ方法ニ依リテ之ヲ行フモノトス左ノ如シ

一 嘉獎

嘉獎ハ口頭又ハ文書ヲ以テ賞譽スルモノニシテ(イ)職分中盡スヘキ事務ヲ能ク盡シタルトキ(ロ)他ニ臨時差遣ノ命アル等ノ如キ場合即チ職分以外ノ事ニ對シ指命ヲ完全ニ遂行シタルトキ(ハ)存記スヘキニ似テ稍之ニ及ハサル場合ニ之ヲ行フモノトス

二 存記

存記トハ記功スルニ足ラサル小ナル功勞ヲ記錄ニ存シテ罰金ト抵銷シ又ハ數回ノ存記ヲ累計シテ記功ト爲スモノニシテ(イ)職分内ノ事務ノ應ニ爲スヘキヲ盡シ又ハ多少ノ長所ノ錄スルニ足ルモノアルトキ(ロ)職分外ノ事務ヲ執リテ之ヲ完全ニ遂行シ更ニ成績ノ微スヘキモノアルトキ(ハ)記功スヘキニ似テ而モ記スルニ足ラサルトキ等ニ之ヲ行ヒ存記一回ハ罰餉五角ト相抵償スヘク又存記二回ヲ數フルトキハ記功一次ト同等ナラシムルモノトス

三 記功

記功ハ存記ヨリ大ナル功勞ヲ記錄スルヲ云ヒ分チテ記大功及記功ノ二トス即チ(イ)強盜黨匪殺人犯及稍重大ナル事件ノ犯人ヲ逮捕シタルトキハ記大功一次トシ(ロ)匪盜ヲ庇護居住セシメ若ハ贓品ヲ分チタル犯人ヲ逮捕シタルトキハ記功二次又ハ稍重大ナルモノハ記大功一次トシ(ハ)河井ニ投シ又ハ懸梁シテ自殺セントスル者ヲ見即時救護シタルトキハ記功二次又ハ記大功一次トシ(ニ)印章私造犯人ヲ逮捕シタルトキハ記大功一次トシ(ホ)屢各署ノ照會ヲ受ケタル犯人ヲ逮捕シタルトキハ記大功一次トシ次ニ(ヘ)小盜拘摸ノ犯人ヲ逮捕シタルトキ(ト)贓物ノ故買犯人ヲ逮捕シタルトキ(チ)兇器ヲ持シテ人ヲ傷ケタル者ヲ逮捕シタルトキ(リ)火災ヲ見テ即時ニ消シ止メタルトキ(ヌ)乘兒及迷兒ヲ救

護シタルトキ(ル)行路病人ノ地上ニ倒臥スルヲ救護シタルトキ等ノ場合ニハ各記功一次トシ(ヲ)婦女
幼孩ヲ誘拐スル者ヲ逮捕シタルトキハ記功一次又ハ二次トシ記功三次ニ達スルトキハ大功一次ト
同等ナラシメ記大功三次ニ及フ者ハ拔升セシムヘク又記功後記過ノ處分ヲ受ケタルトキハ相抵償
セシメ竝ニ記功一次ハ罰金三元ニ記大功一次ハ罰金九元ニ抵償スルヲ許スモノトス

四賞花紅

賞花紅トハ賞與金ヲ給スルヲ云ヒ頭等以下四等ニ分チ頭等六元二等四元三等二元四等一元トシ左
ノ各項ニ照シ之ヲ給スルモノトス即チ(イ)強盜黨匪殺人犯及稍重大ナル事件ノ犯人ヲ逮捕シタルト
キハ記功以外ニ頭等賞金ヲ給シ(ロ)竊盜犯人ヲ逮捕シ贓物ヲ發覺シタルトキハ犯罪品ノ見積價格五
元以上ハ記功以外ニ一元同二十元以上ハ二元同五十元以上ハ四元ヲ賞與シ(ハ)常習竊盜犯其ノ他常
ニ惡事ヲ爲ス者ヲ逮捕シタルトキハ記功以外ニ二元ヲ賞與シ(ニ)火災ニ乘シ物品ヲ掠奪スル者ヲ逮
捕シタルトキハ四元ヲ賞與シ其ノ犯人カ罪狀重キ者ナルトキハ順ニ賞與額ヲ遞加スヘク(ホ)犯人ノ
贈餽ヲ受ケサルトキハ其ノ價格銀一元以上ハ一元同十元以上ハ二元同三十元以上ハ六元ヲ賞與シ
(ヘ)拾得シタル遺失物ヲ局署ニ差出シタルトキハ價格銀五元以上ハ一元同二十元以上ハ二元同五十
元以上ハ四元トシ五元以下ハ存記一次トス(ト)逃走シタル騾馬其ノ他ノ畜類ヲ拾獲シ所有者ヲシテ
引取ラシメタルトキハ一元ヲ賞給シ引取人ナキトキハ遺失物ノ例ニ照シテ賞與スヘキモ逃走騾馬
カ所有主ノ住所ヲ距ル半支里以内ニ在リタルモノナルトキハ賞與ヲ給セス(チ)賭博犯人ヲ逮捕シタ
ルトキハ二元ヲ賞與シ同十人以上ナルトキハ四元ヲ賞與シ(リ)屢逮捕ノ照會ニ接シタル犯人ヲ發覺
逮捕シタルトキハ記功以外ニ四元乃至六元ヲ賞與シ(ヌ)銀銅貨幣紙幣及爐ヲ開キテ貨幣ヲ私鑄スル

者ヲ逮捕シタルトキハ六元ヲ賞與シ(ル)偽造貨幣行使犯人ヲ逮捕シタルトキハ偽造貨幣ノ價五元以
下ハ存記一次トシ五元以上ハ一元同二十元以上ハ二元五十元以上ハ四元ヲ賞與スヘク(ヲ)印章私造
犯人ヲ逮捕シタルトキハ記功以外ニ賞與六元ヲ給シ(ワ)婦女小兒ノ誘拐犯人ヲ逮捕シタルトキハ記
功以外ニ二元ヲ賞與スルモノトス

五拔 升

拔升トハ拔擢升任セシムルヲ云ヒ(イ)才學素行ノ尋常ヲ超フル者(ロ)重大ナル事件ノ犯人若ハ同強盜
犯人ヲ逮捕シタル者(ハ)記大功三次ニ及ヒ又ハ頭等賞與三次若ハ二等賞與五次ニ達シタル者(ニ)奉職
二年ヲ經始終職務ニ勤奮スル者(ホ)事件ノ處理ニ當リテ非常ニ努力スル者等ニ對シテハ其ノ情狀ニ
依リ順ニ一級ヲ升シ又ハ數級ヲ超エテ升任セシメ若ハ即用候補等ノ法ニ依リ之ヲ升任セシムルモ
ノトス

第三項 處 罰

第一目 一般處罰規定

警察官吏ノ處罰ニ關シテハ各警察機關ノ組織又ハ警察事務ニ關スル規定中ニ散在スル罰則ノ外警
察官吏ノミニ適用スヘキ獨立ノ處罰規則アルヲ見ス此ヲ以テ該官吏ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ前
記各規定中ノ罰則ニ依ルモノノ外一般官吏ノ懲戒法タル糾彈條例(民國三年四月十日)糾彈法(七月三十
日公布法)文官懲戒委員會編制令(民國三年一月二十日)官吏犯罪特別管轄令(民國三年七月二十日)修正官吏犯
罪特別管轄令(民國三年十一月十一日)官吏犯罪治罪條例(民國三年六月五日)官吏犯罪治罪法執行令(民國三年
十一月十日)

二日公布教令(一四〇號) 官吏違令懲罰令(民國三年八月十九日) 知事懲戒條例(民國二年十二月三十日) 等ヲ適用シテ之ヲ處分スルモノト解スヘキカ如此ノ外奉天吉林二省警察官吏ノ處罰ニ對シテハ各警察機關ノ組織及職務ニ關スル規定中ニ之ヲ定メタルモ前既ニ説明シタルヲ以テ之ヲ省略シ單ニ奉天省巡警ニ對スル一般處罰法ヲ記述スルニ止ム

第二目 奉天省巡警ノ處罰

奉天省巡警暫行章程(五五號)ノ規定ニ依レハ奉天省内ノ巡警ニ對シテハ他ノ特別規定ニ依ルモノノ外本章程ニ照シテ處罰ヲ行フヘク該處罰ハ申斥、罰立正、記過、罰餉、降革、拘留等ノ方法ニ依リ之ヲ行フモノトス左ノ如シ

一 申斥

申斥ハ我カ譴責ニ相當シ(イ)職分中應盡ノ事務ヲ盡ス能ハス且ツ執務ニ當リ輕忽粗略ナル者(ロ)職分外ノ事務ヲ執リ完行スルコトヲ得ス且ツ品行上瑕疵多キ者等ニ對シ口頭又ハ文書ヲ以テ之ヲ行フモノトス

二 罰立正

罰立正トハ罰トシテ氣ヲ付ケノ姿勢ヲ執ラシムルヲ云ヒ(イ)上官ニ對シ定式ノ敬禮ヲ行ハサルトキ(ロ)執務ノ際頭ヲ垂レ他物ヲ玩弄スルトキ(ハ)佇立シテ店頭ノ貨物ヲ望ミ狀木偶ニ同シキ舉動アルトキ(ニ)深夜軍服着用ノ行人ニ遇ヒ暗號ヲ用キテ誰何セサルトキ(ホ)車馬行人交錯シテ通行スルニ當リ之ニ對シ説諭指揮ヲ爲ササルトキ(ヘ)暗夜ニ無燈ニテ疾走スル車馬ヲ阻止セサルトキ等ノ場合ニ於

テ時間ヲ限リ之ヲ罰スルモノトス

三 記過

記過トハ記功ノ反對ニ或ル過失ヲ記錄スルモノニシテ記過及記大過ノ二種ニ分タル即チ(イ)執務時間中ニ吃煙飲酒ヲ爲シ又ハ菓子ヲ買食シ竝ニ擅坐シテ他人ト閒談戲謔スル者(ロ)執務中携帯スヘキ物品ヲ携帯セサルトキ(ハ)行人道ヲ間フニ當リ實ヲ告ケサル者(ニ)交代休息時間ニ暇ヲ請ハスシテ外出スル者(ホ)規定ニ照シ線路ノ巡行ヲ爲ササルトキ(ヘ)形迹疑ハシキ者アルモ之ヲ詰問セサルトキ(ト)口實ヲ設ケテ請暇スルトキ(チ)執務中官給ノ制服ヲ着用セサルトキ(リ)請假期日ヲ逾フルモ歸來セサルコト三日以上ニ及ヒタルトキ等ニ對シテハ各記過一次トシ(ヌ)他人ノ口論鬭爭スルヲ見ナカラ之ヲ制止説諭セサルトキ(カ)長官ノ監督指揮ニ從ハサルトキ等ノ場合ニ於テハ各記大過一次トス而シテ館娼寮ニ到ルトキ(ラ)執務中他人ヲ呵罵シ無禮ノ言ヲ發シタルトキ等ハ何レモ記過二次トシ(ワ)婦女ト閒談戲謔スルトキ(カ)長官ノ監督指揮ニ從ハサルトキ等ノ場合ニ於テハ各記大過一次トス而シテ記過三次ニ及フトキハ記大過一次ト爲シ記大過三次ニ及フトキハ降革スヘク若シ記過後復タ記過スルトキハ互ニ相抵銷セシメ又賞與金ヲ受クヘキ者ニシテ記過ノ處分ヲ受ケタルトキハ記過一次ハ賞金三元ニ記大過一次ハ賞金九元ト相抵償セシムルモノトス

四 罰餉

罰餉トハ罰俸ニシテ巡警ハ一元巡長ハ二元ヲ最高限度トス而シテ(イ)故ナクシテ擅ニ監視地點ヲ離レタルトキ(ロ)執務中交代班員ノ到ルヲ俟タスシテ自室ニ歸リタルトキ(ハ)街上ニ於テ大小便ヲ爲シタルトキ(ニ)執務中私用ヲ辦シタルトキ等ノ場合ニ於テハ各罰餉五角トシ(ホ)執務中地上ニ坐シテ睡

眠シタルトキ(ニ)交代執務ノ番ニ當リテ交代セサルトキ(ト)私ニ人家ニ入りテ閑談シ職務ヲ勤メサルトキ(チ)或地所ニ火災アルヲ望見シナカラ急報セサルトキ等ノ場合ニ於テハ何レモ罰餉一元ニ處スルモノトス

五降革

降ハ原職ヨリ降シテ任用スルヲ云ヒ革ハ原職ヨリ革除(職免)スルヲ云フ即チ(イ)他人ノ禮金又ハ餽物ヲ受ケ情狀稍輕キトキ(ロ)夜ニ乘シ勤務地點ヲ去リ私ニ娼寮賭場ニ入りタルトキ(ハ)故ナクシテ他人ノ室ニ入りタルトキ(ニ)擅ニ人ヲ毆打シタルトキ(ホ)私ニ制服ヲ脱シ他人ヲ雇フテ代勤セシメタルトキ(ヘ)道路上ニテ遺失物ヲ拾得シナカラ之ヲ届出テス自ラ隱匿スルトキ(ト)婦女ヲ調笑スルトキ(チ)秘密事項ヲ洩シタルトキ(リ)竊盜犯人ヲ庇護シ自ラ釋放シタルトキ等ノ場合ニ於テハ其ノ輕重ニ依リ降用又ハ革職スヘキモノトス

六拘留

拘留ニ處スヘキ場合ハ(イ)口實ヲ設ケテ脱走シタルトキ(ロ)私ニ自ラ潛逃シタルトキ(ハ)公事ニ託シテ私用ヲ濟シ財物ヲ詐取シタルトキ(ニ)賊ニ通シテ贓ヲ分チタルトキ(ホ)賭局ヲ設ケタルトキ(ヘ)私ニ娼娼ヲ庇護シタルトキ(ト)財物ヲ吞費シタルトキ(チ)婦女幼孩ヲ姦淫拐帶シタルトキ(リ)制服ヲ穿テ擅ニ娼寮ニ宿スルトキ(ヌ)賄ヲ受ケテ私ニ犯人ヲ放チタルトキ等ニ該當スルトキニシテ何レモ犯罪ノ輕重ニ依リ拘留日數ヲ定ムヘク且ツ其ノ處分ニ當リテハ審判廳ニ交付シテ之ヲ執行セシムルモノトス

仍ホ右ノ外鴨渾兩江及遼河等ノ各水上警察局鐵路巡警機關等ニ於テハ別ニ賞罰規定ヲ定メアルモ

既ニ各該機關ノ組織及内容ヲ説明スルニ際シ併述シタルヲ以テ重複ヲ厭ヒ之ヲ省略ス

第九款 經費

奉天吉林二省ノ警察費ハ國庫ノ支辨ニ係ルモノト地方費ヲ以テスルモノ及各請願又ハ特設者ノ負擔ニ係ルモノトノ數種アリ而シテ國庫ヨリ支辨スル場合ニ於テハ全省警務處及水上警察局安奉鐵路巡警局等ノ經費カ全部國庫ノ支辨ニ係ル外各警察廳ノ費用ハ先ツ地方費ヲ以テ支辨シ不足アル場合ニ於テ國庫ヨリ殘額ヲ支給スルモノトシ各縣警察費用ハ各縣ノ費用ヲ以テ支出セシメ請願巡警ノ費用又ハ礦場警察費交通部直轄鐵路巡警費等ハ之ヲ請願若ハ特設シタル者ヨリ其ノ經費ヲ支給スルモノトセルカ如シ

第一項 收入

各警察機關ノ内國庫ノ支出金ヲ以テ唯一ノ收入ト爲スモノハ各豫算案ニ照シ規定ニ從テ之ヲ受領スルニ止マルヲ以テ之カ説明ヲ省略シ以下各警察廳及縣警察所等各管轄地方ノ住民ニ對シ警察費ノ負擔ヲ爲サシメ之ヲ徵收シテ收入ノ一部又ハ全部ト爲スモノニ付キ其ノ税目及徵收法等ヲ略記スヘシ

第一目 警察廳ノ收入

各警察廳ハ其ノ管轄地カ市街地ナル結果住民ニ商工業者多キヲ以テ各種ノ營業附加税ヲ課シ茲ニ

他ノ特別收入ヲ有シ不足額ニ對シテハ國庫ノ支給ヲ受ク而シテ其ノ税目及特別收入ノ種類ハ各地一ナラサルモ試ニ奉天及吉林各省會警察廳ニ於ケルモノヲ見ルニ奉天省城ニ在リテハ斗用捐秤捐舖捐菜市捐班捐妓捐戲捐樓捐女伶捐屠宰捐人力車捐等ノ附加税及罰金截曠(警察官吏中ニ缺員アリシ爲メ給料手當等ノ餘額ヲ生シタル)馬車公司證費馬車公司養路費等ノ特別收入アリ吉林省城ニ於テハ營業稅廟地捐戲捐妓捐屠宰捐等ノ附加税以外ニ地基租房租官金利息罰金截曠官馬賣却代金等(民國二年五月二十六號)ヲ以テ之ニ充ツルモノトセリ參考トシテ奉天省會警察廳民國四年度ノ收入額(國庫支給ヲ除ク)ヲ見ルニ左ノ如シ(奉天省廳民國四年統計)

種 目	收 入 額	種 目	收 入 額
斗 用 捐	一八七二六・〇〇	屠 宰 捐	四八、六四四・〇〇
秤 捐	四八八・〇〇	人 力 車 捐	二九三、一七〇・〇〇
舖 捐	九二、四六六・〇〇	罰 金	三〇〇、〇〇〇
菜 市 捐	一、一九七・〇〇	截 曠	四八九・〇〇
班 捐	八、九九〇・〇〇	馬 車 公 司 證 費	一、一〇〇
妓 捐	一七、三二五・〇〇	馬 車 公 司 養 路 費	二、四三四・〇〇
戲 捐	四、五五〇・〇〇	其 他 收 入	一〇、一二七・〇〇
樓 捐	九〇・〇〇	合 計	二、三五、二八五・〇〇
女 伶 捐	一三〇・〇〇		

右ノ外吉林省會警察廳ノ收入ニ歸スヘキ營業稅ノ内吉林商埠地ノ車捐徵收ニ關シテハ別ニ吉林省城商埠經收車捐章程ノ規定アルヲ以テ試ニ之ヲ譯述スヘシ即チ該規定ニ依レハ吉林省城商埠地ヲ

通過スル各種ノ車輛ヲ有スル者即チ車戸ハ毎月一日ヨリ五日迄ノ間ニ商埠事務所ニ赴キテ左ノ車捐ヲ完納シ捐票ヲ受領スヘク期限内ニ納付セス又ハ脱稅スル者ニ對シテハ吉林省城商埠經收車捐章程(參照第六)ニ依リテ處罰セラルルモノトス

- 一 花輪車 (箱馬車) 小洋七角 一人力車 同 三角
- 一 馬 車 同 七角 一手 車 同 二角
- 一 轎 車 同 四角

車戸ニシテ捐票ヲ遺失シタルトキハ其ノ旨商埠事務所ニ申告シ審査ノ上事實ナルトキハ處罰ヲ免セラルヘク若シ之ニ反シ脱稅ヲ圖リタル者ナルトキハ規定ノ車捐ノ外左ノ罰金ヲ科スルモノトス

(イ)花輪車馬車轎車ニ對シテハ各納附スヘキ車捐ノ二倍

(ロ)人力車及手車ニ在リテハ同一倍

警察廳埠務科ハ豫メ三聯罰照ヲ印刷シ罰金徵收ノ用ニ供スヘク三聯ノ内初聯ハ控トシ中聯ハ罰金ト共ニ警察廳ニ交付シ末聯ハ被罰車戸ニ下付スヘキモノトス又處罰セラルヘキ車戸ニシテ商埠事務所ノ檢舉ニ係ルトキハ警察廳ニ送リテ處罰セシメ警察官署ノ查獲セル者ナルトキハ該署ヨリ直接之ヲ處罰シ月末ニ於テ罰金及中聯ヲ警察廳ニ送付セシムヘシ

第二目 縣警察所ノ收入

縣警察所ノ管區ハ農耕地ニシテ農民多キヲ以テ概ネ土地ニ對スル附加稅ヲ以テ經費ノ大部分トシ外ニ多少ノ營業捐衛生捐違警罰金等アリ其ノ收入ノ多寡ヲ以テ縣内警察機關ノ設備ノ増減ヲ決定

ス其ノ稅率及徵收法ハ左ノ如シ
一稅率

縣警察經費ニ充ツル目的ヲ以テ土地ニ課スル附加稅ヲ畝捐地畝捐捐又ハ地畝ト稱ス該畝捐ノ内ニハ學校費ヲ含ムコトアルヲ以テ之ヲ警學費ト稱スルコトアリ其ノ徵收率ハ奉天省ニ在リテハ概ネ一年一畝ニ付小洋一角ヲ普通トシ特ニ洮南地方ニ於テハ一年十畝ニ付小洋四角ヲ課シ安東ハ一年一畝ニ付小洋一角二分ヲ徵ス吉林省ニ於テハ銅錢ヲ以テ稅率ヲ定ムルモノ及大小銀貨ヲ以テ之ヲ定ムルモノ等一ナラス最近同省ノ稅率ハ吉林縣ハ一年熟地十畝ニ付大洋三角山荒馬廠文報學田官莊等ノ地ハ其ノ半額トシ長春縣熟地同二角同賓縣同小洋三角五分トシ舒蘭縣ハ警學費及保衛團費ヲ合シ一年十畝ニ付小洋二角四分ヲ徵スルモノトセリ(民國五年六月二日吉林公報七六三號同五年五月二日吉林公報七五九號吉林縣警察各區代收捐捐簡章)要スルニ各縣多少其ノ率ヲ異ニシ殊ニ同一縣内ニ於テモ地目ノ異ナルニ從ヒ稅率ヲ一ニセザルヲ以テ詳ニ之ヲ言ヒ難キモ奉天省ニ於テハ一年一畝ニ付小洋一角内外吉林省ニ於テハ一年十畝ニ付小洋三角乃至四角内外ヲ課スルモノト見ハ大差ナカルヘシ此ノ外奉天省各縣警察費ノ收入ト爲ルヘキモノニ營業捐即チ房舖(家屋店舖稅)演劇娼妓車等ノ捐稅衛生捐(屠賦)及違警罰金贓物沒收賣却代金等アリト雖モ今其ノ徵收率及數額ヲ詳ニセス

二徵收法

(一)奉天省各縣ノ徵收法 奉天縣警察統一章程(參照第(二〇)條)ニ依レハ奉天省各縣警察費ノ徵收ニ關シテハ正稅ト共ニ併徵スルノ便宜アルモノハ之ヲ併徵セシメ然ラサルモノハ各縣署内ニ收捐處ヲ設ケ縣知事ヨリ適任者ヲ派シテ收捐事務ヲ經理セシムヘク之ニ對シ納捐者ハ自身又ハ知人ニ託シテ

收捐處ニ到リ規定ノ如ク完納スヘキモノトス而シテ其ノ納稅ニ用ウル貨幣ハ小銀圓(小銀)ヲ本位トシ銅元ヲ補助貨ト爲スヘキモノトス斯クシテ徵收シタル稅額ハ其ノ八割ヲ該縣ニ保存シ更ニ之ヲ十分シ九割ヲ警察經費ニ充テ殘リ一割ヲ積立テ確實ナル商店ニ利殖セシメ凶年ノ用ニ充テシム又其ノ徵收額ニ對シテハ地畝捐ニ在リテハ耕地ノ座落所有名義者地租徵收臺帳ヲ明查シ曉日鋤方單繩變繩等ノ耕地面積ノ單位ヲ換算シテ畝數ト爲シ一畝ニ對スル月割捐率及每月每年分ノ徵收額ヲ分算シ營業捐及衛生捐ニ在リテハ各稅目及每月每年ノ徵收額ヲ明ニシ各帳簿三册ヲ調製シ縣印ヲ押捺シ各一部宛ヲ收捐處警務處財政廳ニ分送シテ查閱セシムヘク若シ凶年ニ遭遇スルトキハ地畝捐ニ關シテハ縣知事ヨリ未納戶數ヲ明查シ奉天全省警務處ニ請ヒテ財政廳ト合議ノ上之カ免稅又ハ徵收猶豫ノ許可ヲ得サルヘカラス

(二)吉林縣ノ徵收法 吉林省各縣ノ警察費徵收法ニ關シテハ一定ノ規則ヲ得ル能ハサルヲ以テ以下

吉林縣警察各區代收捐捐暫行簡章(參照第(五六)條)ニ依リ同縣ニ於ケル徵收法ヲ記スヘシ

(一)徵收法及稅率 吉林縣ノ畝捐ハ各區(同分駐所及)ニ於テ代收シ其ノ徵收稅金ハ區長ニ於テ責任ヲ負フヘキモノトス而シテ徵收スヘキ警察費及學校費即チ警學捐ハ民國四年度分ハ新定徵收率ニ照シ熟地ハ每畝(十)大洋三角保衛團捐ハ熟地每畝大洋一角トシ普通熟地以外ノ山荒馬廠文報學田官莊等ノ土地ハ右ノ半額トシ財政廳ノ定ムル換算率ニ照シ銅錢ヲ以テ徵收セシメ民國三年分ノ未納稅捐ハ舊率ニ照シ普通熟地ハ每畝吉林銅錢二吊山荒馬廠其ノ他ノ土地ハ右ノ半額ヲ徵セシム又徵稅ノ際用フル所ノ捐票即チ受領證ハ縣公署内ノ徵收處ヨリ準備シ各區ヲシテ隨意ニ之ヲ受領使用セシムヘク納稅者ハ成ルヘク地租受領證ヲ持參シ之ニ依リテ納稅者

ノ姓名地積居住甲社旗社名ヲ示シ捐票ニ記入スルニ便ナラシムルヲ要シ收捐者モ捐票ノ記入ニ當リテハ地租受領證ニ據リテ必要事項ヲ記スヘク當該區又ハ分駐所ノ名ヲ濫記スルコトヲ得サルモノトス

(二)税金ノ交付 徴收シタル税銀ハ半月毎ニ縣公署ニ送致スヘク定日ヨリ五日以上ヲ遅レ又ハ私ニ流用スルコトヲ得ス税金ノ送附ニ當リテハ捐票ノ控ヲ添ヘテ對照ニ便ナラシムヘク使用殘リノ捐票アルトキハ之ヲ抹消スヘク又別ニ報告書ヲ作製シ各税額ヲ負擔スル土地ノ種類面積及徴收額ヲ詳記スルヲ要ス各區ニ於テ徴收シタル税金ニシテ縣公署ニ送達シタルトキハ其ノ都度該税金ノ百分ノ二ヲ手當トシテ各該徴收區所ニ分給スヘク此等ハ區長一人ニ於テ私セス徴税ニ關係セル巡長巡警ニモ分與スヘキモノトス但シ其ノ徴收ニ當リ規定ノ手續ヲ履マサルトキハ右ノ手當ノ支給ヲ停止セシムルモノトス

(三)賞罰 各區長カ税金ノ送附時期ヲ誤ラサルコト三回ナルトキハ其ノ都度記功一次トシ一期ノ決算期中誤謬ナカリシ者ハ記大功一次トス之ニ反シ税金ヲ私ニ留用シタルトキハ留用額五百吊マテハ記過一次同一千吊マテハ記大過一次トシ同五千吊ニ至ルトキハ免職ノ懲戒ニ附スヘク又送達時期ヲ遅ルルコト十日ナルトキハ毎回記過一次トシ其ノ遲滯度數三回ニ及フトキハ記大過一次トシ十五日ヲ遅ルルトキハ私ニ截留シタルモノト爲シテ論スヘク規定ノ税率以外ニ多額ヲ徴收シ又ハ他ニ小費ノ名目ヲ以テ手数料ヲ徴收シタルトキハ司法衙門ニ送致シテ處分セシムヘク尙ホ前述ノ記功ハ他ノ記過處分ヲ受ケタルトキ互ニ相抵價スルコトヲ得セシムルモノトス

第三目 保衛團ノ收入

次ニ補助警察機關タル保衛團ノ經費ハ地方保衛團條例第二十五條ノ規定ニ依レハ各地方毎ニ之ヲ徴收セシムルモノトセルカ奉天省ニ於テハ從來預警費トシテ警察費中ヨリ總額ノ五釐(千分ノ五)ヲ支出スルモノトセルヲ以テ依然之ヲ經常費トシテ使用シ不足ヲ生スルトキハ看青地糧即チ耕作物監視ニ要スル負擔及豫備巡警制度ニ照シ各住民中團丁ヲ出ス能ハサル者ニ對シ養丁費ヲ負擔セシメ又ハ地方ニ存スル公益費ノ負擔ヲ變シテ該經費ニ充テシムルモノトシ其ノ各費ヨリ分割スヘキ數額及徴收率ニ關シテハ總監督ヨリ道尹ヲ經巡按使ノ認可ヲ得ルヲ要シ且ツ毎月之カ收支表ヲ提出スヘキモノトシタリ即チ奉天省ニ於ケル保衛團ノ經費ハ(イ)警察費ヨリ支出スヘキ五釐經費(ロ)看青地糧(ハ)養丁費ノ三ヨリ成ルモノトス

一 奉天省

(一)警察費ヨリ支出スヘキモノ 警察費トシテ徴收シタル數額ノ五釐即チ千分ノ五ヲ保衛團費ニ充テシム

(二)看青地糧 各村民ノ耕作物監視ニ要スル共同入費ノ負擔額ハ各地方一ナラスシテ或ハ耕地一日地毎ニ一年高粱四五升ヲ負擔シ又ハ銀貨ニ換算負擔スル者アルモ保衛團設置後ハ看青事務ハ保

衛團ヲシテ之ニ當ラシムルト共ニ他ニ保衛團經費ノ財源ナク又ハ之カ不足ヲ生スルトキハ該負擔ヲ變シテ公費ト爲シ且ツ小銀貨ヲ以テ徵收スルコトニ改メ毎年地一畝ニ付小洋四分ヲ超エサル範圍ニ於テ之ヲ徵收シ若シ土地ノ面積ニ對シ畝ヲ單位トセス日ヲ單位トスルトキハ六畝ヲ一日トシテ計算シ一日ニ付小洋二角四分以下ヲ徵セシム

(三)養丁費 舊來豫備巡警ヲ設置シタルトキ奉天省ニ於テハ財產アル道教及佛教ノ寺廟農民商舖等ノ壯丁ヲ出スコト能ハサル者ニ對シテハ養警費ノ名目ヲ以テ一種ノ負擔ヲ爲サシメタルニ依リ保衛團設置以後ハ之ヲ改メテ養丁費ト爲シ左ノ等級ニ依リテ負擔ヲ爲サシメ見積財產一千元以下ノ者ニ在リテハ其ノ負擔ヲ免スルモノトセリ即チ見積財產一萬元ヲ有スル者ハ上等トシ毎月三元ヲ負擔セシメ一萬元ヲ超フル者ニ在リテハ右ノ率ニ依リ遞加セシメ見積財產七千元以上ノ者ハ上等トシ毎月二元五角同五千元以上ノ者ハ中等トシ毎月二元同三千元以上ノ者ハ中下等トシ毎月一元五角同一千元以上ノ者ハ下等トシ毎月一元ヲ徵收スルモノトス(參照第(三)四第)

二吉林省

吉林省ニ於ケル保衛團經費ハ勸捐ヲ以テ之ニ充テ地一畝(十畝)ニ付小洋五分以上一角五分以下トシ地租ト共ニ徵收シ完納者ニハ收據ヲ交付セシムルヲ普通トス(參照第(三)六第)

第一項 支出

警察經費ノ支出ハ警察機關ノ大小及管轄事務ノ多寡ニ依リテ異同アルヘキハ勿論ナリ然レトモ該經費ノ内最モ多額ノ支出ヲ要スルハ各機關ヲ通シテ警察官吏ノ俸給手當ニシテ服裝費之ニ次クモ

ノノ如シ唯奉天吉林二省ニ於ケル警察機關ノ經費支出狀況ハ之ヲ詳知スルヲ得サルヲ以テ單ニ奉天省會警察廳民國四年度ノ支出費目及支出額ヲ記シ竝ニ奉天各縣警察經費ノ支出規定及各警察官吏ノ俸給額等既明ノ分ヲ示シテ參考ニ資スヘシ

第一目 奉天省會警察廳支出

奉天省會警察廳民國四年度統計ニ依レハ同年度ニ於ケル該廳ノ支出費目及支出額ハ左ノ如シ

費目	支出額	費目	支出額
俸給(巡官以上)	六八、〇四〇・〇〇	消耗	一一、二〇九・〇〇
工賃(工事費)	二八、七二〇・〇〇	服裝	三四、〇〇〇・〇〇
餉項(巡長巡警俸給手當)	一三八、一三五・六〇	賞恤	五、六四〇・〇〇
馬料	九、三九一・二〇	修繕	三九、九六〇・〇〇
文具	六、六九〇・〇〇	雜支	一〇、四四八・四〇
郵電(通信費)	三、四二六・〇〇	合計	三五九、九〇〇・二〇
購置(備用品)	三、二四〇・〇〇		

第二目 奉天省各縣警察所ノ支出

奉天縣警察統一章程(參照第(二)〇第)ニ依レハ奉天省各縣内ニ於ケル警察費ハ警察事務ニ關スル費用ヲ要スル場合ニノミ之ヲ支出スルモノトシ普通其ノ費目ヲ分チテ警察官吏ノ俸給及公費同待遇者タル巡

爲スニ當リ特ニ多額ノ警察經費ヲ要スルトキハ警察所長ヨリ縣知事ヲ經營務處ニ其ノ旨ヲ報告シテ指令ヲ受クヘキモノトス

第三目 警察官吏ノ俸給實額

奉天吉林省ニ於ケル警察官吏ノ俸給實額ハ前述奉天縣警察統一章程ノ規定ニ依ルモノノ外四五ノ官廳ニ就キ調査シタルモ多ク自己ノ體面ヲ飾ラントシ當該官吏中其ノ實ヲ告クルコトヲ厭ヒシ者アリシ爲メ信用スルニ足ルモノ少シト雖モ參考トシテ既知ノ分ニ就キ之ヲ表示スルトキハ次ノ如シ

官職	等級	全省警務處長		全省警務處		警察廳長		警察廳長		警察廳長		警察廳長		警察廳長		警察廳長		警察廳長		警察廳長	
		奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省
總務科長	一等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
行政科長	二等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
司法科長	三等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
衛生科長	一等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
警察廳長	一等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
警察廳長	二等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
警察廳長	三等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇

官職	等級	全省警務處長		全省警務處		警察廳長		警察廳長		警察廳長		警察廳長		警察廳長		警察廳長		警察廳長		警察廳長	
		奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省	奉天全省吉林全省
總務科長	一等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
行政科長	二等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
司法科長	三等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
衛生科長	一等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
警察廳長	一等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
警察廳長	二等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
警察廳長	三等科員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇

又吉林省ノ保衛團丁ニハ食料手當ヲ給セサルモ冬季及夏季約八箇月ノ召集期ニハ相當ノ食費ヲ支給シ盜賊討伐ノ爲メ他地方ニ出動スルトキハ團總ヨリ縣知事ニ其ノ旅費ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス(參照第三六)

第三項 官店ノ制度

警察官吏中下級警察官吏ノ給料手當ハ一般ニ少額ニシテ其ノ出張等ニ際シテモ普通ノ旅店ニ於テ比較的多額ノ宿泊料ヲ支拂フ能ハス若シ旅店カ其ノ少額ナル支拂金ニ應ジテ他ノ客ニ比シ取扱ヲ異ニスルトキハ彼等ノ感情ヲ害シ種々ノ亂暴ヲ受ケ之ヲ厚待スルトキハ旅店ニ缺損ヲ生スヘク何レニスルモ旅店業者ノ迷惑ヲ受クルコト少カラサルヲ以テ吉林省長春嶺樺甸等ノ各縣ニ於テハ官吏商人合議ノ上官店ナル一種ノ旅店ヲ設ケ低廉ナル宿料ヲ以テ專ラ軍人又ハ警察官吏等ノ宿泊ニ便ナラシムルノ方針ヲ取レリ以下之ヲ分記スヘシ

第一目 長春官店

(一)經營法 長春ニ於ケル官店ハ長春駐在陸軍長官ノ監督經營ニ係リ專ラ吉林省内又ハ鄰省間ニ往來スル陸軍軍人及巡警等カ長春通過ノ際投宿又ハ晝食スルノ用ニ供スルヲ目的トシ特別大部隊ノ宿泊スル場合ヲ除キ官店開業後ハ軍人及巡警等ハ他ノ旅店糧棧ニ宿泊スルコトヲ得サルモノトス而シテ該官店用ノ家屋及敷地ハ稍廣大ナルヲ要シ其ノ開店ニ要スル器具亦之ヲ備ヘ附ケタル上官店ノ經營者ニ引渡シ經營セシムルモノニシテ其ノ借家料修繕費開店費及器具費等ハ共ニ

該地旅店業者ノ負擔トシ竝ニ開店後ハ同地商務會及旅店業者ヨリ毎月二千五百吊ノ經營費ヲ補助スルモノトス又該旅店業者ハ旅店經營ニ熟練ナル者一人ヲ公舉シ官店ヨリ給金ヲ支出シテ官店ノ業務ヲ補助セシムヘク嗣後軍隊ニ於テ車輛其ノ他ノ物資ヲ要スルトキハ其ノ所要品目ヲ詳記シ市場ノ價格ニ照シ官店ヨリ地方官ヲ經テ之ヲ代買又ハ雇用セシムヘク軍人警官各自直接ニ之ヲ徵發スルコトヲ得サラシメ以テ商業ノ保護ニ資スヘク其ノ他開店後ハ前述二千五百吊ノ月額補助費ノ外店內ノ損失及利益ニ關シテハ商務會及旅店業者ハ一切之ニ干涉セサルモノトス

(二)宿泊 何省ノ者タルヲ問ハス各種軍人巡警等ニシテ制服ヲ著用シ公務ニ依リテ長春ニ到リタル者ハ官店ニ宿泊スルコトヲ得ヘク其ノ他ノ人民ハ一切之ヲ止宿セシメサルモノトス又官店ニ對シテハ地方ノ軍紀ヲ維持スル爲メ該地混成旅ヨリ官長目兵ヲ派遣シ店內ニ在リテ稽查ノ任ニ當ラシムルト共ニ店務ヲ執ラシムヘク宿泊者ハ各自ニ店簿ニ所屬隊名姓名用務等ヲ明記スヘク若シ數日間滞在シ外出スル者ハ其ノ外出ノ都度行先地ヲ告クルヲ要ス次ニ店内ノ使用人ニシテ宿泊者ニ對シ不都合ノ所爲アルトキハ長官又ハ店內經理人ニ之カ處分ヲ求ムヘク宿泊者亦店規ヲ守リ故ナクシテ騷擾スルコトヲ得サラシム宿泊者ニシテ故意ニ騷擾スルトキハ店內稽查ノ任ニ當ル官兵ヨリ該宿泊者ヲ混成旅執法官又ハ當該所屬長官ニ送致處分セシメ店內ノ器具ヲ毀損シタルトキハ之ヲ賠償セシムルモノトス

(三)食事及宿料 官店ニ於テハ毎日二食米飯熟菜トシ酒肉ヲ供ヘス滞在久シキ者ハ一定ノ時間以外ニハ食事ヲ爲スコトヲ得サルモ臨時往來ノ者ニ在リテハ何時ニテモ之ヲ爲スヘク宿料ハ當分一人一泊ニ付吉錢三百八十文トシ晝食ハ一回同三百二十文トス上官ニシテ別ニ榮ヲ註文シ又ハ料

理店ヨリ食物ヲ購入スル者ハ其ノ便ニ任スヘク又店內ニ於テ食事ヲ爲ササル者ニ對シテハ飯代ノ支拂ヲ要求セス馬匹ヲ有スル者ニ對シテハ晝間ハ一頭毎ニ草代百文夜間同二百文ヲ要求シ其ノ他ノ飼料ハ各自ニ現金ヲ以テ市内ヨリ購入スヘク掛買ヲ許サス若シ掛買ヲ爲シタルトキハ當該所屬長官ヲシテ之ヲ支拂ハシムヘキモノトス(以上參照第五七ノ一及二)

第二目 長嶺官店

(一)經營法 長嶺ニ於ケル官店モ長春ニ於ケルモノト同シク各商店及旅店業者カ宿泊軍人及巡警等ノ騷擾ヲ受クルヲ避ケンカ爲メ各店舗ヨリ之カ設置ヲ發議シ民國二年十一月王富ヲシテ經理人トシ之ヲ開業セシメ名ケテ長嶺官店ト稱セリ其ノ經費ハ毎月各商店ヨリ負擔スルモノニシテ普通店舗ノ負擔スヘキモノハ商務分會ヨリ集金シ旅店業者ノ負擔スヘキ分ハ東生店同升店ヨリ集金ノ上毎月官店ニ交付スヘク商店中之カ負擔ヲ拒ミ又ハ成規ノ破毀ヲ企ツル者アルトキハ其ノ餘ノ各商店合議ノ上制裁ヲ加フルモノトス又官店ノ經營困難ト爲リ若ハ經理人之ニ當ルヲ欲セサルトキハ別ニ經費支出ノ途ヲ講シ經理人ニシテ辭意ヲ有スルトキハ他人ヲ以テ之ニ代ヘシムルモノトス

(二)宿泊 官店開業後ハ長嶺ニ往來宿泊スル軍人及警察官吏ハ必ス該官店ニ於テ晝食又ハ宿泊シ一般民家商店又ハ普通ノ旅店ニ到ルコトナカラシムヘク只大部隊ノ軍隊ニシテ官店ニ收容スル能ハサルトキハ官店經理人ヨリ他ノ旅店又ハ商店ニ照會シテ宿泊セシムルモノトス又店内ノ使用人ハ經理人ノ監督ニ歸セシメ若シ宿泊者ニ不都合ノ所爲アルトキハ經理人ヨリ之ヲ責罰スヘク

投宿兵士亦故ナク騷擾スルコトヲ得ス

(三)食事及宿料 官店ニ於テハ毎日二食一回ハ米飯一回ハ麵トシ熱菜ヲ添ヘ酒肉ヲ供セス滞在久シキトキハ一定ノ時間ニ食事ヲ爲サシメ其ノ他ハ臨時ニ之ヲ用意スルモノトシ宿料ハ一人一泊三百八十文晝食三百二十文トス各長官等カ客飯(料理物ヲ添ヘテ)ヲ要スルトキハ普通客ニ準シテ其ノ代價ヲ要求スヘク馬匹ヲ有スル者ニハ晝間ハ草代百文夜間ハ同二百文ヲ支拂ハシメ其ノ他ノ飼料ハ市價ニ照シ現金ヲ以テ購入セシム(參照第五八)

第三目 樺甸官店

樺甸縣ニ於テモ軍人巡警ノ宿泊ニ當リ商家トノ間ニ種々ノ衝突ヲ起シ其ノ煩累ニ堪ヘサル爲メ樺甸縣知事ト工兵營長ト合議ノ上匯川棧官店ヲ開設シ左ノ如ク宿泊セシムルモノトセリ

(一)宿泊 軍人巡警保衛團丁等ニシテ公務ニ依リ樺甸縣街ニ到リ宿泊又ハ晝食ヲ要スルトキハ匯川棧ニ於テ之ヲ爲スヘク其ノ際軍人ニ在リテハ先ツ街上ノ兵營ニ到リ巡警ハ同警察所ニ保衛團丁ハ縣公署ニ出頭シ各姓名ヲ通告シテ一定ノ執照ヲ受領シ左ノ官店ニ投宿スルヲ要シ執照ナキ者ニシテ宿泊ヲ強要スルトキハ官署ニ於テ之ヲ處分スヘキモノトス即チ其ノ執照ノ形式ヲ示ストキハ左ノ如シ

執	據	區警隊	名
因公來縣住店給此爲證			
民國 年 月 日			
照	權甸縣	公署	陸軍營

(二) 食事及宿料 食事ハ朝食ハ白麵晚食ハ米飯トシ菜ハ一人ニ付二皿及汁一碗ヲ供スヘク宿料ハ一人一泊一吊二百文トシ馬匹ヲ有スル者ハ草代ヲ合シ一泊一吊五百文トス其ノ他ノ飼料ハ各自之ヲ用意セシメ又晝食ノミナルトキハ各宿料ノ半額ヲ支拂ハシムルモノトス(參照第五九條)

第三章 警察法

警察機關カ行政警察機關及司法警察機關ニ大別セラレ行政警察機關カ保安警察機關及特種行政警察機關ニ分レ更ニ保安警察機關カ高等保安警察機關及普通保安警察機關ニ小分セラルヘキハ前既ニ之ヲ述ヘタリ而シテ右ノ分類ハ單ニ各警察機關ニ對シテ行フノミナラス此等ノ機關カ各設置ノ目的ヲ達スルカ爲メニ適用スヘキ警察法規ニ關シテモ亦右ニ準シテ區別スルコトヲ得ヘシ即チ支那ニ於ケル各種ノ警察取締法モ說明ノ便宜上主トシテ前述各機關ノ分類ニ仿ヒ行政警察及司法警

察ノ二種ニ大別シ行政警察ニ關スルモノハ更ニ高等保安警察及普通保安警察ノ二ニ分チ高等保安警察ニ關シテハ集會結社出版等ノ取締法ヲ說明シ普通保安警察ノ部ニテハ危險物風俗衛生營業交通ニ關スル取締法ヲ分說シ順ヲ逐ウテ司法警察其ノ他ニ關スル取締法規ヲ記述スヘシ

第一節 行政警察

第一款 高等保安警察

高等保安警察ハ又高等警察トモ稱シ公共ノ秩序ニ對スル危害ノ原動力アルニ當リ之ヲ除却シテ危害ノ發生ヲ防止スルヲ目的トス之カ現行法ハ支那ニ於テハ民國三年三月二日公布ノ治安警察條例(參照第六〇條)及同年十二月公布ノ出版法(參照第六一)等ヲ主ナルモノトシ報紙條例ハ同年四月二日敕令第四十三號ヲ以テ公布セラレタルモ民國五年七月ニ至リ之ヲ廢止シタリ以下右ノ現行法其ノ他ニ就キ集會結社噓集出版等ニ關スル取締法ヲ說明スヘシ

第一項 集會及結社

支那ニ於テ古來朋黨ノ爭甚シカリシハ歷史ノ證スル所ナリ此等ノ朋黨ハ概ネ政治ニ關スル一種ノ結社ニ外ナラス個人トシテ薄弱ナル支那人ハ常ニ黨ヲ組ミ會ヲ結ヒテ天下ニ呼號シ動モスレハ國家ヲ顛覆シ其ノ主權ヲ掌握シ所謂負タレハ賊トナリ勝テハ官ト爲ルノ實例ヲ示スモノ多シ大ニシテハ近ク清朝カ長白山中ヨリ興起シ同族ヲ率ヒテ明ヲ亡シ其ノ主權ヲ奪ヒタルカ如キ革命黨カ同

志ヲ糾合シテ清朝ヲ覆ヘシ中華民國ヲ創立シタルカ如キ小ニシテハ三藩ノ亂賊長髮賊及所在ニ潛勢力ヲ有スル哥老會大刀會若ハ最近ニ於ケル宗社黨ノ如キ其ノ適例ナラサルナシ此ノ外商業ニ關シテハ同業者ノ結合ニ係ル公所アリ同郷人ノ結社タル幫又ハ會館アリ同志ノ結社タル商務會其ノ他各種ノ商事會社アリ然レトモ警察機關ノ取締ヲ要スルモノハ主トシテ政治上ノ結社又ハ集會ニシテ商事ニ關スルモノハ必スシモ其ノ取締ヲ要スルモノニ非ス又政治上ノ結社及集會ニ在リテモ國會ノ如キ省議會自治會ノ如キハ警察ノ支配ヲ受クルモノニアラス要スルニ警察ノ取締ヲ受クル政治上ノ結社又ハ集會ハ政治上ノ秩序ニ危害ヲ及ホサントスルモノナラサルヘカラス政治以外ノ集會結社ニ在リテモ地方ノ安寧秩序ヲ紊サントスルモノニ對シテハ警察機關ハ職權上之ヲ取締ルヘキハ當然ナリ

第一目 集會

集會ハ屋内集會及屋外集會ノ二ト爲スヘキモ支那ニ於ケル民國三年三月二日公布治安警察條例(參照第六)ニハ屋外集會ナル文字ニ對シ別ニ屋内集會ナル文字ヲ使用セスシテ集會又ハ政談集會ナル語ヲ用キタリ左ノ如シ

一 政談集會

政談集會ヲ開催スルトキハ集會十二時間前ニ發起人ノ名ヲ以テ開會ノ場所及年月日時ヲ會場所在地ノ所轄警察官署ニ届出ツルヲ要ス但シ一旦届出ヲ爲シタル後豫定ノ日時ニ開會セサルトキハ其ノ届出ハ無効トス又公共事務ニ關スル集會ニシテ政治ニ關係ナキモノト雖モ地方ノ安寧秩序ヲ維

持スル爲メ必要ト認ムルトキハ行政官署ハ命令ヲ以テ右ノ届出ヲ爲サシムルヲ得ルモノトス而シテ政談集會ニ在リテハ(イ)公權ヲ褫奪セラレ未タ復權セサル者(ロ)未成年者(ハ)女子(ニ)陸海軍軍人(ホ)警察官吏(ヘ)僧侶道士及其ノ他ノ宗教傳道師(ト)小學校教員(チ)學生等ヲ加入セシムルヲ得サルモノトシ且ツ集會カ左ノ事項ニ該當スルトキハ警察官吏ハ其ノ講演ヲ中止セシメ又ハ之カ解散ヲ命スルコトヲ得ルモノトセリ但シ法令ニ依リ組織スル議會ノ議員カ選舉準備ノ爲メ會合シ又ハ選舉人被選舉人カ投票五十日前ニ集會スル場合ハ本規定ノ適用ヨリ除外セララルモノトス

(一)集會ノ講演議論カ未タ公判ヲ經サル刑法上ノ犯罪事件又ハ傍聽ヲ禁止シタル訴訟事件ニ言及スルモノ

(ロ)集會ノ講演議論カ犯罪人ヲ曲庇又ハ煽動シ若ハ犯罪人及刑事被告人ヲ賞讃辯護セントシ或ハ刑事被告人ヲ陷害スル場合

(ハ)集會ノ講演議論カ地方ノ安寧秩序ヲ亂シ或ハ善良ナル風俗ヲ妨クル虞アル場合

二 屋外集會

婚姻喪葬賀會祭祀宣講所學校學生ノ體操運動其ノ他慣例アルモノノ外屋外集會又ハ公衆ノ運動遊戯ヲ爲ストキハ集會二十四時間前ニ發起人ノ名ヲ以テ(イ)集會ノ場所(ロ)開會年月日時(ハ)通過道路ヲ集會地所轄警察官署ニ届出ツルヲ要ス而シテ此等屋外集會及公衆ノ運動遊戯若ハ群集カ(イ)公共ノ安寧秩序ヲ亂スノ虞アリ又ハ(ロ)善良ナル風俗ヲ害スル虞アルトキハ警察官吏ハ之ヲ制限禁止又ハ解散スルコトヲ得ルモノトス

此ノ外政談集會及屋外集會ニ在リテハ何レノ場合ヲ問ハス警察官吏ヨリ詢問ヲ爲ストキハ發起人

ハ其ノ實狀ヲ答申スルヲ要シ政談集會ノ開會ニ當リ又ハ政治ニ關係セサル集會屋外集合公衆ノ連動遊戯ニ在リテモ安寧秩序ノ維持上必要ト認ムルトキハ警察官署ハ制服ヲ着用セル警察官吏ヲ派遣スルヲ得又此ノ場合ニハ發起人ニ對シ臨檢ニ要スル警察官吏座席ノ設備ヲ要求スルコトヲ得ヘシ而シテ集會ノ會場及屋外集合又ハ公衆運動遊戯ノ場所ニ於テ故意ニ喧嘩騷擾ヲ爲シ舉動狂暴ニ涉ル者アルトキハ警察官吏ハ之ヲ制止スルヲ得服セサルトキハ即時ニ之ヲ退出セシムルヲ得ルモノトス

三處 罰

- (一)政談集會ニ在リテ(イ)發起人カ規定ノ届出ヲ爲ササルトキハ二十元以下ノ罰金ニ處シ(ロ)不實ノ旨ヲ届出テタルトキハ罰金三十元以下ヲ科シ(ハ)政治ニ涉ラサル公共事務ニ關スル集會ニシテ届出ノ命ニ應セサルトキハ十元以下ノ罰金ニ處シ(ニ)届出不實ノモノハ十五元以下ノ罰金ニ處セラルヘシ(ホ)集會ニ加入スルコトヲ禁止セラレタル者ヲ加入セシメタルトキハ發起人ニハ罰金十五元以下加入者ニハ同十元以下ヲ科シ(ヘ)集會ノ中止解散ノ命ニ應セサル者ニハ五箇月以下ノ徒刑又ハ十元以上五十元以下ノ罰金ヲ科ス
- (二)屋外集合ノ場合ニ在リテ(イ)規定ノ届出ヲ爲ササルトキハ十元以下ノ罰金ニ處シ(ロ)届出不實ナルトキハ十五元以下ノ罰金ニ處ス集合運動遊戯ニ對スル制限禁止又ハ解散ノ命ニ應セサル者ニ對シテハ二十日以下ノ拘留及二十元以下ノ罰金ヲ併科ス
- (三)政談集會及屋外集合ノ孰レヲ問ハス(イ)警察官ノ詢問ニ對シ答申ヲ爲サス又ハ不實ノ答申ヲ爲シ若ハ警官ノ臨檢及臨檢ニ要スル座席ノ要求ヲ拒絕シタルトキハ共ニ三十元以下ノ罰金ニ處シ(ロ)

集合場所ヨリ退出ヲ命セラレタル者ニシテ其ノ命ニ應セサルトキハ十日以下ノ拘留又ハ十元以下ノ處罰ニ處ス

此ノ内拘留及罰金四十元以下ノ處分ニ關シテハ警察官署長官若ハ其ノ代理官吏之ヲ即決スルコトヲ得ルモノトシ本項ノ處分ニ對スル公訴ノ時効ヲ六箇月ト定メタリ

第一目 結 社

民國三年三月二日公布ノ治安警察條例(參照第六〇條)ノ規定ニ遵ヘハ政治ニ關スル結社ハ其ノ本部又ハ支部ヲ組織シタル日ヨリ三日以内ニ主任者ノ名義ヲ以テ本部又ハ支部所在地ノ管轄警察官署ニ對シ(イ)結社ノ名稱(ロ)規約(ハ)事務所ノ所在地ヲ届出ツルコトヲ要ス政治ニ關係ナキ公共事務ニ關スル結社ト雖モ行政官署カ公共ノ安寧秩序ヲ維持スル爲メ必要ト認ムルトキハ命令ヲ以テ右ノ届出ヲ爲サシムルコトヲ得但シ法令ニ依リテ組織セル議會ノ議員カ議事ヲ準備スル爲メニスル團結ハ右ノ規定ヲ適用セス又政治上ノ結社ニ在リテハ左ノ各項ニ該當スル者ヲ入社セシムルコトヲ得サルモノトス

- (イ)公權ヲ褫奪セラレ未タ復權セサル者
- (ロ)未成年者
- (ニ)陸海軍軍人
- (ハ)女 子
- (ホ)警察官吏
- (ヘ)僧侶道士及其ノ他ノ宗教教師
- (ト)小學校教員
- (チ)學 生

次ニ結社ニシテ左ノ各項ニ該當スルモノアルトキハ行政官署ハ之カ解散ヲ命スヘキモノトス

- (イ) 結社ノ宗旨カ公共ノ安寧秩序ヲ擾亂スル虞アルモノ
- (ロ) 結社ノ宗旨カ善良ナル風俗ヲ妨害スル虞アルモノ
- (ハ) 其ノ他ノ秘密結社

右ノ内秘密結社トハ政府ニ對シ其ノ存在組織及結社ノ目的ヲ秘密ニスル結社ヲ云フモノニシテ最近ニ於ケル宗社黨ノ如キ若ハ山東河南直隸ニ在ル青帮紅帮(奉天公報七月九日)數年前ニ張繼李烈鈞等ノ組織セル急進社(吉林公報四月一號)ノ如キニ對シテハ之ヲ秘密結社ト看做シ一時尤モ其ノ取締ヲ嚴ニセンコトヲ訓令シ殊ニ近世行ハルル貧富ノ懸隔ヲ打破シテ共產制ヲ實行シ社會ニ於ケル貴賤ノ階級ヲ平等ニシ婦女ヲ共有シ國家家庭宗教等ノ界限ヲ除却セントスル極端ナル社會主義者ノ團體ハ社會黨ナル名稱ノ下ニ上海附近ニ本部ヲ有シ各地ニ同志ヲ勸誘シタルカ支那政府ハ之ヲ以テ萬國ノ公敵ニシテ現在ノ秩序ヲ破壞シ人倫ノ大道ヲ滅却シ風教ニ大害アルモノト爲シ民國元年十二月令ヲ下シ嗣後各警察官吏ハ嚴密ニ之ヲ取締ルヘキヲ命シタリ(奉天公報二月六日)其ノ他東三省到ル處ニ存在スル馬賊ハ普通強盜團ト看做スヘキモノナルモ機會アレハ政治ニ關スル秘密結社ト聯絡ヲ取リテ行動スルコトアリ之カ鎮壓ニ對シテハ當局ノ苦心スル所ナルカ如シ即チ前述治安警察條例ノ公布アルヤ奉天省巡按使ハ民國三年八月七日附ヲ以テ内務部ノ訓令ニ基キ嗣後政治結社ニシテ安寧秩序ヲ紊亂シ善良ナル風俗ヲ妨害スル虞アル者アルトキハ之ヲ解散シ公益ニ關スル結社ニ對シテモ其ノ内容ヲ詳ニ調査シ以テ不逞ノ徒カ普通結社ノ名ヲ標榜シ暗ニ匪徒ニ聯絡スルノ計ヲ爲スノ途ヲ杜絶スヘク且ツ各行政官ハ責任ヲ負フテ此等ノ結社ヲ取締リ新設結社ノ如キハ毎月之ヲ内務部ニ報告スヘキ旨ヲ嚴達スルニ至レリ(奉天公報八月二十日)

仍ホ治安警察條例ノ規定ニ依レハ取締ヲ受クヘキ前述ノ政治結社ニシテ(イ)規定ニ從ヒ届出ヲ爲ササルトキハ三十元以下ノ罰金ニ處シ(ロ)届出不實ナルトキハ四十元以下ノ罰金ヲ科シ(ハ)政治ニ關係ナキ結社ト雖モ届出ノ命ニ應セサルトキハ罰金十五元以下ヲ科シ(ニ)届出不實ナルトキハ同二十元以下ヲ科スヘク(ホ)其ノ他結社ニ加入スルコトヲ禁セラレタル者ヲ加入セシメタルトキハ加入シタル者及加入セシメタル者共ニ各二十元以下ノ罰金ニ處シ(ヘ)解散ヲ命セラレタル結社ニ加入スル者ハ一年以下ノ徒刑ニ處スルモノトス而シテ此ノ内四十元以下ノ罰金ニ對シテハ警察官署長官又ハ其ノ代理官吏ヨリ之ヲ即決スルヲ得ヘク其ノ處分ニ對スル公訴ノ時効ハ六箇月ト爲セリ

第二目 嘯集

同シク群衆ノ會合ナリト雖モ何等一定ノ事項ニ對スル講演議論ヲ目的トセス又ハ共同ノ動作ヲ爲スニ非サル者ニ對シテハ集會又ハ屋外集合ノ場合ニ對スル規定ヲ適用スルハ妥當ニ非ス又群衆ニ非サルモ長時間多數人民ノ耳目ニ觸レシメ人心ヲ惑亂セシムル個人ノ行動ノ如キハ群衆ニ對スル煽動ト同シク危險ナル勢力ヲ現出スルノ虞アリ殊ニ近年各地市場ニ行ハルル勞働者ノ同盟罷工又ハ商人ノ非賣同盟ノ如キ其ノ經濟上ニ及ホス害毒ハ實ニ想像ニ堪ヘサルモノアリ此等ニ對シテハ支那ニ於テモ其ノ弊ヲ認メ治安警察條例第二十一條第二十二條ニ於テ之カ取締ニ關スル規定ヲ置キタリ

一大道ニ於ケル言論及廣告ノ取締

大道通衢其ノ他公衆ノ群居往來スル場所ニ於テ文書圖畫ヲ朗讀貼布又ハ散布シ若ハ其ノ他ノ言語

形容ヲ以テ地方ノ安寧秩序ヲ亂サントシ又ハ善良ナル風俗ヲ害セントスル者アルトキハ警察官吏ハ其ノ行爲ヲ禁止シ竝ニ印寫物品ヲ差押フルコトヲ得其ノ禁止命令ニ服セサル者ニ對シテハ警察官署長官又ハ其ノ代理官吏ハ犯人ヲ二十日以下ノ拘留ニ處シ二十元以下ノ罰金ヲ併科スヘキモノトス

二 勞働者及職工ノ嘯集ニ對スル取締

勞働者及其ノ他ノ職工ニシテ(イ)同盟解雇ノ勸誘又ハ煽動(ロ)同盟罷業(ハ)報酬ノ強請(ニ)安寧秩序ノ紊亂(ホ)善良ナル風俗ノ妨害等ヲ目的トスル勸誘又ハ煽動ヲ爲ス情狀アルトキハ警察官吏ハ此等ノ嘯集ヲ禁止スルコトヲ得ルモノトス若シ其ノ禁止命令ニ從ハサルトキハ犯人ヲ五箇月以下ノ徒刑又ハ五十元以上五十元以下ノ罰金ニ處スヘク四十元以下ノ罰金ニ在リテハ警察官吏ヲシテ之ヲ即決セシム

三 轉牌ノ取締

轉牌トハ或事件ノ發生ニ際シ其ノ事實ヲ本牌ニ書シ民間各自ニ轉帳シテ衆人ニ急知セシムル方法ヲ云フ奉天省ニ於テハ各縣土地ノ丈量捐稅ノ徵收等ニ際シ之ニ反抗センカ爲メ鄉民ヲ集メテ勢力ヲ増サントシ一二不逞ノ徒カ新ナル事件ヲ口實トシ謠言ヲ捏造シ之ヲ本牌ニ書シ急傳シテ群衆ヲ嘯集スルコトアリ該本牌ニシテ發行セラルトキハ一二日ニシテ各村屯住民ハ騷然トシテ之ニ赴クヲ常トス蓋シ人民中若シ期日ニ集合セス又ハ本牌ヲ轉達セサル者アルトキハ之ヲ毆打シ又ハ居室ニ放火セララルルヲ以テ群衆ハ事件ノ眞偽ヲ辨セス盲從スルニ至ルモノニシテ地方ノ安寧秩序ヲ紊スコト少カラス此ヲ以テ奉天省長ハ民國五年十月訓令ヲ發シテ嗣後之ヲ取締ラシムルト共ニ人民

ノ附和雷同ヲ禁シ爲メニ良民ヲ脅迫スル者アルトキハ警察官吏保衛團員若ハ陸軍等ニ密告セシメ人民ニシテ群民ノ嘯集ヲ禁シ其ノ會合ヲ解散セシムヘキ命ヲ受クルモノ之ニ應セサルトキハ嚴重ニ處分スヘク殊ニ亂黨ニ同シキ暴行ヲ爲ス者アルトキハ警察官吏ハ即時ニ之ヲ格殺スルコトヲ得ルモノトセリ(民國五年十月二十七日) 奉天公報一六六三號

第一項 出版物

機械印版其ノ他ノ化學材料ヲ用キテ印刷スル文書圖畫ニシテ發賣頒布ヲ目的トスルモノハ之ヲ出版物トシテ支那ニ於ケル出版法(參照第一六一條)ノ適用ヲ受クヘキモノトス即チ該出版法ノ規定ニ依レハ著作人發行人印刷人ヲ出版關係人ト爲シ此ノ内文書圖畫ノ販賣ヲ營業トスル者ヲ發行人トシ著作人及著作權承繼人ハ發行人ヲ兼ヌルコトヲ得ルモ印刷人タルヘキ者ハ印刷所ノ代表者ニ限ルモノトス以下出版手續及制限ヲ記スヘシ

一 出版手續

支那ニ於テ文書圖畫ヲ出版スルニハ(イ)著作人ノ姓名原籍(ロ)發行人ノ姓名住所及發行ノ年月日(ハ)印刷人ノ姓名住所及印刷年月日(ニ)印刷所ノ名稱及其ノ所有者ノ姓名ヲ記載シ賣品ニ在リテハ發行人及著作人連名ニテ非賣品ニ在リテハ著作人又ハ發行人ヨリ之カ發行頒布前ニ所轄警察官署ニ出版ノ事實ヲ申告スルト共ニ出版物一部ヲ納付シ更ニ一部ヲ該官署ヲ經内務部ニ納付スルヲ要ス此ノ他定期又ハ不定期ニ號數ヲ逐ウテ出版スルモノ古書金石文教育書類ノ仿刻及再版ノモノニシテ原本ニ比シ増訂省略註釋插圖等ヲ爲シタルモノハ悉ク右ノ例ニ依ラサルヘカラス唯官公署地方自治

團體等ノ出版物ハ内務部ニ一部ヲ納本スルニ止ムヘク官公署ノ出版物ニシテ單ニ各職權内ノ事項ヲ記載スルモノハ本規定ヲ適用セサルモノトシ又一般人民ノ信書報告會規程則家譜公開文講義錄證券演劇其ノ他ノ番付廣告引札寫真等ハ出版法第十一條第十二條ノ規定ニ違反スル場合ノ外前述ノ手續ヲ要セサルモノトス

二 出版物ニ對スル制限

警察官吏ハ出版ノ届出及出版物ノ納付ヲ受理シタルトキハ該出版物ヲ調査シ出版法第十一條第十二條ノ規定ニ違反スルモノニ對シテハ必要ノ場合ニ限り其ノ印本及印版ヲ沒收スルコトヲ得所謂出版法第十一條第十二條ハ支那國內ニ於テ出版又ハ發賣頒布スルコトヲ得サル印刷物ニ關スル事項ヲ規定セルモノニシテ出版物カ左ノ各項ニ該當スルトキハ出版關係人ハ印本及印版ヲ沒收セラ

ルルノミナラス更ニ罰金又ハ刑法上ノ制裁ヲ受クヘキモノトセリ

(イ)政體ヲ紊亂スルモノ

(ロ)治安ニ妨害アルモノ

(ハ)善良ナル風俗ヲ破壞スルモノ

(ニ)犯罪人刑事被告人ヲ煽動曲庇シ又ハ刑事被告人ヲ陷誣スルモノ

(ホ)未タ判決ヲ經サル輕罪重罪事件ノ豫審ニ關スルモノ

(ヘ)訴訟又ハ會議事項ニシテ傍聽ヲ禁シタルモノニ關スルモノ

(ト)軍事外交其ノ他官公署ノ祕密ニ屬スル文書圖書ヲ掲載スルモノ但シ當該官公署ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

(チ)他人ノ私事ヲ攻撃シ其ノ名譽ヲ毀損スルモノ
 (リ)外國ニ在リテ發行スル文書圖書ニシテ前掲各項ニ違反スルモノハ支那國內ニ於テ發賣又ハ頒布スルコトヲ得ス

仍ホ支那ニ於ケル出版物中從來發賣ヲ禁止セルハ杏花天金瓶梅耶蒲緣如意君傳奇僧傳痴婆子等ノ書ナルカ出版法ノ公布以後新版書籍ノ取締ヲ嚴ニシタル結果善良ナル風俗ヲ害スルモノト認メ出版法第十一條第二款第三款ノ規定ニ依リ内務部ニ於テ發賣ヲ禁止シタル書名左ノ如シ
 (民國四年六月二十三日吉林公報八七三號)
 (民國六年一月二十一日吉林公報一一七四號)
 (民國六年七月十九日奉天公報一七四號)

書名	著者	發行所	出版年月	冊數
民國艷史	修竹鄉人	上海文學社	民國三年六月	二
有夫之婦	繪圖者秀甫士猷可	杭州之江日報社	民國三年七月	二
星中人語	阮康侯	廣東小說社	清宣統二年五月	一
自由結婚	海天自由生	廣東小說社	舊本新印	二
隔簾花影	綠	英商尙古書局	民國二年	二
意外奇緣	生	上海新報小說社	民國元年孟冬	一
女學	野林	上海醉經堂	民國元年	一
最近女界現形記	南海蕙珠女士	上海醉經堂	民國元年	一
男女串騙奇談	引年	上海醉經堂	民國元年	一

紅樓夢續編	秦雪塢	東瀛書館	舊本
聞見述奇	海上醉花生	文明進社	民國三年五月
清廉訪案	(李珊氏)	舊本	民國三年五月
海上艷妓百花譜	兩鼎軒	上海醉經堂	清宣統三年二月
笑話奇談	上海醉經堂	上海醉經堂	民國元年四月
龜中貴	治逸	上海醉經堂	清宣統二年孟冬
新西湖佳話	天生情種	沈鶴記書局	清宣統二年孟冬
雙鴛鴦	引年氏	游戲社	清宣統二年孟冬
風流觀察	惜花外史	上海通記書局	清宣統二年秋月
情中奇	馬山老	醉經書莊	舊書重印
上海評花寶鑑	平江引年	小說進步社	清宣統二年十二月
社會金錢	冷眼氏	改良書局	舊書重印
迷魂陣	聽雨樓主人	英商古書局	民國元年仲冬
素梅	啞眼道人	同	民國元年季冬
小奇緣	牛引年	上海沈鶴記書局	民國二年
小喜中	虛生	上海改良小說社	清宣統二年十月
小滑稽	學堂笑話		
小滑稽	學堂笑話		

小桃花夢	香夢詞人	同	清宣統三年二月
新姊妹花	平江引年	英商古書局	民國元年仲冬
改仙新美人計	惜花外史	上海政新書局	清宣統三年正月
改仙新美人計	朱引年	英商古書局	民國二年正月
小言情	冷鏡山房	香港書局	清宣統三年六月
二十世紀	吳竹敬	五洲書局	清宣統二年
國色天香	尤鳳真	鴻文書局	民國四年
馬屁世界	睡蓮	小說叢報社	清宣統三年正月
野草花	古邦樂	新華小說社	民國四年
穢情小說龜生涯	天夢	同	民國五年
牛鬼蛇神之情場	不詳	同	民國五年
新鴛鴦譜	高麗	開智社	民國二年
官眷風流史	古田	小說叢報社	民國五年十月
姨太太之秘密	白雲	同	民國五年十一月
玉樓春	無緣居士	上海孟端書莊	民國五年十一月

右ノ外支那人ノ習慣トシテ新年ニ室内ヲ飾ル諸種ノ繪畫即チ年畫ニ在リテモ往々荒誕迷信ニ涉ルモノアリ善良ナル風俗ヲ害スルコト尠カラサルヲ以テ之ヲ取締ルコトト爲リ吉林省ニ於テハ民國

五年四月省城警察廳主トシテ其ノ種類ヲ蒐集檢閲シ左記六十九種ニ對シ之カ發賣ヲ公認シタリ(民國五年四月十三日吉林公報七三八號)

- | | | | |
|----------------|------|---------------|-------|
| 文王愛蓮 | 齊桓公 | 漁家多子 | 天津火車站 |
| 輪螺傘蓋 | 桑園寄子 | 宴桃李園 | 竹林七賢 |
| 全家福 | 吉祥如意 | 紅梅結子 | 電車圖 |
| 詩書門弟 | 鶴鷺牌坊 | 士農工商 | 漁人得利 |
| 忠孝節義 | 天津圖 | 戰北原 | 十八魁 |
| 重耳走國 | 古字 | 紅樓 | 羅鍋橋 |
| 一本萬利 (以上一枚吉林錢) | | | |
| 宇文深 | 一心情願 | 松樹 | 擊鼓 |
| 李晉王 | 女子自強 | 莫說謊話 | 雞蝶 |
| 國民捐 | 禮尚往來 | 八駿馬 | 牛頭山 |
| 不知自量 | 蘿蔔白菜 | 王夷甫 | 牧羊圈 |
| 女子求學 | 小兒怒 | 西洋樓 (以上一枚吉林錢) | 寶二墩 |
| 闔家歡樂 | 魚龍富貴 | 馬芳困城 | 南漳訪賢 |
| 秋江晚渡 | 陳日升 | 賞蓮圖 | 龍鳳配 |
| 九龍山 | 魚跳龍門 | 三多長樂 | 榴開百子 |
| 三打銅旗 | 長板坡 | 馬跳潭溪 | |

發財還家
步步登高

松林
讓城都

鷄鳴富貴
梁山泊

漁家樂
天獻銅標

孟母擇鄰 (以上一枚吉林錢)

前掲各印刷物ノ外米國ニ於テ發刊スル民國雜誌ハ治安ニ害アリトテ支那ニ於ケル發賣頒布ヲ禁シ (奉天公報九三七號) 日本人酒卷貞一郎著支那分割論亦之カ發賣ヲ禁止シタリ (吉林公報四六五號)

第三項 印花稅取締

印花稅トハ我印紙稅ヲ意味ス民國四年一月十四日大總統ノ批准ヲ經テ施行シタル擬定印花稅法罰金執行規則(民國四年一月十七日)ニ依ルトキハ警察官署ハ印花稅法ノ實施後民間ニ就キ之カ實行狀況ヲ檢査シ犯則者ニ對シテハ相當ノ取締ヲ爲スヘキモノトセリ即チ該官署ハ第一回ノ檢査ヲ爲ストキハ豫メ三箇月前ニ公示ヲ爲シタル後ニ於テ第二回以後ハ毎年六月及十二月ニ於テ民間ノ印紙ヲ貼用スヘキ書類及帳簿ヲ檢査スルヲ要ス若シ之カ檢査中ニ規定ノ印紙ヲ貼用セス又ハ之ヲ貼用スルモ其ノ方法カ規定ニ違反スルモノアルヲ發覺シタルトキ若ハ平時ニ於テモ巡官巡長巡警カ民間ニ於テ印紙貼用ニ關スル犯則者アルヲ發覺シ又ハ人民ヨリ其ノ事實ヲ密告シタルキハ所轄警察官署ハ修正印花稅法第六條及第八條ノ規定ニ基キ左ノ標準ニ依リテ相當ノ罰金ヲ算定徵收スヘキモノトス

(イ)印紙ヲ貼用スヘキ書類及帳簿ニ之ヲ貼用セス又ハ貼用スルモ消印ヲ施ササルモノハ當然貼用スヘキ數額ニ比例シテ罰金ヲ算定徵收スルコト

出租スル權利ノ有無ヲ調査スル爲メ所轄警察官署ニ之カ取調方ヲ申請スルヲ得斯クシテ家屋ヲ外國人ニ租與居住セシムルトキハ家主ヨリ房契(官給)及家屋賃貸借契約書ヲ添へ賃借人聯名シテ所轄警察官署ニ其ノ旨ヲ届出テ註冊ヲ請フヘク前述各項ニ違犯スルトキハ該賃貸借契約ハ無効ト爲シ竝ニ一元以上二十元以下ノ罰金ニ處スルモノトス又本規則施行以前ニ家屋ヲ外國人ニ租與シタル者ニ對シテモ警察官署ハ家主ヲシテ本規定ニ依ル届出ヲ爲サシム尙ホ前述家屋賃貸借契約書ニハ左ノ事項ヲ記入セサルヘカラス

(イ)賃借人ノ國籍姓名年齢職業

(ロ)家主及仲介保證人ノ原籍姓名年齢職業

(ハ)家屋ノ所在地間敷門札番號一切ノ附屬物品若シ空地ヲ有スルモノナルトキハ四至及丈尺數ヲ

明記シ圖面ヲ添附スルコト

(ニ)賃貸借期限

(ホ)賃貸借料及其ノ支拂方法

(ヘ)家屋ノ使用目的

(ト)其ノ他當事者ノ契約條項

賃借家屋ニシテ修理改築ヲ要スル場合ニハ賃借人ヨリ家主ニ相談シタル上家主ヨリ管理建築章程(參照第七六)ニ照シ警察官署ニ申請シテ許可ヲ得タル後工事ニ著手スルヲ要ス本規定ニ違犯スルトキハ一元以上十元以下ノ罰金ニ處セララルヘシ

此ノ外外國人カ遊歴ノ護照ヲ携帶シテ旅行ヲ爲ス場合ニハ旅店ニ止宿スル者ニ對シテハ旅店取締

ニ關スル章程(參照第八四)ニ依リテ取扱フ外國人又ハ外國人居住ノ家屋内ニ假寓スル者ニ對シテハ之ヲ收容居住セシメタル家屋ノ家主ヨリ旅行ノ爲メ來著シタル該外國人ノ姓名年齢職業寓居期間前出發地及行先地ヲ明記シテ所轄警察官署ニ届出ツヘク本規則ニ違犯スルトキハ一元以上十元以下ノ罰金ニ處シ尙ホ規定ノ届出ヲ爲サシムルモノトス

第二款 普通保安警察

普通保安警察ハ公共ノ安寧ニ對スル危害ノ原動力アルニ當リ之ヲ除却シテ危害ノ發生ヲ防止スルコトヲ目的トス即チ假釋者危險物風俗衛生營業交通等ノ取締ニ關スル各法規ノ如キハ普通保安警察法ト目スヘシ以下項ヲ分チテ之ヲ説明スヘシ

第一項 假釋者取締

支那ニ於テ假釋者トハ假出獄人ヲ意味ス支那刑法第六十六條ノ規定ニ從ヘハ徒刑ノ執行ヲ受ケテ悔後ノ情確實ナル者ニ對シテハ無期徒刑ニ在リテハ十年ヲ經過シタル後有期徒刑ニ在リテハ刑期三年以上ニシテ其ノ二分ノ一ヲ經過シタル後監獄ヨリ司法部ニ具申シ許可ヲ得テ出獄ヲ假釋スルモノトス蓋シ假出獄人ヲ取締ルハ單ニ該囚徒カ刑罰ヲ受ケタルカ爲メノミニ非ス未タ刑期ヲ終了スルニ至ラスシテ假ニ釋放シタル者ナルカ故ニ特ニ之カ舉動ヲ監督制限スルノ要アルト共ニ罪ヲ犯シタル意思未タ消滅セサル者ト看做シ再ヒ犯罪ヲ爲スノ危險ヲ豫防セントスルニ在リ換言スレハ刑期未了ナルカ爲メニ特ニ犯罪人ノ行爲ノ自由ヲ制限シ以テ個人ノ安全ヲ期スルニ在リ故ニ假

出獄人ハ居住移轉及職業等ニ付キ一般人民ノ有スル自由ヲ制限セラレ警察ノ特別干涉ヲ受ク支那ニ於テ本規定ヲ設ケタル精神亦然リ以下民國二年二月十五日公布ノ假釋管理規則(參照第六二)ニ依リ其ノ取締方法ヲ説明スヘシ

一 假釋證書ノ檢閱

假釋者ハ居住地ヲ管スル警察署ノ監督ヲ受クルモノニシテ假釋ノ際監獄ヨリ下付セラレタル假釋證書ヲ携帶スルヲ要ス該假釋證書ニハ監獄ヨリ居住地ニ到達スヘキ日限ヲ記入セルヲ以テ該出獄人ハ該日限ニ監督ヲ受クヘキ警察署ニ出頭シテ證書ノ檢閱捺印ヲ請ハサルヘカラス若シ其ノ行程ニ數日ヲ要スルトキハ沿途宿泊地ノ警察署ニ到リテ同様ノ申請ヲ爲スヘキモノトス假釋者ニシテ天災疾病其ノ他ノ事故ニ因リ右ノ規定ニ從フコト能ハサルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ警察署ニ具申シ證明書ノ下付ヲ請ヒ之ヲ監督警察署ニ提出シテ檢印ヲ受ケサルヘカラス又監獄カ假釋證書ヲ下付シタルトキハ假釋ノ事由ヲ假釋者ノ居住地ヲ管スル地方檢察廳假釋者ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル檢察廳及假釋者ノ居住地ヲ管スル監督警察署ニ通報スヘキモノトス假釋證書ハ堅八寸横一尺ニシテ左ノ文言ヲ記ス

(面 表)

印吏察及記 鈐官警事	假釋證書		原籍	假釋後之居住地	姓名	省	縣	鎮	鄉	日生
	罪名	刑名刑期	民國	年	月	日	執行開始	日刑期終了	日	到達於居
須於民國	住地	民國	年	月	日	日	日	日	日	日
假釋期間	自民國	至民國	年	年	月	月	日止	日起	日止	日
監獄	典獄長姓名	官姓名	日	日	日	日	日	日	日	日
日給此證書	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

假釋者須知事項

- (一) 須照監獄所定期限赴居住地該管警察署請鈐印於此證書如行期涉於數日時須寄宿於警察署所在地或須投到鈐印
- (二) 因天災疾病其他之事故不能從前條之規定時須具呈其事由於所在地之警察署請給證明書此證明書須提出監督警察署求其鈐印
- (三) 須就正業保善行
- (四) 假釋中須受居住地該管警察署之監督從其指揮命令
- (五) 關於就業謀生計等之意見須從速呈報於警察署有保護者時須連署
- (六) 每月須一次赴監督警察署呈述前項之現狀得許可旅行於同一之地點為一月以外居留時對於所在地之警察署亦須呈述
- (七) 將為三日以外十日未滿之旅行時須報告其事由於旅行地及旅行日數於監督警察署
- (八) 移轉住居或為十日外之旅行時須記載其事由於旅行地或移居地並其日數呈請監督警察署許可領受旅券第一第二規定於此時準用之
- (九) 欲為國外之旅行時須記載其事由於旅行地及旅行日數經由監督警察署及交付證書之監獄呈請司法總長許可第八之規定許可旅行時準用之
- (十) 旅行歸時即須赴監督警察署繳還旅券
 - 一 假釋期內更犯罪受拘役以上之宣告者
 - 二 因假釋前所犯罪而受拘役以上之宣告者
 - 三 因假釋前所受拘役以上之宣告而應執行者
 - 四 犯假釋管束規則中應撤銷假釋之條項者
 取消假釋處分時出獄之日數不算入刑期內

(裏) (面)

二 旅行及移轉ノ取締

假釋者カ三日以上十日以内ノ旅行ヲ爲サント欲スルトキハ監督警察署ニ旅行ノ事由旅行地及旅行日數ヲ届出ツルヲ要シ又他ニ移轉シ又ハ十日以上ノ旅行ヲ爲サント欲スルトキハ其ノ事由移轉地又ハ旅行地及其ノ日數ヲ記載シテ監督警察署ノ許可ヲ請ハサルヘカラス而シテ監督警察署カ右ノ移轉又ハ十日以上ノ旅行ヲ許可シタルトキハ同監督警察署ノ管轄區域内ニ移轉シタル場合ヲ除キ之ニ對シテ旅券ヲ交付スヘク其ノ途中ニ於テハ警察署ノ檢印又ハ同證明書ヲ受クヘキコト前記ノ場合ニ同シカラム又移轉ノ許可ヲ爲シタルトキハ監督警察署ハ其ノ旨ヲ從來ノ關係各官署及新居住地ノ地方檢察廳同警察署ニ通報スヘク且ツ關係書類ヲ新ニ該犯人ヲ監督スヘキ警察署ニ送致スヘキモノトス若又假釋者ニシテ國外ニ旅行ヲ爲サント欲スルトキハ右ト同シク其ノ事由旅行地及旅行日數ヲ記載シテ監督警察署及假釋證書ヲ交付シタル監獄ヲ經由シ司法總長ノ認可ヲ請フヲ要ス此ノ場合ニ於テ監督警察署及監獄ハ事實ヲ調査シテ意見ヲ附スヘク旅行ノ許可ヲ得タル者カ其ノ途中ニ於ケル諸手續ハ總テ前述ノ規定ニ依ルヘキモノトス但假釋者ニシテ旅行中同一地點ニ一箇月以上居留スルトキハ其ノ地ノ警察署ニ出頭シテ最近ノ狀況ヲ陳述スヘク其陳述ヲ受タケル警察署ハ概略ヲ監督警察署ニ通報セサルヘカラス又假釋者カ右ノ旅行ヲ終了シテ居住地ニ歸著シタルトキハ遲滞ナク監督警察署ニ出頭シテ旅券ヲ返納セサルヘカラス

三 職業及行狀ノ監督

監督警察署ハ假釋者ニ對シ正業ニ就キ善行ヲ保タシムヘク相當ノ命令又ハ訓示ヲ發スルコトヲ得ヘシ又假釋者ニ在リテモ職業及其ノ他ノ生計事項ニ關シテハ意見ヲ具シテ監督警察署ニ届出ツヘ

ク此ノ際保護人アルトキハ前項ノ届書ニ署名スルヲ要ス此ノ外假釋者ハ職業及生計事項ニ關シ毎月一回監督警察署ニ赴キテ最近ノ狀況ヲ陳述スヘキ義務アリ監督警察署ニ在リテモ六箇月毎ニ假釋者ノ行狀ノ良否職業ノ種類及勤惰生計ノ狀況親族トノ關係等ニ付キ調査書ヲ作製シ假釋者ノ居住地ヲ管轄スル地方檢察廳刑ノ言渡ヲ爲シタル檢察廳及假釋證書ヲ交付シタル監獄ニ通報セサルヘカラス又假釋者ノ監督ニ關シテハ假釋證書ヲ交付シタル監獄長ノ意見ニ依リ之ヲ(イ)適當ナル親族故舊(ロ)出獄人保護事業ニ従事スル者(ハ)其ノ他ノ慈善團體ノ職員ニ託スルコトヲ得而シテ之カ監督ヲ委任セラレタル者ハ毎月末日ニ於テ假釋者ノ行狀ノ良否職業ノ種類勤惰生計ノ狀況親族トノ關係ヲ監督警察署ニ報告スヘキモノトス此ノ外警察官吏ハ假釋者ノ監督上必要ナルトキハ制服ヲ着用スルコト無クシテ假釋者ノ居所ニ到ルコトアルヘシ

四假釋ノ取消

檢察廳及警察署ハ假釋者カ刑法第六十七條ノ規定ニ該當スルモノト認ムルトキ即チ(イ)假釋期限内ニ再ヒ罪ヲ犯シ拘役以上ノ宣告ヲ受ケタルトキ(ロ)假釋前ニ犯シタル他ノ罪ニ依リ拘役以上ノ宣告ヲ受ケタルトキ(ハ)假釋前ニ拘役以上ノ宣告ヲ受ケタルニ依リ應ニ其ノ刑ヲ執行セントスルトキ(ニ)假釋管理規則中ノ假釋ヲ取消スヘキ條項ヲ犯シタルトキ等ノ場合ニ於テハ意見ヲ具シ居住地ノ地方檢察廳ヲ經由シ司法總長ニ申告スルモノトシ司法總長カ假釋處分ヲ取消シタルトキハ假釋者ノ所在地又ハ居住地ヲ管轄スル地方檢察廳初級檢察廳又ハ假釋證書ヲ交付シタル監獄ニ通報シテ之ヲ執行セシム此ノ場合ニ於テ假釋取消ノ執行ヲ爲シタル檢察廳又ハ監獄ハ其ノ旨ヲ假釋者ノ居住地ヲ管スル地方檢察廳刑ノ言渡ヲ爲シタル檢察廳及居住地ノ監督警察署ニ通報スルヲ要シ又假釋

ヲ取消サレタル者カ在監者ニ非サルトキハ檢察廳ハ捕票(逮捕狀)ヲ發セサルヘカラス
假釋者カ死亡シタルトキハ監督警察署ハ之ヲ居住地ヲ管スル地方檢察廳刑ノ言渡ヲ爲シタル檢察廳及假釋證書ヲ交付シタル監獄ニ通報スヘク其ノ報告ニ接シタル監獄ハ之カ概略ヲ司法總長ニ報告スヘキモノトス

第二項 危險物取締

第一目 軍器及爆發物取締

銃砲彈藥刀劍ノ如キ物品ハ其ノ使用ノ如何ニ依リ個人ニ對スル危害ヲ生スルト共ニ公共ノ安寧ヲ紊リ延テ國家社會ニ危害ヲ加フル虞アルヲ以テ之カ取締ヲ嚴ニセサルヘカラス殊ニ滿洲ノ如キ從來馬賊ノ巢窟ト爲リ或ハ白晝隊ヲ組ミテ村屯市鎮ヲ劫掠スルアリ朝ハ田畑ニ耕種スル農夫ニシテ夕ハ兇器ヲ携ヘテ旅客ヲ刺カスヲ常トスル者アリ支那中央各省ノ秘密結社ト聯絡ヲ取り相呼應セントスル者アリ爲メニ之ニ對シ自衛上個人各自ニ武器ヲ準備スル者アル地方ニ於テハ武器ノ取締ハ一層嚴重ナルヲ要ス茲ニ於テ奉天吉林二省ニ於テハ各村屯ニ於ケル巡警保衛團丁ノ有スル銃器ニ對シ各烙印ヲ施シ番號ヲ附シテ之ヲ登録監督スルノ法ヲ採リ人民ノ私費ヲ以テ購入シタル銃器ニ在リテモ其ノ種類ノ何タルヲ論セス届出未済ノモノハ所轄行政長官ニ申告シテ番號ヲ附シ槍證ノ交付ヲ請フニ非サレハ之カ所有使用ヲ禁スルモノトシ番號ヲ登録シ烙印ヲ受ケ槍證ヲ有スル者モ之ヲ他人ニ轉賣スルヲ禁スルモノト定メタルカ(民國二年十二月十二日 中央公報六二二號)中央政府ハ別ニ治安警察條

例(六〇)内ニ武器ノ製造運輸私藏携帯ニ關スル一般規定ヲ設ケタルヲ以テ以下之ヲ分説スヘシ
一 軍器及爆裂物ノ製造運輸及私藏

支那ニ於テハ法令ニ依ル外普通人民ハ軍器及爆裂物ヲ製造運輸スルヲ得サルモノトス之ニ違犯スル者アルトキハ警察官吏ハ其ノ軍器又ハ爆裂物ヲ差押フルコトヲ要ス又右ノ規定ニ違犯セル嫌疑者アルトキハ同官吏ハ本人又ハ之カ隠匿者ニ對シテ搜索ヲ行フコトヲ得此ノ外行政官署ハ安寧秩序ヲ維持スル爲メ必要ト認ムルトキハ人民ニ對シ軍器若ハ爆裂物ノ私藏ヲ禁止スルヲ得之ニ違犯シタル者又ハ之カ違犯嫌疑者ニ對シテハ前述ノ如ク其ノ物件ヲ差押ヘ又ハ搜索ヲ爲スコトヲ得ルモノトシ之カ犯人ニ對シテハ暫行刑律第二百零三條乃至第二百零九條ノ規定ニ照シ處斷スルモノトセリ

二 軍器ノ携帯

支那ニ於テハ海陸軍軍人警察官吏及其ノ他ノ法令ニ依リ軍器ノ携帯ヲ許可セラレタル者ヲ除ク外軍器ヲ携帯スルヲ得ス又行政官署ハ安寧秩序ヲ維持スル爲メ必要ト認ムルトキハ人民ニ對シ爆裂物又ハ軍器兇器若ハ爆裂物ノ裝置設備アル一切ノ物品ヲ携帯スルコトヲ禁止スルヲ得此等ニ對スル違犯者アルトキハ警察官吏ハ直ニ其ノ物品ヲ差押フルヲ要シ之カ違犯嫌疑者アルトキハ直ニ搜索檢舉ヲ行ヒ其ノ犯人ニ對シテハ警察官署長官又ハ其ノ代理官吏ハ二十日以下ノ拘留及二十元以下ノ罰金ヲ併科スルコトヲ得ヘシ

三 外國人ノ武器

右ハ支那人民ニ對スル規定ニシテ外國人カ武器ヲ携帯シ又ハ外國ヨリ武器ヲ輸入スル場合ニ在リ

テハ各條約ヲ以テ之ヲ明定セリ即チ西曆千八百八十一年二月十二日(光緒七年一月)露支兩國間ニ訂結シタル陸路通商改定章程第十五條ニ依レハ左ノ規定アリ

凡ソ違禁ノ物タル火藥大小彈子(砲)大小鳥銃一切ノ軍器等(中)ハ販運進口出口スルヲ許サス例ニ違ヘハ即チ運フ所ノ違禁ノ物ヲ以テ全ク罰シテ官ニ入ル露國人民ニシテ中國ニ前往スル者ハ每人鳥銃(銃)或ハ手銃(トリス)一桿ヲ帶ヒテ護身シ執照ニ填入スルヲ許ス(約東亞關係特種條約第三〇頁)

西曆千八百八十六年四月二十五日(光緒十二年三月)天津ニ於テ訂結シタル佛支條約第十五條ニハ次ノ

物品ヲ清國ニ輸入スルコトヲ禁止スヘシトシ禁止スヘキ物品ニ火藥彈丸小銃大砲彈藥硫黃鉛一(中)等武器等ヲ舉ケ之ニ違犯シタル場合ニハ其ノ物品ヲ全然沒收セララルヘシトノ規定ヲ置キ更ニ左ノ特例ヲ設ケタリ

若シ清國官吏カ武器或ハ彈藥ヲ買入レシメ若ハ商人カ之ヲ買入ルヘキ明白ナル許可ヲ受ケタルトキハ其ノ輸入ハ清國稅關ノ特別監視ノ下ニ許可セララルヘシ清國官吏ハ加之佛國領事ノ同意ヲ得タル後東京ヲ通過シテ清國ニ輸入セント欲スル武器及彈藥ノ爲メニ佛安稅關ニ於テ凡テノ稅ノ免除ヲ得ルコトヲ得ヘシ武器彈藥(略)ヲ東京ニ輸入スルコトモ亦禁止セララル(約東亞關係特種條約第三〇頁)次ニ千八百八十六年七月二十四日(光緒十二年六月)英支兩國ノ間ニ訂結シタル緬甸支那境界及通商ニ關スル條約第十條ニ於テハ左ノ如ク規定セリ

凡ソ以下記スル所ノ軍器ハ國家ノ許可ヲ得テ購入スルモノニ非サレハ緬甸ヨリ中國ニ運入スルヲ得ス亦中國ヨリ緬甸ニ運往スルヲ得ス此等ノ貨物ハ僅ニ國家ノ明諭ヲ奉シテ購辦スル人ニノミ賣與スルヲ許シ他人ニ賣與スルヲ得ス其ノ物品ハ各種銃砲及實心彈開花彈大小彈子各種軍器

軍火硝石硫磺火藥綿火藥及別種轟發ノ藥(藥學)ノ如シ(東亞關係特種條約)更ニ千九百二年八月二十九日(明治三十五年)上海ニ於テ支那官吏ト各國委員トノ間ニ調印シタル清國輸入税目改訂ニ關スル協定ノ中規定第三條ニハ左ノ文言アリ

兵器彈藥及各種軍需品ノ輸入ハ清國政府ノ徵求ニ依ル場合又ハ其購賣ニ對スル適法免許ヲ得タル清國人ニ賣渡ス目的ニ出テタル場合ヲ除ク外之ヲ禁止シ稅關ハ輸入者カ必要ナル許可ヲ得タルノ證據ヲ有スルマテハ右物品ノ陸揚許可證ヲ發給セサルモノトス本條ノ違犯ハ關係貨物全部ノ沒收ヲ以テ之ヲ罰ス(外務省條約彙編二一〇頁)

即チ右ノ各規定ニ依ルトキハ外國人カ支那ニ武器彈藥ヲ輸入スルハ條約ノ禁スル所ニシテ唯支那政府ノ徵求ニ依ルカ又ハ支那官吏ヨリ之カ購賣ニ對スル適法ノ免許ヲ得タル支那人ニ賣渡ス目的ニ出テタル場合ノ外外國人ハ支那内地ニ武器彈藥ヲ輸入販賣スルコトヲ得サルモノト解スヘク之カ輸入ヲ支那稅關ニ於テ查知シタルトキハ輸入者カ輸入ニ必要ナル支那官吏ノ許可ヲ得タル證據ヲ有スルマテハ稅關ハ該物品ノ陸揚許可證ヲ交付セサルヘク又本項ノ違犯ニ對シテハ關係貨物全部ノ沒收ヲ以テ處罰ニ充ツルモノタルヲ知ルヘシ但シ明治二十九年七月二十一日調印ノ日支通商航海條約第二十五條ハ日本國ノ政府及臣民ハ大清國皇帝陛下ヨリ他國ノ政府又ハ臣民ニ現ニ附與シ又ハ將來附與スヘキ一切ノ特權免除及利益ヲ享有スヘキコトヲ特約シ且ツ本條約ハ民國政變後ノ今日ニ於テモ有效ナルカ故ニ前述露國臣民ニ對シ護身用トシテ鳥銃又ハピストル一挺ノ携帯ヲ認許シタル一項ハ我カ日本國民ニ於テモ均霑スヘキモノナルヲ以テ右ニ對シテハ輸入禁止規定ノ適用ヲ受ケス之ヲ携帯使用スルヲ得ルモノトス唯其ノ携帯ニ當リテハ執照ニ其ノ旨ヲ記入スルコ

トヲ要ス

第二目 鎗械取締

奉吉二省ニ於テハ特ニ管理鎗械章程(參照第八六條)ヲ制定シテ武器ノ取締ニ任セシムルモノトセリ而シテ該章程ノ所謂鎗械トハ槍械即チ銃器刀劍等ノ如キ武器ヲ指スモノトス以下其ノ内容ヲ譯述スヘシ

一 武器ノ私藏

人民カ正當ノ事由ニ依リ又ハ防衛ノ必要上鎗械ヲ私藏セント欲スルトキハ所轄警察官署ニ出願シテ許可證ヲ下付ヲ受クヘク之ヲ他人ニ轉賣又ハ贈與セントスルトキニ於テモ同シク警察官署ノ許可ヲ受ケサルヘカラス右ノ如クシテ私藏ヲ許可セラレタル者ハ許可證ヲ領有スト雖モ警察官署ニ於テ安寧秩序ノ維持上必要ト認ムルトキハ該鎗械ヲ差押フルコトヲ得ヘク又其ノ私藏セル鎗械ハ任意ニ各私藏者ニ於テ携帯又ハ使用スルコトヲ得サルモノトス右ノ各項ニ違犯スルトキハ一元以上十元以下ノ罰金ニ處ス未タ私藏ノ許可ヲ得サル者ニ對シテハ之ヲ出願セシメ竝ニ情狀ニ依リ鎗械ヲ差押フルコトヲ得ヘシ

二 鎗械ノ修理

鎗械ノ修理ヲ營業ト爲シ又ハ之ヲ副業ト爲サント欲スル者ハ管理營業章程ニ從ヒテ許可ヲ得タル後營業ヲ開始スルヲ要ス而シテ鎗械ノ修理ヲ委託スル者アルトキハ其ノ委託者カ確ニ陸軍軍人又ハ警察官吏タル場合ノ外人ト雖モ修理ノ許可證ヲ有スル者ニ非サレハ之カ修理ヲ爲スコトヲ得サルモノトス若シ之ニ違犯スルトキハ一元以上十元以下ノ罰金ニ處シ再犯者ニ對シテハ其ノ營業

ヲ停止スルコトヲ得ヘシ

第三目 狩獵取締

支那ニ於テハ從來鳥獸ノ狩獵ニ關シテハ何等ノ規定ヲ有セス殊ニ滿洲ハ清朝發祥ノ地ナリシ爲メ當初勇武ノ氣象ニ富メル滿洲旗人ヲ居住セシメ或ハ特定地域ヲ定メテ旗人ノ狩獵ニ供シ武ヲ練ルト共ニ生計ノ資ニ充テシメ或ハ廣大ナル山野ヲ封禁シ民人ノ侵入ヲ嚴禁シ時ヲ定メテ旗人ノミノ狩獵ヲ爲サシムル等ノ制度ヲ設ケ普通ノ人民モ封禁地以外ニ於テハ隨意ニ狩獵ヲ爲スヲ得タリシカ中央政府ハ民國三年九月一日狩獵法(參照第 六三)ヲ支那全國ニ實施スルコトト爲リ滿洲一帯ノ地亦之カ適用ヲ受クルニ至レリ以下之カ内容ヲ説明スヘシ

狩獵法ニ云フ所ノ狩獵トハ銃器網罟其ノ他ノ機械ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルモノヲ意味スルモ其ノ器具ノ種類及制限ハ各地方ニ於テ警察官署長官ヨリ之ヲ定メ地方ノ最高長官ヲ經テ農商部ニ轉報スヘキモノトセリ而シテ奉天省及吉林省ニ於テハ器具ノ種類及ヒ制限ニ關シ別ニ之カ規定ヲ有セスト雖モ狩獵法ハ特別ノ場合ニ非サレハ炸藥(藥)毒藥劇藥陷阱等ニ依リテ鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ禁シタルヲ以テ此ノ種以外ノ方法即チ普通ノ獵銃又ハ不慮ノ災害危險ノ虞ナキ網罟其ノ他ノ器具ヲ用フルハ隨意ナリト解スヘキカ如シ以下出願手續其ノ他ヲ述フヘシ

一出願手續

狩獵法ノ規定ニ從ヘハ狩獵ヲ爲サント欲スル者ハ自己ノ宅地内ニ於テ銃器ヲ使用セスシテ狩獵スル者ヲ除キ其ノ他ハ何人ヲ論セス警察官署ノ許可ヲ得ルヲ要ス警察官署カ狩獵ノ許可ヲ與フルト

キハ毎年一回毎回規費(料)銀一圓ヲ徵收シテ獵狩證書ヲ交付スルモノトス證書ハ幅四寸長六寸ニシテ狩獵ニ際シテハ必ス之ヲ携帯シ所轄官署ノ検査ヲ受クルニ便ナラシムヘク又他人ノ狩獵證書ヲ用キテ狩獵ニ從事スルコトヲ得サルモノトス今參考トシテ狩獵證書ノ形式ヲ示セハ次ノ如シ

狩 獵 證 書	
某官署爲發給狩獵證書事茲據某姓名稟請給與狩獵證書核與狩獵法相符相應發給第 號證書此證 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">計 開</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> 年 齡 職 業 籍 貫 住 址 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">某官署</div>	中華民國 年 月 日 右給與某姓名收執

(蓋面ニハ狩獵法全文ヲ印刷ス)

右ノ如クシテ狩獵ヲ許可セラレタル者ハ自己ノ宅地以外ニ於テ狩獵ヲ爲スヲ得ルモ狩獵期以外又ハ法規ヲ以テ狩獵ヲ禁シタル地所及鳥獸ニ對シテハ之ヲ行フコトヲ得ス

二 狩獵期間

狩獵期間ハ毎年十月一日ヨリ翌年三月末日マテトス但特別ノ事情アルトキハ警察官署ノ許可ヲ經テ之ヲ延長スルヲ得ヘキモ其ノ延長期間ハ四月末日ヲ過クルヲ得サルモノトセリ然レトモ奉天省内ニ於テ貴重藥品タル鹿茸ヲ産スル地方ニ在リテハ其ノ捕獲採收期ハ毎年五六月頃ニ該當シ此ノ時期ヲ除クトキハ優良ナル鹿茸ヲ得ル能ハス故ニ狩獵法ノ規定ニ依ル狩獵期間ニシテ嚴行セララルトキハ鹿茸ノ採捕ハ法律上之ヲ禁シタルト同一ノ結果ヲ生スヘシ茲ニ於テ該品ノ產地タル撫松縣知事ハ更ニ之カ除外例ヲ設クル必要アリトシ奉天省巡按使ヲ經農商部ニ對シ鹿茸ノ採收地方ニ限リ該狩獵期ヲ初夏五六月頃迄延長センコトヲ申請シタル結果農商部モ其ノ申請ヲ理由アリトシ多少狩獵者ノ資格ニ制限ヲ加フル爲メ特ニ保證ヲ提供スル者ニ非サレハ狩獵證書ヲ下付セサルコトニ改ムルト共ニ何レノ地方ヲ問ハス鹿茸ノ產地ニ限リ狩獵法第十三條ノ規定ニ依ル狩獵期ノ制限ヲ適用セサルモノト定メタリ(民國四年二月二十六日 奉天公報一〇五七號)

三 狩獵禁止地

狩獵證書ヲ有スル者ト雖モ(イ)禁山(ロ)歷代皇室ノ陵地(ハ)公園(ニ)公道(ホ)寺廟境内(ヘ)群衆ノ集居スル地(ト)其ノ他農商部又ハ警察官署ノ指定ニ依リ若ハ土地所有者ノ申請ニ依リ狩獵ヲ禁シタル土地ニ於テハ狩獵ヲ爲スヲ得サルモノトシ鳥獸カ他人所有ノ園地(畑田)又ハ欄柵内ニ竄入シタルトキハ該所有者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ任意ニ追捕スルコトヲ得サルモノトス

四 狩獵禁止鳥獸

保護ヲ受クル鳥獸ニ對シテハ一切狩獵ヲ禁止ス但シ學術研究其ノ他特種ノ事情アルトキハ警察官

署ノ許可ヲ得テ之ヲ狩獵スルコトヲ得ヘシ

五 處 罰

狩獵法ヲ犯シタル者ニ對シテハ其ノ情狀ニ依リ左ノ如ク多少ノ罰金ヲ科セラルルモノトス

(イ)警察官署ノ定メタル狩獵器具ノ種類制限規定ニ違背シ又ハ警察官署ノ許可ヲ受ケスシテ狩獵ニ從事シ若ハ狩獵期以外ノ時期ニ於テ狩獵ヲ爲シタルトキハ各二十圓以下ノ罰金ニ處スルモノトス

(ロ)狩獵ヲ禁止セル地域内ニ於テ狩獵ヲ爲シ又ハ保護鳥獸ヲ捕獲シタルトキハ十圓以下ノ罰金ニ處スルモノトス

(ハ)豫メ他人ノ同意ヲ得ルコトナクシテ其ノ所有田畑宅地ノ欄柵内ニ入り鳥獸ヲ追捕シ又ハ狩獵證書ヲ携帯セシテ狩獵ニ從事シタルトキハ五圓以下ノ罰金ニ處スルモノトス

尙ホ本規定中警察官署ノ權限ニ屬スル事項ハ警察官署ノ設ナキ地方ニ在リテハ縣知事之ヲ處理シ縣知事ヲ置カサル地方ニ於テハ當該地方行政長官ヨリ處理スヘク特別事情アルトキハ各地方長官ヨリ農商部ニ陳請シテ一定ノ地域ヲ指定シ本規定ヲ施行セサルコトヲ得ルモノト定メタリ

第四目 火災豫防取締

奉吉二省ニ實施シタル豫防火險章程(參照第九二)ノ規定ニ依ルトキハ硝石硫黃燐等ノ危險物及石油枯柴

乾草木炭等ノ燃燒物ヲ取扱フ者ハ均シク本章程ニ照シ火災ノ豫防ヲ爲スヘキモノトス左ノ如シ

一 危險物及燃燒物ノ貯藏及賣買

危険物及燃燒物ハ一定ノ地點ニ相當ノ設備ヲ爲シテ安置スルヲ要ス而シテ(イ)石油ハ五罐以下ハ屋外ノ靜所ニ置クヘク五罐以上ナルトキハ地下倉庫ニ貯存セサルヘカラス(ロ)薪柴ハ空室ヲ擇ヒテ之ヲ貯フヘク雜物内又ハ其ノ附近ニ混入放置スルヲ禁シ(ハ)多數ノ薪柴枯草ヲ堆積スルトキハ房屋板塙ヲ距ル一丈餘ノ空地ニ於テスヘク既ニ堆積シタルモノニ對シテモ警察官署カ危險ノ虞アリト認ムルトキハ該官署ハ該人民ヲシテ一定ノ地域ニ移轉セシムルコトヲ得ルモノトス又硝石硫黃磷等ノ危險物品ヲ購買セントスル者ハ其ノ用途ヲ說明シ需用斤量數目ヲ明記シテ所轄警察官署ノ許可ヲ得ルヲ要シ煙花石油薪柴等ノ營業ヲ爲サントスル者及從來之ヲ營業トスル者亦所轄警察官署ニ其ノ旨ヲ届出テサルヘカラス

二 禁止事項及處罰

何人モ燈火其ノ他一切ノ引火質物ヲ携ヘテ危險物及燃燒物ノ貯藏地ニ近ツクコトヲ得ス且ツ危險物及燃燒物ノ附近ニ於テ吃煙スルコトヲ得サルモノトシ其ノ吃煙者ニ對シテハ警察官吏ハ之ニ干渉スルコトヲ得此ノ外(イ)人煙稠密ノ地ニ於テハ爆竹雙響起花箭其ノ他ノ煙火ヲ燃放スルコトヲ禁シ(ロ)市街家屋及柴草ヲ堆積シタル附近ノ地ニ於テハ各種ノ葬具ヲ燒棄スルヲ禁シ(ハ)家屋板塙柴草ニ接近セル地ニ於テハ纏束シタルママンノ線香ヲ焚燒スルコトヲ得サルモノトシ此等各項ノ規定ニ違犯シタル者ハ刑法ノ適用ヲ受クヘキ場合ヲ除キ五十元以下ノ罰金ニ處スヘキモノトス

第五目 電燈營業取締

吉林省ニ於テハ電燈營業取締ニ關シ管理電燈營業章程(參照第一四)ヲ規定シ警察官署ノ管轄地域ニ住ス

ル者ニシテ電燈廠又ハ同公司ヲ開設スル場合ニハ其ノ電燈廠又ハ公司カ單獨出資ニ係ルト多人數ノ合資若ハ株式組織ニ係ルトヲ論セス之ヲ適用スルモノトセリ左ノ如シ

一 開業及廢業

電燈廠又ハ同公司ヲ開設セントスル者(イ)資本主又ハ株主及經理人ノ姓名年齡住所並ニ從前ノ職業(ロ)名稱(ハ)資本額(ニ)所在地(ホ)營業用家屋ニ關スル權利關係若シ借家ニ係ルトキハ家主ノ姓名借家料等ヲ明記シ所轄警察官署ヲ經由シテ之ヲ出願スヘク本章程施行以前ニ設立シタル者ニ在リテモ右ニ照シテ之ヲ申告スヘキモノトス電燈廠又ハ同公司ノ内部規定ニ關シテハ廠又ハ公司ノ成立後ニ於テ之ヲ定メ同シク所轄警察官署ヲ經由シテ之カ認可ヲ請フヘク其ノ外廠又ハ公司ノ組織ヲ變更シ若ハ廢業スルトキニ於テモ其ノ旨ヲ届出テサルヘカラス又其ノ使用人ノ採用ニ當リテハ必ス適當ノ保證人アル者ヲ雇フヘキモノトス

二 設備及營業ニ關スル制限

電燈廠又ハ同公司ハ日常火災ノ豫防ニ注意スルヲ要シ送電ニ要スル電柱ハ交通ニ妨害ナキ地點ヲ選ヒテ樹立スヘク使用申込者ノ爲メニ電燈ヲ設置スルトキハ破損シタル舊導線ヲ使用スルコトヲ禁シ且ツ設置後ハ營業者ヨリ時々人ヲ派シテ導線ヲ檢査シ不時ノ危險ヲ防カサルヘカラス又電燈料及四季ノ點燈時間ニ關シテハ新聞ニ廣告シ又ハ印刷シテ使用者ニ送リテ周知セシメ營業者カ隨意ニ發電又ハ停電スルコトヲ禁スルモノトス若シ本章程ノ規定ニ違反スルトキハ一元以上四十元以下ノ罰金ニ處セララルヘシ

第六目 建築取締

建築ニ關スル取締法トシテハ管理建築章程(參照第七六)ヲ制定シ奉天吉林二省ニ實施シタリ但シ本規定ハ主トシテ人家連接セル市街地ニ適用スルモノニシテ村落ニハ事實上之ヲ適用セス又本章程ニ所謂建築トハ家屋ノ新築改築増築及墻壁ノ新設又ハ擴張ヲ意味スルモノニシテ人民カ此等ノ工事ヲ爲ストキハ規定ニ從ヒ警察官署ノ許可ヲ經サルヘカラス

一 建築出願手續

建築ヲ爲サントスルトキハ之ヲ著手前ニ建築人ヨリ左ノ事項ヲ明記シ竝ニ其ノ敷地ニ對スル地券及契約書類ヲ添附シ所轄警察官署ニ建築ノ許可ヲ出願スルコトヲ要ス

(イ) 建築出願人ノ姓名年齢職業原籍

(ロ) 現住所門牌號數

(ハ) 建築地點及設計

(ニ) 建築人ノ敷地ニ對スル權利關係

(ホ) 土地ノ畝數及隣地道路トノ距離(他人ノ土地又ハ道路ト自己ノ使用地トノ間ニ殘留スル空地ノ間隔)

(ヘ) 地圖及建築設計略圖

(ト) 工事著手期日及修了豫定期日

右ノ出願ニ接シタルトキハ警察官署ハ其ノ地券及契約書類ヲ檢查シ別ニ紛擾又ハ妨害ヲ生スル虞ナキトキハ建築ヲ許可シ其ノ證トシテ建築執照ヲ給ス何人ト雖モ該執照ノ下付以前ニ在リテハ擅

ニ工事ニ著手スルコトヲ得サルモノトス又建築用地ノ地券契約書類ヲ遠地ニ保存セル爲メ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ相當ノ證明書ヲ添附セシメ若シ此場合ニ警察官署ニシテ必要ト認ムルトキハ建築地點ノ四隣地主ヲ召喚シテ尋問スルコトヲ得ヘク唯(イ)同一構内ニ在リテ隣地ノ家屋又ハ街路ニ連接セサル建物ノ修築(ロ)門牆ノ塗替墻壁ノ修理等工事ノ小ナルモノ(ハ)墻壁ニ門洞門ヲ作ルモ他人ノ土地ニ出入スルヲ要セサル場合等ハ地券其ノ他ノ證據書類ヲ提出スルヲ要セサルモノトセリ之ニ反シ建築工事カ他人所有ノ土地及官有地ニ對シ又ハ交通上確ニ妨害アルトキ若ハ右ノ妨害ナキモ多年ノ間建築用地内ヲ交通道路ト爲ラシメタルモノニ在リテハ警察官署ハ其ノ建築設計ヲ變更セシムルコトヲ得ルノミナラス此ノ變更命令ニ服セサル者ニ對シテハ五日以下ノ拘役又ハ十元以下ノ罰金ニ處シ竝ニ其ノ建築ヲ禁止スルコトヲ得ヘシ又特ニ交通上公共ノ便利ヲ謀ル爲メニハ警察官署ハ建築人ヲシテ敷地ニ對シ相當ノ退讓ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノトス

二 建築許可執照ノ回收

建築人カ建築許可ノ執照ヲ發給セラレタル後工事著手期日ヲ經過スルコト一箇月ナルモ尙ホ工事ニ著手セス且ツ建築未著手ノ理由ヲ該警察官署ニ届出テサルトキハ建築許可ノ執照ヲ追奪スルモノトシ之ニ反シ正當ニ工事ニ著手シ建築ヲ完了シタルトキハ工事完了ノ日ニ於テ警察官署ノ再査ヲ申請シ竝ニ建築執照ヲ返納スヘキモノトス

三 建築ニ對スル制限

建築人カ建築ニ著手スルトキハ家屋墻壁又ハ柵欄軒楹等ヲ私有地境界外ニ建設スルヲ得サルハ勿論縱令自己ノ私有地内ニ建設スル場合ト雖モ(イ)建築物ノ如何ナル種類ナルヲ問ハス木製ノ煙突ヲ

設置スルヲ禁シ且ツ火炕爐等ヲ設クルトキハ火災ヲ避クル爲メ多少木柱ヲ離ルルヲ要シ(ロ)街路ニ臨ム家屋ニ在リテ雨搭(庇)ヲ附設セント欲スルトキハ新築ト改築トヲ論セス苦草ヲ用キ又ハ木造ノミト爲スヲ禁シ(ハ)其ノ他建築ノ際建築用地界外ニ土木其ノ他ノ材料ヲ堆積スル場合ニハ警察官署ニ其ノ堆積地點ノ指定ヲ請ヒタル上相當ノ標識ヲ施シ殊ニ夜間ニ於テハ必ス燈火ヲ點シテ行人ニ注意セシムヘキモノトシ此等ノ規定ニ違反シタルトキハ五日以下ノ拘役又ハ十元以下ノ罰金ニ處スルモノトス而シテ一旦右ノ處罰ヲ受ケタル者ハ處罰後ニ於テ本規定ニ從ヒ出願ヲ爲スコトヲ得ヘシ

第三項 清 鄉

清鄉トハ村屯内ニ潜メル盜匪ヲ討伐驅逐シテ其ノ痕跡ヲ絶チ地方ノ安寧ヲ維持スルヲ云フ奉天吉林二省ニ於テハ從來馬賊ノ害ヲ受クルコト甚タ多ク殊ニ夏秋草木繁茂ノ期ニ至レハ所在身ヲ隱スニ便ナル爲メ各城廂市街附近亦盜匪ノ襲撃ヲ受クルコトアリ此ヲ以テ奉天吉林二省ニ於テハ夏秋ノ候ニ至レハ聯防ノ方法ヲ講スルノ必要ヲ感シ奉天省ニ於テハ民國五年六月擬定清鄉辦法總章(照參^{四六})ヲ立案シ吉林省ニ於テハ同年七月聯防保安辦法ヲ定メテ之ヲ實行スルコトトセリ左ノ如シ

第一目 奉天省ノ清鄉

擬定清鄉辦法總章ノ規定ニ依レハ清鄉ハ盜賊團ヲ討伐シテ盜風ヲ清ムルヲ急務ト爲シ戸口清查ノ如キモ同時ニ相竝ヒテ行フモノトス而シテ之カ討伐ニ從事スル者ハ巡警及保衛團丁ヲ主トシ大部

隊ノ盜賊團アルトキハ軍隊ヲシテ應援ヲ爲サシムルモノトス而シテ清鄉ヲ爲スヘキ期間ハ陽曆六月ヨリ同十月ニ至ル五箇月間トシ其ノ時期ニ至レハ督辦ヲ派シテ奉天ニ督辦處ヲ設ケシメ各道尹ヲ會辦各縣知事ヲ坐辦ト爲シ督辦ヨリ辦法ヲ定メ清鄉區域ヲ劃シ會辦ト商量シテ各坐辦ヲ指揮シ盜賊ノ根株ヲ剷絶セシムルモノトス即チ清鄉ハ奉天全省ヲ各道ノ區域ニ依リ分チテ三路ト爲シ各縣境内ニ對シテハ各縣ニテ責任ヲ負ヒ且ツ各縣同時ニ之ヲ舉行セシムルモノトシ各路ノ内若シ數縣合同聯防スヘキモノトアルトキハ臨時ニ指定シテ會同討伐セシムル例ヘハ本溪縣ノ如キ數年ノ間馬賊團ノ竄擾スル所ト爲リ今ヤ興京縣ニ侵入シタリ此等ハ前ニ會同討伐セハ早ク既ニ擊滅シタリシナルヘシ此ニ對シテハ本溪興京鳳城ノ各縣ニ飭令シ專務吏員ヲ派シテ指揮セシムルカ又ハ各該縣知事ヨリ一人ヲ派シテ總指揮ト爲シ巡警保衛團丁ヲ召集シテ合擊セシムヘク又聯防ヲ要スルトキハ各縣知事會議ノ上彼此接續スル各村屯ノ巡警及保衛團區域ニ依リ聯防區域ヲ定メ一旦警アルトキハ各縣ノ境域ヲ分タス互ニ相通知シ聯合シテ防禦討伐ヲ爲スヘキモノトス

第一目 吉林省ノ聯防

吉林省ハ地邊僻ニ在リテ山林叢接往々百數十支里ノ間居人無キモノアリ偶一二ノ大村屯アルモ相距ルコト遠クシテ互ニ呼應スルコト難ク白晝尙ホ掠奪ヲ受クルコトアリ殊ニ各縣境界地點ハ彼此ノ聯絡ナク各縣ノ巡警保衛團等ハ各自ノ所屬スル縣境ノミヲ守ルニ過キサカ故ニ賊團ハ甲縣ヨリ驅逐セラルトキハ乙縣ニ去リ丙縣ニ討伐隊來タルトキハ丁縣ノ境内ニ遁竄シ巡警亦隣縣ノ境内ヲ防守スル職責ナキヲ口實トシテ之カ追討ヲ止ムルヲ常トス此ノ如クナリシヲ以テ吉林全省警

務處ハ聯防辦法ヲ實行スルノ必要ヲ見民國五年七月聯防保安辦法(參照第六五)ヲ採用シ吉林省各縣警察夏季聯防臨時區域ヲ左ノ如ク十七區ニ分チ聯絡會哨ヲ爲サシムルモノトセリ

- 第一聯防區 吉林長春德惠雙陽ノ四縣 第二聯防區 伊通磐石樺甸雙陽吉林五縣
- 第三聯防區 樺甸濛江磐石三縣 第四聯防區 長春長嶺農安三縣
- 第五聯防區 扶餘榆樹德惠三縣 第六聯防區 五常舒蘭榆樹三縣
- 第七聯防區 額穆吉林舒蘭三縣 第八聯防區 濱江賓阿城三縣
- 第九聯防區 濱江雙城阿城榆樹四縣 第十聯防區 同賓方正五常賓安四縣
- 第十一聯防區 延吉和龍汪清三縣 第十二聯防區 敦化寧安延吉三縣
- 第十三聯防區 琿春東寧汪清三縣 第十四聯防區 寧安稜稜方正同賓四縣
- 第十五聯防區 依蘭密山樺川寶清四縣 第十六聯防區 虎林饒河二縣
- 第十七聯防區 同江富錦綏遠三縣

而シテ右ノ各聯防區ハ互ニ相聯絡シ且ツ豫メ相互ノ巡邏線ヲ協定シ下記ノ方法ニ依リテ聯防ノ目的ヲ完フスルモノトス(イ)平日ノ巡邏ハ各該巡警ノ所屬スル縣境ノミナラス隣縣ノ境内ヲモ巡邏スヘク其ノ方法ハ舊來ノ會哨辦法ニ仿ヒ例ヘハ某日ニ於テ甲縣ノ巡警カ巡邏スルトキハ乙縣ノ或地點ニ到リテ乙縣ノ巡警ト會合セシメ更ニ他ノ某日ニ於テ乙縣ノ巡警カ巡邏スルトキハ甲縣ノ或地點ニ到リテ甲縣ノ巡警ニ聯絡セシムルヲ要シ(ロ)若シ事件突發シタルトキハ各縣界ヲ論セス力ヲ併セテ援助スヘク隣縣境内ノ事件ナリトシテ觀望退去スルコトヲ得ス又事後ニ於テ彼此功ヲ爭フコトナク爾我ノ觀念ヲ去リテ公共ノ爲メニ盡スヲ要ス(ハ)警察各區分所ハ聯防會哨情形ヲ十日毎ニ縣

警察所ニ報告スヘク縣警察所ハ半月毎ニ警佐ヲ派シテ便宜ノ地方ニ於ケル聯防情形ヲ實査セシメ並ニ各區分所ニ於ケル會哨日記ヲ取纏メ實地調查報告ト共ニ月末ニ全省警務處ニ報告スヘキモノトス其ノ他詳細ノ辦法ハ各縣ノ實情ニ就キ各縣間ニ於テ協定スヘク本規定ノ實施情形ニ關シテハ本規定到達後十五日內ニ各縣間ノ協定巡邏線表ト共ニ報告スヘキモノトセリ

第四項 戶口調査

支那ニ於テハ從來真ノ戶籍事務ヲ取扱ヒタルコトナク戶口ノ調査モ僅ニ保甲制度ニ依リテ之ヲ行ヒタルモ其ノ方法不完全ニシテ調査ノ亂雜ナリシコト想像ノ外ニ在リキ而シテ清朝ノ末葉立憲準備ノ爲メニ設ケタル憲政編查館ハ奏定シテ第三年ノ籌備事項中ニ戶口調査事務ヲ加ヘタルモ之カ調査機關ノ不完全ナリシ結果其ノ目的ヲ達スルニ至ラスシテ止ミタリ民國政變後警察制度ヲ革新スルト共ニ犯罪ヲ豫防スル一手段トシテ戶口調査ヲ完行スルノ緊要ナルヲ見民國四年八月二十日敕令第三十二號及同第三十三號ヲ以テ縣治戶口編查規則(參照第六六)及警察廳戶口調査規則(參照第六七)ヲ公布シ省城及商埠地ニ在リテハ警察廳ヲシテ其ノ他ノ縣境ニ於テハ縣知事及警察官吏ヲシテ之カ調査ヲ實行セシムルモノトセリ以下戶口調査ニ關スル一般規定ヲ說キ更ニ奉天吉林二省ニ於ケル特別規定ヲ説明スヘシ

第一目 一般戶口調査法

第一 各縣ノ戶口編查

一 調査區域ノ劃定及牌甲ノ編成

各省ノ省城及商埠地ニシテ警察廳ヲ設置シタル地方ヲ除キ其ノ他ノ縣境ニ對シテハ縣治戶口編查規則(六六)ヲ適用スルモノトス即チ各縣ニ於テ戶口ヲ編查スルトキハ先ツ編查區域ヲ劃定スルノ要アリ而シテ該區域ハ(イ)警察機關ヲ設ケタル地方ニ在リテハ警察區ニ依リ(ロ)警察機關ノ設ナクシテ保衛團ヲ有スル地方ハ保衛團ノ區域ニ依リ(ハ)兩者共ニ其ノ設置ナキ地方ニ在リテハ縣知事ヨリ地方ノ情形ヲ參酌シテ各區ヲ劃分セシムルモノトセリ而シテ區ヲ劃定シタルトキハ區内ノ住戶ヲ分チテ甲及牌ヲ編成スルモノトス即チ住民十戶ヲ一牌ト爲シ十牌ヲ一甲ト爲シ牌甲ノ號數ヲ定メテ戶毎ニ門牌(札門)(六八五)ヲ附ス例ヘハ某縣第何區第何甲第何牌第何戶ト定ムルカ如シ若シ住民ノ數十戶ニ足ラサルトキハ六戶以上ノモノハ一牌ト爲シ五戶以下ノモノハ鄰牌ニ併入セシムルモノトス又同シク居住者ト雖モ(イ)船内ニ居住スル者(ロ)寺廟ニ於ケル僧侶道士(ハ)官公署監獄學校工場其ノ他ノ公共建物内ニ於ケル者ハ牌甲内ヨリ除外セシム

二 編查ニ關スル職員

各縣ノ戶口編查事務ハ所轄縣知事ヲ以テ直接監督官トシ其ノ上級監督機關ハ現行官制ニ依リテ之ヲ定メ戶口編查事務ノ直接監督官タル知事ノ下ニハ左ノ如ク職員ヲ置キテ執務セシムルモノトス

(イ)區ニハ編查長一人ヲ置キ縣知事ノ指揮ヲ受ケ區内戶口編查ノ責ヲ負ハシム

(ロ)甲ニハ甲長一人ヲ置キ編查長ノ指示ニ從ヒ甲内戶口編查ノ責ヲ負ハシム

(ハ)牌ニハ牌長一人ヲ置キ甲長ノ指示ニ從ヒ牌内戶口編查ノ責ヲ負ハシム

右ノ内各區ノ編查長ハ左ノ順序ニ依リ縣知事ヨリ之ヲ委任スルモノトス

(イ)警察機關ノ設置アル地方ハ警察區ノ區長又ハ區員ヲ以テ之ニ任セシム

(ロ)保衛團ノミヲ設ケタル地方ハ保衛團團總又ハ同保董ヲ以テ之ニ任セシム

(ハ)警察機關及保衛團共ニ之ヲ設ケサル地方ニ在リテハ縣知事ヨリ嘗テ該地方團董又ハ村正ノ職務ヲ執リタル者若ハ公益事務ヲ執リタル公正ノ紳士ヲ舉ケテ之ニ任セシム

次ニ甲長及牌長ハ各該甲又ハ牌内ノ居住者中一定ノ資格アル者即チ(イ)該地ニ繼續居住スルコト滿三年以上ナル者(ロ)年齡滿二十五歲以上ナル者(ハ)品行方正ナル者(ニ)動産及不動産一千圓以上ヲ有シ又ハ正當ノ職業ヲ有スル者(ホ)略ホ文字ヲ解スル者ニ就キ編查長ヨリ之ヲ推舉シ縣知事ノ任命ヲ申請スルモノトス又各區ノ事務所即チ辦公處ハ區内適當ノ地ヲ選ヒ縣知事ノ指定シタル房屋又ハ民家ヲ借用シテ其ノ用ヲ辨シ牌甲ニ在リテハ牌長及甲長ノ住宅ヲ以テ事務所ニ充テシム而シテ此等ノ事務所ニ於テ取扱ヒタル書類ニ對シテハ區ニ於テハ編查長ヨリ牌甲ニ在リテハ牌長又ハ甲長ヨリ署名捺印スルモノトス

三 調査ノ順序及方法

戶口調査ハ清查覆査抽查ノ三種トス(イ)清查ハ初回ノ調査ニシテ牌長之ヲ行ヒ(ロ)覆査ハ再調査ニシテ甲長之ヲ行ヒ(ハ)抽查ハ任意ノ事項ヲ選擇シテ編查長自ラ精査ヲ行フモノトス其ノ調査期日ハ内務部ノ指令シタル時日ノ到來ヲ待チ縣知事ヨリ之カ開始ヲ命スヘシ

(二)清查 各牌ニ於テ牌長カ戶口ノ清查ヲ爲ストキハ左ノ事項ヲ調査スルモノトス

(イ)姓名

(ロ)男女ノ別結婚ノ成否及子女ノ有無

(ハ)年齡及出生年月日

(ニ)籍貫

(ホ)住所居所及居住年數

(ニ)職業

(ト)宗教

(チ)教育程度

(リ)盲啞瘋癲其ノ他ノ廢疾

(ス)戸内住者ト戸主トノ續柄及關係

(ル)其ノ他ノ事項刑事處分ヲ受ケタルコト又ハ調查當時外出シタル者ノ所在地及事由等ヲ記入ス

右ノ外牌内ニ算入セサル者即ナ(イ)船内居住者(ロ)寺廟ノ僧侶道士(ハ)公署監獄學校工場其ノ他公共建

物内ノ居住者ニ對シテモ前掲各項ニ準シテ之ヲ調査スルヲ要シ清查ノ際ハ戸毎ニ之ヲ詢問シテ編

查底册(參照第六八)ニ記入シ特ニ戸内ニ(イ)嘗テ徒刑以上ノ刑事處分ヲ受ケタル者(ロ)素行不正又ハ形

跡疑フヘキ者(ハ)家族以外ノ者カ多數同居スル場合ハ牌長ハ該底册ニ明記シ牌内ノ清查完了シタル

トキハ底册ハ牌長ニ於テ之ヲ保存シ別ニ本牌戸口清册(底册ノ形ニ仿フ)ヲ作製シテ甲長ニ送り覆査ニ備ヘ

シムルモノトス仍ホ右ノ底册及清册ノ記入ニ當リテハ左ノ如ク心得ヘキモノトス(參照第六八)

(甲)縣治戸口編查底册ノ記入方法

(イ)戸ハ正戸ト附戸ヲ分タス一家ニ數戸居住スルトキハ數戸ヲ以テ算シ父母ヲ同クスル兄弟ハ

炊爨ヲ異ニスルモ同居スルトキハ一戸ト爲シ別居スルトキハ各戸ニ分ツヘク外戚又ハ同族

相依リテ生活シ又ハ朋友ヲ寄居セシムル者ハ戸ヲ分タス一戸ト看做スヘキモノトス次ニ店

舖ハ一招牌ヲ一戸ニ算シ招牌ナキ者ハ門面ヲ以テ計算セシム但シ同一門面ニシテ二箇ノ舖

臺アル者ハ其ノ店主カ一人ナルトキハ一戸ト爲シ店主カ二人ナルトキハ二戸ニ算スヘク前

部ヲ店トシ後部ヲ住宅トシ店宅共ニ一人ノ所有ナルトキハ一戸トシ之ニ反スルトキハ二戸

ト爲スヲ要ス

(ロ)口トハ男女ヲ包括シ口數ハ戸主ヲ算入スヘシ養子ハ養父戸内ノ口ト爲シ養婚ハ女父戸内ノ

口トス傭人工夫ハ雇主戸内ノ口ニ入レ他人ニ依リテ生活スル者ハ扶養者戸内ノ口ト爲スヘ

ク店員ハ店主戸内ノ口數ニ算入セシム

(ハ)戸主トハ同居親屬中ノ尊長者ヲ指シ兄弟同居スル者ハ兄ヲ戸主トシ家ニ男子ナク又ハ男子

アルモ未成年者ナルトキハ婦女中ノ年長者ヲ戸主ト爲サシム店舖ハ店主ヲ戸主トスルモ店

主カ店內ニ在ラサルトキハ店ノ支配人ヲ戸主トシ合資シタル店ニ在リテハ主務者ヲ戸主ト

シ店員ノ資格相同シキ者ハ年長者ヲ戸主トスヘキモノトス

(ニ)戸主以外ノ人口ニシテ戸主ノ宗族ニ係ル者例ヘハ戸主ノ母妻姉妹弟子孫及其ノ配偶者ノ如

キ者ハ親屬欄内ニ記入シ竝ニ戸主トノ續柄ヲ記スヘキモノトス

(ホ)戸主ノ外戚友人等ノ同居スル者ハ同居欄内ニ記入シ竝ニ戸主トノ關係ヲ明ニスヘキモノト

ス

(ヘ)婢僕其ノ他ノ傭人ハ傭工欄内ニ記入シ竝ニ雇傭關係ヲ明ニスルヲ要ス

(ト)姓名欄ニハ眞ノ姓名ヲ記入スヘク別號堂名字號等ノ名稱ヲ記入スルコトヲ得ス但シ婦女ノ

姓名ヲ記入スルニ便ナラサル者ハ婦人ハ氏ヲ記シ女子ハ長次等ノ字ヲ用キテ記入セシム

(チ)籍貫欄内ニハ本籍ノ項下ニハ本籍ニ居住スル者ナルトキハ本籍ト記シ外來者ナルトキハ其

ノ原籍ヲ明記シ多數ノ同居者中省ヲ同フスル者ハ縣ノミヲ記スルコトヲ得

(リ)住居年欄内ニハ住居年數ヲ記シ外來者ニ在リテハ寄留年數ヲ記入スヘシ

(ヌ)職業欄内ニハ職業ノ種類ヲ記シ無職者ハ無ノ一字ヲ記入セシム

(ル)宗教欄内ニハ各信奉スル宗教ノ種類ヲ記入セシム

(ヲ)教育程度ハ曾テ讀書ヲ習ヒタルヤ何種ノ學校ニテ修業又ハ卒業シタルヤヲ記入シ舊來ノ科名(進士等ノ如キ)ヲ有スル者ハ其ノ科名ヲ記入セシム

(ワ)其ノ他事項欄ニハ戸口調査ノ時外出セル者其ノ所在地及事由若ハ戸内ニ刑事處分ヲ受ケタル者ノ有無素行不正形迹疑フヘキ者ノ有無家屬ニ非スシテ多數同居スル者ノ有無等ヲ記入スヘキモノトス

(カ)戸内ノ人口多數ナル爲メ一頁内ニ記入シ難キトキハ數頁ニ分記スルコトヲ得

(乙)縣治船戸戸口編查底册ノ記入法

(イ)船戸トハ陸上ニ一定ノ住所ナク船ヲ以テ家ト爲ス者ヲ意味シ一船ヲ以テ一戸ニ算スルモノトス戸口編查ノトキハ河川ノ境界ニ依リ各所屬地段ヲ分チ別ニ番號ヲ編成シ番號ノ上ニ船字ヲ附シテ普通ノ戸口ト區別セシム

(ロ)其ノ他ノ事項ニ關シテハ前述ノ説明ニ同シカラシム

(丙)縣治寺廟僧道ノ戸口編查記入法

(イ)寺廟トハ各種ノ寺院庵廟宮觀禪林洞刹等ヲ指シ僧道トハ僧尼道士女冠等ノ寺廟内ニ居住スル者ヲ云フ火居道士應付僧人(肉食妻帯アリ)ニシテ寺廟内ニ居住セサル者ハ普通戸口ヲ以テ論ス僧道ノ戸口編查ニ當リテハ別ニ番號ヲ編成シ番號ノ上ニ廟字ヲ加ヘシム

(ロ)住持以外ノ僧道ハ衆徒欄内ニ記入セシメ僧道ニ非スシテ使役ニ當ル者ハ傭工欄内ニ記入セシム

(ハ)姓名欄内ニハ道士ノ姓名アル者ハ姓名ヲ記入セシメ其ノ他ノ姓名ナキ者ハ法名ヲ記入セシム

(ニ)籍貫ハ俗家ノ屬籍ヲ指ス

(丁)公共機關ノ戸口編查記入法

公共機關ニ在リテハ官公所ノ區別ヲ明ニシ人數ヲ明查スヘク祠堂會館公所等ノ内部ニ住戸アルトキハ普通ノ戸口ヲ以テ論スヘク又其ノ戸口編查番號ハ別ニ之ヲ編成セシメ番號ノ上ニ公字ヲ加ヘテ普通ノ戸口ト區別セシム

(二)覆査 甲長カ各牌長ヨリ戸口清册ノ送致ヲ受ケタルトキハ各册内ノ記載事項ニ對シ戸毎ニ之ヲ再查シ錯誤遺漏ノ箇所アルトキハ之ヲ更正スルヲ要シ覆査完了ノトキハ各牌戸口清册ハ甲長ニ於テ之ヲ保存スルト共ニ別ニ本甲戸口清册ヲ編製シテ編查長ニ報告スヘキモノトス

(三)抽查 編查長カ各甲戸口清册ノ送達ニ接シタルトキハ各册内ノ記入事項ニ就キ抽查ノ必要アルモノヲ擇ヒテ之ヲ精査シ錯誤遺漏アルトキハ之ヲ訂正スヘク抽查終了ノ後ハ各甲清册ハ之ヲ手許ニ存置シ別ニ本區戸口清册ヲ編製シ更ニ其ノ册後ニハ左ノ各項ニ對スル區内ノ統計ヲ添附シテ縣知事ニ通報スルヲ要ス

(イ)戸 數

(ロ)男女口數

(ハ)年齡滿六歲以上十三歲以下ノ學童數

(ニ)年齡二十歲以上四十歲以下ノ壯丁數

(ホ)本籍者及客籍(留寄)者

(ヘ)職業ノ有無

(ト)現住者及他出者

(チ)癡疾者

(リ)宗教ノ種類

(ル)素行不正又ハ形跡疑フヘキ者

(ヌ)刑事處分ヲ受ケタル者

(ヲ)家族外ノ多數同居者

縣知事カ右ノ各區戸口清冊ノ送達ニ接シタルトキハ更ニ吏員ヲ派シテ再ヒ抽查ヲ爲サシメタル上各區戸口清冊ヲ縣知事ニ於テ保管シ別ニ全縣戸口表ヲ調製シテ所轄監督官廳ニ送達シ該監督官廳ハ各縣ノ戸口表ニ基キ所屬戸口總數表ヲ彙造セシメテ内務部ニ報告シ全國戸口總數表ヲ編成スルニ備ヘシム此ノ際各道監督長官ハ隨時委員ヲ派シテ清冊ヲ抽查スルコトヲ得又初回ノ調査ニ在リテハ必要ト認ムルトキハ巡按使又ハ道尹ヨリ吏員ヲ各縣ニ派シテ調査事務ヲ指導セシムルヲ得ヘク編查開始ニ當リテハ人民ニ對シ縣知事ヨリ諭告ヲ發シ若ハ調査ノ本旨ヲ講演シテ人心ノ動搖ヲ防キ吏員ノ要求ニ係ル諸種ノ失費無カラシムヘシ

(四)戸口冊ノ訂正 戸口編查完了ノ日以後ニ於テ各戸内ニ移住出生死亡婚姻相續等ノ事故ヲ生シタルトキハ各戸主ハ五日以内ヲ限リ其ノ旨ヲ記載シテ牌長ニ届出ツルノ義務ヲ有ス此ノ届出ニ接シタル牌長ハ自己ノ保存ニ係ル戸口底冊ヲ逐一増改スルト共ニ其ノ旨ヲ甲長ニ通報スヘク甲長ハ更ニ編查長ニ轉報シ編查長ハ各月分毎ニ縣知事ニ報告スルモノトシ此等ノ報告ニ接シタル甲長編查長縣知事ハ其ノ都度各自ノ保存ニ係ル戸口清冊ニ就キ詳細増改スルヲ要ス若シ右ノ五日以内ノ日限ニ於テ戸主カ届出ヲ爲ササルトキハ牌長ヨリ之ヲ明查報告スヘキモノトス又縣知事ハ戸口ノ變動ニ關シテハ每年末ニ於テ戸口變動表ヲ作製シ監督官廳ヲ經テ内務部ニ彙報セサルヘカラス

四處 罰

戸口編查ニ當リ(イ)之カ編查ヲ受ケス又ハ故意ニ不實ノ申立ヲ爲ス者アルトキハ一圓以上五圓以下ノ罰金ニ處シ(ロ)編查ヲ妨害スル舉動アル者ニ對シテハ五日以上一月以下ノ拘役又ハ五圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處スヘク(ハ)此等ノ處分ハ所轄縣知事ヲシテ即決セシムルモノトス(ニ)此ノ外編查職員ニシテ不法ノ行爲アリシ爲メ告發ヲ受ケ不法ノ事實明ナルトキハ刑律ニ照シテ處分スヘク(ホ)縣知事カ本規則ニ從テ戸口調査事務ヲ處理セス若ハ不實ノ報告ヲ爲シタル場合ハ所管監督官廳ヨリ輕重ヲ分別シテ記過又ハ撤任ニ處シ又ハ懲戒ニ付スヘキモノトス

五經 費

戸口ノ調査ニ要スル經費ハ縣知事ニ於テ各地方ノ自治經費内ヨリ酌量支出シ調査完了後收支ニ關スル清冊ヲ作製シテ監督官廳ヲ經由シ内務部ニ報告スヘク各戸ニ對シ分擔セシムルヲ得サラシム又編查ニ從事スル職員ハ名譽職トシ事務取扱ニ要スル實費ヲ支給スル外月俸手當ヲ給セサルモノトス

第二 警察廳ノ戸口調査

一 調査區域ノ劃定

京師(京北)及各省省城商埠地ニシテ警察廳ヲ有シ其ノ警察機關ノ組織完備シ境内ノ戸口亦繁盛ナルモノニ對シ内務部ノ認定ヲ經戸口調査ヲ爲ストキハ警察廳戸口調査規則(六七)ノ規定ヲ適用スヘキモノトス而シテ之カ調査ヲ實行スルニ先チ調査區域ヲ定ムルノ要アルヲ以テ同規則第五條第六條ニ於テ之ニ關スル規定ヲ置キタリ即チ同條ニ依レハ警察廳ノ調査區域ハ其ノ管轄區域ヲ以テ限ト爲シ警察廳ノ管轄區域以外ノ地ニ在リテハ所管縣知事ニ於テ縣治戸口編查規則ニ照シテ編查ス

ヘキモノトス又調査區域ノ劃分ハ警察區ニ依リテ之ヲ定メシムルモ必要ニ應シテハ各警察區ヲ數地段ニ小分シテ調査ヲ爲スヲ得ルモノト定メタリ此ノ場合ニ於テ縣ノ戸口清查ト異ルハ縣ニ在リテハ甲牌ノ區分ヲ爲シタルモ警察廳ノ調査區域ニハ此ノ區分ヲ行ハサルニ在リ

二 調査事務員

警察廳ノ戸口調査事務ハ警察總監(京北)又ハ警察廳長ヲ調査監督トシ其ノ上級監督機關ハ現行官制ノ規定ニ依ラシム又調査區ニ在リテハ警察署ヲ事務所ト爲シ左ノ如ク事務員ヲ置キテ執務セシムルモノトス

(イ) 調査長 每區一人トシ警察署長ヲ以テ之ニ充ツ調査監督ノ指揮ヲ受ケ一切ノ調査事務ヲ掌理セシム

(ロ) 調査員 定員ナシ事務ノ繁簡ヲ見調査監督ヨリ各警察區ノ屬員ヲ分派シテ之ニ充テ調査長ノ指揮ヲ受ケ一切ノ調査事務ヲ分擔セシム

三 調査ノ順序及方法

戸口調査ハ清查及覆査ノ二種トシ覆査期日ハ調査監督ヨリ豫メ之ヲ通告シ期日ニ至リ所管區域内ヲ同日ニ實行セシム

(一) 清查及覆査 調査員カ各區内ニ於テ調査スヘキ事項ハ縣ノ戸口編査ニ於ケル場合ト全然相同シク前ニ各縣ノ戸口清查事項トシテ掲ケタル(イ)姓名(ロ)男女ノ別婚姻ノ成否子女ノ有無其ノ他(ル)ニ至ル各件ヲ含ムモノトス而シテ清查ノトキハ調査員ハ戸毎ニ番號ヲ附シ門牌(門)附シ(參照第六八)ヲ掲ケシメ調査票(參照第六八)ヲ交付シ戸主ヲシテ右ノ各件ヲ一定ノ形式ニ依リテ該票ニ記入セシム覆

査ノ日ニ至レハ調査員ハ再ヒ各戸ニ赴キテ該票ヲ回收シ前ニ調査シタルモノト對照シ錯誤アレハ之ヲ改ムルモノトシ若シ戸主ニシテ之ヲ記入スル能ハス又代書スル者モナキトキハ調査員ヨリ詢問記入シ調査ニ當リテ戸内ニ(イ)徒刑以上ノ刑事處分ヲ受ケタル者(ロ)素行不正又ハ形跡疑フヘキ者(ハ)家族以外ノ者カ多數同居スルモノ等アルトキハ特ニ其ノ旨ヲ調査票内ニ明記スルヲ要ス又(イ)船内居住者(ロ)寺廟僧侶及道士(ハ)公署監獄學校工場其ノ他公共建物内ノ居住者ニ對シテハ仍ホ前記各件ヲ調査シ別ニ番號ヲ編成セシムルモノトス斯クシテ調査ヲ完了シタル後ハ調査長ハ調査員ヲ監督シテ本區戸口清冊(參照第六八六)ニ部ヲ作製シ一部ハ之ヲ區内ニ存置シ一部ハ調査監督ニ送致セシム仍ホ前項戸口清冊ノ作製ニ當リテハ縣ノ戸口編査ノ際編査長カ區戸口清冊ノ冊後ニ添附スヘキ各項(本目第一三三參照)ト全ク相同シキ事項ニ就キ區内ノ統計ヲ添附スヘク清冊ノ記入ニ當リテモ縣ノ戸口編査底冊及清冊ノ記入方法ニ倣ハシムルモノトス

右ノ戸口清冊ノ送致ニ接シタル調査監督ハ管内全部ノ清冊ニ基キ本廳管轄戸口總數表(參照第六八〇)ヲ調製シテ所轄長官ニ送附シ所屬警察廳管轄戸口總數表ヲ作製シテ内務部ニ通報セシムヘク内務部ハ右ノ戸口總數表及各縣治戸口總數表ニ基キ全國戸口總數表ヲ作りテ政府公報ニ登載スルモノトス但シ之カ初回ノ調査ニ在リテハ調査監督ヨリ諭告ヲ出シテ吏員カ諸種ノ費用ヲ要求スルヲ禁シ又ハ一般人民カ人心ノ動搖ヲ爲ス如キ言動ヲ禁スヘキ旨ヲ告示スルト共一人ヲ派シテ調査ノ主意ヲ講演セシムルコト縣ノ戸口編査ノ場合ニ同シカラシム

(二) 戸口冊ノ訂正 戸口調査完了後ニ於テ各戸内ニ移住出生死亡婚姻相續等ノ事故ヲ生シタルトキハ各戸主ハ五日以内ヲ限リ所管區警察署ニ其ノ旨ヲ届出ツルヲ要シ若シ右ノ期限内ニ戸主ノ届

出ナキトキハ區警察署長ヨリ之ヲ調査スヘク區警察署長ハ右ノ届出又ハ調査ヲ爲シタル都度自
 ラ保存スル戸口冊ヲ訂正シ更ニ各月毎ニ其ノ旨ヲ調査監督ニ報告セサルヘカラス調査監督其
 ノ報告ニ接シタルトキハ之亦自己ノ保管スル戸口清冊ヲ訂正スルヲ要シ仍ホ警察廳ノ管轄ニ屬
 スル戸口ノ變動ニ關シテハ調査監督タル同廳長ハ毎年末ニ於テ戸口變動表(參照第六)ヲ作製シテ
 所屬長官ニ通報シ順ニ内務部ニ報告スル所アラシムヘシ

(三)處罰 戸口調査ノ際イ調査ヲ受ケス又ハ故意ニ不實ノ申立ヲ爲ストキハ一圓以上五圓以下ノ罰
 金ニ處セラレロ調査ヲ妨害スル舉動アルトキハ五日以上一月以下ノ拘役又ハ五圓以上三十圓以
 下ノ罰金ニ處セラルヘク此等ノ處分ハ個人タルト團體タルトニ論ナク又特別ノ身分ヲ有スル者
 ト雖モ共ニ調査監督タル警察廳長ヲシテ之ヲ即決セシムルモノトスハ此ノ外調査事務員ニシテ
 不法ノ行爲アルトキハ刑律ニ照シテ處斷スヘクニ調査監督カ本規則ニ從テ處理セス若ハ不實ノ
 報告ヲ爲シタルトキハ所轄監督長官ハ輕重ヲ見テ該監督ヲ記過又ハ懲戒處分ニ附スルモノトス
 (四)經費 戸口調査經費ハ各地方ノ自治經費内ヨリ酌量支出シ不足ナルトキハ警察費内ヨリ補充セ
 シム其ノ支出額ハ調査監督ヨリ所轄長官ニ認可ヲ請フヘク調査完了後ハ其ノ收支ヲ明ニシテ所
 屬官廳ヲ經内務部ニ報告セサルヘカラス又調査ニ從事スル事務員ハ別ニ俸給手當ヲ支給セサル
 モノトス

第一目 奉吉二省ノ戸口管理法

奉天吉林二省ニ於テハ前述一般規定ニ基キ特ニ二省ヲ通シテ施行スヘキ管理戸口章程(參照第七四)ヲ制

定シ各警察官吏ヲシテ戸口調査事務ヲ管理セシムルモノトセリ即チ該章程ニ依ルトキハ奉吉二省
 ノ警察官署ハ各所轄地域内ニ於ケル戸口ヲ管理スルモノニシテ各警察長官ハ警察官吏ヲ指揮シ隨
 時管内戸口ノ移動増減ヲ調査シ並ニ各居住者ノ性行生活狀況ヲ督察スルコトヲ得ルモノトス而シ
 テ其ノ調査ノ結果ハ各警察署及分所ニ在リテハ毎月一回之ヲ所屬警察廳又ハ縣警察所ニ報告スル
 ヲ要シ更ニ省城及商埠地ノ警察廳若ハ各縣警察所ハ半年毎ニ一回各上級官衙タル縣知事道尹及巡
 按使(省)ニ對シ所管戸口調査報告ヲ爲スヘキモノトシ但タ外國人ノ新來居住者ハ戸口ノ變動緊急
 事件等アルトキハ其ノ都度之ヲ報告セシムルモノトセリ今之カ調査方法ヲ記スレハ左ノ如シ

一 門牌及號數

住民ハ各一戸ヲ以テ一號ト爲シ門牌(門)一枚ヲ掲クルモノトシ同一構内ニ二戸以上同居スル者ハ
 合シテ一號ト爲ス而シテ門牌ノ號數ハ各警察官署ニ於テ區域ノ廣狹戸數ノ多寡ヲ酌量シテ之ヲ編
 定セシム又一般住民ノ外官衙局所軍營其ノ他官公設機關ニ對シテハ別ニ番號ヲ編成シテ門牌ヲ掲
 ケシメ外國領事官署及同官舎ニ在リテハ號數ノミヲ記スニ止メ門牌ヲ掲クルヲ要セス但シ内地ニ
 居留スル外國人ノ住所ニ關シテハ一般住民ノ例ニ倣フヘキモノトス戸口ノ調査ニ當リテハ調査ニ
 從事スル警察官吏ノ携帶ニ備フル帳簿即チ戸口草冊及各級警察官署ノ保存用又ハ行政官廳ニ報告
 スル爲メノ帳簿即チ戸口正冊ヲ作製シ戸口ノ移動生死其ノ他ノ變更事件ヲ先ツ戸口草冊ニ記入シ
 然ル後戸口正冊ヲ訂正スルモノトシ内地ニ居住スル外國人ニ對シテハ右ノ正冊及草冊以外ニ特ニ
 外國人ニ關スル戸口正冊一部ヲ作製シ移住年月日ヲ併記セシム又住民ニシテ管轄警察官署ヲ異ニ
 スル地方ニ移轉スルトキハ警察官吏ハ該住民ノ戸口冊ヲ筆寫シテ移住地ノ警察官署ニ送達スヘク

他署ノ管轄ニ係リシ住民ノ轉居ニ當リ移住ノ報告ニ接セサルトキハ新管警察官署ハ舊管警察官署ニ向ヒテ之ヲ問合スヘキモノトス

二 戸口移動ノ申告

左記各項ノ場合ニ於テハ規定ニ從ヒ戸主ヨリ當該所轄官署ニ申告スルヲ要シ戸主不在ナルトキハ親屬ヨリ之ヲ行ヒ全家廢絶スルトキハ近隣ノ住民ニ於テ申告ノ義務ヲ負フモノトス

(一) 住民カ全戸又ハ一部移住ヲ爲ストキ 此ノ場合ニ於テハ移住五日前及移住地到着後五日以内

(ニ) (イ) 戸號(ロ) 戸主ノ姓名年齢原籍職業(ハ) 家族ノ男女別姓名年齢職業(ニ) 家族外同居人ノ姓名年齢原籍職業(ホ) 備人ノ姓名年齢原籍職業(ヘ) 舊居住地及新移住地(ト) 家屋間數(チ) 戸主ト家主又ハ地主トノ契約關係ヲ明記シ新舊所管警察官署ニ申告スルヲ要ス

(三) 臨時戸口ノ増減ヲ來シタルトキ 住民カ相續婚娶雇傭ニ依リ又ハ親戚朋友ヲ宿泊セシムル爲

メ一家内ノ人口ヲ増加スルコト十日以上ニ達スルトキ若ハ養子縁組出嫁被傭寄留等ノ爲メニ

戸内ノ人口ヲ減少スルトキハ各五日以内(イ) 戸號及届出人ノ姓名(ロ) 増加又ハ減少スル本人ノ姓

名年齢原籍職業(ハ) 増加スル場合ニ於テハ其ノ來歴(ニ) 減少スル場合ニ於テハ其ノ行先地ヲ所轄

警察官署ニ申告スヘキモノトス

(三) 子女出生ノトキ 戸内ニ子女ノ出生アリタルトキハ五日以内(イ) 戸號及届出人ノ姓名(ロ) 生兒ノ

父母ノ姓名原籍(ハ) 生兒ノ男女別名字及出生年月日時ヲ所管警察署ニ届出テサルヘカラス

(四) 死亡者アルトキ 戸内ニ死亡者アルトキハ二日以内(イ) 戸號及届出人ノ姓名(ロ) 死亡者ノ男女別

姓名年齢原籍(ハ) 死亡年月日時(ニ) 死亡ノ原因(ホ) 葬期及葬地ヲ届出ツルヲ要ス

(五) 失踪人アルトキ 戸内ニ失踪人アルトキハ失踪確認ノ日ニ於テ(イ) 戸號及届出人ノ姓名(ロ) 失踪

人ノ男女別姓名年齢原籍(ハ) 失踪ノ原因(ニ) 失踪ノ年月日ヲ明記シテ届出ツヘキモノトス

若シ前述(一)乃至(五)ニ記載スル各項ノ規定ニ違反スルトキハ一元以上十元以下ノ罰金ニ處セラルヘ

シ

三 特別調査事項

戸口調査ノ際ハ戸口ニ關スル事項ノ外住民ノ性行ノ良否生活費ノ過不足家庭ノ不和和郷中評判ノ

優劣交際ノ正邪職業ノ勤惰既往ノ事實等ニ就キ探問シテ草册備考欄内ニ摘記シ殊ニ(イ) 孝子貞婦及

ヒ其ノ他盛徳アル者アルトキ(ロ) 性質不良ノ徒カ聚集又ハ同居スルトキ(ハ) 俄ニ貧者ト爲リ又ハ富者

ト爲リタル者アルトキ(ニ) 内外人間ノ交際親密ナル者又ハ之カ疎隔ヲ生シタル者アルトキ(ホ) 内國人

カ外國ノ言語ヲ習ヒ又ハ外國人カ中國ノ言語ヲ習フ者アルトキ等ノ事情ヲ探知シタルトキハ上級

官署ニ其ノ旨ヲ報告スルヲ要シ各戸ノ生計資産状態ニ關シテハ甲乙丙ノ三等ニ分チ草册内ニ符號

ヲ以テ之ヲ記サシム此ノ外官衛局所軍營其ノ他官公設機關ニ對シ調査スヘキ事項アルトキハ警察

官長自ラ之ヲ訪問調査スヘク又樂戶(藝人俳優歌妓又其ノ師匠ノ住所)(イ) 飲食店旅店劇場廟宇其ノ他公衆ノ集居スル場

所ニ對シテハ毎日必ス一回以上之ヲ調査シ其ノ都度見聞シタル事實ヲ別册ニ記入スヘキモノトシ

調査上必要アルトキハ警察官吏ハ各住民ノ有スル官文書又ハ官定方式ニ依リ複製シタル私文書ヲ

検査スルヲ得ヘク戸主ニシテ之カ検査ヲ拒ムトキハ一元以上十元以下ノ罰金ニ處スルモノトス尙

ホ右ノ各調査ハ臨時調査ノ必要アル場合ヲ除キ毎日午前八時ヨリ午後五時マテノ時間内ニ之ヲ爲

スヘク住民ニシテ故意ニ調査事務ヲ妨害スルトキハ一元以上十五元以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

第五項 遺失物及迷兒警察

遺失物ノ取締及迷兒ノ保護ニ關シテハ左ノ如ク之ヲ處理スヘキモノトス

第一目 遺失物取締

遺失物ノ取締ニ關シテハ從來ニ於テモ之カ規定ヲ存シ遺失物ノ拾得者ハ拾得後五日內ニ該物品ヲ官ニ送ルヘキモノトセルカ(大清律例)近年ニ至リ別ニ遺失物返還章程(參照第八七)ヲ制定シ奉吉二省ニ實施シタリ内容左ノ如シ

一 遺失物ノ返還

他人ノ遺失又ハ遺留シタル物品金錢ヲ拾得シ又ハ自己ノ過失ニ依リ善意ヲ以テ他人ノ所有物ヲ占有シ若ハ他人ノ錯誤ニ依リ自己ニ交付シタル他人ノ所有物ニ對シテハ均シク遺失物ヲ以テ論スヘク此等ノ物件ハ(イ)遺失者(ロ)所有者(ハ)物件取戻ノ請求權ヲ有スル者ニ返還スルヲ要ス若シ遺失物ノ拾得者カ物件ノ返還ヲ受クヘキ者ノ氏名住所ヲ知ラス又ハ返還ヲ爲スニ事實困難ノ情形アルトキハ該物件ヲ所轄警察官署ニ差出シテ保管若ハ賣却セシムヘク右ニ依リテ賣却シタルトキハ賣却代金ノ額ヲ以テ該物件ノ價格ト看做スモノトス但シ禁制品ヲ拾得シタル者ハ之カ返還ヲ受クヘキ者ニ還附スルコトナク即時ニ警察官署ニ差出スヘク其ノ他法令ニ依リテ許可ヲ受クルニ非サレハ私有スルコトヲ得サル物件ヲ拾得シタルトキハ禁制品拾得ノ場合ト同シク警察官署ニ差出シ該官署ヨリ之ヲ返還セシメ其ノ所有者ニシテ未タ公然所有ノ許可ヲ受ケサル者ナルトキハ律ヲ按シテ處

分セラルヘシ尙ホ漂流物ノ拾得返還ニ當リテハ普通ノ遺失物ニ關スル本章程ノ規定ヲ適用スヘク若シ遺失物及漂流物ニ關シテ他ニ特定章程アルトキハ該章程ニ照シテ處理スヘキモノトス

遺失物ノ返還ヲ受クル者ハ之カ受領ニ當リ適當ノ保證人ヲ立テ並ニ遺失物ノ保存ニ關スル一切ノ費用ヲ負擔スヘク其ノ費用ハ返還ノ際之ヲ完納セサルヘカラス又拾得者カ法人又ハ公人以外ノ者ナルトキハ返還ヲ受クル者ハ拾得者ニ對シ多少ノ報酬ヲ支給スルコトヲ得ヘシ

二 遺失物ノ處分

遺失物ニ對シテ警察官署ヨリ返還ヲ受クヘキ者ニ對シ之ヲ受領スヘキ旨ヲ公告シテ一箇年ヲ經過スルモ受領者ナキトキハ拾得者ハ其ノ拾得物ノ所有權ヲ取得スヘシ又之ト同時ニ拾得者ハ該物件ノ保存費用ヲ負擔セサルヘカラス若シ拾得者カ右ノ所有權取得後半年以內ニ該物件ヲ受領セサルトキ又ハ故アリテ之ヲ返還スル能ハサルトキハ其ノ所有權ハ國庫ニ歸屬スルモノトス但シ該物件ニシテ他ニ移轉スル能ハス且ツ永久ノ保存ニ堪ヘ引續キ何時タリトモ受領者ニ返還シ得ヘキモノナルトキハ本項ノ處分ヲ爲スヲ得サルモノトス此ノ外遺失物及漂流物ニ關シ本章程及他ノ章程ニ規定セサル事實ノ發生ヲ見タルトキハ當該警察官署ハ適宜ノ處置ヲ執ルコトヲ得ヘク拾得者及受領者ハ其ノ處置ニ對シ服從ノ義務ヲ有スルモノトス

三 處 罰

遺失物ノ拾得者カ故意ニ遺失物ヲ隱匿シ又ハ使用處分シタルトキハ審判廳ハ侵占罪ニ依リ律ヲ按シテ處罰スヘク其ノ他前述各項ニ違犯シタルトキハ一元以上二十元以下ノ罰金又ハ一日以上十日以下ノ拘役ニ處スヘキモノトス

第二目 迷兒保護

民國五年五月十七日公布保護迷童章程(參照第一七)ノ規定ニ從ヘハ吉林省ニ於テハ警察廳ノ管區内ニ男女兒ノ路ニ迷フ者アルトキハ即時ニ當該警察官吏ヨリ尋問ヲ爲シ左ノ各項ニ該當スル者ニ引渡シタル後該警察署ヨリ警察廳ニ其ノ旨ヲ報告スヘキモノトス

(イ)迷兒ノ同居尊親屬及親屬

(ロ)迷兒ノ寄居地ノ親屬及戚友ノ家屬

(ハ)平常又ハ臨時ニ於ケル迷兒ノ監護人

(ニ)迷兒ニ對スル扶養義務者

若シ警察官吏カ右ノ各項ニ該當スル者ノ姓名住所ヲ確ムルコト能ハス警察署亦之カ調査ノ方法ナキトキハ警察廳ニ其ノ旨ヲ報告シ管内ニ公示シテ引取ルヘキ保護者ニ明知セシムヘク迷兒ノ言語動作ニ依リテ迷兒カ土著者ノ家族ニ非サルコトヲ知リタルトキハ原住地又ハ各省地方官ニ通飭シテ其ノ旨ヲ公示セシムヘキモノトス又警察官吏以外ノ者カ迷兒ヲ發見シタルトキハ直接前掲保護者ニ引渡シ又ハ發見地ノ警察官署ニ送致スルヲ要ス次ニ警察官署カ迷兒ヲ保護者ニ引渡スコト能ハサルトキハ適當ノ慈善機關ニ託シテ養育セシムヘク該慈善機關ハ之カ養育ヲ爲スヘキ義務ヲ負フモノトス但シ地方ニ依リ慈善機關ナキトキハ妥實ナル旅店又ハ住民ニ託シテ養育セシメ所要ノ養育費ハ他日前掲保護者カ迷兒ヲ引取ルトキ之ヲ支拂フヘキモノトス而シテ保護者カ迷兒ヲ引取ルトキハ發見者ニ對シ相當ノ謝禮ヲ爲スコトヲ得ルモ發見者自ラ其ノ謝禮ヲ強請スルコトヲ得サ

ルモノトシ殊ニ該發見者カ警察官吏ナルトキハ警察廳ノ賞罰規定ニ照シテ賞獎ヲ爲スヘク保護者ヨリ謝禮ヲ受クルコトヲ得ス

警察官吏以外ノ者カ迷兒ヲ發見シタルトキ規定ニ從テ之ヲ引渡サス又ハ迷兒ノ引渡ニ際シ謝禮ヲ強請スルトキハ三十元以下ノ罰金ニ處シ罰金ヲ納付スル資力ナキトキハ違警罰法ノ規定ニ照シテ拘留ニ代フヘク若シ迷兒ニ關スル規定ニ違犯シ延テ刑事事件ヲ發生シタルトキハ該犯人ヲ司法官廳ニ交付シテ處分セシムルモノトス

第六項 風俗警察

第一目 宗教取締

支那臨時約法(民國元年三月十一日公布)第八條第七項及中華民國約法(民國三年五月一日公布)第五條第七項ニ依レハ支那人民ハ法律ノ規定スル範圍ニ於テ信教ノ自由ヲ有ス而シテ支那官憲ノ解釋ニ從ヘハ所謂信教トハ系統アリ經典アリ統アリ經典アリ歴史ヲ有スル宗教ヲ信奉スルヲ云フモノニシテ東三省ニ於ケル混元門在理教黃天教(別名普聖門佛)摩訶教六門神教大同佛新教(大同神)白陽教(民國三年二月十一日奉天公報六八〇號同年三月十六日同八二五號同年一月三十日吉林公報三三二號)等ノ如キハ宗教ト目スヘキモノニ非スト爲セリ加之前記ノ各教ハ奇ヲ好ム無賴莠民ノ隱家ト爲リ勢ヲ藉テ招搖シ神仙符呪ノ名ヲ藉リテ鄉民ヲ誘惑スルヲ常トシ無智ノ人民ハ最モ愚惑ヲ被リ易ク世道人心ニ障害多キヲ以テ之ヲ嚴禁スヘク系統アリ經典アリ歴史アル眞ノ宗教ニ對シテハ保護ヲ加フヘキモ其ノ信徒ニシテ教旨ヲ守ラス秩序ヲ紊ス者アルト

キハ地方行政官廳ハ隨時其ノ事實ヲ稽查シ所屬警察官吏ヲシテ取締ヲ加ヘシムヘキモノトセリ(民國三年二月九日政)右ノ外巫術ノ如キモ支那全國ニ行ハレ巫女其ノ他ノ施術者ハ祠廟ニ祈禱ヲ爲シ或ハ種々ノ藥品ヲ用キ附會シテ神方ト爲シ之ヲ施シテ愚民ヲ迷ハシ甚シキハ砒硫ノ毒藥ヲ配合シテ人命ヲ失ハシムル者アルヲ以テ此等モ取締ヲ嚴ニシ各廟ノ神藥方箋及版本等ヲ押收シテ其ノ根絶ヲ期セシムルコトトセリ(內務部令七十二號)

備考 大津律(禮記)ノ規定ニ依ルモ師巫邪神ヲ假降シ符ヲ書シ水ヲ呪シ若ハ妄ニ彌勒佛、白蓮社、明尊教、白雲宗等ノ會ト稱スル左道異端ノ術又ハ關係ヲ隱藏シ香ヲ燒キ衆ヲ集メ夜驛マリ曉ニ散シ善事ヲ修スト伴ハリ人民ヲ煽惑スルカ如キハ之ヲ禁止セリ

第二目 賭博取締

賭博ニ關シテハ從來法律ヲ以テ之ヲ禁止セルカ(大清律例)宣統元年八月ニ至リ民政部ハ麻雀(賭博)ヲ弄フ如キモ賭博ノ一種ト看做シ嗣後之ヲ禁スルコトトシ(大清法政大全)又司法部ハ民國二年七月吉林省ノ質疑ニ對シ通告ヲ發シ商人間ニ行ハルル空賣空買即チ貨幣又ハ物品ニ對スル相場ノ高低ヲ賭シテ之ヲ賣買スル行爲ノ如キモ賭博ヲ以テ論シ刑法ノ規定ニ照シテ處分スヘキモノト爲シタルヲ以テ(參照第一〇)相場ノ高低ヲ利用スル空取引ノ如キハ全ク之ヲ禁止セルモノタルハ明ナリ然モ民間ニハ仍ホ各種ノ賭博盛ニ行ハルルヲ見大總統ハ民國二年十一月二十九日嚴令ヲ降シ賭博ノ害ハ小ハ各自ノ時間ヲ費シ事務ヲ廢シ大ハ產ヲ蕩シ家ヲ傾ケ精神ヲ損シ人志ヲ短ニシ變シテ詐僞ト爲リ奸盜戕殺事件ヲ惹起スルニ至ルヘキヲ以テ以後嚴重ニ取締リ違犯者ニ對シテハ賭博罪ニ照シテ處分スヘキ旨ヲ通達シタリ(參照第九)

第三目 戲劇取締

戲劇トハ芝居活動寫真寄席其ノ他各種ノ藝ヲ興行シ一定ノ入場料又ハ觀覽料ヲ要求スルモノヲ意味シ奉吉二省ニ於テ此等戲劇ノ營業ヲ爲ス者ハ普通營業ニ關スル各項ノ規定ニ遵照スル外取締戲劇章程(參照第八三)ノ規定ヲ遵守セサルヘカラス又奉天省城ニ於テハ別ニ劇場ノ取締規則ヲ定メ場内ヲ取締ルコトトセリ以下之ヲ説明スヘシ

第一 奉吉二省ニ於ケル取締

一營業ノ許可及禁止停止
取締戲劇章程(參照第八三)ノ規定ニ依レハ戲劇營業ヲ爲ス者ハ(イ)經理人ノ姓名年齡原籍住所(ロ)男女藝人俳優ノ姓名人數(ハ)雇傭人ノ姓名人數(ニ)興行地點(ホ)劇場ノ面積(ヘ)興行時間(ト)興行定期日ヲ明記シテ所轄警察官署ニ出願シ其ノ許可ヲ受クルヲ要シ警察官署ニシテ許可ヲ爲ストキハ定期行業證ヲ下付スヘシ但シ前述出願明記事項ニシテ變更ヲ生シタルトキハ其ノ都度警察官署ノ認可ヲ申請スヘク又興行一日前毎ニ各藝題ノ届出ヲ爲ササルヘカラス而シテ興行許可後ニ至リ劇場ニ於テ衛生及風俗ニ妨害アル事情アルトキハ警察官署ハ便宜之ヲ處分スルコトヲ得ヘク殊ニ(イ)地方不穩ナル場合(ロ)病疫ノ流行時(ハ)奸徒又ハ竊盜犯人ノ檢舉捕縛ノトキ(ニ)劇場ニ危險ノ情形アルトキ(ホ)興行出願ニ要スル明記事項ヲ缺クトキ(ヘ)前述警察官署ノ處分ヲ拒絕スル者(ト)行政官署及警察官署ノ命令ニ服從セサル者等ニ對シテハ警察官署ハ其ノ興行ヲ禁止又ハ停止スルコトヲ得ヘク又右ニ依リテ興行ヲ停止セルモノニ對シテハ何時タリトモ同官署ハ其ノ停止命令ヲ解除スルコトヲ得ヘシ

二 營業ノ制限

戲劇ノ興行ヲ爲ス時ハ興行ノ前日ニ於テ藝題ヲ明記シ警察官署ニ届出テテ檢閲ヲ請フヘク其ノ興行時間ハ毎日午前九時ヨリ午後十二時マテヲ以テ限リトシ劇場ニハ藝人藝題及入場座席料等ニ關シ適宜ノ方法ヲ以テ觀客ニ告知セシムルヲ要ス而シテ劇場内ニハ警察官吏ノ監視ニ必要ナル座席ヲ設備スヘク且ツ場内ニ於テハ男女竝立又ハ同席スルヲ得サルモノトシ警察官署ハ戲劇營業ニ對シ檢察ノ必要アル時ハ何時何地タリトモ之カ檢査ヲ執行スルコトヲ得ヘシ又戲劇營業者カ納付スヘキ地方稅及警察官臨檢費ハ各地方ノ徵收慣例及警察官署收費章程ニ依リテ徵收スルモノトス

三 處 罰

戲劇營業者ニシテ(イ)興行一日前ニ藝題ヲ届出テス(ロ)興行時間ノ制限ヲ遵守セス(ハ)場内ニ於テ男女竝立又ハ同席セシメタルトキハ十五元以下ノ罰金ニ處シ(ニ)場内ニ警察官吏ノ監視座席ヲ設ケス(ホ)藝人藝題及入場座席料ノ告知方法ヲ講セス(ヘ)警察官吏ノ檢舉ヲ拒ム等ノ場合ニ於テハ十元以下ノ罰金ニ處セラルヘク其ノ他興行ノ禁止停止中ニ興行シタル者ハ六十元以下ノ罰金ヲ科セラルヘシ

第二 奉天省城ニ於ケル劇場取締

前述取締規定ハ奉吉二省ヲ通シテ施行セルモノナルカ奉天省城ニ於ケル劇場ハ近來軍人及無賴漢カ入場料及座席料ヲ支拂フコトナクシテ入場ヲ強行シ場主トノ間ニ衝突ヲ起ス等ノ爲メニ不振ノ極ニ達シ別ニ之カ取締規定ヲ設クルノ必要ヲ感シタルヲ以テ民國五年五月ニ至リ奉天省會警察廳ハ奉天將軍及巡按使ノ諭旨ニ基キ取締戲園規則(參照第二〇二條)ヲ規定シタリ左ノ如シ
取締戲園規則ノ規定ニ依レハ劇場ニ入り觀劇スル者ハ豫メ定メタル料金額ニ照シ(票入場券)及自己ノ

欲スル各等ノ座席料ヲ支拂ヒタル後入場スルヲ要シ入場後使用シタル茶湯敷物等ニ對スル料金モ定額ニ照シ之ヲ支拂フヘキモノトス但シ軍人及警察官吏カ制服ヲ着用シテ入場觀劇スル場合ニ限リ入場料ヲ半額トスヘク通常服ナルトキハ普通人ト軍人警察官吏トヲ區別シ難キヲ以テ普通客ニ對スル料金ヲ支拂ハサルヘカラス若シ軍人又ハ警察官吏カ入場券ヲ買フコトナクシテ入場ヲ強行スルトキハ場主ハ直接之ト争フコトナク軍營又ハ警察官署ニ其ノ旨ヲ告ケテ當該所屬長官ヲシテ處分セシムヘク軍人警察官吏以外ノ官公吏使用者等ニシテ料金ヲ給セス故意ニ擾亂ヲ爲ス者アルトキハ場主ヨリ警察官吏ニ其ノ處分ヲ申請スヘキモノトス次ニ場内ノ使用者ニシテ觀客ニ對シ定額外ノ料金ヲ請求スルトキハ同シク警察官吏ヲシテ之ヲ取締ラシメ場内ニ於テ安ニ爭論スルコトヲ得サラシム又場主ハ場内ノ使用者ヲ監督シ入場者ヲ凌辱スルコトナカラシムヘク之ニ反スルトキハ該場主ハ重ニ從テ處罰セラルルモノトス

第四目 樂戶妓女取締

樂戶トハ音曲ヲ演奏スル藝人師匠又ハ妓女ノ抱主若ハ妓館ヲ意味シ本項ニ於テハ妓館ノ意ニ用キタリ樂戶及妓女ノ取締ニ關シテハ管理樂戶妓女章程(參照第八二條)ヲ制定シ奉吉二省ニ實施シタリ其ノ内容左ノ如シ

一 營業ノ出願及轉業廢業

樂戶及妓女ハ所轄警察官署ノ執照ヲ受領スルニ非サレハ營業ヲ爲スヲ得ス又樂戶ノ開設轉業休業妓女ノ營業轉居廢業ニ當リテモ該警察官署ニ届出テ執照ヲ受領又ハ更換セサルヘカラス而シテ樂

戸ノ開設ニ在リテハ(イ)樂戸開設人ノ姓名年齢原籍(ロ)開業地點門牌ノ號數家屋ノ間數(ハ)妓女人數及姓名(ニ)妓館ノ等次(ホ)妓館ノ字號(ヘ)妓館ノ家族雇傭男女人數姓名原籍ヲ明記シテ所轄警察署ニ出願シ妓女ノ營業開始ニ當リテハ(イ)本人ノ姓名年齢原籍(ロ)父母ノ姓名或ハ撫育者監督者ノ姓名原籍(ハ)親族又ハ夫ノ有無(ニ)妓女ト爲ル理由(ホ)妓女タリシ事實ノ有無竝ニ曾テ妓女タリシ者ハ其ノ稼業ノ年月(ヘ)將來稼業ヲ爲スヘキ場所ヲ明記シ自身ノ寫真二葉ヲ添ヘ所轄警察署ニ出願スルヲ要ス右ノ寫真ハ一葉ハ官署ニ存シ一葉ハ營業許可執照ノ背面ニ貼附シテ該妓女ニ交付携帯セシム又前述各項ニ變更ヲ來タストキハ其ノ旨ヲ所轄官署ニ届出ツヘキモノトシ規定ノ手續ヲ經テ樂戸妓女カ營業ヲ許可セラレタルトキハ各等級ニ依リ月稅及執照費ヲ納付スヘク其ノ規則ハ各警察官署ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

二營業ニ關スル制限

樂戸ノ開設ニ關シテハ地方ノ情形ニ依リ所轄警察署ヨリ一定ノ地域ヲ指定シ竝ニ其ノ營業者ノ數ヲ制限スルヲ得ヘク此ノ場合ニ於テハ指定以外ノ地域ニ於テ若ハ制限戸數以外ニ營業ヲ爲スヲ得ス又營業ヲ許可セラレタル樂戸ハ門首ニ一定ノ標札ヲ掲ケ木牌ニ班名等級ヲ明記シ夜間ハ軒燈ヲ以テ之ニ代フルヲ要シ遊客ノ登樓スル者ニ對シテ樂戸ノ要求スヘキ費用ニ關シテハ樂戸ノ等級ヲ按シ一定ノ價格ヲ明記シテ所轄警察官署ノ認可ヲ經タル上各室見易キ場所ニ貼布シ額外ニ要求スルコト無カラシム且ツ樂戸内ニ於テハ何人モ法令ニテ禁止シタル行為アルヲ得サルト共ニ樂戸歌唱ノ時間ハ毎日午前九時以後午後十二時以前ヲ以テ限トセサルヘカラス此ノ外樂戸及妓女ノ遵守スヘキ事項ヲ摘記スルトキハ(イ)妓女ハ年齢滿十六歲以上タルヘク(ロ)婦女ヲ脅迫シテ妓ト爲スコト

(ハ)妓女ヲ虐待シ又ハ身體ノ自由ヲ妨害スルコト(ニ)詐術ヲ以テ遊客ノ財物ヲ騙取スルコト(ホ)遊客ヲ強留シ又ハ其ノ財物ヲ抑留スルコト(ヘ)妓女及雇傭以外ノ婦女ヲ收容寄宿セシメ若ハ無鑑札ノ娼婦ヲ招致スルコト(ト)未成年ノ遊客ヲ登樓セシムルコト(チ)門外路上ニ於テ遊客ノ登樓ヲ勸誘スルコト等ハ一切之ヲ禁止スヘキモノトス尙ホ地方ノ情形ニ依リ必要ト認ムルトキハ警察官署ハ衛生診斷ヲ施行スルコトヲ得ヘシ

樂戸ハ(イ)遊客ノ行為舉動形跡カ疑フヘキトキ(ロ)遊客カ逃亡犯人タルコト明ナルトキ(ハ)遊客カ急病ニテ死亡シタルトキ(ニ)何人ヲ論セス樂戸内ニテ死亡者アリタルトキ(ホ)醉漢又ハ無賴漢カ暴行ヲ爲シ公安ヲ妨害スルトキ(ヘ)遊客カ軍器兇器其ノ他ノ禁制品ヲ携帯スルトキ(ト)遊客互ニ喧嘩スルトキ(チ)遊客カ法令ニ禁止シタル行為ヲ爲サントシ之カ中止ヲ勸ムルモ服セサルトキ(リ)樂戸内ニ傳染病患者アルトキ(ヌ)潛ニ逃走スル者アルトキ等ノ場合ニ於テハ即時ニ所轄警察官署ニ申告セサルヘカラス又樂戸ニ對シテハ何時タリトモ警察官署ハ營業家屋ノ内部ヲ検査スルコトヲ得ヘキモノトス

三處罰

樂戸及妓女カ法令又ハ本章程ノ規定ニ違反スルトキハ所轄警察署ハ其ノ營業ヲ停止又ハ禁止スルコトヲ得此ノ外(イ)十六歲未滿ノ婦女ノ年齢ヲ詐リテ妓女トシタル者(ロ)樂戸及妓女ノ開業出願ニ當リテ明記スヘキ事項ヲ省略シ又ハ虚偽ノ申告ヲ爲シタル者(ハ)規定ニ依リ遊客ノ行為舉動其ノ他ニ關シテ警察官署ニ申告スヘキ事項アルニ拘ラス之ヲ申告セス又ハ虚偽ノ申告ヲ爲シタル者(ニ)禁止又ハ停止中營業ヲ爲シタル者(ホ)衛生診斷ヲ拒絕スル者(ヘ)職務上警察官ノ爲ス検査ヲ拒絕スル者(ト)執照ヲ有セスシテ稼業ヲ爲ス者(チ)婦女ヲ脅迫シテ妓ト爲ス者(リ)妓女ヲ虐待シ又ハ其ノ身體ノ自由

ヲ妨害スル者(ス)遊客ノ財物ヲ詐取スル者等ニ對シテハ六十元以下ノ罰金又ハ一箇月以下ノ拘役ニ處スヘク其ノ他前述各項ノ規定ニ違反スルトキハ三十元以下ノ罰金又ハ十五日以下ノ拘役ニ處スヘク唯樂戸内ニ於テ法令ノ禁止シタル行爲ヲ爲ス者アルトキハ其ノ犯罪ノ種類及輕重ニ依リ法令ヲ按シテ處分スヘキモノトス

第五目 浴場取締

吉林省ニ於テハ浴場ヲ男女別ニ各獨立シテ經營セシメ之カ取締ニ關シテハ一般規定トシテ管理澡堂章程(參照第一一五)ヲ設ケ女子ノ浴場ニ對シテハ特ニ取締女浴所營業章程(參照第一一六)ヲ制定實施シ警察官署ノ管轄區域内ニ於テ浴場ヲ開設スル者ハ總テ本章程ノ適用ヲ受クヘキモノトシタリ先ツ一般規定ノ内容ヲ説明シ次ニ女浴所取締規定ヲ説クコト左ノ如シ

第一 浴場ニ關スル一般取締規定

一 浴場ノ開業

浴場即チ澡堂ヲ開設セムト欲スル者ハ姓名年齡原籍職業家屋ノ間數番號等級及入浴料等ヲ明記シ所轄警察官署ニ出願シ許可ヲ得タル後營業ヲ開始スヘク其ノ廢業休業又ハ營業ヲ變更スルトキニ當リテモ同シク其ノ旨ヲ届出ツヘキモノトス

二 營業ニ關スル設備及制限

澡堂ハ男女室ヲ同クシ又ハ混浴スルコトヲ禁スルモノトシ澡堂各室ノ番號等次及入浴料ハ之ヲ見易キ場所ニ揭示シテ浴客ニ周知セシムヘク浴客カ入浴料以外ニ給スル報酬ニ至リテハ各自ノ隨意

ニ任セ額外ニ要求スルコトヲ得サラシム澡堂内ノ浴水ハ毎日一二回宛清水ヲ入換ヘ浴客ニ進ムヘキ茶湯手巾等ハ注意シテ清潔ナラシメ其ノ污水ハ疏通ニ便ナル地所ニ沿フテ排出シ臭氣ヲ發散シテ衛生ニ害アラシムルコトナカルヘク且ツ該汚水ハ毎日午後十一時以後ニ排出セシムルヲ要ス又浴客ノ衣服及携帶品ハ意ヲ加ヘテ之ヲ監視シ銀錢其ノ他貴重品ハ札場ニ於テ保管スヘク烈風ノ日ニ於テハ火災ヲ防ク爲メ浴湯ヲ沸カスコトヲ禁シ且ツ平日ニ於テモ澡堂内ノ薪炭ハ空潤ナル地點ニ堆積シ特ニ燭火ニ注意スヘキモノトス若シ前述ノ規定ニ違背スルトキハ一元以上十元以下ノ罰金ニ處セラレヘシ

第二 女浴所取締

女浴所ノ取締ニ關スル取締女浴所營業章程(參照第一一六)ハ右ニ比シ稍遲レテ民國五年六月ニ至リ之カ規定ヲ見タリ且ツ本規定ハ單ニ吉林省城ニノミ限リ實施セララルモノトス

一 女浴所ノ開業及設備

女浴所ヲ開クヘキ家屋ハ新築ト改築トヲ問ハス設計書及其ノ圖面ヲ添ヘテ所轄區警察署ヲ經警察廳ニ届出テ建築方法ノ適否ノ検査ヲ受ケタル後適當ナルモノハ新築ノモノハ修建執照改築ノモノハ改造執照ヲ受領スヘク次テ營業ヲ開始セムトスルトキハ資本主經理人等ノ姓名原籍住所雇人ノ姓名原籍住所浴所ノ設置地點ヲ明記シ適切ナル商店二家ノ保證狀ヲ添ヘ前述官廳ニ出願シ審査ノ上執照ノ下付ヲ受クヘキモノトス而シテ女浴所ニ於テハ多數共用ノ混浴場ヲ設クルコトヲ禁シ官盆(特等客盆)竝等ノ孰レヲ論セス浴客一人ニ付浴室一間ヲ備ヘ之ヲ内外二部ニ分チ内室ニハ浴湯ヲ入ルヘキ盆ノ外冷水熱水ヲ隨意ニ注クヘキ水道栓各一箇及掛衣鈎ヲ設ケ外室ニハ化粧具ヲ備フヘ

ク一室ニ二盆ヲ置キ又ハ二人同一室内ニ在ルヲ得サルハ勿論入浴中他人ヲシテ水桶ヲ提ケテ外部ヨリ水ヲ汲入レシムルコトヲモ禁止スヘキモノトス浴室ノ門戸及窓戸ハ氣候ニ依リテ開閉時間ヲ定メ以テ空氣ノ流通ヲ圖リ外部ニ向ヒタル窓戸ニハ清潔ナル布類ヲ垂レテ戶外ヨリ窺看スルコトヲ遮蔽セシムヘク又室内ニハ痰壺數箇ヲ備ヘ毎日一二回宛之ヲ洗滌スルヲ要シ其ノ他室内ニ備置スヘキ物品ハ日常清潔ヲ旨トシテ之ヲ整理シ手巾雜巾ノ如キハ石鹼ヲ用キテ煮沸シ穢氣アラシムルコトヲ得ス此ノ外浴用後ノ汚水ノ如キモ庭内ニ溜ラシメ又ハ道路水溝ニ流溢セシムルコトナク日常之ヲ掬ヒ取リテ他ニ捨ツヘク之ヲ掬ヒ取ルトキハ其ノ都度警察署ニ届出テサルヘカラス

二營業ニ關スル制限

女浴所内ノ店員及其ノ他ノ使用人ハ悉ク女子タルヘク男女兼用スルコトヲ得ス又女浴所ノ營業時間ハ日出後日没前ヲ以テ限トスヘキモノトス營業中ハ女浴所ノ女店員中一二人ハ門首ニ在リテ來浴スル女客ニ應待シ女客ヲ送迎スル車夫從僕及男子ノ家族等ハ一切屋内ニ入ルコトヲ禁止スヘク浴所内ニ於ケル雇女ハ肩背ヲ露ハシ又ハ裸體ト爲ルヲ得ス又浴客ノ沐浴シタル後ハ官盆客盆ヲ論セス一浴毎ニ清水ヲ用キテ浴盆ノ内外ヲ洗滌スヘク浴客中(イ)高聲ニ唱歌シ(ロ)任意ニ涕唾ヲ垂ラシ(ハ)浴盆内ニ於テ大小便ヲ爲シ(ニ)面部ヲ拭クヘキ手巾ヲ以テ下體ヲ拭キ(ホ)限定時間外ニ至ルモ浴所ニ留マル等ノ行爲アル者アルトキハ女浴所ハ其ノ行爲ヲ禁止スヘク更ニ(ヘ)身體ニ瘡疾アリテ傳染シ易キ者(ト)身ニ重病アリテ自身ヲ維持スル力無キ者(チ)飲酒ノ度ヲ過シタル者(リ)瘋癲者等カ入浴セントスル場合ニ於テハ其ノ沐浴ヲ拒絕スヘキモノトス此ノ外女客中身體ニ打撲傷ヲ負ヒ又ハ衣類携帶品中ニ疑ハシキ點アルトキハ女浴所ハ即時ニ其ノ旨ヲ巡警ニ申告シ女檢察ヲ派遣シテ之ヲ審

査セシムルニ便ナラシムヘク又警察廳ハ平時ニ在リテモ便宜女檢察ヲ派シテ女浴所ヲ臨檢セシムルモノトス仍ホ女浴所營業者ニシテ本規定ニ違背スル者アルトキハ違警罰法ニ照シテ處罰セラレハシ

第六目 廣告取締

廣告ノ取締ニ關シテハ廣告貼布取締及特別廣告取締ノ二ニ分チテ説明スヘシ

第一 廣告貼布取締

廣告札ノ貼附ハ從來區々ニシテ或ハ家屋ノ牆壁城門其ノ他ノ場所ニ張附ケタリシカ奉吉二省ニ於テハ之ヲ一定ノ箇所ニ貼附セシムルモノトシ管理張貼告白章程(參照第九五)ヲ制定實施シ特別規定アルモノヲ除キ本章程ヲ適用スルコトトセリ左ノ如シ

警察官署ハ廣告希望者ノ使用ニ供センカ爲メ適當ノ位置ヲ擇ヒ牆壁ニ沿ヒテ木造ノ張貼處即チ廣告板ヲ設置スヘク該廣告板ハ長八尺横五尺ヲ標準トシ之ヲ區劃シテ(イ)官署局所學校告示張貼處(ロ)報社報紙張貼處(ハ)商業廣告張貼處(ニ)戲園雜技廣告張貼處等四種ノ内便宜數種ノ廣告張貼處ニ分チ其ノ上部ニ何々張貼處ト横書スルモノトス而シテ之ニ張附クヘキ廣告札ハ各官署局所學校ノ告示ニ在リテハ其ノ形狀大小ニ制限ヲ附セサルモ商業廣告及演劇引札等ハ幅八寸長一尺ヲ以テ限度トス之ヲ貼附セントスルトキハ官署局所學校ノ公示ヲ除キ其ノ他ハ廣告札ノ見本ヲ添ヘテ警察官署ニ届出ツヘク單ニ小事件ニ關スル筆寫廣告文ハ便宜附近ノ警察官吏ニ其ノ旨ヲ告ケテ承諾ヲ經タル後之ヲ貼附スルコトヲ得ヘシ但シ同一日ニ廣告スル者數多アルトキハ後ヨリスル者ハ前ニ貼附

シタル者ノ廣告札ノ上ヲ蓋フテ之ヲ貼附スルコトヲ得サルモノトシ其ノ他誤謬ニ涉ル論説及風俗ニ害アル淫畫ヲ貼附スルヲ禁シ一旦貼附シタル普通ノ廣告ハ他人カ擅ニ剥キ去ルコトヲ禁スルモノトス若シ前項ノ謬説淫畫ヲ貼附シタルトキハ情狀ニ依リ刑律ニ照シテ處斷スル外一角以上十元以下ノ罰金ニ處シ其ノ他ノ各項ニ違犯スルトキハ一角以上五元以下ノ罰金ニ處スルモノトス

第二 特別廣告取締

前記ノ外奉吉二省ニ於テハ特許廣告章程(八五)ヲ制定實施シ官設ノ廣告板以外ニ各所轄警察官署ハ民設廣告板ノ設置ヲ許可シ之ヲ取締ルト共ニ一定ノ料金を徴收スルノ法ヲ採レリ其ノ内容左ノ如シ

一 特別廣告板ノ設置

各警察官署ハ商人カ營利事業發展ノ目的ヲ以テ官設廣告板以外ニ特別廣告板ヲ私設スルヲ特許スヘク此等ノ設置ヲ爲サント欲スル商人ハ自己ノ店舗ニ設クル場合ヲ外キ其ノ他ハ本章程ノ規定ニ依ルヘキモノトス即チ之カ設置ニ先チ該商人ハ廣告板ノ圖面實物ノ寬長及設置スヘキ地點等ヲ警察官署ニ届出テ検査ノ上許可ヲ得タルトキハ一定ノ料金を完納シ執照ヲ受領シテ之ヲ設立スヘキモノトス又特別廣告板ヲ設置スヘキ地點又ハ墻壁家屋カ私人ノ所有ニ係ルトキハ該商人ハ自ラ地主又ハ家主ト商量シテ其ノ承諾ヲ得雙方共ニ所轄警察官署ニ届出ツルヲ要ス而シテ右ノ廣告ハ(イ)道旁廣告(ロ)墻壁廣告(ハ)屋上廣告ノ三種ニ分ツヘキモノトス

二 制限

道旁廣告屋上廣告ハ寬長共ニ各八尺ヲ限度トシ墻壁廣告ハ寬長各一丈ヲ限度トシ形狀圖案共ニ精

緻ニシテ雅觀アルモノヲ合格トス但シ從前ヨリ設置使用セル特別廣告板ニ在リテハ本規定施行ノ日ヨリ起算シ一箇月内ニ届出手續ヲ爲スヲ要シ其ノ際ハ該廣告板カ右ノ制限尺數ニ符合セサルモノト雖モ警察官署ノ検査ヲ經別ニ妨害ナキコトヲ認メタルトキハ連續使用ヲ許可スヘク尙ホ其ノ使用認可ノ時ニ於テハ規定ノ執照ヲ受領シ且ツ一定ノ料金を完納セサルヘカラス又特別廣告板ヲ設置シタル後其ノ地點又ハ墻壁屋上ニ對シ官ノ需用アルトキハ隨時該商人ニ其ノ旨ヲ通告シ他ニ相當ノ箇所ヲ索メテ移轉セシムヘク其ノ移轉後ノ料金を前納ノ料金を以テ連續計算セシム之ニ反シ該商人カ他ニ移轉ヲ希望セサルトキハ即時ニ之カ撤去ヲ命シ遲滯スルヲ許サス且ツ其ノ既納料金ハ日割ヲ以テ計算シ餘分ハ還附スルモノトス若シ警察官署ニ届出ヲ爲サスシテ私ニ特別廣告板ヲ設置シタル者アルトキハ所轄警察官署ハ其ノ發覺ノ都度之ヲ禁止スヘク禁止ニ不服ナル者ニ對シテハ該官署ハ代リテ之ヲ撤去シ竝ニ律ニ照シテ處分スヘキモノトス

三 料金

特別廣告板ヲ設置シタル商人ハ警察官署ニ對シ左ノ割合ヲ以テ料金を納付セサルヘカラス

(イ)道旁廣告ハ毎月廣告板一平方尺ニ付大洋八分

(ロ)墻壁廣告ハ毎月同一平方尺ニ付大洋四分

(ハ)屋上廣告ハ木材ヲ架シタル外ニ電燈ヲ取附ケタルモノハ毎月廣告板一平方尺ニ付大洋銀一角トシ單ニ木造ノミナルトキハ毎月同一平方尺ニ付大洋四分トス

右ノ料金ハ何種ノ廣告板ヲ論セス連續使用期間三箇月以上ニ及フモノハ規定ノ料金ノ二割ヲ減シ同六箇月以上ニ達スルトキハ同四割ヲ減スヘク此等ノ料金ハ該商人カ執照ヲ受領スルト同時ニ毎

三箇月分宛ヲ前納スルモノトシ使用期間三箇月ニ足ラサルモノニ在リテハ豫メ其ノ期間ヲ聲明シ之ニ相當スル料金ヲ前納スルコトヲ得ヘシ而シテ若シ三箇月後又ハ豫定期間滿了後ニ至リ仍ホ繼續シテ之ヲ使用セント欲スル者ハ滿期日ニ先チ其ノ旨ヲ所轄警察官署ニ申告シテ料金ヲ完納シ執照ヲ換領スルヲ要シ之ニ反シ豫定期日前ニ事故アリテ之カ使用ヲ停止スル者ニ在リテハ警察官署ニ對シ既納料金ノ還附ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス

第七項 衛生警察

第一目 普通衛生取締

本文ニ於テ普通衛生取締トハ公衆ノ健康ヲ害セントスル原因ヲ防止スル行政事務ノ執行ヲ云ヒ奉吉二省ニ於テハ管理衛生章程(參照第 八八)ヲ制定シテ清潔保健醫療ニ關スル事項ヲ取締ラシメ尙ホ別ニ醫士產婆藥商ニ關スル單行章程ヲ規定セリ以下管理衛生章程ニ就キ其ノ内容ヲ記スヘシ

第一 清潔

警察官署ハ所轄地域内ノ清潔事務ヲ取締ル爲メ雇人夫公共團體又ハ地方居住民ヲ督率シテ之ヲ行ハシム左ノ如シ

一 道路ノ清潔

道路ニ關スル清潔事務ハ(イ)公共ノ塵芥溜ヲ設置スルコト(ロ)共同便所ヲ設置スルコト(ハ)車輛及牲畜ノ停留所ヲ指定スルコト(ニ)住民ヲシテ道路ヲ掃除セシムルコト(ホ)雇人夫ヲ督シテ汚物ヲ他ニ運搬

セシムルコト(ヘ)住民ヲ勸誘シテ道路ノ並木ヲ栽植セシメ且ツ之ヲ保護セシムルコト(ト)道路ヲ毀損スル行爲ヲ禁止シ竝ニ障礙物ヲ排除セシムルコト等ノ方法ニ依リテ之ヲ行フヘキモノトス

二 溝渠水溜ノ清潔

溝渠水溜ニ對シテハ(イ)溜水排泄ノ方法ヲ講シ(ロ)公共用溝渠ヲ築造シテ汚水ヲ他ノ場所ニ排泄セシメ(ハ)溜水ノ飲用ヲ禁止シ(ニ)瓦石其他ノ物品ヲ溝渠ニ投棄スルヲ禁止シ(ホ)溝渠ヲ毀損スル行爲ヲ防止シ(ヘ)住民ヲ督勵シ雇人夫ヲ助ケテ溝渠ノ掃除ヲ爲サシムル等ノ方法ヲ以テ清潔ヲ保持スルヲ要ス

三 川原及堀井ノ清潔

川原及堀井ニ對シテハ(イ)川原ニ於ケル死體ノ埋藏及屍棺ノ暴露ヲ取締リ(ロ)同汚物燒場ヲ設置シ(ハ)肥料貯藏所ヲ指定シ(ニ)汚物ノ投棄ヲ禁スルト共ニ河床ノ淤塞ニ注意シ(ホ)井水ヲ調査シ淺溜ナルモノハ之ヲ浚ヘシメ(ヘ)井蓋井欄ノ朽敗シタルモノハ之ヲ修理セシメサルヘカラス

四 家宅内ノ清潔

家宅内ノ清潔事務ハ住民ヲ督勵シテ(イ)毎日便所ヲ掃除セシメ(ロ)日常屋外庭園ヲ洒掃セシメ(ハ)炕灶ヲ整理セシメ(ニ)捕鼠ヲ勵行シ蟲類其ノ他ノ死物ヲ搜查セシメ(ホ)毎日家畜小舎ヲ掃除セシムルコト等ノ方法ニ依リテ之ヲ實行スヘシ

第二 保健

警察官署ハ所轄地域内ノ保健事務ヲ處理シ地方ノ情形ニ依リテハ之ヲ強制執行スルヲ得ルモノトス但シ保健事務ハ平時ニ於ケル場合ト傳染病流行時トニ依リ稍々其ノ取締法ヲ異ニス左ノ如シ

一 平時ニ於ケル取締

平時ニ於テハ主トシテ左ノ検査ヲ行フヘキモノトス

(イ)販賣スヘキ各種飲料及食物ニ對シ清潔ナルヤヲ検査スルコト

(ロ)娼妓ニ對シ花柳病ノ有無ヲ定期診査スルコト

(ハ)屠獸場ニ對シ屠殺獸畜ノ病症ノ有無及場内ノ清潔状態ヲ検査スルコト

(ニ)藥劑士醫士産婆ニ對シ其ノ營業ノ正否及業務上過失ノ有無ヲ査察スルコト

(ホ)氣候不順ナルトキハ隨時隨地相當ノ検査ヲ行フコト

二 傳染病流行時ニ於ケル取締

傳染病流行時ニ於テハ之カ豫防方法ヲ施ス爲メ警察官署ハ左ノ取締ヲ爲スモノトス

(イ)人民ノ傳染病ニ罹リタル者アルトキハ其ノ病因及發病時日ヲ検査スルコト

(ロ)人民ノ病死シタル者アルトキハ傳染病患者ナリシヤヲ検査スルコト

其ノ他傳染病流行時ニ於テ必要ト認ムルトキハ警察官署ハ便宜左ノ事項ヲ處理スルコトヲ得ヘシ

(イ)上級官署ノ命令ニ依リ外國人ノ往來居住營業ヲ停止スル命令ヲ執行スルコト

(ロ)情形ニ依リ交通遮斷及病人隔離ノ命令ヲ執行スルコト

(ハ)死體ノ火葬及各種消毒ヲ行フコト

(ニ)傳染病患者又ハ疑似患者アルトキハ必要ニ依リ醫員ヲ派シテ診斷スルコト

(ホ)傳染病流行時ノ死亡者ニ在リテハ傳染病患者タルト普通ノ患者タルトヲ論セス喪主ヲシテ即

時ニ埋葬セシメ引取人ナキ者ハ警察官署ヨリ之ヲ埋葬スルコト

(ハ)傳染病流行時ニ於テハ該地ニ到着シタル汽車汽船ニ對シ相當ノ検査ヲ行フコト

(ト)人民ノ住家邸宅ニ對シ相當ノ検査ヲ行フコト

(チ)傳染病ノ媒介ト爲ル一切ノ物品ヲ賣買輸送貯藏スルコトヲ禁スルコト

(リ)畜類流行病發生ノトキハ便宜各種ノ豫防法ヲ執行スルコト

第三 醫療

一 醫療

警察官署ハ左ノ場合ニ於テハ醫療事務ヲ執行スヘキモノトス

(イ)娼妓カ花柳病ニ罹リタルトキハ診査所ニ留置シテ醫療ヲ行ハシムルコト

(ロ)負傷者又ハ途中俄ニ發病シタル者アルトキハ醫院ニ送リテ治療セシムルコト

(ハ)傳染病患者アルトキハ傳染病院ニ送リテ醫療ヲ行ハシムルコト

(ニ)瘋癲者アルトキハ醫院ニ同行シ醫療ヲ加ヘシムルコト

二 醫療ノ監督

警察官署ノ監督スヘキ醫療事務ヲ記スレハ左ノ如シ

(イ)地方人ヲ勸誘シテ種痘機關ヲ設ケシメ並ニ其ノ辦法及種痘人員數ヲ調査スルコト

(ロ)醫院ニ於ケル治療人員數及患者ノ傷病情形ヲ稽查スルコト

(ハ)戒煙所ニ於ケル禁煙人數及禁煙情形ヲ検査スルコト

第四 處罰

本章程中清潔ニ關スル各項ノ規定ニ違犯スル者ニ對シテハ一元以上五元以下ノ罰金ニ處シ保健及

醫療ニ關スル各項ニ違犯スル者アルトキハ一元以上六十元以下ノ罰金ニ處スヘキモノトス

尙ホ此ノ外警察官署ハ本章程ニ於ケル清潔保健醫療ノ範圍内ニ於テ本章程ニ依リ別ニ各項規則ヲ定メテ之ヲ執行スルヲ得ヘク本章程中不完全ノ事項ニ對シテハ隨時増改ヲ加ヘテ施行セシムルコトヲ得ヘシ

右ハ奉天吉林二省單行警察章程中ノ規定ニシテ既ニ該二省ニ施行セラレタルモノナリ然ルニ支那政府ハ民國五年三月十二日附ヲ以テ傳染病豫防ニ關スル一般規定タル傳染病豫防條例(參照第七二)ヲ制定公布シタリ但シ之カ施行區域及日期ハ別ニ敕令ヲ以テ之ヲ定ムルモノトシ現在未タ南滿地方ニ施行セララルニ至ラサルモ參考トシテ左ニ附記スヘシ

第五 傳染病豫防條例ノ内容

一 傳染病ノ種類

傳染病豫防條例ノ所謂傳染病トハ左ノ八種ヲ指スモノトス

- 虎 列 刺
- 赤 痢
- 腸 室 扶 斯
- 天 然 痘
- 發 疹 室 扶 斯
- 猩 紅 熱
- 實 扶 的 里
- 百 斯 脫

但シ本條例ニ依リ豫防方法ヲ施行スル必要アリト認ムル前項以外ノ傳染病アルトキハ內務部ヨリ臨時ニ之ヲ指定スルコトヲ得ルモノトス

二 豫防方法

豫防方法ハ普通防疫特別防疫及檢疫ノ三ニ分チテ説明スヘシ普通防疫トハ一般ノ場合ニ於ケル防疫ニシテ特別防疫トハ特別ノ場所特定ノ人ニ傳染病ノ發生セルニ當リ之ヲ防止スルヲ謂ヒ檢疫トハ病患ノ有無ヲ検査スルヲ云フ

(一)普通防疫 地方行政長官ハ傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ左ノ處置ヲ執ルコトヲ得

(イ)一定ノ區域内ニ於テ該區域内ノ住民ヲ指揮シ清潔及消毒方法ヲ行ハシムルコト但シ既ニ自治制ヲ採用セル地方ニ於テハ自治區董ヲ指揮シテ之ヲ行ハシムヘク其ノ清潔及消毒方法ハ內務部ヨリ定ムルモノトス

(ロ)既ニ自治制ヲ採用セル地方ニ於テハ各自治區ニ傳染病院隔離病舎隔離所及消毒所ヲ設立スヘク此等ノ設備及管理方法ハ地方行政長官ヨリ單行章程ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

(ハ)健康診斷及死體ノ検査ヲ行フコト

(ニ)市街村落ノ全部又ハ一部ノ交通ヲ遮斷スルコト

(ホ)演劇興行物其ノ他人民ノ集合スル一切ノ事件ヲ制限又ハ禁止スルコト

(ヘ)衣服器具其ノ他病毒ヲ傳播スヘキ物品ノ運搬授受使用ヲ制限シ又ハ該物品ヲ廢棄セシムルコト

(ト)能ク傳染病毒ノ媒介ヲ爲ス飲食物又ハ病死シタル禽獸等ノ肉ニ對シ其ノ販賣授受ヲ禁シ又ハ之ヲ廢棄セシムルコト

(チ)船舶汽車工場其ノ他多數ノ人民カ集合スル所ニ在リテハ其ノ管理者ヲシテ醫士ヲ備聘セシメ竝ニ其ノ他必要ナル豫防設備ヲ爲スヘキ旨ヲ命スルコト

(リ)清潔方法及消毒方法ヲ施行スルトキハ上水道源地井泉溝渠河道廁所汚物及塵芥溜場等ニ對シテハ其ノ新設改設廢棄又ハ使用停止ヲ命スルコトヲ得

(ヌ)傳染病流行時ニ當リテハ一定ノ期間其ノ附近ノ捕魚游泳汲水等ヲ禁止スルコトヲ得

(ル)自治區ニ命シ又ハ所轄官署ヲシテ驅鼠方法ヲ施行セシメ又ハ驅鼠ニ關スル設備ヲ爲サシムルコト

右ノ内建築物カ既ニ傳染病毒ノ汚染ヲ受ケ普通ノ消毒方法ヲ行ヒ難キトキハ地方行政長官ハ特別處分ヲ爲スコトヲ得ヘク其ノ處分ヲ爲スタメ土地ノ使用ヲ必要トスルトキハ地方最高行政長官ヨリ内務部ニ之カ使用ヲ申請スルヲ要ス又前述(ニ)ホ(二)項ノ規定ヲ實行シタル爲メ建築物又ハ土地ノ所有者ニ損害ヲ與フルトキハ土地收用法(民國四年十月二十三日公布)ノ規定ヲ準用シ損害ヲ酌量賠償スルコトヲ得殊ニ前掲(リ)ヌ(二)項ノ規定ニ依リ市街村落ノ全部又ハ一部ニ對シ用水ヲ停止シ若ハ汲水ヲ禁止シタルトキハ停止又ハ禁止期間内ハ自治區ヨリ之カ用水ヲ供給スヘキモノトス

(二)特別防疫 特別防疫ハ傳染病患者ニ對スル處置及其ノ周圍ノ人及場所ニ對スル傳染ノ防止ヲ目的トス即チ左ノ如シ

- (イ)傳染病及疑似傳染病ヲ患ヒ又ハ此等ノ病症ニ依リ死ヲ致シタル者ノ家宅及其ノ他ノ場所ニ在リテハ速ニ醫士ノ診斷又ハ檢案ヲ受ケ二十四時間内ニ所轄官署ニ其ノ旨ヲ届出ツヘク其ノ届出ヲ爲スヘキ義務者ハ一般民家ニ在リテハ病者又ハ死者ノ家長家屬若シ家長家屬ナキトキハ其ノ同居人トシ旅舍店肆舟車ニ在リテハ其ノ主人又ハ管理人トシ學校寺院病院工場公司各種ノ公共事務所感化院養育院監獄及此等ニ類似スルモノニ在リテハ其ノ監督人又ハ管理人トス而シテ右ノ傳染病患者アリタル家及其ノ他ノ場所ニ於テハ患者以外ノ人カ既ニ傳染シタルト否トヲ論セス醫士或ハ檢疫防疫官吏ノ指示ニ服從シ清潔方法及消毒方法ヲ行フヘキモノトス
- (ロ)醫士カ傳染病患者ヲ診斷シ若ハ其ノ死體ヲ檢案シタルトキハ其ノ家屬ニ消毒方法ヲ指示シ且

ツ十二時間以内ニ患者若ハ死體所在地ノ官署ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ其ノ轉歸ノ場合亦同シ

(ハ)所轄官署ハ傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ傳染病患者ヲ傳染病院又ハ隔離病舎ニ入ラシムルコトヲ得而シテ該傳染病患者及其ノ死體ハ當該吏員ノ認可ヲ經ルニ非サレハ他所ニ移スコトヲ得ス殊ニ其ノ死體ニ施ス所ノ消毒方法ニ對シテハ醫士ノ検査及當該官吏ノ認可ヲ經タル後二十四時間内ニ入棺セシメ埋葬ヲ執行スヘク其ノ埋葬ハ城市及人煙稠密ノ場所ヲ距ル三支里以外ノ地ニ於テ深サ七尺以上ノ土ヲ掘リテ之ヲ行ヒ埋葬後三年ヲ經過スルニ非サレハ改葬スルコトヲ得サルモノトス傳染病患者ノ死體ニシテ病毒ヲ受クルコト比較的重キモノハ所轄官署ニ於テ豫防上必要ト認ムルトキハ其ノ火葬ヲ命スルコトヲ得該家屬ニシテ之カ實行ヲ怠ルトキハ行政執行法代執行ノ規定ニ依リ之ヲ行フコトヲ得

(ニ)將ニ入棺埋葬セントシ又ハ既ニ埋葬シタル死體ニ對シ傳染病ノ疑アルトキハ當該官吏ハ其ノ死體家宅竝ニ一切ノ物件ニ關シ本條例ノ規定ニ依リ相當ノ處分ヲ執行スルコトヲ得又地方行政長官カ傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ前述傳染病患者届出義務人ニ通告シ執照ヲ携帯スル検査員ヲ派シテ検査ヲ爲サシメ若ハ一定ノ期間傳染病患者又ハ疑似傳染病患者ヲ出シタル家屬及其ノ近隣住民ニ對シテ交通ヲ遮斷セシムルモノトス

(三)檢疫 傳染病流行シ又ハ流行ノ虞アルトキハ地方行政長官ハ檢疫委員ヲ置き檢疫豫防事務ヲ擔任セシメ竝ニ船舶汽車ノ檢疫ヲ執行セシムルコトヲ得但シ外國ヨリ入境スル船舶汽車ノ檢疫ニ關シテハ別ニ教令ヲ以テ檢疫規則ヲ定ムルモノトス
船舶汽車ノ檢疫ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ船舶及汽車ノ乗客乗組員ニシテ傳染病毒感染ノ疑アル

者ヲ相當ノ時日間留置スルコトヲ得又船舶汽車ノ檢疫ニ於テ發見シタル患者及病毒感染ノ疑アル者ハ其ノ附近地方設立ノ傳染病院及隔離病舎ニ收容治療セシムルコトヲ得該地方ニ於テハ相當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス若シ又檢疫ヲ施行セサル船舶汽車中ニ傳染病患者若ハ病毒感染ノ疑アル者アリタルトキハ前述ノ規定ヲ準用スヘク在監人出獄スルニ際シ傳染病ニ罹リタル者若ハ傳染病毒感染ノ疑アル者アリタルトキ亦同シ

檢疫ニ關スル前述規定ノ外檢疫委員ノ設置及船舶汽車ノ檢疫ニ關スル規定ハ教令ヲ以テ之ヲ定ムヘク又檢疫官吏及醫士ハ執照ヲ有スル者ニ限り無賃乗券ヲ用キテ船舶汽車ニ坐乗セシムルコトヲ得

三處 罰

(イ)本條例又ハ本條例ニ基キテ發スル告示ニ依リ法定若ハ當該官署ノ指定セル期限内ニ施爲スヘキ事項ヲ施爲セザルトキハ五圓以下ノ罰金ニ處スヘク(ロ)醫師カ傳染病患者ヲ診斷シ若ハ其ノ死體ヲ檢案シタル後本條例ニ依リテ届出ヲ爲サス又ハ虛偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ科シ(ハ)當該官署官吏又ハ醫士カ本條例ニ依リテ爲ス處分若ハ指示ニ對シテ之ヲ遵行セス又ハ本條例ニ依ル届出ヲ爲サス若ハ虛偽ノ届出ヲ爲シ又ハ他人ノ届出ヲ妨害シタル者アルトキハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處スルモノトス

四經費及雜則

普通防疫ニ關スル規定ノ中(イ)(ロ)(リ)(ル)ノ四項及(リ)(ヌ)二項ノ用水ノ供給ニ要スル費用ハ自治經費中ヨリ之ヲ支出スヘク但シ自治會ノ議決ヲ經地方最高行政長官ノ許可ヲ得タルトキハ國庫ヨリ酌量補

給ヲ爲スコトヲ得地方行政長官カ前述ノ許可ヲ爲シタルトキハ內務部ニ其ノ旨ヲ報告スヘク上述以外ノ經費ニシテ本條例ノ規定ヲ執行スル爲メニ要スルモノハ國庫ヨリ之ヲ支出セシム又未タ地方自治制ヲ採用セザル地方ニ在リテハ本條例ノ規定中地方自治區ノ辦理ニ屬スル事項ハ地方行政長官ヨリ公正ナル紳士ヲ會シテ之ヲ行ヒ其ノ經費ハ地方原有ノ公金公有財產其ノ他公益費用中ヨリ支出セシメ不足ヲ生スルトキハ國庫ヨリ支給セシムヘシ仍ホ又地方邊僻ニシテ特別事情アル爲メ本條例ノ規定以外ニ豫防法ヲ變更スルトキハ該地方最高行政長官ヨリ之ヲ辦理シ內務部ニ報告スヘキモノトス而シテ本條例ニ關スル各種ノ施行規則ハ教令ヲ以テ之ヲ定メ本條例ノ施行區域及施行期日ニ在リテモ教令ヲ以テ定ムルモノトス

第二目 藥商及賣藥取締

藥商及賣藥ノ取締ニ關シテハ支那全國ニ施行スヘキ一般規定及奉天吉林二省ニ施行スヘキ特別規定ノ二種アリ一般規定ニハ民國四年十月公布管理藥商章程(參照第七一)及民國三年四月十日公布嗎啡治罪條例(參照第七〇)等アリ殊ニ阿片ノ賣買及吸入ハ光緒三十二年(參照第七一)禁煙辦法ノ實施以後支那政府ノ嚴禁スル所ニシテ延テ阿片ノ製造原料タル罌粟ノ栽培モ漸ク逐ウテ之ヲ禁止シタリシカ民國三年五月五日ニ至リ禁種罌粟條例ヲ公布シ全然之ヲ禁止シタリ又特別規定トシテハ奉天吉林二省單行警察章程中特ニ取締藥商章程(參照第八九)ヲ設ケ南滿地方ノ警察取締ニ資スルモノトセリ以下先ツ一般規定ノ内容ヲ見次ニ奉天吉林二省ニ於ケル特別規定ヲ説明スヘシ

第一 全國藥商取締

證 書

某某警察官廳
 某某縣知事署
 發給藥劑士及格證書事、茲據藥劑士
 藥劑士曾在 某處醫學學校畢業領有文憑或某處練習配藥事宜一年以上得有證明書 遵照管理藥商規則第六條之規定、稟請註冊給
 照等情、經本署查驗或考試資格尚無不合、除予註冊外、合即發給證書一紙、俾資營業、須至
 證書者

中華民國 年 月 日發

右給藥劑士

收執

三營業ノ制限

藥店カ醫士ノ處方箋ニ依ル調劑ノ註文ヲ受ケタルトキハ藥名分量病人ノ姓名年齡住址及醫士ノ姓名印章ニ注意シ若シ疑ヲ存スルトキハ處方箋ヲ認メタル醫士ニ質問シ其ノ證明書ヲ得ルニ非サレハ之カ爲メニ配劑スルコトヲ得ス又該處方箋ニ記載シタル藥品カ缺乏シタル爲メ之ヲ調合スルコト能ハサルトキハ該醫士ニ其ノ旨ヲ通告シ他ノ藥品ヲ代用センコトヲ依囑スルニ非サレハ店內ノ使用人藥劑士等ニ於テ安ニ之ヲ省略シ又ハ他藥ヲ代用スルコトヲ得サルモノトス次ニ內國藥品ヲ販賣スル藥店ニ在リテハ其ノ調劑ノ紙包又ハ容器上ニ藥名ヲ記載スヘク外國藥ヲ販賣スル藥店ニ在リテハ其ノ調劑ノ容器又ハ包紙上ニ紙片ヲ貼附シ處方ニ照シ內用外用ノ別及用法用量並ニ授受者ノ姓名年月日ヲ記入セサルヘカラス殊ニ藥店ニシテ東西各國ノ毒劇藥ヲ販賣スルトキハ各該國藥局方ノ規定ニ照シテ授受ノ標準ヲ定ムヘク且ツ其ノ毒劇藥ノ販賣ニ當リテハ普通ノ場合藥劑及

數量共ニ醫士ノ署名捺印シタル處方箋アル者ニ對シテノミ之ヲ賣與シ取扱藥劑士亦該處方箋ニ捺印シ嗣後十年間之ヲ保存スヘキモノトシ醫士ノ處方箋ヲ有セサル者又ハ年齡幼稚ナル者形迹疑フヘキ者等ニ對シテハ一切之カ賣渡シヲ爲スコトヲ得ス但シ特別ノ場合ニ在リテハ必シモ醫士ノ處方箋ヲ要セスシテ之ヲ賣却スルコトヲ得即チ(イ)醫療上必要ナルトキハ醫士ノ處方箋ナキモ藥瓶又ハ包紙上ニ紙片ヲ貼附シ之ニ藥ノ種類內用外用ノ別用法用量授受者ノ字號姓名年月日ヲ明記シ並ニ他ノ帳簿ニモ之ヲ記入シ且ツ買受人ノ自筆證書ヲ受領スルトキハ外國藥局方規定ノ分量ヲ逾ヘサル範圍ニ於テ之ヲ賣却スヘク(ロ)同業者醫士及化學家カ業務上ノ需用ニ依リ又ハ官署公所カ正當ノ用途アル爲メ之ヲ購入スルトキハ購入者ノ姓名職業住所及購買數量等ヲ帳簿ニ詳記シ且ツ購入者ノ自署捺印シタル書類ヲ留メテ之ヲ賣却スルコトヲ得ルモノトス

賣藥行商カ小賣ヲ目的トシテ登錄スルトキハ販賣スヘキ藥品ノ種類數目ヲ所轄官廳ニ報告スルヲ要ス此ノ場合ニ於テハ官廳ノ検査ヲ受ケテ發賣ノ許可ヲ得タル丸散膏丹等ノ藥品ヲ除キ毒劇藥ヲ賣却スルコトヲ禁スヘク又卸賣ヲ目的トシテ登錄スル賣藥行商ニ在リテハ藥劑士ヲ使用スルニ非サレハ毒劇藥ヲ小賣スルコトヲ得ス

製藥者カ各種ノ藥品ヲ製造スルトキハ其ノ都度所轄官廳ニ製品ヲ提出シテ検査ヲ受クヘク毒劇藥ニ在リテハ毎月ノ製造數量ヲ該官廳ニ報告セサルヘカラス又其ノ製造藥品ノ販賣ニ當リテハ包紙及容器ニ該公司ノ名稱ヲ記載スヘク殊ニ毒劇藥ナルトキハ其ノ旨ヲ明記スルヲ要ス尙又毒劇藥ヲ販賣スルトキハ藥店及卸賣ヲ目的トシテ註冊シタル賣藥行商醫士化學家等ノ業務上ノ必要ニ依ルモノ官署公所ノ正當ノ使用ヲ爲ス爲メ購買スルモノ等ニ對シ前述藥店ニ於ケル毒劇藥ノ販賣ニ關

スル手續ニ仿ヒテ授受スル外之カ小賣ヲ爲スコトヲ禁スルモノトス
 此ノ外藥商カ散膏丹錠藥膠藥水藥ヲ配合スルトキハ中外ノ處方ニ照シテ調合シタル上準據シタル
 該處方ト共ニ調合藥品ヲ所轄警察官廳ニ提出シテ検査ヲ受ケ販賣ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之カ發
 賣ヲ爲スヲ得ス但シ本規定施行以前ニ官廳ニ検査ヲ申請シ發賣ノ許可ヲ受ケタル者ハ再検査ヲ免
 除スヘク又各藥商ハ各適當ノ方法ヲ講シテ藥品ヲ貯藏スルヲ要シ外氣ノ侵入ニ依リ藥品ノ性質ヲ
 變シタルモノハ販賣ノ目的ニ使用スルヲ得ス殊ニ毒劇藥ハ嚴密ニ貯藏シ鎖鑰ヲ施シテ不測ノ變ヲ
 防クヘク又貯藏毒劇藥ノ數量及品目ニ關シテハ各藥商ハ詳細ナル帳簿ヲ作製シ官廳ノ検査ニ供ヘ
 サルヘカラス

官廳ヨリ衛生事務擔任吏員ヲ派シテ藥商ノ藥品及帳簿ヲ巡視検査スルトキハ藥商ハ逐一之ヲ案内
 スヘク口實ヲ藉リテ検査ヲ拒絶シ又ハ故意ニ反抗スルコトヲ得ス又藥品ニシテ該吏員ヨリ衛生及
 風俗ニ害アリ又ハ偽物トシテ認定セラレタルトキハ當該所轄官署ヨリ其ノ製造貯藏販賣ヲ禁止シ
 並ニ該藥品ニ對シ燒棄其ノ他ノ處分ヲ行フモノトス

四處罰

藥商ニシテ左ノ各項ニ該當スルトキハ十元以上百元以下ノ罰金ニ處セララルモノトス

- (イ)營業執照ノ下付ヲ受ケスシテ各種藥商ノ業ヲ營ムトキ
- (ロ)内外藥品ヲ賣買スル藥店ニシテ使用人即チ店員及藥劑士ニ關スル届出ヲ爲サス又届出ヲ爲ス
 モ使用店員カ藥品ノ性質ヲ熟知セス藥劑士亦規定ノ執照ヲ受クルニ至ラサルトキ
- (ハ)藥品ノ容器又ハ包紙上ニ虛偽不確實ノ事項ヲ記載シタルトキ

(ニ)藥店カ醫士ノ處方ニ依ル調劑ノ依頼ヲ受ケ該處方藥品ノ缺乏セル爲メ規定ノ手續ヲ履マシ
 テ他ノ藥品ヲ代用シ又ハ之ヲ省略シタルトキ若ハ毒劇藥ノ使用販賣ニ關スル前述各規定ニ違
 犯シタルトキ

(ホ)官廳ノ検査規定ヲ遵守セサルトキ並ニ検査後藥品ノ製造販賣貯藏禁止ノ命ヲ受ケテ之ニ違犯
 シタルトキ

此ノ外(イ)内國藥品ヲ取扱フ藥店カ配劑ヲ爲スニ當リ包紙及容器上ニ藥名ヲ明記セス(ロ)外國藥品ヲ
 取扱フ藥店カ處方箋ニ依リテ配劑ヲ爲スニ當リ規定ノ事項ヲ詳記セス(ハ)藥商カ毒劇藥ノ貯藏法ヲ
 誤リ又ハ藥店カ毒劇藥ニ關スル處方箋ノ保存期間ニ關スル規定ヲ守ラズ(ニ)藥商カ發賣藥品ニ對ス
 ル届出ノ手續ヲ爲ササル者等アルトキハ各五元以上三十元以下ノ罰金ニ處シ(ホ)藥店カ醫士ノ處方
 ニ依ル配藥ヲ爲スニ當リ規定ノ事項ヲ記入セス又ハ性質ヲ變シタル藥品ヲ販賣シ(ハ)製藥者カ藥品
 ノ包紙容器ニ自己ノ商號及毒劇藥ナルトキハ其ノ旨ヲ明記セサルトキハ一元以上五元以下ノ罰金
 ヲ徴セララルモノトス次ニ(ト)藥商カ法令ニ違反シタル行爲アルトキハ所轄警察官廳ハ其ノ營業ヲ
 禁止又ハ停止スルコトヲ得ヘク(チ)營業ノ禁止又ハ停止中賣賣ヲ爲シタルトキハ三十元以下ノ罰金
 ニ處スヘク(リ)一時ニ數條ノ規定ニ違犯スルトキハ之ヲ併罰スルコトヲ得(ヌ)本規定ノ違犯事項カ刑
 律ノ制裁ヲ受クヘキモノナルトキハ刑律各條ニ依リテ處斷スルコトヲ得ルモノトス(ル)其ノ他醫士
 ニシテ藥商ヲ兼營スル者アルトキハ仍ホ本規定ニ從ヒテ營業執照ヲ受領シ藥品ノ貯藏授受ニ關シ
 テモ本規定ヲ遵守スヘク(ヲ)藥商ノ使用店員又ハ僱人カ本規定ニ違反スルトキハ藥商自ラ其ノ責ニ
 任セサルヘカラス唯官廳ノ派遣ニ係ル検査員カ藥品及帳簿ノ稽查ヲ爲スニ當リ賄賂ヲ要求シ又ハ

其ノ他ノ情弊ヲ生スルトキハ他人ノ告發ヲ經審査ノ上所轄長官ヨリ懲辦ヲ嚴行スヘキモノトス仍ホ前述ノ規定ハ批准ノ日ヨリ施行スヘク本規定中不備ノ事項アルトキハ隨時之ヲ增修スルコトヲ得ルモノトス

第二 奉吉二省藥商取締

奉吉二省ニ於テ藥商營業ヲ爲ス者ハ普通營業ニ關スル各項ノ規定ヲ遵照スル外取締藥商章程(參照第九)ノ適用ヲ受クヘキモノトス而シテ該章程ノ所謂藥商トハ藥店賣藥行商人藥品ヲ携ヘ人ヲ雇フテ小賣セシムル者及道側ニ露店ヲ開ク小藥商等ヲ包含ス以下該章程ノ内容ヲ説明スヘシ

一 營業ノ許可及禁止停止

藥商ヲ營マント欲スル者ハイ營業者ノ姓名年齡原籍住所(ロ)賣藥ノ種類及資本額(ハ)藥店開設地點又ハ行商地點(ニ)營業商號等ヲ記シ所轄警察官署ニ出願シテ許可ヲ得ルヲ要シ警察官署カ營業ヲ許可スルトキハ一定ノ憑證(札)ヲ下付スヘシ但シ藥商ニシテ一定ノ住所ナキトキハ警察官署ハ其ノ營業ヲ禁止スヘク其ノ他藥商カ法令ニ違犯シタル場合ニ於テモ該官署ハ其ノ營業ヲ禁止又ハ停止スルヲ得ヘク又之カ停止ヲ爲シタル者ニ對シテハ何時ニテモ停止命令ヲ解除スルコトヲ得ルモノトス

二 營業ニ關スル制限

藥店ノ製造輸入販賣スル藥品ニシテ若シ人體ヲ殺傷スヘキ毒質又ハ爆發スヘキ劇藥ヲ含有スルトキハ其ノ製造輸入ノ數量及配製藥劑毎日ノ賣却數量ヲ明記シテ所轄警察官署ニ届出ツヘキモノトシ鴉片嗎啡高根及此ノ種ノ成分ヲ含有スル藥品竝ニ之カ注射器具ニ對シテハ藥店ハ任意ニ之ヲ輸入製造販賣スルコトヲ得サルモノトス但シ右ノ鴉片嗎啡高根及之カ注射器具ハ他ノ藥劑ヲ配製シ

又ハ治療上ノ必要ニ依リ之ヲ需用スル場合ニ於テハ需要數量ヲ所轄警察官署ニ申告シ執照ノ下付ヲ請ヒタル後之ヲ輸入スルコトヲ要シ竝ニ其ノ配製藥劑及治療上ニ使用シタル毎日ノ數量ヲ警察官署ニ届出テサルヘカラス而シテ賣藥行商人及小藥商ニ在リテハ前項ノ藥品及器具ニ關シテハ一切之カ携帶販賣ヲ爲スコトヲ得サルモノトス又藥商ハ偽藥及風俗ヲ壞亂スル藥品器具ノ販賣ヲ爲スコトヲ得ス警察官署ハ藥商ニ對シ隨時其ノ貯藏藥品及帳簿ノ検査ヲ爲スコトヲ得ヘシ

三 處罰

藥商カ營業出願ノ手續ヲ爲サス又ハ毒藥及劇藥ノ製造輸入販賣ニ當リテ届出ヲ怠リ若ハ警察官署ノ検査ヲ拒絶スルトキハ六十元以下ノ罰金ニ處シ其ノ藥品及器具ハ沒收ノ上燒棄スヘク又藥商カ營業出願ノ際明記スヘキ事項ニ對シ虛偽ノ申告ヲ爲シ或ハ偽藥及風俗壞亂ノ藥品器具ヲ販賣シ又ハ藥店カ鴉片嗎啡高根及注射器具ノ輸入販賣規定ニ違反シ若ハ右ノ携帶販賣ヲ禁セラレタル賣藥行商人及小藥商カ其ノ禁止規定ヲ犯シタルトキハ三十元以下ノ罰金ニ處シ偽藥及風俗壞亂ノ藥品器具ハ沒收燒棄スルモノトス其ノ他禁止停止中ニ營業ヲ爲シタルトキハ同シク三十元以下ノ罰金ニ處スヘク同時ニ數項ノ規定ニ違犯シタルトキハ之ヲ併罰スルコトヲ得ルモノトシ藥商ノ使用人カ犯シタル事項ニ關シテハ營業者自ラ其ノ責ニ任スヘキモノトス又本章程ニ違犯シタル行爲ニシテ刑律ノ制裁ヲ受クヘキモノアルトキハ各現行法律ニ依リテ處斷セララルモノトス

第三 嗎啡高根安洛因ノ取締

支那ニテ嗎啡ト稱スルハ「モルヒネ」ニシテ高根ハ「コカイン」ニ當リ安洛因ハ「アンロイン」ニ該當ス支那全國ニ對シ阿片ノ栽培及使用ヲ禁止シテヨリ支那人ハ之ニ代ヘモルヒネ、コカイン等ノ藥物ヲ自己

ノ身體ニ注射シテ一時ノ快眠ヲ食ラントスル者多ク遂ニハ身ヲ毀テ產ヲ傾ケ甚シキハ兇賊ト變スルモ仍ホ之カ使用ヲ繼續セント欲シ地方ノ安寧幸福ヲ紊ルノミナラス一面ニ於テハ暗密ノ間ニ之ヲ賣買シテ暴利ヲ得ントスル者簇出スルヲ以テ支那官憲ハ其ノ弊害ヲ防止センカ爲メ民國三年四月十一日嗎啡治罪條例(七〇參照第)ヲ公布シ警察官吏又ハ其ノ補助吏員ヲシテ之カ取締ヲ嚴ニセシムルモノトシタリ今同條例ノ内容ヲ記スレハ左ノ如シ

(イ)嗎啡ノ製造販賣禁止 嗎啡ヲ製造又ハ販賣シ或ハ販賣ヲ企テテ之ヲ私藏シ若ハ外國ヨリ輸入販賣スル者ハ三等以下五等以下ノ有期徒刑ニ處シ五百元以下ノ罰金ヲ併科スルモノトス稅關吏又ハ其ノ補助吏員カ外國ヨリ嗎啡ヲ輸入シ若ハ他人ノ輸入販賣スル者ヲ默許シタルトキハ二等又ハ三等有期徒刑ニ處シ及罰金一千元以下ヲ併科ス

(ロ)嗎啡注射器具ノ製造販賣禁止 嗎啡注射專用器具ヲ製造又ハ販賣シ若ハ販賣ノ意思ヲ以テ私藏シ或ハ外國ヨリ輸入販賣スル者ニ對シテハ四等以下ノ有期徒刑或ハ拘役ニ處スルモノトス

(ハ)嗎啡ノ注射禁止 他人ニ嗎啡ヲ注射スル者ハ四等以下ノ有期徒刑又ハ拘役ニ處シ三百元以下ノ罰金ヲ併科ス人ヲ雇ヒ又ハ自ラ嗎啡ヲ注射スル者ハ五等有期徒刑又ハ拘役若ハ一千元以下ノ罰金ニ處スルモノトス

(ニ)嗎啡注射器ノ私藏禁止 嗎啡注射器具ヲ私藏スル者アルトキハ百元以下ノ罰金ニ處ス尙ホ製藥律ノ公布以前ニ於テハ高根、安洛因及其ノ化合物ニ關シテモ本條例ヲ適用スルモノトシ警察官吏又ハ其ノ補助吏員カ之カ取締ヲ爲スニ當リ前項ノ犯人アルヲ知リテ故意ニ相當ノ處分ヲ爲

ササルトキ亦右ノ例ニ照シテ處斷セララルヘシ且右ニ關シテハ未遂犯ト雖モ之ヲ處分スヘク既ニ法禁ヲ犯シタルトキハ(三)項ノ犯罪ヲ除ク外其ノ他ノ犯人及本件ニ關シ職務ノ執行ヲ怠リシ警察官吏ニ在リテモ規定ノ處分ヲ受クル外普通人民ニ在リテハ公權ヲ褫奪シ官吏ニ在リテハ現職ヲ免セララルモノトス(以上參照第七〇參照)

第四 藥用阿片嗎啡等ノ販賣制限

藥用阿片嗎啡高根安洛因竝ニ其ノ化合物ノ販賣授受ニ際シテハ管理藥商規則(參照第六九參照)中毒劇藥ノ製造賣買ニ關スル各條ノ規定ヲ遵守スル外限制藥用阿片嗎啡等品營業章程(參照第七一參照)ノ規定ニ從テ處理スヘキモノトス即チ左ノ如シ

一 賣買ノ制限

藥店賣藥行商人製藥者カ藥用阿片嗎啡高根安洛因等ノ藥品及其ノ注射用具ヲ購買シテ醫療ノ用ニ供セントスル時ハ先ツ需用數目ヲ所轄警察官署ニ報告シ執照ノ交付ヲ得タル後其ノ輸入販賣ヲ許可セラルモノトス又藥商カ前述藥品ヲ購買シタルトキハ其ノ都度官廳ニ報告シテ検査ヲ受クルト共ニ藥品購買證書ヲモ一併シテ檢閲ヲ受ケサルヘカラス而シテ此等藥品ノ販賣ニ當リテハ官廳ノ許可ヲ受ケタル藥商カ管理藥商規則第十二條第三項ノ規定ニ從ヒ互ニ相授受スル場合ヲ除キ其ノ他零細ノ小賣ヲ爲ストキハ藥店ハ醫士ノ明記シタル處方箋ニ照シ其ノ記載分量ヲ賣渡スヘク醫士ノ處方箋無キ者ニ對シテハ私ニ販賣スルコトヲ得ス

二 製藥ノ制限

藥店カ外國藥局方ニ照シ阿片嗎啡高根安洛因等ヲ用キテ丸散膏丹膠藥錠藥水藥等ヲ製造セントス

ルトキハ該藥局方記載分量ニ照シテ製造販賣スヘク若シ支那内地醫士ノ研究シタル處方ニ照シ配劑スルモノナルトキハ藥品及處方ヲ同時ニ官廳ニ提出シテ検査ヲ經認可ヲ得タル後ニ非サレハ之ヲ販賣スルコトヲ得ス又支那人民ニシテ阿片嗎啡高根安洛因及其ノ化合物ヲ製造スルトキハ政府ニ出願シテ特別ノ許可ヲ受クルヲ要シ竝ニ此等藥物ノ製造所所在地製造人ノ姓名年齢ヲ詳記シタル履歷書ヲ所轄官廳ニ提出シ規定ニ照シテ註冊ヲ請フヘキモノトス

三 藥物ニ關スル報告及検査

藥商ハ販賣シタル藥用阿片嗎啡高根安洛因ノ數目ヲ每月末所轄官廳ニ報告シテ衛生事務擔任職員ノ検査ニ備フヘク該職員ハ藥商カ藥用阿片嗎啡高根安洛因等ヲ輸入スル毎ニ其ノ數目ヲ明記シ所轄警察官署ニ赴キ輸入許可ヲ申請シ執照ノ下付ヲ經タルトキハ其ノ都度臨檢ヲ爲スト共ニ毎月末ニ於ケル前述ノ販賣報告ニ對シテモ翌月初ニ之ヲ臨檢セサルヘカラス而シテ右ノ職員カ臨檢ヲ爲スニ當リテハ藥商ハ其ノ店內ノ使用人ヲ率ヒ逐一内部ヲ案内スルヲ要ス若シ該職員ニシテ臨檢ノ際種々ノ要求ヲ爲シ弊情ヲ醸シ其ノ事實ヲ告發又ハ發覺シタルトキハ所屬官廳ニ於テ規定ニ照シ懲戒處分ヲ爲スモノトス

四 處 罰

前項ノ中藥品ノ賣買製造ニ關スル規定ニ違犯シタルトキハ百元以下ノ罰金ニ處シ検査及報告ニ關スル規定ニ違背シタルトキハ三十元以下ノ罰金ニ處スルモノトス又本規定ニ違背シタル行爲カ法律ノ制裁ヲ受クヘキモノナルトキハ刑律各條ノ規定ニ照シテ處分セララルヘシ

第三目 醫士取締

醫士トハ官廳ヨリ一定ノ資格ニ對スル合格者タルヲ認メラレ行醫執照(醫師免)ヲ給セラレタル後看板ヲ掲ケテ醫業ヲ行フ者ヲ云フ奉吉二省ニ於テハ取締醫士章程(參照第九〇條)ヲ制定シテ之ヲ取締ルモノトセリ左ノ如シ

一 醫士ノ免狀及開業

醫士ハ開業前ニ於テ自己ノ年齢原籍現住所及曾テ修業シタル學科ヲ明記シ所轄警察官署ニ出願シテ資格試験ヲ受ケ執照ヲ受領セサルヘカラス但シ内外國ノ學校ニ在リテ三年以上醫學ヲ修メ卒業シタル者ハ其ノ卒業證書ノ檢閲ヲ請ヒ無試験ニテ執照ヲ受領スルコトヲ得ヘク本章程實施以前ヨリ醫業ヲ營ム者ニ在リテハ右ニ依リ警察官署ニ出願シテ執照ノ下付ヲ受クヘキモノトス警察官署カ右ノ試験ヲ執行スルトキハ出願者ノ修メタル書籍ヲ聲明シ開業醫ヲシテ藥學病理臨床ニ關スル問題ヲ試験セシムヘク其ノ結果ニ依リ又ハ無試験ニテ警察官署ノ許可ヲ經行醫執照ヲ受領スルトキハ照費二元及半身像寫真一枚ヲ納付スヘク執照ヲ遺失シタル者カ再度ノ下付ヲ請フ場合亦右ニ做フヘキモノトス又醫士ニシテ醫院ヲ設立セントスルトキハ院長醫士藥劑士看護婦產婆等ノ姓名年齢原籍履歷卒業證書行醫執照等ヲ添ヘテ警察官署ニ出願シ許可ノ後證書ヲ受領シテ之カ設立ニ著手スルヲ要シ若シ外國人ヲ聘用スルトキハ更ニ聘用契約ヲ添附セサルヘカラス之ニ反シ行醫執照ヲ領有スル醫士ニシテ他ノ地方ニ移轉シ若ハ醫業ヲ廢セントスルトキハ執照ヲ警察官署ニ返還スルヲ要ス

二 醫業ニ關スル制限

醫士ハ患者ノ診斷治療ニ對シ報酬ノ受否及若シ報酬ヲ要スルトキハ其ノ料額ヲ定メ先ツ警察官署ニ届出ツルヲ要シ且ツ外ニ一定ノ書式ニ依リ自ラニ聯單ヲ作製シ患者ニ對スル診察治療ノ都度年月日醫士ノ姓名患者ノ姓名年齢藥名分量用法等ヲ番號順ニ詳記シ認印ヲ押シ一ハ患者ニ給シ一ハ控ト爲スヘク若シ藥品ノ處方ヲ誤リ治療ニ錯誤ノ點アルトキ警察官署カ其ノ事實ヲ查知シタル場合ハ執照ヲ取消シ又ハ醫業ヲ停止スルモノトス又往診ノ場合ニ在リテモニ聯單ノ使用ハ前述ノ如クスヘキモノトス此ノ外醫士カ藥品ノ營業ヲ兼ヌルトキハ單ニ藥品ノ賣買授受ニ對シテハ藥商ノ營業ニ關スル章程(參照第六九第八九)ノ規定ヲ遵守スルヲ得ヘキモ病症ニ應シテ投藥スル場合ハ前述ノ規定ニ照シテ取扱ハサルヘカラス上述ノ外醫士ハ毎月ニ於ケル診斷治療人員數ニ對シ治愈轉療死亡ノ三項ニ分チ一覽表ヲ作りテ警察官署ニ報告スヘク若シ傳染病患者及同疑似患者或ハ中毒者アルトキハ即時ニ所轄警察官署ニ其ノ旨ヲ届出ツルヲ要ス

三處 罰

醫士カ其ノ業務ニ關シ罪ヲ犯シ又ハ不正ノ行爲アルトキハ警察官署ハ執照ヲ還附セシメ又ハ醫業ヲ停止スルコトヲ得ヘク竝ニ前述各項ノ規定ニ違反スルトキハ輕重ニ依リ違警律ニ照シ又ハ所轄官廳ニ送リテ處分セシムヘシ

第四目 產婆取締

奉吉二省ニ施行セラレタル取締產婆章程(參照第九一)ニ依レハ左ノ如シ

一 產婆營業ノ許可

產婆業ヲ營マントスル者ハ願書ニ(イ)姓名(ロ)年齢(滿三十歲以上タルヘキコト)(ハ)夫又ハ子ノ名(ニ)原籍(ホ)現住所(ヘ)確實ナル商店ノ保證(ト)產婆業従事年數(チ)學校卒業者タルヤ否ヤ(リ)分娩料額等ヲ明記シ所轄警察官署ニ登録ヲ出願シテ其ノ許可ヲ得ヘク外國ノ女子ニシテ產婆タラントスル者ハ當該外國官廳ノ產婆許可書及卒業證書ヲ提出スルトキハ前述年齡ニ關スル制限ヲ除外スルコトヲ得ヘシ而シテ警察官署カ之ニ對シ營業ノ許可ヲ爲ストキハ其ノ旨ヲ帳簿ニ登録シ竝ニ照費銀一元ヲ徴シテ執照ヲ下付スヘク許可後一箇月ヲ逾フルモ執照ヲ受領セサルトキハ右ノ登録ヲ取消スモノトス又右ノ執照ハ他人ニ轉賣或ハ給與スルヲ得サルハ勿論若シ本人カ他ニ移住シ又ハ休業病死シタル等ノ際ハ之ヲ返還セシムヘク老衰病患ノ爲メ業務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ亦之ヲ返還セシムルモノトス尙ホ執照ヲ毀損遺失シタルトキハ再ヒ之カ補給ヲ許スヘシ

二 業務ニ關スル制限

何人ト雖モ登録ヲ出願セサル者ハ產婆業ヲ營ムコトヲ得ス又之カ登録ヲ經タル者ハ門首ニ業務姓名ヲ書シタル看板ヲ掲クルヲ要シ本人カ他ニ轉居スル場合ニ於テハ關係警察官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘキモノトス此ノ外產婆ハ左ノ行爲アルヲ得ス

(イ)特別ノ要事アルニ非スシテ妊婦ノ招聘ニ應セサルコト

(ロ)額外ノ分娩料ヲ要求スルコト

(ハ)墮胎ヲ爲スコト

(ニ)妄ニ手術器械又ハ藥餌ヲ用キテ產婦及胎兒ニ危害ヲ加フルコト但シ消毒ヲ行ヒ臍帶ヲ切り灌

腸ヲ施ス如キハ此ノ制限ヨリ除外セラレルモノトス

(ホ)男女嬰兒ヲ賣買又ハ偽リテ交換スルコト

(ハ)難産ノトキハ醫士ノ治療ヲ請ハシムルヲ要シ産婆自ラ擅ニ其ノ處置ヲ爲スコトヲ得ス但シ臨時救急ノ手當ハ此ノ限ニ在ラス

(ト)妄ニ神方又ハ其ノ他ノ俗傳ノ藥品ヲ産婦及生兒ニ投與服食セシムルコト

(チ)産婦及生兒ニ針灸ヲ施スコト

(リ)畸形兒ヲ産シタルトキハ警察官署ニ届出ツヘク妄ニ處置ヲ爲スヲ得ス

(ヌ)産婦ノ秘密陰私ニ涉ル事項ヲ發キ若ハ之ヲ脅迫シテ多額ノ金錢ヲ要求スルコト

(ル)其ノ他ノ不法行爲

此ノ外産婆ハ自己ノ取扱ヒタル嬰兒ニ對シ其ノ住所門牌戸主姓名男女ノ別出生月日及健全死亡等ノ項ニ分チ之ヲ明記シテ所轄警察官署ニ申告セサルヘカラス

三處 罰

産婆ニシテ墮胎罪其ノ他業務ニ關スル罪又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラルヘキ罪ヲ犯シタルトキハ警察官署ハ産婆ノ業務ヲ一年以内禁止又ハ停止スルコトヲ得ヘク帳簿登錄以前ニ犯シタル罪ニ對シテモ亦同シ此ノ外(イ)規定ノ出願手續ヲ履マス又ハ虚偽ノ許可證及卒業證書ヲ提出スル者(ロ)執照ノ下付ヲ受ケスシテ産婆ノ業ヲ營ム者(ハ)執照ノ返還ヲ命セラレタル後ニ産婆ノ業ヲ爲ス者(ニ)業務ノ禁止又ハ停止後ニ産婆ノ業ヲ爲ス者(ホ)産婆ニ對シテ禁セラレタル前掲(イ)乃至(ル)ノ行爲ヲ爲ス者等アルトキハ各三十元以下ノ罰金ニ處スヘク又産婆カ(ハ)門首ニ看板ヲ掲ケサルトキ(ト)轉居ノ届ヲ爲

ササルトキ(チ)休業移住病死ノ場合ニ執照ヲ還附セサルトキ(リ)執照ヲ他人ニ轉賣又ハ給與シタルトキ(ヌ)取扱ヒタル嬰兒ニ關スル届出ヲ爲ササルトキハ各五元以下ノ罰金ニ處セラルヘキモノトス但シ右ニ依リ産婆ノ業務ヲ禁止又ハ停止セラレタル者ニ對シテハ警察官署ハ該本人ノ行爲ヲ見テ便宜其ノ禁止又ハ停止ノ處分ヲ解除スルコトヲ得ヘシ

第五目 銃刀創治療取締

吉林省ニ於テハ銃刀創ノ治療ヲ取締ル必要ヲ認メ管理療治槍砲刀傷章程(參照第〇五條)ヲ規定シタリ蓋シ銃刀創ノ原因ハ偶然ノ場合ヲ除キ戰爭又ハ馬賊討伐ノ場合ニ生スヘク殊ニ馬賊討伐ハ所在頻繁ニ行ハルルヲ以テ之カ負傷者ヲ生スルコトモ多カルヘク負傷者ノ内官兵警察官吏等ニ在リテハ公然之ヲ治療セシムルモ馬賊其ノ他被討伐者ノ負傷ハ秘密ニ之ヲ行フノ外ナク斯クシテ治療後ハ再ヒ地方ノ安寧ヲ阻害スルニ至ルヘク且ツ逮捕上ニモ不便ナルヲ以テ右ノ取締ヲ爲スニ至レルモノト解スヘシ

管理療治槍砲刀傷章程ノ規定ニ從ヘハ省内警察官署ノ管轄地域内ニ居住スル人民ハ特別規定アル場合ヲ除キ本章程ノ適用ヲ受クルモノトス即チ醫士(生醫)ニシテ銃砲及刀劍ノ傷創ヲ受ケタル者ヨリ之カ治療ヲ請ハルルトキハ該醫士ハ負傷者ノ姓名年齢面貌原籍住所並ニ負傷ノ原因等ヲ詳記シ警察官署ニ申告シテ其ノ出張検査ヲ請ヒ並ニ之ニ用フル處方箋ニ對シテモ警察官署ノ檢印ヲ受ケ藥店ヲシテ鑑別シ易カラシムルコトヲ要ス右ノ負傷者カ巡警又ハ軍人ニ係ル旨ヲ自稱スル場合及他ノ地方ヨリ往診ヲ請ハレタル場合ニ於テモ醫士ハ前述ノ申告ヲ爲ササルヘカラス殊ニ銃刀創ノ

治療ヲ專問トスル醫士ニ在リテハ右ノ申告ヲ爲ス以外ニ毎月一回報告書ヲ作製シテ警察官署ノ檢査ヲ受クヘキモノトス

藥店ニシテ普通人民又ハ醫士ヨリ銃刀創ニ對スル處方箋ヲ持シ藥品配製ノ請求ヲ受クルトキハ該處方箋ニ警察官署ノ檢印ノ有無ヲ確查シ檢印ナキモノニ在リテハ擅ニ藥劑ヲ配製スルヲ禁シ又銃刀創ノ藥品ヲ製造販賣スル者ニ對シ私ニ其ノ藥品ノ賣却ヲ請フ者アルトキハ該製造販賣人ハ附近ノ警察官署ニ其ノ旨ヲ申告セサルヘカラス醫士藥店ニシテ前述ノ規定ニ違犯スルトキハ匪賊ニ内通シタル證據アル者ハ所轄官廳ニ交付シテ處分セシメ其ノ他ハ一元以上四十元以下ノ罰金ニ處スルモノトス

第六目 屍棺安置取締

吉林省ニ於テハ屍體ヲ入レタル棺廓ノ散在カ往々傳染病ノ流行其ノ他衛生上ニ不都合アルヲ見人煙稀ナル地點ニ浮屠場即チ屍棺安置所ヲ特設シテ之ニ屍棺ヲ安置セシメ嗣後城廓ノ廟宇等ニ託シテ安置セシムルヲ禁スル方針ヲ採リ管理浮屠場章程(參照第一一)ヲ規定シタリ左ノ如シ

一 浮屠場ノ設備

浮屠場ハ其ノ四圍ニ土牆ヲ築キテ外部トノ區劃ヲ明ニシ場内ニハ數間ノ家屋ヲ建設シ番人及巡視夫ノ住宅及ヒ祭祀掃除ノ爲メ來場スル親族等ノ休息場ニ充ツルモノトシ竝ニ番人巡視夫各二名ヲ常備シ交代シテ晝夜之カ監督ヲ爲サシムルモノトス又場内ニ屍棺ノ安置ヲ託シタル者ニシテ該屍棺カ風雨ニ暴露スルコトヲ虞ルル場合ニ於テハ該委託者ノ自費ヲ以テ其ノ上部ニ板屋根ヲ設置ス

ルコトヲ得ヘシ

二 屍棺ノ安置及料金

浮屠場設立後ハ舊設掩埋局ハ該場ニ歸併スヘク且ツ從前各廟ニ安置シタル屍棺ハ之ヲ埋葬又ハ浮屠場ニ移置セシメ殊ニ年月久シク棺木ノ朽腐ニ傾ケルモノ及汚物ノ棺内ヨリ漏洩スルモノアルトキハ之ヲ埋葬セシムルモノトス紳商其ノ他ノ各戸ニシテ屍棺ノ安置ヲ希望スルトキハ保證人ヲ定メ警察官署ニ到リテ其ノ旨ヲ届出テ許可執照ヲ受領スルヲ要シ安置後之ヲ遷葬セントスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ届出テ該執照ヲ返納セサルヘカラス而シテ屍棺ノ安置ヲ委託シタルトキハ毎月一定ノ料金ヲ納付シテ場内ノ經費ニ充テシムヘク其ノ料金ハ板屋根ヲ設クル者ハ毎月三吊文煉瓦ヲ積ミタル者ハ同二吊文散置スル者ハ同一吊文ノ割トス又浮屠場ニ於ケル屍棺ニ對シテハ木牌ヲ附シ姓名號數ヲ明記シテ之カ辨別ニ便ナラシムヘク場内ニ於ケル安置期限ハ一箇年ヲ限リトシ若シ期限ヲ經過スルモ之ヲ遷葬セス又ハ引取人ナキトキハ官廳ヨリ之ヲ埋葬シ標記ヲ建ツヘク此ノ場合紳商ノ委託安置シタルモノニ在リテハ保證人ヲシテ之ヲ引取ラシメ又ハ埋葬セシムヘキモノトス若シ又場内ノ番人巡視夫ニシテ不都合ノ行爲アリ臨檢ノ官吏ニ查出セラレ又ハ他人ニ告發セラレタルトキハ重キニ從テ懲罰スヘキモノトス(以上參照第一一)

右ノ外村屯ニ於テ屍體ヲ入レタル棺ヲ路側ニ放置スルハ民間普通ノ慣例ナルモ此等ハ往來ノ人ニ不快ノ感ヲ起サシムルノミナラス風雨ノ侵蝕スル所ト爲リ又ハ日光ニ暴露スルトキハ臭氣ヲ發シ衛生上ニ害アルヲ以テ吉林巡按使ハ民國五年四月通飭ヲ發シ嗣後道路ニ近キ屍棺ハ各該親族ヲシテ埋葬セシメ親族ナキ者ニ在リテハ巡警ヲシテ之ヲ掩埋セシムヘキ旨ヲ嚴達シタリ(民國五年四月十三日吉林公報七)

第七目 屠獸取締

吉林省城ニ於テハ屠獸ノ検査及取締ヲ爲サンカ爲メ管理屠獸檢驗場暫行章程(參照第一〇)ヲ定メテ實施シタリ左ノ如シ

一屠獸檢驗場及屠獸業者

警察官署ハ屠獸檢驗場ヲ設置シテ獸類ノ屠殺及検査ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ルモノトシ省城小東門外昌邑屯ニ於ケル屠獸東場西門外鄧家大院ノ屠獸西場二箇所ニ於テハ豚驢馬驢等ヲ屠殺セシメ北極門外屠獸北場ニ於テハ牛羊ヲ屠殺セシムルコトトシ各場ニ管理員一名醫員一名書記一名巡長二名巡警六名ヲ配置スヘク其ノ執務時間ハ臨時時間ヲ増減スル場合ヲ除キ平日ハ午前六時ヨリ正午十二時迄トス此ノ外各區警察署ニ於テハ別ニ検査員及巡長巡警ヲ置キテ場外ノ屠獸ニ對シ屠殺後臨時検査ヲ爲サシムルコトヲ得ヘシ又屠獸業ヲ營マント欲スル者ハ姓名原籍年齡ヲ明記シテ所轄警察署ニ出願シテ營業執照ヲ受領スヘク休業轉業移轉等ノ場合ニ在リテモ其ノ都度該官署ニ申告セサルヘカラス

二屠獸及検査

屠獸業者即チ屠戶ハ自ラ飼養又ハ購入シタル各種ノ獸類ニ對シ其ノ數額ヲ時々所轄區警察署ニ申告シテ帳簿ニ記入セシメ場内ノ検査數目ト對照シテ検査漏ヲ防止スルニ便ナラシムヘク又屠獸檢驗場創立當時ニ於テハ商人ノ便宜ヲ圖リ場内ニ於テハ單ニ屠獸ノ検査ヲ行フノミニ止メ自家ニ歸

リテ屠殺セシムルモノトス即チ各屠戶カ屠獸ヲ要スルトキハ該獸ヲ屠獸檢驗場ニ送り到場順ニ巡長巡警ヲシテ其ノ頭數ヲ調ヘシメ書記之ヲ登記シタル上醫員ノ検査ヲ經合格ノトキハ烙印ヲ受ケ規定ノ検査料ヲ完納シ各一頭毎ニ執照(屠殺許可證)一枚宛ノ下付ヲ受ケ然ル後自家ニ於テ之ヲ屠殺スヘキモノトス其ノ際納付スヘキ檢驗費(検査料)ハ左ノ如シ

一豚	一頭	洋	三角	一牛	一頭	洋	一元
一羊	一頭	同	二角	一驢馬驢	各一頭	同	一元

右ノ検査ヲ受ケタル後生獸ノママ他人ニ賣却スルトキハ検査ノ際受領シタル執照ト共ニ買主ニ交付スルヲ要ス又検査後屠戶カ之ヲ屠殺シタルトキハ所轄警察署ヨリ人ヲ派シ一定時間内ニ検査ノ上檢印ヲ押シ執照ヲ回收スヘク檢印ヲ受ケサルモノハ之ヲ分割賣却スルヲ禁シ既ニ檢印ヲ受ケタルモノト雖モ之カ賣却ニ當リテハ勉メテ檢印ノ部分ヲ明ニスヘク妄ニ之ヲ抹消スルコトヲ得サルモノトス右ノ検査ヲ爲スニ當リ肉質及内臟ニ病狀アルヲ發見シ食用ニ供シ難シト認ムルトキハ警察官署ハ其ノ販賣ヲ禁止スヘク若シ疾病カ單ニ一部分ニ止マリ全身ニ及ハサルモノナルトキハ其ノ患部ヲ除去シテ衛生ニ妨害ナカラシムヘシ但シ該販賣禁止又ハ除去シタル肉ハ適當ノ藥液ヲ用キテ消毒セサルヘカラス

此ノ外住民カ自家用トシテ獸類ヲ飼養スル場合ニ於テモ其ノ獸畜ノ頭數ヲ所轄警察官署ニ申告シ備查表ノ下付ヲ受ケ之ニ其ノ獸名頭數ヲ記入シ置クヲ要シ之カ屠殺ヲ要スルトキハ屠殺一日前ニ該獸ヲ屠獸檢驗場ニ送り検査ヲ受ケ料金ヲ完納シテ執照ヲ受領シタル後之ヲ屠殺スヘク屠殺後ハ再ヒ警察官署ヨリ之ヲ検査シ執照ヲ回收スルモノトス若シ此ノ場合ニ検査後二日ヲ經ルモ該執照